

**身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略
令和7年度 第1回身延町総合戦略推進委員会 会議録（要旨）**

1、日時 令和7年10月3日（金） 午前9時30分から午前11時20分

2、場所 中富総合会館2階 大ホール

3、出席

（委員）18名（委員総数20名）

佐野慈一、浅野秀人、若林由美、池上要靖、遠藤綾子、加藤新、金岡義朝、小林あゆみ、佐野昇、田中一泰、田中奈巳、深澤香里、深山光信、古屋徳至、箕浦一哉、望月三千夫、矢崎道紀、若林裕子

（町）23名

遠藤基 副町長

深沢泉 総務課長、天野芳英 交通防災課長、幡野弘 財政課長、伊藤剛 税務課長、曾谷英輝 町民課長、松田宜親 福祉保健課長、青嶋浩二 觀光課長、遠藤仁 子育て支援課長、若狭秀樹 産業課長、佐野彰 建設課長、深沢暢之 土地対策課長、笠井健一 環境課長・上下水道課長、佐野美秀 施設整備課長、望月融 下部支所長、加藤千登勢 身延支所長、笠井和美 会計課長、望月俊也 学校教育課長、石部直樹 生涯学習課長、中山耕史 議会事務局長

※委員会事務局（企画政策課）

高野修 企画政策課長、前澤学 企画政策課主幹、依田真弥 企画政策課副主幹

4、令和7年度 第1回身延町総合戦略推進委員会 次第

1. 開 会

2. 副町長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議 事

（1）総合戦略の検証結果に関すること及び推進について

（2）デジタル田園都市国家構想交付金事業の検証結果に関すること及び
推進について

（3）その他

5. 閉 会

5、会議録（要旨）

（企画政策課長）

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより、令和7年度身延町総合戦略推進委員会並びに第2回総合

計画審議会を始めさせていただきます。本日の進行を務めさせていただきます、企画政策課長の高野です。よろしくお願ひいたします。

それでは次第により進めさせていただきます。開会の言葉を副委員長よりお願ひいたします。

(副委員長)

改めまして、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。こうやって皆さんと顔を合わせるのも3回目となりますが、本日は、これまでの計画策定とは異なり、昨年度の町の施策についての評価及び検証について審議することとなります。とはいっても、これまでの施策に対する意見や要望が新たな施策のアイデアにもつながりますので、積極的なご意見をお願いいたします。

ただいまから、総合戦略推進委員を開会いたします。よろしくお願ひいたします。

(企画政策課長)

ありがとうございます。続きまして、副町長より挨拶を申し上げます。

(遠藤副町長)

皆さん、おはようございます。異常とも言える暑い日々が、嘘のように一気に季節が進みまして、実りの秋となりました。本町の特産品であります「あけぼの大豆」に携わっておられる委員さんも少なくない中で、何かとお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日の総合戦略推進委員会では、令和6年度事業についての検証結果及び推進について議題としております。委員の皆様にはすでにご承知かと思いますが、総合戦略は5つの基本目標を掲げておりまして、その進捗について設定された目標値の達成度から効果検証を行い、目標達成に向けて必要な改善を行うこととされております。委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただく中でも、今後も皆様とともにこの総合戦略の取組を推進し、来年度策定する次期総合戦略の事業にも活かしていきたいと考えております。

本日は、委員の皆様のご意見やご質問に対応できますよう、担当課長も出席させていただいております。長時間となりますが、本日の会議が有意義なものになりますようお願いいたします。簡単でございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(企画政策課長)

ありがとうございました。続きまして、委員長より挨拶をいただきます。

(委員長)

皆さん、おはようございます。先ほど、副委員長さん、次いで副町長さん、ご挨拶にありましたとおり、長時間の会議が見込まれるかと思いますがご協力いただき、実りある積極的な発言、ご意見をいただければと思います。本日はよろしくお願ひいたします。

(企画政策課長)

ありがとうございました。続きまして、議事に入らせていただきます。総合戦略推進委員会設置要項6条第1項に「委員長が議長となる」と規定されておりますので、委員長に議長をお願いします。

(佐野委員長)

議長ということですが、慣れないところがありますので、ご承諾いただければと思います。それでは、座ったままで失礼いたします。

はじめに、議題の（1）「総合戦略の検証結果に関すること及び推進」として、令和6年度事業の取組の効果検証について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

大変お疲れさまです。企画政策担当の前澤です。よろしくお願ひいたします。

最初に、本日配布をいたしました資料の確認をさせていただきます。A4タテの本日の「会議の次第」が1枚、A4ヨコ版ホチキス留めの「総合戦略検証に関する事前にいただきました質問・案等への対応の一覧表」、A3ヨコ版を折りたたんであります「令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の実施状況」、最後に、A4タテ版ホチキス留めとなります「課題のまとめ」、こちらは、後半の総合計画審議会で町民アンケートの集計結果の報告の際に使わせていただきます。その他、事前にお送りした資料も本日お持ちいただいているかと思います。また、説明の中で不足等ありましたら、その都度おっしゃっていただければと思います。よろしくお願ひいたします。それでは、着座にて説明をさせていただきます。

議題であります（1）「総合戦略の検証結果に関すること及び推進について」を説明する前に、改めて総合戦略の目的を確認させていただきます。総合戦略は、平成26年に施行されました「まち・ひと・しごと創生法」という法律に基づいており、国全体で取り組んでいくものになります。その法律の中では、①少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけること、②東京圏への人口の過度の集中を是正すること、③それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持すること、この3点を目的としております。この法律を受けまして、町では、「身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、人口減少の克服に向けて5つの基本目標を定めました。一つ目が、「地域に根ざした雇用の創出」。二つ目が、「まちを元気にできる人材の育成」。三つ目が、「人の流れをつくり、移住・定住の促進」。四つ目が「結婚・出産・子育て環境の充実」。五つ目が「特色ある持続可能な地域社会の形成」。これら五つを目標として定め、その下に基本の方

向、施策とその取組としてアクションプランを定めております。それぞれの施策は互いに関連を持つ横断的な結びつきにより、しごとの創生、ひとの創生、まちの創生の取組を同時的・一体的にバランスよく進めております。以上が総合戦略の目的となります。

それでは、事前に送付をさせていただきました資料により説明をいたします。A4タテ版で、「身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証」と書かれました資料をご用意ください。

この資料は、1枚が1つの基本目標の検証となっており、まず1枚目、基本目標1についての資料となります。上から基本目標、その下に基本的方向、その下がKPI、さらにその下には計画期間の各年度の実績が掲載されています。

はじめに、基本目標1「地域に根差した雇用の創出」につきまして、基本的方向が5つ定められておりまして、この目標に対して、KPIとしまして、新規雇用者数、就職奨励金の支給者数、2つがKPIと設定されております。ページの一番下にあります令和6年度の実績をご覧いただきたいのですが、新規雇用者数につきましては、令和6年度は8人の新規雇用がありまして、計画が始まった令和2年度からの累計は57人となりました。その内訳としまして、令和6年度は株式会社キーテックが1人、あけぼの大波拠点施設が1人、スポーツ健康増進施設「しもべの湯」が6人、計8人の新規雇用がありました。第一次総合戦略の取組から進めている、観光・地場産業の振興、企業誘致は雇用の創出に大きな効果があると考えております。今後も総合戦略の取組を加速していくことで、雇用を創出していきたいと考えております。

KPIの2つ目、就職奨励金の支給者数につきましては、一番右端に実績がありますが、令和6年度、18の方に支給しました。この就職奨励金の支給につきましては、定住促進としてこの奨励金について、令和6年度は18人に支給しました。町内への就職が9人、町外への就職が同じく9人で、町内就職者の割合は50%と、前年度の79%に比べると減ってはおりますが、人数は9人なので、引き続き町内での雇用が確保されていると考えられます。また、支給対象になると考えられる人口に対する支給割合は、例年10%前後でしたが、昨年度につきましては、例年より高い14%となりました。若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取組を加速していくことで、雇用を創出していきたいと考えております。基本目標1につきましては、以上となります。

2枚目のページをご覧ください。2枚目が、基本目標2「まちを元気にできる人材の育成」についてです。こちらにつきましては、ここにあるように3つの基本的方向を定めまして、KPIは、新規組織数ということで設定をさせていただいております。ページの一番下をご覧いただきまして、令和6年度の実績は、新規の組織が1団体発足いたしました。これにより、令和2年度からの累計が5団体発足ということで、この目標自体の目標値は累計3団体以上ということになっておりますので、もうすでに目標はクリアできている状況となっております。内訳を説明させていただきますと、第1期からつながる総合戦略の取組として、令和6年度に身延ニューターリズム協議会が発足いたしました。身延ニューターリズム協

議会は、地域住民や事業者等の相互の親睦を深め、産業・観光資源との連携を図り、地域活性化、産業・観光振興、より暮らしやすい地域づくりを目的とし、活動を行っております。この団体を含め、令和2年度からは、五条ヶ丘活性化推進協議会、みのぶキズナプロジェクト、西嶋地域活性化委員会、みんなの広場の会、そして、今回の身延ニューツーリズム協議会合わせて5団体が発足しております。委員の皆さんの中には、これらの団体と関わりをお持ちの方もいらっしゃいますが、こういった団体を今後も増やしていくことで、総合戦略の取組を加速し、まちを元気にできる人材の育成による新規の組織化につなげていきたいと考えております。基本目標2につきましては、以上となります。

続いて、資料の3枚目をご覧ください。基本目標3「人の流れをつくり、移住・定住の促進」についてです。こちらも基本的方向にあるように3つの方向を定めまして、KPIは社会増減を設定させていただいております。人の移動につきましては、出生・死亡をカウントする自然増減、それともう一つが、転入転出、町内に引っ越してきた方、町外に引っ越された方、それらをカウントする社会増減の2つがありますが、本目標のKPIは、転入転出に基づいた社会増減をKPIとして設定しております。一番下、令和6年度の実績をご覧いただきたいのですが、令和6年度は△96人ということで、転出超過で人口が減りました。詳しい説明ですが、令和6年度につきましては、第1期総合戦略の期間、平成27年度から令和元年度の期間の平均△183.4人と比較しますと、87人、47.7%の減ということで改善となりました。しかしながら、令和5年度と比較しますと、27人の増加となりまして、転出が増えている状況です。また、身延町と県外間の社会増減につきましては、転入162人、転出142人と20人のプラスとなっております。身延町と県外だけを見ますと、令和5年度に続きましてプラスとなりましたが、今後の動向については引き続き注視をしていきたいと考えております。調査結果から、社会増減のマイナス要因としましては、県内においては婚姻関係と住宅事情、県外に転出された方については転職・転勤が大きな要因となっております。令和6年度につきましては、分譲地の売り扱いはありませんでしたが、空き家の活用につきましては、毎年着実に進んでおり、取組の成果が出ていると考えております。社会増減のマイナス要因として、転勤・住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取組を加速していくことでマイナス要因を払拭し、社会増減の改善につなげていきたいと考えております。基本目標3につきましては、以上となります。

続きまして、4枚目をご覧ください。基本目標4「結婚・出産・子育て環境の充実」。この目標に対しまして、4つの基本的方向を設定し、取組を行っております。KPIといたしましては、合計特殊出生率、それと普通出生率、2つのKPIを設定しております。出生率が2つありますが、委員さんも新しい方もいらっしゃいますので、この違いについて説明させていただきたいと思います。まず、上の方の合計特殊出生率ですが、こちらは1人の女性が生涯で生む子どもの平均数を示す指標です。15歳から49歳までの年齢別の出生率を合計したものになりますと、夫婦が2人いる中で、2人以上の子どもが生まれなければ、いずれ人口の減少が始まることになるため、この数値が2.1を下回ると将来人口が減少すると言われて

おります。参考に、基準値を見ていただくと、平成 30 年度の本町の合計特殊出生率は 1.33、これを目標値 1.85、これでも、今申し上げたように人口は減少するのですが、人口の減少ペースを落としたいということで、1.85 という目標値に向かって取組を進めているところです。もう 1 つの出生率につきましては、その年の人口 1,000 人当たりの出生数、ということで、人口全体の出生の動向を示した指標となります。こちらも基準値を見ていただくと、2.45‰（パーミル）、人口 1,000 人当たり生まれている人数は 2.45 人というような指標になっております。これを目標値としまして、6.12 パーミルを目指して取組を進めているところです。それでは、一番下の令和 6 年度の実績をご覧ください。まず、合計特殊出生率についてですが、この合計特殊出生率が市町村ごとに公表されるのは 5 年ごとになっておりまして、昨年度、令和 5 年度がちょうどその公表の年でありました。ですので、上の令和 5 年度の欄を見ていただくと、KPI の実績のところに 1.23 という数字が入っております。ただ、令和 6 年度につきましては公表の年度ではないため、KPI の実績が入っていない状況となっております。参考に、全国と県の合計特出生率は毎年公表されますので、掲載をさせていただいております。全国が 1.0、山梨県が 1.26 という数字で、昨年度の本町の 1.23 と比べてみると、全国よりは本町の合計特殊出生率の方が高いですが、山梨県の平均よりは下回っている状況となっております。上昇率の欄をご覧ください。続きまして、その下の令和 6 年出生率につきましては、年度の実績は 1.98‰という数値でした。人口 1,000 人あたり 1.98 人のお子さんが生まれたことになります。本町の人口が約 1 万人台なので、一年間で 19.8 人程度のお子さんが生まれている、そんな指標となります。令和 6 年度の出生率、人口 1,000 人対の出生率につきましては、繰り返しになりますが、1.98‰、参考ではありますが、全国は 5.7‰、山梨県が 5.53‰ということから、本町は非常に低い数値となっております。ただ、令和 6 年度に比べますと、0.07 ポイントの微増となっております。様々な要因によりまして、全国、山梨県ともに減少となっておりまして、全国的な出生数の減少は変わらず進んでいる状況であります。町では今後も、出産の中心年齢である 30 歳から 34 歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されておりますが、総合戦略の取組における結婚・出産・子育て環境の充実した取組の PR 等を実施し、出生率の増加につなげていきたいと考えております。基本目標 4 につきましては以上となります。

それではもう 1 枚めくつていただきまして、基本目標の最後 5 番目となります「特色ある持続可能な地域社会の形成」について説明をさせていただきます。この目標に対しまして、6 つの基本的方向を定め、取組を進めております。KPI につきましては、住み続けたいと思う町民の割合、地域活動への参加の割合、この 2 つを設定しております、とともにまちづくりアンケートの調査結果をもとに数値を算出する予定になっております。一番下、令和 6 年度の実績をご覧いただきたいのですけれども、そのまちづくりアンケートですけれども、ご承知のとおり、今年度実施をいたしました。令和 7 年度に実施をしたということで、令和 6 年度の KPI の実績としては入っていない状況であります。この後の審議会でアンケート結果の速報も説明をさせていただきますけれども、参考までに、住み続けたいと思う町民の割

合につきましては、今年度の調査の結果をもとにしますと、53.8%の方が、引き続き本町に住み続けたいという思いを持っていただいております。また、その下の地域活動への参加の割合につきましては、37.7%の方が「積極的に参加する」「なるべく参加する」、そういうた意識をお持ちいただいております。ページの上の方に戻っていただいて、基準値、目標値がそれぞれのKPIに設定をされていますけれども、住み続けたいと思う町民の割合につきましては、前回の調査では56.2%の方が住み続けたいと思っていただいておりました。しかしながら、今年度の調査では、先ほど申し上げたように53.8%と若干減少することになっております。その下の地域活動への参加の割合につきましても、基準値となる前回のアンケートの結果では、40.6%の方が地域活動へ参加の意向を示していただいておりましたが、今年度のアンケートでは37.7%と、どちらの指標も残念ながら減少する結果となってしまいました。町としましても引き続き、様々な事業を実施する中で、「持続ある地域社会の実現及び活力ある住みよいまちづくり」を推進、また、地域のコミュニティ活動の活性化及び新たな地域活動の支援等を行いながら、引き続き、住民の満足度を高める取組を進めていきたいと考えております。それでは基本目標5つについての説明は以上となります。

続きまして、「KPIの集計」という資料について説明いたします。この資料はKPIの集計ということで、今説明を申し上げた5つの基本目標のKPIを含めまして、アクションプランに記載されたすべてのKPIを抜き出し、KPIの計画年度中の推移が分かるようにしたものとなっております。これについては、特に説明は申し上げませんが、事業の経過を把握するための参考資料ということでご承知おきいただければと思います。

最後になりますが、アクションプランについてです。この資料につきましても、事前に送付してご覧をいただきまして、質問もいただいておりますので、説明は割愛させていただきます。総合戦略の検証結果に関すること及び推進についての資料説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

はい、以上で説明よろしいですね。引き続いて、質問ご意見ですけど、先ほど話された通り、事前に質問推進案への回答が提出されています。これは皆さん、事前にご覧いただいているんですね。

(事務局)

そうです。また、本日紙でもお配りをさせていただきました。

(委員長)

はい、それでは、回答に対する質問ご意見を順序どおりやつていきたいと思います。まず、基本目標1に関して、この回答に対して質問やご意見ございますか。よろしいでしょうか。質問者の方も確認いただければと思います。ないようですので、基本目標2に関してはいか

がでしょう。よろしいでしょうか。それでは、基本目標 3 です。よろしいですか。それでは、基本目標 4。よろしいでしょうか。それでは、基本目標 5 です。よろしいでしょうか。こちらの事前にいただいた質問は以上になりますが、他に質問ご意見等ござりますか。よろしいでしょうか。大丈夫ですか。はい、どうぞ。

(企画政策課長)

今日の会議にご参加いただきました皆様に、色々とご準備いただきましてありがとうございました。目標とアクション、たくさんありますが、これらは 5 年前に作成し、KPI を設定したものです。その後にコロナ禍がありまして、社会情勢が大きく変化しております。そういう中で、最初に立てた目標、それから KPI について実施することが本当に良いのかどうかというところも、非常に、我々にとってもとても悩ましいところがあります。今回、この検証を行っていただいて、来年またアクションを立てますが、皆様にもいろいろとご意見をいただくなかで、スクラップアンドビルトをしながら新しい計画を立てていく予定ですので、ぜひまたご協力のほどよろしくお願ひします。

(委員長)

はい、よろしくお願ひいたします。どうでしょう。他にご質問、ご意見ござりますか。はい、どうぞ。

(委員)

今ご説明いただいた点なのですけれども、今回、事前に意見できませんでしたけれども、一通り見させていただく中で、確かに「この KPI、そのまま続ける必要はないのかな」とか、「新たに持っていく方がいいのかな」とか、そういうことを感じながら拝見させていただいたのですけれども、今の説明だとこれからもう 1 回、こういう部分について意見を申し上げる機会があるということでしょうか。そういう流れを教えていただければと思います。

(事務局)

はい、ご質問ありがとうございます。今回行っていただいているのは、あくまでも前年度事業に対する検証ということで、来年度、具体的に令和 9 年度から始まる新たな第 3 期の総合戦略の策定に向けた話し合いをしていただくことになります。その中で、これまでの検証も含めた上で、必要な役割を終えたような施策については当然なくし、さらにプラスアップするべき施策があれば、そちらに力を注ぐ。そういうことを行う新たな方向性を、皆さんで協議をしていただく中で、また町当局とも話し合いをする中で考えて一緒に行つていただきたいと思っております。具体的に事業に落とし込むのは来年度、そういう機会がありますので、また引き続きよろしくお願ひいたします。以上です。

(委員)

もう少しだけ、今期からなので理解をするために質問ですけれども。一通り全てのアクションプランを見させていただいて、途中から入っているものがあるかなと思ったので、こういう各年の見直しの中で、新たな項目を加えていくようなことが今まで行われていたのかなど想像しながら拝見をしたのですけれども、そのあたりのところの、今期のこのアクションプラン、総合戦略の中での見直しを部分的にしながら進められてきたのか、今のご説明だと「次期のものを作るときに」というお話だったと思うので、そのあたりの建て付けというか進め方のところ、私も途中からの参加でよく分かっていないので、少しご説明いただければありがたいです。すみません、お願ひします。

(事務局)

ご質問をいただいたように、確かにアクションプランを改定して途中で追加した事業もございます。この後の議題にも関連してくるのですけれども、この総合戦略に載っている事業については、国の交付金の対象になります。交付金を活用したい事業が新たに発生のために、アクションプランを改定して事業を追加したという過去もありますし、それ以外にも、アクションプランの年度途中で事業を廃止したような経過もございます。先ほど課長が申し上げたように、コロナ禍でだいぶ情勢が変わってきて、このまでいいのかというアクションプランも、中には散見はされるところですけれども、今回につきましては、ちょうど戦略の改定のタイミングも重なるということから、現状のものはそのまま残しつつ、新たな戦略を策定する際には、これらも踏まえたアクションプランに整理をし直したい、そういう考えを持っておりますので、今回特に廃止したものはございません。追加も、新たに交付金を活用する事業は今のところ出ておりませんので、追加というのではない状態です。ただ、必要があれば当然改定はいたします。以上です。

(委員)

よく分かりました。ありがとうございます。

(委員長)

よろしいでしょうか。ほかにご質問、ご意見ございますか。

(遠藤副町長)

デジタル田園都市国家構想をもって、本来 5 年のものを 7 年に延ばした。その関係でもアクションプランが変わってくる。その辺も説明してください。最初は総合戦略へ行って、國の方針が総合戦略からデジタル田園都市国家構想へ、それに基づいてうちの戦略もデジ田に変えていった。上乗せしているので、デジタル田園都市国家構想総合戦略に合わせたアクションプランも入っているのでその部分が、当初からないものが加わっているということ

ともありますので、その辺を説明してやらないとダメだと思います。

(財政課長)

すみません、昨年度まで担当課長をしておりましたので、手元に細かい資料がないため詳しいお話はできませんが、概要的な部分だけお話しさせていただきます。

今推進しておりますのが、デジタル田園都市国家構想総合戦略でございます。聞いていただきますと、「デジタルを活用した中で、人口減少対策、東京圏への一極集中を是正していく」という考え方方が、国が示した構想の中で加わりました。そこで、この総合戦略の見直しを行いまして、14 ページ、第 4 章基本目標 1 からこの施策が載っていますが、12 ページの右上の方を見ていただきますと、デジタルを活用した取組、これには緑色のデジタルのマーク。デジタル媒体による PR の取組ということです。ここで、デジタルにフォーカスした取組、それまでもやってきたわけですけれども、改めてここでデジタルを活用した取組で成果を上げるということを明確化しました。この時に、すみません、今、財政課についておりまして、財政課の勉強を一生懸命しており、去年までのこと、かなり頭からはみ出てしまいまして、詳しい説明ができなくて申し訳ないですが、そのような中で、この人口減少対策は「まち・ひと・しごと創生法」の法律が大元になって進めておりまして、國の方から方針が示されます。その方針をベースとして、町もこの計画を立てまして、尚且つ、身延町にとってこの施策をやることによって成果が上がるというようなものを加味したなかでこの計画が出来上がっています。そのようななかで、今回もおそらく、見直しについては國から方針が示されて、まずそれがベースになって計画の見直しが行われていくということになると思います。ここに載せているものは國の交付金ですから、なるべく、活用できるかということを考えながらやりますので、やはりそういったものは網羅していく、尚且つ、町単独でも効果のある事業はやっていく。町だけで単独で内容を精査しなければならないものもあつたり、國の方針に基づいて内容を調整しなければならないものと両方でやっていくことでご理解をいただけると思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。先ほどの担当課長の説明に関しても、ご意見、ご質問よろしいですか。總理大臣が変わればまた変わらるような気がします、余談ですけれど。よろしいでしょうか。それでは、議事の（1）は以上となります。

引き続きまして、議事の（2）です。「デジタル田園都市国家構想交付金事業の検証結果に関すること及び推進」、この件に関しまして事務局から説明をよろしくお願ひいたします。

(事務局)

はい、よろしくお願ひします。続きましての議題につきましては、「身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の実施状況」と書

かれました A3 ヨコ版の資料をご覧ください。まず、デジタル田園都市国家構想の概要としまして、この交付金につきましては、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた取組の加速化・深化を図るため、国から交付される交付金です。先ほども申し上げたように、この交付金を受けるためには、総合戦略にこの事業が記載されている必要がありまして、そのために、この交付金を受けるために改定も行ったところであります。この交付金制度につきましては、全国の自治体が未来への投資として行う自主的かつ主体的なハード事業を、地域再生法に基づく交付金事業として支援するものであり、地方創生拠点整備タイプは、観光や農林水産業の振興等、地方創生に資する拠点施設の整備が対象となります。対象施設は、利活用の目標として KPI を設定し、利活用状況の検証と「計画・実行・評価・改善」の 4 つの視点から、継続的な改善を推進する手法である PDCA サイクルによる管理を行い、自立の実現を図るものであります。

今回、この交付金を活用したのは、西嶋和紙の里についてです。西嶋和紙の里は、地方創生拠点整備交付金事業、道の駅西嶋和紙の里整備事業により、集客力を高め、にぎわいを創出する地域拠点施設「道の駅西嶋和紙の里かみすきパーク」としてリニューアルいたしました、令和 7 年 4 月、今年の 4 月にオープンをしたところであります。それではその下、実施状況をご覧ください。具体的な内容が書かれております。事業名につきましては、先ほど申し上げたように、道の駅西嶋和紙の里整備事業になります。本町の総合戦略の中で、基本目標 1 「地域に根ざした雇用の創出」、基本的方向 1-4 地場産業の活性化と PR の強化と推進。施策内容、和紙の里の活用推進アクション 2 につきましては、3 つほど右側の欄にあります事業の概要・目的にあるように、西嶋和紙の里を地域の活性化拠点として道の駅へリニューアルし、新たな民間活力の導入を目指す。また、地域活性化の拠点となるよう、デジタル技術を活用して民間と協働して取り組む。こういった目標を持ちまして、事業を実施いたしました。

この交付金の対象となった部分の事業費につきましては、3 億 899 万 9 千円。これに対して、交付金の補助率が 2 分の 1 以内となっておりまして、実際に交付された額が 1 億 5,257 万 6 千円となっております。この事業の効果を測定するために、国の要綱に基づきまして、こちらにあるように 4 つの指標を設定いたしました。指標 1 としまして「地域の人口世帯数」、指標 2 としまして「観光入込客数」、指標 3 といたしまして「道の駅年間来場者数」、指標 4 といたしまして「道の駅年間売上高」、それぞれ基準値は前年度の実績を基に設定をいたしまして、それに対する目標値を設定し、5 年間にわたって取組を進めていくことになります。令和 6 年度の欄をご覧いただきたいのですけれども、令和 6 年度、それぞれの目標値が設定されていますが、実績は、数字は入っておりません。先ほど申し上げたように、道の駅がリニューアルオープンしたのは今年度、令和 7 年度になってからということですので、当然、令和 6 年度の実績は入らないわけなのですけれども、ではなぜ令和 6 年度目標値を設定してあるのかというところですが、これは、国の予算の関係で、令和 6 年度の補正予算を活用した交付金となっております。そのために、オープンは令和 7 年度ですが、ここ

が役所仕事かなというところですけれども、その予算の年度である令和 6 年度も目標値を設定しなければならないということで、このような状況となっております。一番右端に事業の評価という欄がありまして、本来であれば、ここに地方創生に効果があったか否かを 4 段階で評価をするところでありますけれども、今年度につきましては評価のしようがないということで、評価につきましては入れておりませんのでご承知おきください。また、PDCA の状況につきましても、実際に運営が始まっておりませんので、まだ PDCA サイクルを回すこともできません。そのため、今回は PDCA の状況につきまして、実際にどんなことをやったかを記載をさせていただきました。読み上げさせていただきますと、西嶋和紙の里につきましては、施設整備から約 25 年が経過した施設となっていました。施設の老朽化やコンテナの陳腐化等により、集客力が低下している状況であります。そのため、この交付金を活用して「道の駅西嶋和紙の里」としてリニューアルを行い、集客力を高め、にぎわいを創出する地域拠点施設として、交流人口の増加に寄与するために、下にあるような整備を実施いたしました。こちら、黒い四角であったり、白い四角であったり、白丸であったり、頭についている記号が異なっているかと思います。今回は参考ということで、行ったすべての事業をこちらに書かせていただいたのですけれども、黒の四角で書かれている上から 5 つの項目につきましては、この交付金を活用した事業となります。その下の 2 つ、白い四角が頭についている駐車場やトイレの整備、そういったものは、また別の交付金、社会資本整備総合交付金という国交省の交付金になりますけれども、その交付金を活用して整備を行いました。下の 2 つ、白丸の 2 つ、Wi-Fi の整備や多言語案内サインの整備につきましては、まちの単独事業として行ったところです。このように一つの事業を実施するにあたっても、複数の交付金が入ったり、まちの単独部分があつたりと分かれているということをご承知おきいただければと思います。来年度以降は具体的に実績を見ながら委員さんに評価、効果の検証等を行っていただくことになりますが、今年度につきましては、令和 6 年度がそのような状況であったということで、このような資料となっておりますことをご承知おきいただければと思います。議事の（2）につきまして、説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

（委員長）

ただいまの説明について、何か質問、ご意見ござりますか。よろしいでしょうか。どうぞ。

（委員）

詳細なご説明ありがとうございました。ただし、KPI を設定する以上、その基準値をどこに置くかというのが非常に大切になってくると思うのですが、プランの KPI は令和 6 年度で、新しいものがでてからの KPI の設定になっているわけですね。ところが、これはリニューアルされた施設ですので、それまでの状況がどうだったのかというのが一番大切な指標になってくるのではないかと思います。つまり、旧来の施設がこうであった、こういう数

値であったがために、リニューアルしたことによって数値改善が、運営が始まってからこのように変化していくという説明にならなければ、ちょっと弱いのではないかなど。リニューアル以降だけの説明であると、何のための改修だったのかという基本的な趣旨が薄れてしまっているように思いますけれども、いかがでしょうか。

(事務局)

ご質問ありがとうございます。ただいまの質問についてですけれども、ちょうど表の真ん中あたり、「基準値」と「目標値」という欄がありますが、先ほど説明を申し上げたように、基準値が旧来の施設の令和5年度までの実績を基に基準値というものがございます。それに対し、今回交付金を活用して5年後の目標値を設定しております、その目標値に向かって5年間、毎年取組を進めていくというようになっておりますので、あくまでも基準となるのは、これまでの旧来の施設がどうであったか、それに対して目標として新たにリニューアルをして、こういった目標に向かって事業を行っていく。そのような設定になっておりますので、これまでの実績をまるきり無視というわけではないということをご承知おきいただければと思います。以上です。

(委員長)

よろしいでしょうか。

(委員)

4つの基準を設けられたのは非常に良いことだと思いますけれども、実は一番知りたいのはランニングコストであるとか、そういうところがどうやって改善されていったかというところが、これだと見えてこない。要するに、事業内容と事業として成立しているところだけがここに書かれているのであって、事業を成立させるためのプラットフォーム部分が見えていないということになるのではないかと思います。いかがでしょうか。

(事務局)

ランニングコストとか、そういう部分に関しては担当課から説明をいただいた方がよろしいですかね。あくまでも交付金の指標の設定につきましては、国の要綱がありまして、要綱に基づいた上で設定をさせていただいているところであります。この交付金のKPIに当たっては、ランニングコストに関しては設定が不要といいますか、そこは求められていない部分であります、当然、委員さんのおっしゃる内容は理解ができます。リニューアルして、これまで以上にコストをかけて集客が増えても、それでは意味がないという部分もあるうかと思いますが、あくまでも交付金の効果検証につきましては、この指標に基づいて行っていただくと、それ以外に、今おっしゃったようなランニングコストについての資料につきましても、委員さんから求めがあれば当然お出しすることはできます。

また、来年度以降の検証につきましては、そういうった資料も併せてお配りをしながら検証をしていただきたいと考えております。担当課もそんなところでよろしいでしょうか。来年度以降、今のご意見を活かさせていただきますのでご理解をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

はい、よろしいでしょうか。僕も和紙の里は結構ランニングコストがかかったという話を聞いていますので、そのところは十分興味がある話でございます。是非ともそういうご意見も踏ませて検証させていただけたらと思います。どうでしょう。他にございますか。

(副委員長)

先ほど説明にあった別の交付金、国交省の交付金、それから単独での設置というところも、例えば参考に金額などは教えていただけるのでしょうか。

(事務局)

今、手元に資料がないので、また改めて用意をして委員の皆さんにLINEで周知をさせていただきたいと思います。その社会資本整備総合交付金というのが、国交省の交付金という話を申し上げましたけれど、基本的に、道の駅の駐車場は道路という扱いになり、その部分は社会資本整備総合交付金、トイレにつきましても道の駅には必須なものなので、社会資本整備総合交付金があたっております。具体的な事業費や交付金がいくら入ったか、そのあたりにつきましては、また改めて資料を示させていただきますのでよろしくお願いします。

(副委員長)

お願ひいたします。

(委員長)

議事の(2)に関してはいかがでしょう。それでは、議事の(3)、その他の項目に移りたいと思います。何かございますか。

(事務局)

事務局から一点あります。A3ヨコ版参考資料の「人口の推移」という資料を事前にお配りしているかと思うのですが、こちらをご覧いただければと思います。

この資料につきましては、昨年度の総合戦略推進委員会で、「まちの人口ビジョン」の改訂版をお示しいたしました。令和6年度の改訂版をお示ししたところ、人口ビジョンに載っている年度が5年刻みということで、分かりづらいという意見がありまして、実績を落とし込んだ表となります。一番上の表を見ていただきますと、表の一番下、⑤番目としまして、

まちの人口ビジョンで目指している人数がここに掲載されております。それに対しまして、実績ということで、一番上が住民基本台帳上の人団、その下の常住人口が、5年ごとに行われます国勢調査の人口を基準としまして、その国勢調査の人口からその後の住民基本台帳に基づく移動数を加減して推計した人口となっております。常住人口というのが、住民票の有無にかかわらず、町内の居住の実態が反映された実際の数字に近い人口ということでご理解をいただければと思います。参考に、令和6年度を見ていただきますと、「まちの人口ビジョン」では1万928人を目指していたところでありますけれども、住民基本台帳上の令和6年度の人口は9,755人、さらにその下の常住人口、実態をより表していると思われる人口を見ますと、9,240人ということで、町の人口ビジョンからは乖離が生じてしまっている状況であります。国勢調査につきましては、ご承知のとおりちょうど今調査期間中となっておりまして、令和7年度の数値が固まれば、それを基に国立社会保障・人口問題研究所から新たな推計が出るかと思います。次に、2つ社人研の推計という欄がありますけれども、上の④-1、黄色い方の社人研の推計は平成27年度の国勢調査を基に推計された数字、その下の④-2、青いところの社人研の推計はその5年後の令和2年度の国勢調査を受けて推計がされ直した数字となっております。比べていただくと分かるように、本町の人口が加速度的に減少しているということで、平成27年の推計に比べて令和2年の推計の方が数字が低くなっていることが見て取れると思います。ただ、その推計どおりに減らないよう、町でも色々な戦略に基づいた事業を進めている中で、人口ビジョンはもうちょっと向上きにしたいなということで設定をさせていただいている数字が、一番下の町の人口ビジョンの数字となります。この人口ビジョンにつきましても、今年度、これまでの実績を踏まえて町の人口ビジョンを新たに策定する予定となっております。また、そういった数字、今後の人口の推計等を見ていただきながら様々な施策を議論いただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。人口の推移の表につきましては参考ということでご覧をいただければと思います。以上です。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

その他の項目としては、今の人口推移、この件に関しては何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。あと委員の皆様から何かご意見ご質問ございますか。その他の方でございますが、よろしいでしょうか。それではないようですので、以上で総合戦略推進委員会に関する議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

(企画政策課長)

それでは委員の皆様の方から何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは閉会とさせていただきます。閉会の言葉を副会長にお願いいたします。

(副会長)

皆さん本日は長時間にわたり大変お疲れ様でした。我々委員はこうして、直接町に声を届けるチャンスをいただいているので、本気で5年後10年後の未来をより良く変えていけるように町と歩みを合わせて取組んでいきたいと思っております。本日ご出席いただいた町の担当課長の皆様には、こうした意見や推進案を真摯に受けとめていただき、これからの中組に生かしていただけたらと思っております。以上をもちまして令和7年度身延町総合戦略推進委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

以上。

総合戦略検証に関する質問・推進への案に対する対応一覧表

No.	基本目標 1			内容			回答		備考
	基本的 方向	施策 内容	アクシ ョンプラン						
1	1-1	(1)	①	質問 深山光信委員	創業支援等事業補助金を受けた事業者の現在の事業状況を教えてほしい（令和2年度～6年度の20件分） 例) ①事業を続けている … ○件 ②事業をやめた（理由は？） … ○件 ③事業を休止している（理由は？） … ○件	観光課	令和6年度末現在、事業休止事業者が1件、そのほかの事業者は事業継続しております。休止理由についてはプライベートに関する事であり、お答えできません。		【アクションプラン 1ページ】
2	1-1	(1)	①～④	質問 加藤新委員	起業相談件数は毎年ありますが、 ②補助金制度による新規事業所数 ③補助金交付者数 ④フォローアップセミナー受講者数 は“0”です。 どういった理由があるのか、何か要件を満たさない事項があつて“0”なのかを教えていただきたいです。	観光課	より効果的な補助金を検討している段階のため、②③④については今のところ未実施です。		【アクションプラン 1・3・5・7ページ】
3	1-1	(1)	②	質問 深山光信委員	ちなみに補助金はどのくらいか知りたい。 相談はあったのか？	観光課	補助金要綱策定前のため補助金の額は決まっていません。町民雇用に対する補助金の相談については現在までありません。 より効果的な補助金を検討しており、要綱の策定に至っておりません。		【アクションプラン 3ページ】
				提案・意見 深山光信委員	今まで1人も町民を雇用していない。 必要性について検討はさらに必要。	観光課	町民雇用については、年度末の事業実績報告により確認をします。実績報告書提出時にヒアリング等を実施します。		【アクションプラン 3ページ】
4	1-1	(1)	③	提案・意見 深山光信委員	必要性について検討はさらに必要。	観光課	町内における起業相談件数が多い、商工会と連絡調整を行うなかで今後の必要性について検討します。		【アクションプラン 5ページ】
				質問 深山光信委員	実施内容がよくわからないので教えてほしい。 町が認定する特定創業支援等事業の実施団体等とは？ 相談はあったのか？	観光課	町が認定する特定創業支援等事業の実施団体等とは、商工会、山梨中央銀行、公益財団法人やまなし産業支援機構を指します。商工会とは情報交換を行っておりますが、ほかの団体からの相談はありません。		【アクションプラン 5ページ】
5	1-1	(1)	④	提案・意見 深山光信委員	必要性について検討はさらに必要。	観光課	商工会と相談しながら必要性について検討します。		【アクションプラン 7ページ】

No.	基本目標 1			内容			回答			備考
	基本的 方向	施策 内容	アクション プラン							
5	1-1	(1)	④	質問 深山光信委員	相談はあったのか?			観光課	伴奏支援に関する相談は今までありません。	【アクションプラン 7ページ】
6	1-1	(1)	⑤	提案・意見 深山光信委員	令和3年度テレワーク設備整備事業の道の駆しもべ内にテレワーク設備を整備について利用者数は見込み大幅に少ないかと思います。いつまで続ける必要がありますか。整備した場所を新たな利用方法を検討した方が良い。 ・必要性について検討はさらに必要			企画政策課	テレワーク設備を整備したコロナ禍と現在ではニーズが大きく異なってきていることから、引き続きコロナ後の社会情勢やニーズ等の把握に努め、施設を所管する産業課とも検討を行います。	【アクションプラン 9ページ】
					・相談はあったのか?			産業課	本事業については、コロナ禍におけるニーズに対応する形で整備された内容です。このため、これらの趣旨を十分踏まえた中での利用が求められることとなります。しかしながら、ご指摘のとおり利用率が上がらないこともゆるぎない事実であることから、同スペースの弾力的な運用方法を模索していきます。	
				質問 深山光信委員	・相談はあったのか?			企画政策課	サテライトオフィス誘致に関する相談はありませんでした。	
7	1-2	(1)	①	提案・意見 深山光信委員	第2のあけぼの農園があらわされることを望む森の学び舎はもうやっていない 後継者育成・新規就農者（あけぼの大豆）と鳥獣被害対策、天候不順対策は急務だと思う。			産業課	あけぼの大豆のブランド化の維持、担い手の確保及び育成並びに鳥獣害対策に関して、産業課としては3本の大きな柱であると認識しております。これらを十分に認識する中で施策を展開している状況です。	【アクションプラン 11ページ】
8	1-2	(2)	①	提案・意見 深山光信委員	あけぼの大豆の生産者もっと増やさないとならないと思う。			産業課	同上	【アクションプラン 15ページ】
9	1-3	(1)	①	質問 古屋徳至委員	身延山入込客数の対象者や数値のカウント方法を教示して欲しい。			観光課	身延山の入込客数については身延山久遠寺に聞き取りをしておりますが、対象者やカウント方法は非公開としております。	【アクションプラン 17ページ】
10	1-3	(2)	①	提案・意見 深山光信委員	しもべの湯との連携は未だできていないように思う。 相乗効果を生む連携イベントをするべき。ただどちらも入浴税がかかる。入浴税分を別の形で還元するなどを考えた方が良い。			観光課	しもべの湯を所管する生涯学習課とも連携する中で、イベントの開催を検討していきます。	【アクションプラン 19ページ】

No.	基本目標 1		内容				回答	備考
	基本的 方向	施策 内容	アクション プラン					
11	1-3	(2)	②	提案 ・意見	深山光信委員	新・湯治への取り組みの具現化をそろそろ今までの検討された内容を知りたい	観光課	本町においては下部温泉郷を含めた周遊観光が重要と考えております。身延町観光協議会において周遊に向けた情報共有を行っており、「新・湯治」の推進に向けて検討する素地が整っております。下部観光協会においてスタンプラリーを実施するなど下部温泉郷においても主体的な取り組みをしていただいております。(R6.6一般質問参考)
12	1-3	(4)	①	質問	加藤新委員	ホームページの各種観光関連ページの訪問数が減っています。 各観光施設への入込客数は増加しているにもかかわらず、観光関連ページへの訪問数が減っている原因は何だと考えられますか。 観光関連ページの訪問数を上げること（魅力あるページ）はお考えですか。	観光課	令和3年度から身延町観光情報WEBサイト「みのラブ」での観光情報発信を強化しています。町HPの観光関連ページにおいて「みのラブ」開設後の訪問数は減少しているかもしれません、町HPと「みのラブ」の訪問数を合わせるとページ訪問数は減少しておりません。多くの方に身延町を知る機会を増やすため引き続き魅力ある発信を行っていきます。
13	1-3	(5)	①	提案 ・意見	深山光信委員	みのぶ自然の里への総支出に見合った事業を行っていない KPI実績も下がっている。修繕費ばかりかかって、本当に維持していく必要な施設なのか検討を。	観光課	経営等について指定管理者とは都度協議しています。施設の必要性については重要課題として検討していきます。
				質問	小林あゆみ委員	R7年度までに2,500万程の修繕費をかけて、客数の見込みは本当にあるのでしょうか？	観光課	来客対応に必要な修繕を実施してきました。客数増加に向け指定管理者とは都度協議しています。※H30～R6までの修繕費用全体の約7割が修繕費用災害による非常用発電機修繕、風呂給湯用ボイラー修繕(R5実施)
14	1-3	(7)	①	質問	深山光信委員	指定管理者がフリーWi-Fiの費用負担をしていますが道の駅かみすきパークもそうなのか? ※旧下部中学校2基、ありがとうございます！	観光課	そのとおりです。
				質問	加藤新委員	Wi-Fiスポットアクセス数が、R6年度に桁違いに増えていますが、どのような理由からですか。	観光課	調査元のNNSに確認しましたが、今のところ原因不明であり調査継続中です。
15	1-3	(8)	①	提案 ・意見	深山光信委員	維持管理に関して土砂崩れを防ぐ木材が腐食しはじめて、土砂が流れ出そう。	観光課	修繕について今後検討します。

No.	基本目標 1			内容			回答		備考
	基本的 方向	施策 内容	アクション プラン						
16	1-3	(9)	①	提案 ・意見 深山光信委員	ゆるキャン△を利用した峡南5町の周遊による観光推進を。		観光課	峡南5町それぞれの考え方があると思いますが、担当者が集まる機会に意見交換をしていきます。	【アクションプラン 37ページ】
17	1-4	(1)	①	質問 古屋徳至委員	あけぼの大豆の販路拡大について、高付加価値を求める消費者へPRすべくインフルエンサーほか発信力がある個人企業との連携を企図してはどうか。		産業課	いただいたご意見はごもっともであり、産業課としてもそのような可能性は認識しています。しかしながら、インフルエンサーによる宣伝があった場合に、人気となった場合でも十分な生産量が確保できない状況があることから、それらの取組みは難しいと判断しています。	【アクションプラン 39ページ】
18	1-4	(2)	②	提案 ・意見 深山光信委員	新たな民間活力を期待して賛成をしたが、スタート時点では期待外れ。 今度に期待。		生涯学習課	オープン後まだ半年を経過したところであり、指定管理業者も様々な意見を取り入れながら施設の改善、集客イベントの開催など随時行っています。KPIも年度末の実績で評価するため引き続き運営状況を注視していく必要があります。令和7年度から所管が観光課に移管されています。	【アクションプラン 43ページ】
							観光課(オープンしてからまだ5か月ほどですが、集客増に向けた対策を指定管理者と検討します。	
			質問 小林あゆみ委員	道の駅のトイレ、夏場でもお湯の必要ありますか？			観光課)	温水にするスイッチは切っておりますが、猛暑により配管内の水温が高くなつたと考えられます。	

No.	基本目標2		内容			回答			備考
	基本的 方向	施策 内容							
19	2-1	(1)	①	質問	畠野 顯 委員	地元の高校・大学の学生数減少が顕著な現状を踏まえて、町から連携への支援だけではなく、地元の高校・大学運営への提言はできるのでしょうか?	企画政策課	身延高校については、学校教育課長が学校運営協議会並びに身延・南部地域連携型中高一貫教育推進委員会の委員を、身延山大学については、企画政策課長が外部評価委員を務めています。提言とまでは行きませんが、これらの会議の際に学校運営に関して意見を述べる機会はあります。	【アクションプラン 49ページ】
				提案・意見	深山 光信 委員	令和6年度に実施した峡南地域に伝わる民話の調査を行ったとのこと。余談ですが大蛇堂という方が地域に伝わる民話に出てくる妖怪を絵にしている。コラボして峡南5町の連携事業として峡南地域の周遊企画（スタンプラリーなど）をしたらどうか。 【基本目標1 基本的方向1-3施策内容(9)アクション①参照】	企画政策課	身延高校の高大連携事業担当教員に情報提供いたしました。峡南地域の周遊企画については、観光課とも検討を行います。	
				観光課		民話による観光活性化提案については、身延山観光協会へ取り組みの参考として情報共有しました。			
20	2-2	(1)	①	提案・意見	若林 裕子 委員	高校生との意見交換会は、若い人達の町への希望を聞ける良い機会だと思います。 実施内容に「高校卒業後も若者に町への愛着を持ち続けてもらうため～」とありますが、様々な職場や職種が町内にあると思うので、職場見学又はボランティア体験などを通して、将来町で働いてみたいというきっかけになるような機会があると、地元への愛着につながるのではないかと思います。（それには、企業側の受け入れ体制が必要なのかもしれません、町・企業の連携で人財の育成につなげて頂けたらと思います。）	企画政策課	身延高校においてはキャリア教育の一環として、インターンシップが行われており、希望すれば町内の職場を体験する機会は確保されています。	【アクションプラン 51ページ】
				観光課		R6年度に身延中学校生徒会を身延町観光大使として委嘱させていただきました。高校生ではありませんが、身延町の観光資源に関心を持つてもらうことで、地域への愛着を育むきっかけになればと思っています。			
				質問	深山 光信 委員	どんなことが話されたのか知りたい	企画政策課	「将来に希望の持てるまちづくり」をテーマに、町長からの問い合わせに高校生が答える懇談会方式で実施しました。 ・今後も身延町に住み続けたいと思ってもらうにはどのような取り組みをしたらよいか? ・子どもの夢を叶えるプロジェクトの新たなアイデアは? ・町の観光情報発信への感想、意見、面白そうな企画のアイデアはあるか? といった問い合わせに対し、様々な意見が出されました。 いただいた意見は府内各課にフィードバックし、業務の参考としています。	
21	2-3	(1)	①	質問	深山 光信 委員	五条ヶ丘活性化推進協議会も対象でしょうか?	生涯学習課	主に「みのべーしょん288」から派生したグループの自主活動を支援していますが、五条ヶ丘活性化推進協議会の活動も対象になると思われます。 支援の内容は、公民館や体育施設（体育館・グラウンド）の使用料免除、備品の無償貸与、まちづくりに関するイベントを開催する際の消耗品やチラシ印刷費等の支援（予算の範囲内）です。一度ご相談ください。	【アクションプラン 53ページ】

No.	基本目標2			内容			回答			備考
	基本的 方向	施策 内容	アクション プラン							
22	2-3	(2)	②	質問 深山光信委員	継続任用実施について知りたい		観光課	R7年度4月から1名が地域おこし協力隊として活動しています。3年間の任用予定です。		【アクションプラン 57ページ】
23	2-3	(2)	③	提案・意見 深山光信委員	地域おこし協力隊の活用はもっと広く（緩く）利用してほしい		産業課	産業課としては、地域おこし協力隊を委託型と捉えて展開しており、任期満了後に定住につながるような幅広い活動を行うようアドバイスしている状況です。		【アクションプラン 59ページ】
24	2-3	(3)	①	提案・意見 深山光信委員	「みのラブ」は良い		観光課	ありがとうございます。引き続き町観光資源等の魅力を発信していきます。		【アクションプラン 61ページ】

No.	基本目標3			内容		回答	備考
	基本的 方向	施策 内容	アクシ オニプラン				
25	3-1	(1)	①	提案 ・ 意見 深山光信委員	空き家バンクの登録の条件を複数あるといい	企画政策課 空き家・土地バンクは空き家等の有効活用をとおし、定住促進による地域活性化等を目的に実施しています。登録物件を増やすため、毎年度固定資産税納税通知にチラシを同封し、物件所有者にアプローチしています。空き家を探している人が求めている優良な物件を確保するため、雨漏りや床抜け等がなく、通常の生活を送ることができる状態であること、水洗トイレであることなど、登録の条件を設けています。また、本町の空き家バンクに登録できない物件については、民間の不動産業者や山梨県が実施している「古民家バンク」を案内しています。 今後も優良な物件を確保するため、空き家バンクの周知と登録物件の確保に努力していきます。	【アクションプラン 65ページ】
26	3-1	(5)	①	提案 ・ 意見 小林あゆみ委員	定住祝金制度の拡充の中に、「空き家バンク賃貸契約から居住住宅を購入」も対象の一つにいかがでしょうか。 また、移住したくてもすぐに住める空き家がないと聞きます。子育て世代を対象とした町営住宅のリノベーションは実施されているので、空き家バンクの方では住むために必要な修繕費の一部補助などを検討してみるのはいかがでしょうか。	企画政策課 現在、空き家バンクを通して空き家を購入した場合に住宅購入祝金20万円を、賃貸契約をした場合に引越祝金10万円を支給しています。 ご提案の「空き家バンク賃貸契約から居住住宅を購入」の場合は、現在は賃貸契約の際の10万円の祝金以外は支給していません。 また、これらのお祝金は使途を限定していないため、修繕費に限らず広範囲に使用していただけます。 今後制度の改正をする際には、様々なケースを想定しながら検討をしていきます。	【アクションプラン 73ページ】

No.	基本目標4			内容	回答	備考	
	基本的 方向	施策 内容	アクシ オングラン				
27	4-2	(2)	④～⑥	提案 ・意見 田中奈巳委員	身延町は他町よりも早い段階で色々な子育て支援に力を入れています。私も実際に助けられた身です。とても感謝しています。当時は他町の親が手厚い支援を羨ましがっていました。現在この支援が当たり前のようにになっていますが、支援を受ける親はもちろんですが、子も手厚い支援であることを理解して欲しいと個人的には感じます。子供たちには何度も繰り返し伝えて行くべきだと思います。身延町に戻って来る子が少ないことが残念です。身延町の魅力としてさらにアピールをして欲しいと思います。	学校教育課 本町の子育て支援の手厚さについては、児童生徒に対して学校等において伝えられていると感じています。例えば、毎年秋に行われている「町長と語る会」の際にも、子どもたちから町からの支援に対する感謝の言葉が聞かれます。また学校行事の際にあいさつの中にも町の施策として支援をしていることについて触れています。様々な機会を通して児童生徒にも伝わっていると思われますが、今後も伝えていくことを続けていきます。	【アクションプラン 105・107・109ページ】
					子育て支援課 令和6年度において企画政策課と連携し、「子育てガイドブックNOBINOB！」を作成してもらい、機会に触れて冊子を配布、保育園児～小中学校児童生徒のいる世帯にも配布させていただきました。さらに令和7年度において改訂を行ながら増刷を進めております。今後、子ども向けに分かりやすい周知方法を検討しつつ、引き続きＨＰや広報等を活用した周知に努めてまいります。		
28	4-2	(2)	⑥	提案 ・意見 畠野顯委員	これだけの補助をしている内容をもっと全国的に広く周知してはどうでしょうか？	学校教育課 インターネットで「NOBINOB!子育て」が掲載されているので誰でも確認できるようにしてあります。また移住者の相談窓口「やまなし暮らし支援センター」（東京都千代田区）に移住者向けのリーフレットがおいてありますが、リーフレットにも子育て支援について記載しており、さらに詳しく知りたい方のためにQRコードが示されています。QRコードから「NOBINOB!」を確認することができます。さらに、実際に移住希望の方と面談で話をする際には「子育て支援の手厚さ」については詳しく説明をしています。	【アクションプラン 109ページ】
					子育て支援課 令和6年度において企画政策課と連携し、「子育てガイドブックNOBINOB！」を作成してもらい、機会に触れて冊子を配布、保育園児～小中学校児童生徒のいる世帯にも配布させていただきました。さらに令和7年度において改訂を行ながら増刷を進めております。今後、子ども向けに分かりやすい周知方法を検討しつつ、引き続きＨＰや広報等を活用した周知に努めてまいります。		
29	4-2	(3)	①	提案 ・意見 田中奈巳委員	身延町は他町よりも早い段階で色々な子育て支援に力を入れています。私も実際に助けられた身です。とても感謝しています。当時は他町の親が手厚い支援を羨ましがっていました。現在この支援が当たり前のようにになっていますが、支援を受ける親はもちろんですが、子も手厚い支援であることを理解して欲しいと個人的には感じます。子供たちには何度も繰り返し伝えて行くべきだと思います。身延町に戻って来る子が少ないことが残念です。身延町の魅力としてさらにアピールをして欲しいと思います。	子育て支援課 No28と同じ	【アクションプラン 115ページ】
					学校教育課 No28と同じ		

No.	基本目標 4			内容			回答			備考
	基本的 方向	施策 内容	アクション プラン							
30	4-2	(5)	①	提案 ・ 意見	畠 野 顯 委員	基本方針が子育て世代が安心して暮らせる支援の充実があるので、身延町総合型スポーツ活動と並行して、スポーツ少年団運営や指導者への手厚い補助を行うなど、親の負担が極力減るような施策を加えてはいかがでしょうか？	生涯 学 習 課	スポーツ協会を通じて、スポーツ少年団および中学生のクラブチームへ年間50,000円を活動費として補助しています。また、令和4年度からは、スポーツ少年団より増額要望がありました、指導者資格更新料として10,000円を補助しています。 生涯学習課では、練習場所（减免措置）の確保、県外大会等出場旅費を補助をしています。 今後も、ニーズに沿った支援を続けていきたいと考えています。	【アクションプラン 123ページ】	
				提案 ・ 意見	深 山 光 信 委員	地域移行やスポーツクラブにはスポーツ指導者の確保と指導者へ報酬（補助金など）も必要。	生涯 学 習 課	生涯学習課では、令和5年度にスポーツ協会各専門部へ指導者についてのアンケート調査を行いましたが、該当者がほとんどいませんでした。今後、部活動の地域移行（展開）を進めていくためには、指導者の確保は最重要課題となりますので、更新料等の補助含め検討していく必要があると考えています。 また、令和7年度より発足しました、中学生のサッカークラブチームをサポートするための指導者として、地域おこし協力隊員の予算計上を行いました。	【アクションプラン 123ページ】	
31	4-3	(1)	②	提案 ・ 意見	深 山 光 信 委員	学習資料は毎回楽しみです。いつか本、もしくは冊子ができますね。写真なども見やすくなるといい。	生涯 学 習 課	「郷土愛を育む教育の充実」を達成するため、本町の歴史文化・自然・人物について学ぶ資料として、年2種類以上を目標に作成しています。資料は主に中小学生や若い世代が手軽に閲覧できるよう、町ホームページでPDF版を公開しています。本あるいは冊子にて刊行する予定はございませんが、スマホやタブレットをお持ちでない方にも見てもらう機会を設けるため、今年度は木喰の里微笑館で印刷したものを展示しました。学習資料の作成は今後も隨時追加・修正しがら継続してまいりたいと考えています。（見づらい写真などありましたら、事務局までご連絡いただけすると有難いです）	【アクションプラン 123ページ】	

No.	基本目標5		内容				回答	備考
	基本的 方向	施策 内容	アクシ オニ プラン					
32	5-1	(1)	①	提案 ・意見	深山光信委員	借り受けた企業に対して町は施設整備（エアコンなど）を。みのぶ自然の里の修繕費とは違うけど、借り受けた企業に長くいてもらうためにも町としても投資が必要では。出て行くときにエアコンなどは外してはいかないので。	財政課	空き校舎等の利活用は、原則として施設を借り受ける企業が事業の経営に必要な改修や設備整備を行うこととしております。 町としては、建物の安全性や基本的な維持管理に係る修繕について対応しています。このことから行政目的を持たないものの資産として有効活用の可能性を維持するため、エアコン等の事業運営上必要となる設備については企業負担が基本となります。 また、退去にあたっては原状回復を原則としており、設置された設備等については、契約内容に基づき取り扱うこととなります。 町としては、こうしたルールの下、長期的に安定して事業を行っていただけるよう企業との協議のうえ、適切に対応しております。
33	5-2	(1)	①	提案 ・意見	深山光信委員	病院への交通網は要検討願います	交通防災課	現在、進められている病院再編の動向を注視するなかで、持続可能な公共交通サービスが提供できるよう調査研究をしていきたいと考えます。
34	5-4	(2)	②	提案 ・意見	田中奈巳委員	AEDの設置場所がホームページに掲載されていますが、公共施設のみとなっています。他の設置箇所について調べたい場合はどこに問い合わせすればよいのか一緒に掲載があると良いと思いました。また、公共施設なので仕方がないのですが、使用できる時間に限りがあります。観光地もありますので、町と消防署で連携し設置場所が公表できる体制になると良いと思いました。	生涯学習課	生涯学習課では、公民館や体育施設など、生涯学習課関連施設に設置したAEDの維持・管理をしています。 当課を含む公共施設のAED設置場所は、福祉保健課が統括しています。
35	5-5	(1)	①	質問	深山光信委員	町民の事業であるが入館者数は町民の入館者数なのか。 町民の入館者数のKPIにかえる必要がある	生涯学習課	入館者数は、全体の入館者数になります。 スポーツ健康増進施設は「町民の健康増進」と「交流人口の拡大」を目的としているので、入館者全体の目標値としています。
36	5-6	(1)	①	質問	田中奈巳委員	工事を実施することで木材の流通がどれほどあったのか知りたいです。	建設課	木材の流通量は、材積量に關係することから、令和2年度から令和6年度の沿線における主伐による材積累計は4,000m³です。
				質問	深山光信委員	アクションに記載の町産材、県産材の木材の流通効率は向上しているのか。	産業課	身延中学校建設工事においては、全体で1872m³の国産材が使われ、内1479m³の県産材が、そして県産材の中で679m³の町産材が使われたことが町の資料として残っています。
				質問	深山光信委員		産業課	同上

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証(状況)

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出 身延町の特色を活かした観光、農業、地場産業の振興によって、新たな雇用を生み出していくます。また、新規事業所やサテライトオフィスの誘致。起業者への支援を推進します。							
			起業支援及び新規事業所の誘致							
基本的方向		2	農業振興による新たな地場産業と雇用の創出							
		3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大							
		4	地場産業の活性化とPRの強化を推進							
		5	地場産業の情報発信							
			新規雇用者数 就職奨励金の支給者数	出典元 出典元	総合戦略関連雇用者数企画政策課調査 身延町定住促進に関する条例支給者実績	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	43人 40人以上増加			
KPI (重要業績評価指標)						基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	12人 15人以上(毎年度)			
年度	説明									
令和2年度 (2020)	新規雇用者数	令和2年度は、(株)キーテック2人、旧下部小学校への工場誘致によりヘルスサポートサンリ(株)4人、あけぼの大豆拠点施設3人、計9人の新規雇用がありました。 第1期総合戦略の取り組みから工場誘致は雇用の創出に大きな効果があると考えます。 今後も総合戦略の取り組みを進めていくことで目標を達成したいと考えます。					9人 17人			
	就職奨励金の支給者数	定住促進としての就職奨励金について、令和2年度は17人へ支給がされました。 町内への就職13人、町外への就職4人でしたが、基準値を上回る支給がされました。 若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取り組みを進めていくことで高い成果をあげたいと考えます。								
令和3年度 (2021)	新規雇用者数	令和3年度は、(株)キーテック1人、ヘルスサポートサンリ(株)1人、みのぶ自然の里3人、あけぼの大豆拠点施設1人、計6人の新規雇用がありました。 第1期総合戦略の取り組みから進めている観光、地場産業の振興、企業誘致は雇用の創出に大きな効果があります。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで目標を達成したいと考えます。					6人 累計 15人 11人			
	就職奨励金の支給者数	定住促進としての就職奨励金について、令和3年度は11人へ支給がされました。 町内への就職6人、町外への就職5人で、目標値を下回りましたが、支給の対象になると考えられる人口に対する支給割合は10%前後で推移しています。 若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで高い成果をあげたいと考えます。								
令和4年度 (2022)	新規雇用者数	令和4年度は、あけぼの大豆拠点施設3人の新規雇用がありました。 第1期総合戦略の取り組みから進めている観光、地場産業の振興、企業誘致は雇用の創出に大きな効果があります。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用の創出を生み出していくたいと考えます。					3人 累計 18人 15人			
	就職奨励金の支給者数	定住促進としての就職奨励金について、令和4年度は15人へ支給され目標値の支給数となりました。町内への就職12人、町外への就職3人で、町内への就職が80%を占めていることは町内での雇用が拡大していると考えられます。また、支給の対象になると考えられる人口に対する支給割合は12%となっています。 若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用の創出を生み出していくたいと考えます。								
令和5年度 (2023)	新規雇用者数	令和5年度は、岐阜プラスチック工業(株)2人、みのぶ自然の里3人、あけぼの大豆拠点施設2人、スポーツ健康増進施設しもべの湯24人、計31人の新規雇用がありました。しもべの湯の新規オープンにより多くの新規雇用が生まれ、特に女性の雇用の場となりました。 第1期総合戦略の取り組みから進めている観光、地場産業の振興、企業誘致は雇用の創出に大きな効果があります。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用の創出を生み出していくたいと考えます。					31人 累計 49人 14人			
	就職奨励金の支給者数	定住促進としての就職奨励金について、令和5年度は14人へ支給されました。町内への就職11人、町外への就職3人で、町内への就職が79%を占めていることは町内での雇用が確保されていると考えられます。目標値を下回りましたが、支給の対象になると考えられる人口に対する支給割合は10%前後で推移しています。 若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用の創出を生み出していくたいと考えます。								
令和6年度 (2024)	新規雇用者数	令和6年度は、(株)キーテック1人、あけぼの大豆拠点施設1人、スポーツ健康増進施設しもべの湯6人、計8人の新規雇用がありました。 第1期総合戦略の取り組みから進めている観光、地場産業の振興、企業誘致は雇用の創出に大きな効果があります。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用を創出していきたいと考えます。					8人 累計 57人 18人			
	就職奨励金の支給者数	定住促進としての就職奨励金について、令和6年度は18人に支給しました。町内への就職9人、町外への就職9人で、町内就職者の割合は50%と昨年度に比べると減ってはいますが、人数としては引き続き町内での雇用が確保されていると考えられます。また、支給の対象になると考えられる人口に対する支給割合は、例年より高い14%となっています。 若者が町内へ定住しながら就職することは重要であり、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、雇用を創出していきたいと考えます。								

年度	説明			
令和7年度 (2025)	新規雇用者 数		KPI実績	
	就職奨励金 の支給者数			
令和8年度 (2026)	新規雇用者 数		KPI実績	
	就職奨励金 の支給者数			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証(状況)

基本目標		2	町を元気にできる人財の育成 町の若者が希望をもち、まちづくりに参画する機会をつくるなど、町の将来を担う人財育成に取組みます。また、町外から地域づくりに協力いただける人財を確保します。				
			1 地元高校と大学との連携事業への支援 2 高校生との意見交換会の開催 3 人財育成カリキュラムの実施と人財の確保				
基本的方向			新規組織数		出典元 総合戦略関連新規組織数企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018)	
					出典元	目標値 令和8年度(2026)	
					1団体		
					累計3団体以上		
			年度 説明				
令和2年度 (2020)	<p>第1期総合戦略の取り組みとして、平成30年度に下部地区で地域活性化に取り組む組織として、「五条ヶ丘活性化推進協議会」が発足しました。 町を元気にできる団体として、町と連携を図りながら「ゆるキャン△」を活用した町おこし、観光の魅力アップによる誘客の取り組みが進められています。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規組織の設立はありませんでしたが、有志グループごとに新たな地域活性化策を検討しており、法人化も含め今後の活動の形も模索しています。 また、地域おこし協力隊の任期満了者が、地元有志と「寺café」を主催するなど、地域づくりや地域の活性化に寄与しています。 今後も総合戦略の取り組みを進めていくことで目標を達成したいと考えます。</p>				KPI実績	0団体 累計 1団体	
令和3年度 (2021)	<p>第1期総合戦略の取り組みとして、平成30年度に下部地区で地域活性化に取り組む組織として、「五条ヶ丘活性化推進協議会」が発足しました。 町を元気にできる団体として、町と連携を図りながら「ゆるキャン△」を活用した町おこし、観光の魅力アップによる誘客の取り組みが進められています。 令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規組織の設立はありませんでしたが、有志グループごとに新たな地域活性化策を検討しており、法人化も含め今後の活動の形を模索しています。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで目標を達成したいと考えます。</p>				KPI実績	0団体 累計 1団体	
令和4年度 (2022)	<p>第1期からつながる総合戦略の取り組みとして、令和4年度に「みのぶキズナプロジェクト」と「西嶋地域活性化委員会」が発足しました。 「みのぶキズナプロジェクト」は、特産品や観光資源を活用して地域活性化に取り組む組織として、地場産業の西嶋和紙やあけぼの大豆やゆばなどの特産品の普及・高付加価値化・販路拡大、観光資源等との連携を図りながら地域活性化、観光振興、より暮らしやすい地域づくりへ取り組んでいます。 「西嶋地域活性化委員会」は、住民同士の交流を深め、地域にぎわいを創出することにより地域づくりを推進し、お年寄りの生きがいづくりに寄与するための拠点づくりへ取り組んでいます。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、町を元気にできる人財の育成による新規の組織化につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績	2団体 累計 3団体	
令和5年度 (2023)	<p>第1期からつながる総合戦略の取り組みとして、令和5年度に「みんなの広場の会」が発足しました。「みんなの広場の会」は、過疎化により人ととのつながり、人と地域とのつながりが少なくなってきた中で、地域の拠り所、地域の集いの場をつくり、人と人とのつながる地域づくり、より暮らし、明るく活力のある地域づくりを目的として、地域支え合い拠点「みんなの広場の会」を設立し取り組んでいます。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、町を元気にできる人財の育成による新規の組織化につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績	1団体 累計 4団体	
令和6年度 (2024)	<p>第1期からつながる総合戦略の取り組みとして、令和6年度に「みのぶニューターリズム協議会」が発足しました。「みのぶニューターリズム協議会」は、地域住民や事業者等の相互の親睦を深め、産業観光資源等との連携を図り地域活性化、産業観光振興、より暮らしやすい地域づくりを目的とし、活動を行っています。 今後も総合戦略の取り組みを加速していくことで、町を元気にできる人財の育成による新規の組織化につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績	1団体 累計 5団体	

年度	説明		
令和7年度 (2025)		KPI実績	
令和8年度 (2026)		KPI実績	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証(状況)

基本目標		3	人の流れをつくり、移住・定住の促進 空き家の活用、宅地分譲や町営住宅の整備などを進め、移住・定住を促進します。また、空き校舎等を活用した福祉サービス施設を検討します。				
基本的方向		1	空校舎などを活用して、人が集まる福祉的な拠点整備の検討				
		2	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進				
		3	町営住宅の整備による移住・定住の促進				
KPI (重要業績評価指標)		社会増減		出典元 山梨県常住人口調査 出典元	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026) -204人 ±0人(毎年度)		
年度	説明						
令和2年度 (2020)	<p>令和2年度は、第1期総合戦略の期間(平成27～令和元年度)の平均-183.4人と比較し、52人の改善となりました。 調査結果から社会増減のマイナス要因として、県内では結婚離婚と住宅事情、県外では就職、転職が大きくなっています。 空き家の活用や宅地分譲についても毎年着実に売れており、取り組みは進んでいると考えます。 社会増減のマイナス要因として、就職、結婚離婚、住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取り組みを進めていくことでマイナス要因を払拭し、目標を達成したいと考えます。</p>				KPI実績 -131人		
令和3年度 (2021)	<p>令和3年度は、第1期総合戦略の期間(平成27～令和元年度)の平均-183.4人と比較し、69人の改善、令和2年度と比較し、17人の改善となりました。 調査結果から社会増減のマイナス要因として、県内では結婚離婚と住宅事情、県外では就職、転勤が大きくなっています。 空き家の活用や宅地分譲についても毎年着実に売れており、取り組みは進んでいると考えます。 社会増減のマイナス要因として、就職、結婚離婚、住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことでマイナス要因を払拭し、目標を達成したいと考えます。</p>				KPI実績 -114人		
令和4年度 (2022)	<p>令和4年度は、第1期総合戦略の期間(平成27～令和元年度)の平均-183.4人と比較し、110人(△60.0%)の改善、令和3年度と比較し、41人(△36.0%)の改善となりました。 また、身延町と県外間の社会増減については、転入142人、転出108人と34人のプラスとなりました。今後の動向について注視をしていきます。 調査結果から社会増減のマイナス要因として、県内では住宅事情と結婚離婚、県外では就職、転勤が大きくなっています。 空き家の活用や宅地分譲についても毎年着実に売れており、取り組みは進んでいると考えます。 社会増減のマイナス要因として、就職、結婚離婚、住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことでマイナス要因を払拭し、社会増減の改善につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績 -73人		
令和5年度 (2023)	<p>令和5年度は、第1期総合戦略の期間(平成27～令和元年度)の平均-183.4人と比較し、114人(△62.4%)の改善、令和4年度と比較し、4人(△5.5%)の改善となりました。 また、身延町と県外間の社会増減については、転入139人、転出113人と26人のプラスとなりました。令和4年度に続きプラスとなりましたが今後の動向について注視をしていきます。 調査結果から社会増減のマイナス要因として、県内では転勤と住宅事情、県外では就職、転職が大きくなっています。 空き家の活用や宅地分譲についても毎年着実に売れており、取り組みは進んでいると考えます。 社会増減のマイナス要因として、転勤、住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことでマイナス要因を払拭し、社会増減の改善につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績 -69人		
令和6年度 (2024)	<p>令和6年度は、第1期総合戦略の期間(平成27～令和元年度)の平均-183.4人と比較し、87人(△47.7%)の改善となりましたが、令和5年度と比較すると27人(39.1%)の増加となりました。 また、身延町と県外間の社会増減については、転入162人、転出142人と20人のプラスとなりました。令和5年度に続きプラスとなりましたが今後の動向について注視をしていきます。 調査結果から社会増減のマイナス要因として、県内では婚姻関係と住宅事情、県外では転職、転勤が大きくなっています。 令和6年度は、分譲地の売り扱いはありませんでしたが、空き家の活用は毎年着実に進んでおり、取り組みの成果が出ていると考えます。 社会増減のマイナス要因として、転勤、住宅事情が大きいため、今後も総合戦略の取り組みを加速していくことでマイナス要因を払拭し、社会増減の改善につなげていきたいと考えます。</p>				KPI実績 -96人		

年度	説明		
令和7年度 (2025)		KPI実績	
令和8年度 (2026)		KPI実績	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証(状況)

基本目標		4	結婚・出産・子育て環境の充実				
			若い世代が夢や希望を持ち、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを進めます。				
基本的方向		1	結婚・出産への支援の充実				
		2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				
		3	教育環境の質的向上				
		4	災害発生時の児童生徒の安全確保				
KPI (重要業績評価指標)		合計特殊出生率		出典元 厚生労働省人口動態統計	基準値 平成30年度(2018)	1.33 (平成25～29年)	
		出生率			目標値 令和8年度(2026)	1.85 (令和5～9年)	
				出典元 山梨県常住人口調査	基準値 平成30年度(2018)	2.45%	
					目標値 令和8年度(2026)	6.12%	
年度	説明						
令和2年度 (2020)	合計特殊出生率	KPI(市町村別)は、令和5年度(予定)に公表されます。 参考:全国 令和元年 1.36、令和2年 1.33 山梨県 令和元年 1.44、令和2年 1.48				KPI実績 —	
	出生率	令和2年の出生率(人口1,000人対)は身延町2.74%(参考:全国6.8%、山梨県6.47%)となり、令和元年2.37%から微増がありました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に出生数の減少が危惧されています。 町では今後も出産の中心年齢である30～34歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されますが、総合戦略の取り組みにおける、結婚・出産・子育て環境の充実した取り組みのPR等を実施し、目標の達成に向けていきたいと考えます。					
令和3年度 (2021)	合計特殊出生率	KPI(市町村別)は、令和5年度(予定)に公表されます。 参考:全国 令和3年 1.30(△0.03) 山梨県 令和3年 1.43(△0.05)				KPI実績 —	
	出生率	令和3年の出生率(人口1,000人対)は身延町2.44%(参考:全国6.6%(△0.2)、山梨県6.31%(△0.16))となり、令和2年2.74%から△0.3ポイントの減되었습니다。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国、山梨県ともに減少となり出生数の減少が危惧されています。 町では今後も出産の中心年齢である30～34歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されますが、総合戦略の取り組みにおける、結婚・出産・子育て環境の充実した取り組みのPR等を実施し、目標の達成に向けていきたいと考えます。					
令和4年度 (2022)	合計特殊出生率	KPI(市町村別)は、令和5年度(予定)に公表されます。 参考:全国 令和4年 1.26(△0.04) 山梨県 令和4年 1.40(△0.03)				KPI実績 —	
	出生率	令和4年の出生率(人口1,000人対)は身延町2.24%(参考:全国6.3%(△0.3)、山梨県6.17%(△0.14))となり、令和3年2.44%から△0.2ポイントの減되었습니다。 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国、山梨県ともに減少となり出生数の減少が危惧されています。 町では今後も出産の中心年齢である30～34歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されますが、総合戦略の取り組みにおける、結婚・出産・子育て環境の充実した取り組みのPR等を実施し、出生率の増加につなげていきたいと考えます。					
令和5年度 (2023)	合計特殊出生率	平成30年(2018)～令和4年(2022)は、身延町1.23となり、平成25年(2013)～平成29年(2017)から0.1ポイントの減となりました。 参考:全国 1.20(△0.06) 山梨県 1.32(△0.08)				KPI実績 1.23	
	出生率	令和5年の出生率(人口1,000人対)は身延町1.91%(参考:全国6.0%(△0.3)、山梨県5.85%(△0.32))となり、令和4年2.24%から△0.33ポイントの減となりました。 様々な要因により、全国、山梨県ともに減少となり、全国的な出生数の減少は変わらず進んでいます。 町では今後も出産の中心年齢である30～34歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されますが、総合戦略の取り組みにおける、結婚・出産・子育て環境の充実した取り組みのPR等を実施し、出生率の増加につなげていきたいと考えます。					
令和6年度 (2024)	合計特殊出生率	KPI(市町村別)は、令和10年度(予定)に公表されます。 参考:全国 令和6年 1.15(△0.05) 山梨県 令和6年 1.26(△0.06)				KPI実績 —	
	出生率	令和6年の出生率(人口1,000人対)は身延町1.98%(参考:全国5.7%(△0.3)、山梨県5.53%(△0.32))となり、令和5年1.91%から0.07ポイントの微増となりました。 様々な要因により、全国、山梨県ともに減少となり、全国的な出生数の減少は変わらず進んでいます。 町では今後も出産の中心年齢である30～34歳前後の減少、高齢化率の上昇などが懸念されますが、総合戦略の取り組みにおける、結婚・出産・子育て環境の充実した取り組みのPR等を実施し、出生率の増加につなげていきたいと考えます。					

年度	説明		
令和7年度 (2025)	合計特殊出生率		KPI実績
	出生率		
令和8年度 (2026)	合計特殊出生率		KPI実績
	出生率		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 基本目標の検証(状況)

基本目標		5	特色ある持続可能な地域社会の形成						
			生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。						
基本的方向		1	地域の拠点づくりの推進						
		2	公共交通機関の充実						
		3	町の情報提供の充実						
		4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進						
		5	いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進						
		6	道路交通網の整備						
KPI (重要業績評価指標)		住み続けたいと思う町民の割合		出典元 身延町まちづくりアンケート調査	基準値 令和元年度(2019)	56.2%			
		地域活動への参加の割合				目標値 令和8年度(2026)	60%以上		
年度		説明							
令和2年度 (2020)	住み続けたいと思う町民の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 KPIは、令和6年度に身延町まちづくりアンケート調査を実施します。					KPI実績		
	地域活動への参加の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 KPIは、令和6年度に身延町まちづくりアンケート調査を実施します。							
令和3年度 (2021)	住み続けたいと思う町民の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、特色ある持続可能な地域社会の実現及び活力ある住みよい町づくりを推進しています。 KPIは、令和6年度に身延町まちづくりアンケート調査を実施します。					KPI実績		
	地域活動への参加の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、地域コミュニティ活動の活性化及び新たな地域活動の支援を図っています。 KPIは、令和6年度に身延町まちづくりアンケート調査を実施します。							
令和4年度 (2022)	住み続けたいと思う町民の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、特色ある持続可能な地域社会の実現及び活力ある住みよい町づくりを推進しています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。					KPI実績		
	地域活動への参加の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、地域コミュニティ活動の活性化及び新たな地域活動の支援を図っています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。							
令和5年度 (2023)	住み続けたいと思う町民の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、特色ある持続可能な地域社会の実現及び活力ある住みよい町づくりを推進しています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。					KPI実績		
	地域活動への参加の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、地域コミュニティ活動の活性化及び新たな地域活動の支援を図っています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。							
令和6年度 (2024)	住み続けたいと思う町民の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、特色ある持続可能な地域社会の実現及び活力ある住みよい町づくりを推進しています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。					KPI実績		
	地域活動への参加の割合	特色ある持続可能な地域社会の形成に向けて、基本的方向に沿ったアクションプランを実施し、生活・交流・防災拠点を確保し、公共交通や情報ネットワークを充実し、子どもから高齢者まで健康で安全・安心なまちづくりを推進します。 また、身延町活力ある住みよい町づくり事業補助金交付事業を実施し、地域コミュニティ活動の活性化及び新たな地域活動の支援を図っています。 KPIは、令和7年度に身延町まちづくりアンケート調査の実施を予定しています。							

年度	説明			
令和7年度 (2025)	住み続けたいと思う町民の割合		KPI実績	
	地域活動への参加の割合			
令和8年度 (2026)	住み続けたいと思う町民の割合		KPI実績	
	地域活動への参加の割合			

デジタル田園都市国家構想総合戦略 KPI集計

【基本目標】

基本目標	KPI(重要業績評価指標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	実績値	目標値	年度	出展元
1. 地域に根ざした雇用の創出	新規雇用者数 20人以上増加	43人	平成30年度	9人	6人	3人	31人	8人				40人以上增加	令和8年度	企画政策課調査
	就職奨励金の支給者数 15人以上(毎年度)	12人	平成30年度	17人	11人	15人	14人	18人				15人以上	毎年度	支給者実績
2. 町を元気にできる人材の育成	新規組織数 累計3団体以上	1団体	平成30年度	0団体 累計1団体	0団体 累計1団体	2団体 累計3団体	1団体 累計4団体	1団体 累計5団体				累計3団体以上	令和8年度	企画政策課調査
	社会増減 ±0人(毎年度)	-204人	平成30年度	-131人	-114人	-73人	-69人	-96人				±0人	毎年度	山梨県常住人口調査
4. 結婚・出産・子育て環境の充実	合計特殊出生率 1.60	1.33	平成25～29年	—	—	—	1.23	—	—	—		1.85	令和5～令和9年	人口動態統計
	出生率 5.27‰	2.45‰	平成30年度	2.74‰	2.44‰	2.24‰	1.91‰	1.98‰				6.12‰	令和8年度	山梨県常住人口調査
5. 特色ある持続可能な地域社会の形成	住み続けたいと思う町民の割合 60%以上	56.2%	令和元年度	—	—	—	—	—				60%以上	令和7年度	町民アンケート
	地域活動への参加の割合 50%以上	40.6%	令和元年度	—	—	—	—	—				50%以上	令和7年度	町民アンケート

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
1. 地域に根ざした雇用の創出	24	25														
1-1 起業支援及び新規事業所の誘致	5	6														
(1)起業支援及び新規事業所の誘致	5	6														
①起業者及び新規事業所の施設整備に係る費用に対し、補助金を交付します。	観光課	創業支援等事業計画による起業相談件数	8件	令和元年度	8件	10件	11件	15件	5件				12件	毎年度	観光課調査	
②起業者及び新規事業所の町民の雇用者数に応じて、限度額の範囲内で補助金を交付します。	観光課	新たな補助金制度による新規事業所数	未実施	令和元年度	0件	4件	6件	3件	4件				3件	毎年度	観光課調査	
③起業者への支援事業の連絡会を開催し、新たな制度を創設します。	観光課	新たな補助金交付要綱による補助金交付者数	未実施	令和元年度	0人	0人	0人	0人	0人				2人	毎年度	観光課調査	
④起業者及び新規事業所への伴走型支援を総合的に行うための施策を展開します。	観光課	特定創業支援等事業フォローアップセミナー受講者数	2人	令和元年度	0人	0人	0人	0人	0人				4人	毎年度	観光課調査	
⑤雇用を創出する産業立地事業に対して助成金を交付します。また、テレワーク等も活用したサテライトオフィス誘致を推進します。	企画政策課	産業集積促進助成企業及びサテライトオフィス誘致件数	累計1件	令和元年度	1件 累計2件	0件 累計2件	0件 累計2件	0件 累計2件	0件 累計2件				累計3件	令和8年度	企画政策課調査	
1-2 農業振興による新たな地域産業と雇用の創出	3	3														
(1)6次産業化による地域産業の活性化と創出	2	2														
①あけぼの大豆のブランド化と6次産業化を推進し販路拡大と安定生産を図ります。	産業課	自立した6次産業組織数	0団体	令和元年度	1団体 計2団体	1団体 計2団体	0団体 計2団体	0団体 計2団体					3団体	令和8年度	産業課調査	
②遊休農地の解消と作付面積の拡大を図ります。また、効果的な農業DXを検討していきます。	産業課	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積	28ha	平成30年度	31ha	30ha	33ha	36ha	36.6ha				33ha	令和8年度	産業課調査	
(2)新規就農者支援制度の活用	1	1														
①国の制度を活用して新規就農の創出を図ります。	産業課	新規就農者数	開始	令和2年度	1人 累計4人	3人 累計4人	6人 累計10人	0人 累計10人	0人 累計10人				累計15人	令和8年度	身延町農業委員会の活動計画の点検・評	
1-3 観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大	11	11														
(1)身延山の魅力アップ	1	1														
①身延山観光協会と連携し、身延山地域の魅力アップと効果的なPRを行い誘客を図ります。また、観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用したPRにより、新たな観光客層の取り込みを推進します。	観光課	身延山入込客数	1,195,000人	平成30年度	381,500人	299,000人	527,000人	604,700人	11月公表				1,300,000人	令和8年度	観光課調査	
(2)下部温泉の魅力アップ	2	2														
①下部温泉郷の魅力アップと効果的なPRを行い、誘客を図ります。また、観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用したPRにより、新たな観光客層の取り込みを推進します。	観光課	入湯税課税人数	87,805人	平成30年度	42,033人	45,110人	61,210人	132,088人	151,774人				105,000人	令和8年度	税務課調査	
②下部温泉郷活性化に向けた取り組みとして「新・湯治」の推進を行います。	観光課	入湯税課税人数	87,805人	平成30年度	42,033人	45,110人	61,210人	132,088人	151,774人				105,000人	令和8年度	税務課調査	

【具体的な施策】

アクション		担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元		
(3)町内観光施設・事業所などの魅力アップ	①町内観光施設・事業所の魅力が伝わるプロモーション活動を実施し、誘客を図ります。プロモーション活動ではスマートフォン位置情報による人流データやデジタル媒体を活用し、広く効果的なPRを行います。また、電気自動車で訪れる観光客に対応するためEVスタンドの維持及び整備検討を行	観光課	身延町各観光施設への入込客数	496,611人	平成30年度	351,726人	335,193人	385,759人	503,788人	11月公表				595,000人	令和8年度	観光課調査		
(4)観光客等に対する情報提供の充実		企画政策課 観光課	ホームページの各種観光関連ページの訪問数	153,413回	平成30年度	223,764回	159,287回	196,864回	150,145回	114,645回				300,000回	令和8年度	企画政策課調査		
(5)ニューツーリズムなど新たな観光の推進		観光課	みのぶ自然の里への入込客数	3,043人	平成30年度	2,234人	2,668人	3,603人	2,710人	1,527人				4,000人	令和8年度	観光課調査		
(6)インバウンド観光の推進		観光課	外国人観光客宿泊者数	6,447人	平成30年度	554人	84人	231人	2,782人	11月公表				6,447人	令和8年度	山梨県入込客数統計調査		
①外国人向け多言語(英語・中国語・韓国語等)パンフレット等を作成するとともに、受け入れ体制を整備します。また、デジタル媒体を活用したインバウンド観光客向けの情報発信を推進します。		観光課	外国人観光客宿泊者数	6,447人	平成30年度	554人	84人	231人	2,782人	11月公表				6,447人	令和8年度	山梨県入込客数統計調査		
②観光案内所を開設し、インバウンド観光客対応のため、外国語に長けた人材を配置します。また、インバウンド観光客受け入れのための事業者向けの研修会を実施します。		観光課	外国人観光客宿泊者数	6,447人	平成30年度													
(7)町の公共施設にWi-Fi環境の整備		観光課	Wi-Fiスポットアクセス数	41,499回	平成30年度	63,728回	59,973回	68,563回	49,566回	329,756回				70,000回	令和8年度	日本ネットワークサービス株式会社調査		
(8)しだれ桜の里づくり事業を活用したクラフトパークとの連携		観光課	しだれ桜の里づくり事業苗木配布要綱による配布本数	90本	令和元年度	101本	69本	40本	37本	60本				100本	毎年度	観光課調査		
(9)近隣町との連携		観光課	身延町各観光施設への入込客数	496,611人	平成30年度	351,726人	353,193人	385,759人	503,788人	11月公表				595,000人	令和8年度	観光課調査		
1-4 地場産業の活性化とPRの強化を推進																		
(1)ホームページの観光サイトを活用		産業課	あけぼの大豆の生産量	20.0t	令和元年度	28.4t	38.5t	37.6t	29.6t	33.1t				38.0t	令和8年度	産業課調査		
(2)西嶋和紙、和紙の里の活用推進		生涯学習課	創作教室及び体験教室参加者数	開始	令和2年度	45名	39名 累計84名	39名 累計123名	70名 累計193名	0名 累計193名				累計200名	令和8年度	生涯学習課調査		
①県内外の学校等をはじめ、広く一般に向けて、西嶋和紙や体験施設等の利用を働きかけます。		生涯学習課	令和7年度までに道の駅へリニューアルし、新たな民間活力の導入を目指します。また、地域活性化の拠点となるよう、デジタル技術を活用し民間と協働して取り組みます。	16,000人	令和4年度									70,000人	令和8年度	生涯学習課調査		
(3)共通割引券の導入		観光課	各施設での割引券利用者数	未実施	令和元年度	0人	0人	1,931人	611人	204人				500人	年度	観光課調査		
1-5 地域産業の情報発信																		
(1)地域産業求人活動の支援と情報発信		企画政策課	有料広告掲載の取扱いに関する要綱を活用した求人情報発信件数の累	開始	令和2年度	12件	9件 累計21件	12件 累計33件	11件 累計44件	9件 累計53件				累計100件	令和8年度	企画政策課調査		

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元
2. 町を元気にできる人材の育成	8	8													
2-1 地元高校と大学との連携事業への支援	1	1													
(1)「まちづくり」関連施策の共同研究	1	1													
①施策等の提言を町に行える、地域を担う人材を育成するため、地元高校と大学が連携して行う研究事業を支援します。また、将来のまちづくりを担う若者の意見を聴くため、調査研究会へ参加します。	企画政策課	地元高校と大学の連携事業により研究したまちづくり研究の報告提案件数	開始	令和2年度	1件	1件 累計2件	4件 累計6件	2件 累計8件	1件 累計9件				累計10件	令和8年度	企画政策課調査
2-2 高校生との意見交換会の開催	1	1													
(1)地元在住の高校生と意見交換会の開催	1	1													
①「町長と語る高校生の集い」を開催し、意見交換を行うことで、将来を担う人材の育成の契機とします。	企画政策課	「町長と語る高校生の集い」参加人数	開始	令和2年度	19人	10人 累計29人	0人 累計29人	6人 累計35人	7人 累計42人				累計75人	令和8年度	企画政策課調査
2-3 人材育成カリキュラムの実施と人材の確保	6	6													
(1)まちづくり・地域づくり活動の支援	1	1													
①まちづくりに関する企画等を実行するグループに対し、アドバイザーの派遣や講習の開催等の必要な支援を行い、グループの活動を促進します。また、公民館や備品の無償貸与等の活動支援をします。	生涯学習課	グループの活動支援回数	未実施	令和元年度	0回	0回	0回	0回	1回 累計1回				累計5回	令和8年度	生涯学習課調査
(2)地域おこし協力隊の活用	3	3													
①地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、起業支援等を行うことで、任期終了後の定住に繋げます。	企画政策課	地域おこし協力隊の任期終了後の定住率	100%	令和元年度	100%	50%	80%	83%	85.70%				50%	令和8年度	企画政策課調査
②地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、町を元気にする各種団体等や地域と連携できるように必要に応じて支援していきます。	観光課	地域おこし協力隊採用人数	3人	令和元年度	3人	2人	2人	0人	0人				4人	毎年度	観光課調査
③地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、町を元気にする各種団体等や地域と連携できるように必要に応じて支援していきます。	産業課	地域おこし協力隊採用人数	3人	令和元年度	3人	3人	3人	2人	1人				4人	毎年度	産業課調査
(3)町民総ガイド事業の実施	1	1													
①町民総ガイド事業として、子どもから大人まで、町民が、町を大好きになるガイドブックを活用します。ガイドブックはデジタル版を整備し、周知することで多くの町民がガイドブックに触れる機会を増やします。	観光課	学校・企業等でのガイドブック活用人数	0人	令和元年度	0人	0人	0人	0人	0人				累計500人	令和8年度	観光課調査
(4)就職支援セミナーの開催	1	1													
①高校生・大学生に向けた就職支援セミナーを開催します。	観光課	就職支援セミナー等参加人数	0人	令和元年度	0人	0人	0人	0人	0人				累計250人	令和8年度	観光課調査

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
3. 人の流れをつくり、移住・定住の促進	10	10														
3-1 空き家などを活用して、人が集える福祉的な拠点整備の検討																
(1)身延町版CCRCの実施の検討																
①身延山大学や町内の医療介護機関などの有識者と連携し、身延町版CCRC実施の検討をします。	福祉保健課	身延町版CCRC実施の方向性決定後に目標を設定する。	今後決定	一	検討	検討	検討	検討終了					今後決定	令和6年度	今後決定	
3-1 空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進	7	7														
(1)空き家・土地バンク登録物件の充実	1	1														
①空き家・土地バンク登録物件の充実を図り、移住希望者へ情報発信を行います。また、登録物件と利用登録者のマッチングを行い、情報提供することで契約の増加に繋げます。	企画政策課	空き家バンクシステムによる成約数	11件	平成30年度	15件	20件 累計35件	7件 累計42件	11件 累計53件	9件 累計62件				累計70件	令和8年度	企画政策課調査	
(2)移住希望者、移住者への対応強化	1	1														
①移住希望者、移住者への対応を充実させるため、専門職員(移住コーディネーター)を配置します。また、移住支援業務の委託(NPO法人等)及び休日の問い合わせに対応する専用デジタル窓口の設置を検討し、専門職員と連携した移住支援を推進します。	企画政策課	休日も対応可能な移住支援体制の確立	未実施	一	検討	検討	検討	検討	検討				確立	令和8年度	企画政策課調査	
(3)町の魅力を体験するツアーの開催	1	1														
①先輩移住者との交流や観光施設等を利用した体験型のツアーを企画し、町の魅力を知ってもらうことで関係人口を創出します。	企画政策課	ツアー参加後の再訪件数	累計2組	平成30年度	0組	0組 累計0組	0組 累計0組	3組 累計3組	1組 累計4組				累計10組	令和8年度	企画政策課調査	
(4)宅地分譲の促進	1	1														
①分譲地の販売のためメディア等を活用し、PRを図り販売促進に繋げます。また、町有地の宅地分譲を進め、定住促進を図ります。	企画政策課	分譲地販売数	累計17区画	令和元年度	1区画 累計18区画	2区画 累計20区画	1区画 累計21区画	2区画 累計23区画	0区画 累計23区画				累計27区画	令和8年度	企画政策課調査	
(5)移住者・定住者への支援制度等の継続	2	2														
①移住者への祝金制度(新築住宅祝金、住宅購入祝金)を継続します。また、定住者への祝金制度を拡充し、移住・定住の促進に繋げます。	企画政策課	身延町移住・定住祝金支給要綱による支給実績数	8件	平成30年度	11件	10件 累計21件	9件 累計30件	9件 累計39件	4件 累計43件				累計60件	令和8年度	企画政策課調査	
②定住促進祝金制度(就職奨励金)を拡充継続します。	企画政策課	定住促進に関する条例による就職奨励金の支給実績数	12件	平成30年度	17件	11件 累計28件	15件 累計43件	14件 累計57件	18件 累計75件				累計100件	令和8年度	企画政策課調査	
(6)ホームページ等により町の子育て支援施策等の情報発信	1	1														
①ホームページ等を利用して町の子育て支援施策等を情報発信して転入を促します。	企画政策課	ホームページの子育てサイトアクセス数	開始	令和2年度	新設	7,484回	6,649回	6,652回	7,362回				10,000回	毎年度	企画政策課調査	
3-2 町営住宅の整備による移住定住の促進	3	3														
(1)町営住宅のリノベーション	1	1														
①六戸半の低層アーバンタウンの町営住宅を子育て世帯向けにリノベーションし、使いやすく、安心・快適な住まいを提供します。	建設課	町営住宅リノベーション済み空き室入居数	未実施	令和元年度	0室	0室	1室	0室	0室				7室	令和8年度	建設課調査	
(2)戸建て町営住宅の建設	1	1														
①戸建ての町営住宅を建設し、子育て世代の移住定住を促進します。	建設課	戸建て町営住宅入居数	未実施	令和元年度	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸				8戸	令和8年度	建設課調査	
(3)町営住宅の建設	1	1														
①若い夫婦向けの集合賃貸住宅を建設します。子育て世帯への低価格家賃での提供を検討し、移住定住を促進します。	建設課	集合賃貸住宅入居数	未実施	令和元年度	0室	0室	0室	0室	0室				18室	令和8年度	建設課調査	

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
4. 結婚・出産・子育て環境の充実	28	30														
4-1 結婚・出産への支援の充実	6	7														
(1)結婚相談と出会い系の充実	1	1														
①結婚の希望を叶えるため、婚活イベントの開催による出会い系の場の提供をします。また、参加がしやすい環境としてオンラインの活用を検討します。	企画政策課	婚活イベントでの町民のカップル成立件数	開始	令和2年度	8組	15組 累計23組	7組 累計30組	9組 累計39組	20組 累計59組				累計40組	令和8年度	企画政策課調査	
②結婚の希望を叶えるため、出会い系の場への参加を促すなどの結婚相談を実施します。	福祉保健課	結婚相談の対応率	100%	平成30年度	100%	実績なし	実績なし	実績なし					100%	毎年度	福祉保健課調査	
(2)妊娠・出産環境の充実	4	4														
①多胎児妊婦健診に対する助成額の拡充を継続します。	子育て支援課	妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づく多胎妊婦健診受診者助成事業支給率	100%	令和元年度	対象者なし	対象者なし	対象者なし	対象者なし	対象者なし				100%	毎年度	子育て支援課調査	
②不妊治療費に対しての補助金を増額して継続します。	子育て支援課	不妊治療費助成事業実施要綱に基づく支給対象者助成金支給率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	子育て支援課調査	
③宿泊型産後ケアセンター利用者への補助を継続します。	子育て支援課	産後ケア事業実施要項に基づく利用者負担の無料化率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	子育て支援課調査	
④母子手帳の記録をデジタル化し、出産前後だけでなく妊娠・出産・育児期を継続的にサポートできる母子手帳アプリの導入を検討します。	子育て支援課	母子手帳アプリ導入決定後に目標を設定する。	今後決定	令和5年度					検討				今後決定	令和8年度	—	
(3)結婚・出産への支援制度等の継続	1	2														
①定住促進祝金制度(結婚祝金、出産祝金)を拡充継続します。	企画政策課	定住促進に関する条例 祝金支給実績数 ①結婚祝金累計75件以上	年間18件	平成30年度	5件	10件 累計14件	9件 累計23件	4件 累計27件	9件 累計36件				累計75件	令和8年度	企画政策課調査	
		定住促進に関する条例 祝金支給実績数 ②出産祝金累計150件以上	年間32件	平成30年度	18件	19件 累計37件	16件 累計53件	14件 累計67件	22件 累計89件				累計150件	令和8年度	企画政策課調査	
4-2 子育て世代が安心して暮らせる支援の充実	14	15														
(1)働く保護者への支援充実	1	1														
①学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。	子育て支援課	学童保育アンケート結果 学童保育事業の運営全般の満足度	87.3%	令和元年度	88.5%	93.7%	92.6%	90.9%	95.50%				90.0%	令和8年度	子育て支援課調査	
(2)未就学児、小中学生保護者負担の軽減	8	9														
①国・県事業で対象とならない0歳から2歳までの世帯へ利用料の無償化を行い、保護者負担の軽減を図ります。 3歳から5歳までの副食費徴収対象者へ補助を行い、保護者負担の軽減を図ります。	子育て支援課	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例補助対象者への補助率	未実施	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	子育て支援課調査	
②障害児をもつ保護者に対し、町障害児通所支援利用者負担額助成金支援制度により、町障害児通所支援利用者負担額を助成します。	福祉保健課	身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱による助成率	100%	令和元年度	申請なし	申請なし	申請なし	100%	100%				100%	毎年度	福祉保健課調査	
③保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給します。	子育て支援課	保育所等入園支度金支給要綱に基づく支給対象者への支給率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	子育て支援課調査	
④入園時、小中学校入学時に必要となる園服、制服、体育着、学用品等の支度金として入園・入学支度金を支給します。	学校教育課	入学支度金支給要綱に基づく支給対象者への支給率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	学校教育課調査	
⑤小中学生の給食費の全額を補助します。	学校教育課	身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助対象者への交付率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	学校教育課調査	
⑥小中学校で使用する教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行います。	学校教育課	①教育委員会学校運営関係補助金交付要綱補助対象者への交付率 ②小中学校修学旅行費補助金交付要綱補助対象者への交付率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	学校教育課調査	
			100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	学校教育課調査	

【具体的な施策】

アクション		担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
⑦乳幼児の保護者への乳幼児用おむつ購入補助をします。 ⑧時間や休日を問わず、出産や育児について気になることがあった時に、気軽に専門家に相談することができるオンラインによる医療相談体制の整備を検討します。 (3)医療費無料化及び入院時食事療養費支給 ①0歳から18歳までの医療費の無料化及び入院時食事療養費の支給を行います。 ②重度心身障害児の医療費窓口無料化を継続して実施します。 ③子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います (4)子どもを守るチャイルドシートの着用促進 ①子どもたちを守るチャイルドシート着用を促進するため、購入費を補助します。 (5)身延町総合型スポーツクラブ活動 ①様々なスポーツに接する機会を提供することにより、関心・興味を持ち、競技力向上や健康づくり環境の充実を図ります。	子育て支援課	乳幼児保護者への乳幼児用おむつ購入費補助事業支給対象者への補助金支給率	未実施	令和元年度	要綱制定	100%	100%	100%	100%	100%				100%	毎年度	子育て支援課調査	
	子育て支援課	オンラインによる医療相談体制整備決定後に目標を設定する。	今後決定	令和5年度						検討				今後決定	令和8年度	—	
	(3)医療費無料化及び入院時食事療養費支給		3	3													
	子育て支援課	子育て支援医療費助成金支給条例支給対象者への支給率	100%	平成30年度	100%	100%	100%	100%	100%					100%	毎年度	子育て支援課調査	
	福祉保健課	重度心身障害児の医療費窓口無料化を継続実施	実施	令和元年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施	令和8年度	福祉保健課調査	
	子育て支援課	子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業実施要綱支給対象者への支給率	未実施	平成30年度	62%	52%	42%	40%	56%					100%	毎年度	子育て支援課調査	
	(4)子どもを守るチャイルドシートの着用促進		1	1													
	交通防災課	チャイルドシート購入補助実績	未実施	令和元年度	21件	22件 累計43件	15件 累計58件	13件 累計71件	8件 累計79件					累計150件	令和8年度	交通防災課調査	
	(5)身延町総合型スポーツクラブ活動		1	1													
	生涯学習課	スポーツクラブ活動参加者数	開始	令和2年度	24人	0人 累計24人	0人 累計24人	0人 累計24人	0人 累計24人					累計100人	令和8年度	生涯学習課調査	
4-3 教育環境の質的向上				6	6												
(1)郷土愛を育む教育の充実				2	2												
①将来町を担う子どもたちが、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行います。 ②将来町を担う子どもたちが、生まれ育った地域の歴史文化・自然を学び郷土愛を育む機会を提供するため、講演会等を開催するとともに、学習資料のデジタル化を図り、町ホームページ等で公開します。	学校教育課	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」	78.3%	令和元年度	77.5%	74.4%	79.3%	88.6%	89.60%					5%向上	令和8年度	学校教育課調査	
	生涯学習課	町内文化財等の学習資料作成数	累計3種	令和元年度	3種 累計6種	2種 累計8種	3種 累計11種	2種 累計13種	2種 累計15種					累計17種	令和8年度	生涯学習課調査	
(2)小中学校の児童生徒にタブレット端末を貸与				1	1												
①全児童・生徒に対して導入・整備された、1人1台端末のデジタル環境を今後も維持し、授業にデジタルを取り入れて有效地に活用することにより、児童生徒の学力の向上を図ります。	学校教育課	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」	78.3%	令和元年度	77.5%	74.4%	79.3%	88.6%	89.60%					5%向上	令和8年度	学校教育課調査	
	生涯学習課	町内文化財等の学習資料作成数	累計3種	令和元年度													
(3)英語教育の充実				2	2												
①天気預約システム(ARC)等による予予報予測予測を増やすとともに、小学生に対して英語学習機会の充実を図ります。 ②町内全園児に、英会話に親しむ機会を設けるため、町内の各保育所(園)に外国人講師を派遣します。	学校教育課	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」	78.3%	令和元年度	77.5%	74.4%	79.3%	88.6%	89.60%					5%向上	令和8年度	学校教育課調査	
	子育て支援課	アンケート調査「英語教育に関する満足度」	68.0%	令和元年度	63.2%	63.0%	70.2%	79.8%	76.50%					5%向上	令和8年度	子育て支援課調査	
(4)児童生徒のチャレンジ応援助成				1	1												
①児童生徒のチャレンジを応援するため、英語検定・漢字検定・数学検定の検定料を助成します。また、中学校で実施する団体受検時に小学生も受検できるようにすることにより、受検しやすい環境を整えます。	学校教育課	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」	78.3%	令和元年度	77.5%	74.4%	79.3%	88.6%	89.60%					5%向上	令和8年度	学校教育課調査	
	生涯学習課	町内文化財等の学習資料作成数	累計3種	令和元年度													
4-4 災害発生時の児童生徒の安全確保				2	2												
(1)避難訓練、引き渡し訓練、情報伝達訓練の充実強化				1	1												
①近い将来発生が予想されている東海沖地震等の大規模災害に備え、避難訓練や引き渡し訓練を実施するとともに、就学区域に対応した情報伝達訓練を行います。	学校教育課	各学校の避難訓練実施回数	各校2回以上	令和元年度	各校3回以上	各校3回以上	各校3回以上	各校3回以上	各校3回以上					各校3回以上	毎年度	学校教育課調査	
	生涯学習課	町内文化財等の学習資料作成数	累計3種	令和元年度	1.5日分/人	1.5日分/人	1.6日分/人	1.6日分/人	1.6日分/人					2日分/人	令和8年度	学校教育課	
(2)災害発生時に必要な防災用備品等の整備				1	1												
①災害発生時に必要な防災用備品等を整備し、児童生徒の安全を確保した上で、地域の防災備品等としても活用します。	学校教育課	備蓄品の備蓄量	1.5日分/人	令和元年度	1.5日分/人	1.5日分/人	1.6日分/人	1.6日分/人	1.6日分/人					2日分/人	令和8年度	学校教育課	

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
5. 特色ある持続可能な地域社会の形成		18	20													
5-1 地域の拠点づくりの推進		1	1													
(1) 交流・防災拠点の整備を検討		1	1													
①空き校舎等の活用について、未利用公共施設検討委員会の提言を重視したうえで活用の方向を決定します。	財政課	空き校舎4校舎の活用等を決定する	0校舎	令和元年度	2校舎 計2校舎	0校舎 計2校舎	2校舎 計4校舎	計4校舎					4校舎	令和8年度	財政課調査	
空き校舎等の活用について、未利用公共施設検討委員会の提言を重視したうえで活用の方向を決定します。	企画政策課	空き校舎4校舎の活用等を決定する	0校舖	令和元年度	2校舎	—	—	—					4校舖	令和8年度	企画政策課調査	
5-2 公共交通機関の充実		1	1													
(1) 公共交通網の充実		1	1													
①町営公共交通の運行の調整と山梨県・隣接町相互の接続などで公共交通網の利便性向上を検討します。	交通防災課	町営バス、乗り合いタクシー、町営公共交通機関利用者数	43,806人	平成30年度	36,220人	39,192人	40,691人	37,274人	36,545人				44,000人	令和8年度	交通防災課調査	
5-3 町の情報提供の充実		6	6													
(1) ワンストップポータルの構築		2	2													
①町民や国内外からの観光客などが、町の有用な情報を手軽に提供できるように、スマートフォンにも対応したホームページにより情報発信をします。	企画政策課 観光課	ホームページアクセス数	548,524回	令和元年度	639,662回	636,453回	692,527回	631,944回	620,671回				550,000回	令和8年度	企画政策課調査	
②各種行政情報を分かりやすく発信するため、デジタル社会に対応したホームページのリニューアルを行います。また、電子申請システムと連携し町民生活の利便性向上を図ります。	企画政策課	電子申請手続き利用数	2,588件	令和3年度					—				3,000件	令和8年度	企画政策課調査	
(2) 防災情報の提供		2	2													
①町民や国内外からの観光客などに対して、災害発生時に必要とされる情報の優先順位を付けて、インターネットを活用し途切れることのない情報の提供を実施します。	企画政策課 交通防災課	災害時用情報発信訓練の実施回数	1回	令和元年度	1回	1回	1回	1回	1回				1回以上	毎年度	企画政策課調査	
②時間や場所の制約を受けず、町の災害・行政情報をスマートフォンやタブレットで知ることができる、防災・行政情報アプリを導入し、プッシュ型により迅速・的確な情報の提供を	交通防災課	防災・行政情報アプリ登録者数	未整備	令和5年度					構築完了				2,000件	令和8年度	交通防災課調査	
(3) ICT活用力の向上		1	1													
①町民を対象としたスマートフォンやタブレットの講習会を開催することで、ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図ります。	生涯学習課	スマートフォン・タブレット講習会参加者	0人	令和元年度	0人	68人 累計68人	60人 累計128人	73人 累計201人	39人 累計240人				累計250人	令和8年度	生涯学習課調査	
(4) 行政情報のデジタルによる提供		1	1													
①新たに導入する防災・行政情報アプリを活用し、広報や町からのお知らせ等をプッシュ型により迅速・的確に情報の提供を実施します。	企画政策課	防災・行政情報アプリ登録者数	未整備	令和5年度					調整				2,000件	令和8年度	企画政策課調査	
5-4 安心安全に暮らせる環境づくりの推進		6	7													
(1) 悪質電話被害対策機器設置の推進		1	1													
①高齢者を狙った悪質電話による詐欺等の犯罪を未然に防止するため、自動応答録音装置の購入費への補助を行います。	交通防災課	悪質電話被害対策機器購入費補助金交付要綱の実績	開始	令和2年度	2件	2件 累計4件	2件 累計6件	3件 累計9件	1件 累計10件				累計50件	令和8年度	交通防災課調査	
(2) 公共施設へのAED(自動体外式除細動器)設置の普及		2	2													
①AEDを公共施設に拡充配備します。	観光課	観光課関連施設AED設置数	5台	令和元年度	5台	5台	4台	3台	3台				5台	令和8年度	観光課調査	
②公共施設に設置したAEDの維持管理を継続します。	生涯学習課	生涯学習課関連施設AED維持数	15台	令和元年度	15台	15台	15台	15台	15台				15台	令和8年度	生涯学習課調査	
(3) 防犯パトロール車運行の継続		1	1													
①防犯パトロール車2台体制で町内全域を毎日(平日)パトロールし、防犯に努めます。	交通防災課	防犯パトロール車2台の毎日(平日)パトロールの継続実施	実施	令和元年度	実施	実施	実施	実施	実施				毎日(平日)実施	年度	交通防災課調査	
(4) 自主防災会の備蓄資機材等の整備と住宅感震ブレーカー設置		1	2													
①自助共助の促進と地域防災力強化のため、各地区の自主防災会に備蓄資機材等購入に対する補助を行います。また、住宅感震ブレーカー設置の補助を行います。	交通防災課	①自主防災会備蓄資機材等購入補助金実績件数 ②設置累計	未実施	令和元年度	0件	2件 累計2件	0件 累計2件	2件 累計4件	1件 累計5件				累計50件	令和8年度	交通防災課調査	
(5) 避難行動要支援者名簿の作成・整備		1	1													
①避難行動要支援者名簿の作成・整備により要援護者を的確に把握し、災害時の要支援者の安否確認、避難支援などに活かします。	福祉保健課	避難行動要支援者システムの運用	未整備	令和元年度	導入	活用	活用	活用	活用				整備・運用	令和8年度	福祉保健課調査	

【具体的な施策】

アクション	担当課	KPI(成果目標)	基準値	年度	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	実績値 令和7年度	実績値 令和8年度	第2期 実績値	目標値	年度	出展元	
5-5 いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進	生涯学習課	3	4													
(1)健康増進施設運営事業		1	1													
①温泉施設と健康増進施設等を併設した健康増進施設を建設し、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の保持や体力向上を図ります。			スポーツ健康増進施設への入館者数	103,000人	令和5年度				101,534人	221,969人				164,000人	令和8年度	指定管理契約による報告
(2)高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策の充実		2	3													
①国民健康保険及び後期高齢者の被保険者を対象とした特定健診と国民健康保険の被保険者の受診後の保健指導受診を推進し、健康づくりを推進します。		町民課	①国民健康保険の特定健診受診率	57.7%	平成30年度	46.66%	52.07%	55.40%	53.00%	54.20%				65%	令和8年度	市町村別特定健診実施結果
②後期高齢者医療保険の特定健診健診受診率			30.87%	平成30年度	29.63%	32.31%	31.40%	32.10%	34.50%					35%	令和8年度	市町村別特定健診実施結果
②高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。		福祉保健課	いきいき100歳体操の参加人数	44グループ645人	平成元年度	49グループ636人	48グループ590人	41グループ450人	41グループ440人	39グループ401人				60グループ850人	令和8年度	福祉保健課調査
5-6 道路交通網の整備		1	1													
(1)道路施設整備		1	1													
①町産材、県産材の木材の流通効率を向上するため、林道及び接続する町道の施設整備を行います。		建設課	町道・林道の道路改良延長	未実施	令和元年度	574m	723m 累計 1,297m	818m 累計 2,115m	800m 累計 2,915m	1,133m 累計 4,048m				3,500m	令和8年度	建設課調査

	基本的方向	施策	アクション	KPI
基本目標1	5	16	24	25
基本目標2	3	6	8	8
基本目標3	2	9	10	10
基本目標4	4	14	28	30
基本目標5	6	14	18	20
全体	20	59	88	93

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 「アクションプラン」



【アクションプラン】

アクションプランは、デジタル田園都市国家構想総合戦略の施策を実行するため、施策の毎年度の具体的な取り組み内容を示した計画一覧です。

毎年度、KPIの進捗状況と施策の成果や改善点などを記録することで、PDCAサイクルを整理し、産官学金労言等の多様な主体で構成された推進委員会との協力体制により、まち・ひと・しごと創生を効果的・効率的に推進していきます。

なお、アクションプランは、行政施策全体との調整を図りながら実施されます。

【施策関連担当課連絡先】

交通防災課	課長：天野 芳英	0556-42-4809
財政課	課長：幡野 弘	0556-42-4802
町民課	課長：曾谷 英輝	0556-42-4804
福祉保健課	課長：松田 宜親	0556-20-4611
観光課	課長：青嶋 浩二	0556-62-1116
子育て支援課	課長：遠藤 仁	0556-20-4580
産業課	課長：若狭 秀樹	0556-42-4805
建設課	課長：佐野 彰	0556-42-4808
学校教育課	課長：望月 俊也	0556-20-3016
生涯学習課	課長：石部 直樹	0556-20-3017
施設整備課	課長：佐野 美秀	0556-20-3015
企画政策課	事務局：高野 修、前澤、依田、河西、臼田	0556-42-4801

- ◆ もくじ
- ◆ 身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略アクションプラン施策間の横の関連

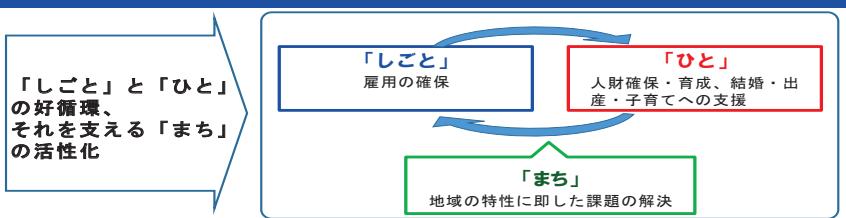
1 地域に根ざした雇用の創出		
1-1 起業支援及び新規事業所の誘致	1
(1) 起業支援及び新規事業所の誘致	1
1-2 農業振興による新たな地域産業と雇用の創出	11
(1) 6次産業化による地域産業の活性化と創出	11
(2) 新規就農者支援制度の活用	15
1-3 観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大	17
(1) 身延山の魅力アップ	17
(2) 下部温泉の魅力アップ	19
(3) 町内観光施設・事業所などの魅力アップ	23
(4) 観光客等に対する情報提供の充実	25
(5) ニューツーリズムなど新たな観光の推進	27
(6) インバウンド観光の推進	29
(7) 町の公共施設にW i-Fi 環境の整備	33
(8) しだれ桜の里づくり事業を活用したクラフトパークとの連携	35
(9) 近隣町との連携	37
1-4 地場産業の活性化とPRの強化を推進	39
(1) ホームページの観光サイトの活用	39
(2) 西嶋和紙、和紙の里の活用推進	41
(3) 共通割引券の導入	45
1-5 地域産業の情報発信	47
(1) 地域産業求人活動の支援と情報発信	47
2 町を元気にできる人財の育成		
2-1 地元高校と大学との連携事業への支援	49
(1) 「まちづくり」関連施策の共同研究	49
2-2 高校生との意見交換会の開催	51
(1) 地元在住の高校生と意見交換会の開催	51
2-3 人財育成カリキュラムの実施と人財の確保	53
(1) まちづくり・地域づくり活動の支援	53
(2) 地域おこし協力隊の活用	55
(3) 町民総ガイド事業の実施	61
(4) 就職支援セミナーの開催	63
3 人の流れをつくり、移住・定住の推進		
3-1 空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進	65
(1) 空き家・土地バンク登録物件の充実	65
(2) 移住希望者、移住者への対応強化	67
(3) 町の魅力を体験するツアーの開催	69
(4) 宅地分譲の促進	71
(5) 移住者・定住者への支援制度等の継続	73
(6) ホームページ等により町の子育て支援施策等の情報発信	77
3-2 町営住宅の整備による移住定住の促進	79
(1) 町営住宅のリノベーション	79
(2) 戸建て町営住宅の建設	81
(3) 町営住宅の建設	83
4 結婚・出産・子育て環境の充実		
4-1 結婚・出産への支援の充実	85
(1) 結婚相談と出会い環境の充実	85
(2) 妊娠・出産環境の充実	87
(3) 結婚・出産への支援制度等の継続	95
4-2 子育て世代が安心して暮らせる支援の充実	97
(1) 働く保護者への支援充実	97
(2) 未就学児、小中学生保護者負担の軽減	99
(3) 医療費無料化及び入院時食事療養費支給	115
(4) 子どもを守るチャイルドシートの着用促進	121
(5) 身延町総合型スポーツクラブ活動	123
4-3 教育環境の質的向上	125
(1) 郷土愛を育む教育の充実	125
(2) 小中学校の児童生徒にタブレット端末を貸与	129

(3) 英語教育の充実	· · · · ·	1 3 1
(4) 児童生徒のチャレンジ応援助成	· · · · ·	1 3 5
4-4 災害発生時の児童生徒の安全確保	· · · · ·	1 3 7
(1) 避難訓練、引き渡し訓練、情報伝達訓練の充実強化	· · · · ·	1 3 7
(2) 災害発生時に必要な防災用備品等の整備	· · · · ·	1 3 9
5 特色ある持続可能な地域社会の形成		
5-1 地域の拠点づくりの推進	· · · · ·	1 4 1
(1) 交流・防災拠点の整備を検討	· · · · ·	1 4 1
5-2 公共交通機関の充実	· · · · ·	1 4 3
(1) 公共交通網の充実	· · · · ·	1 4 3
5-3 町の情報提供の充実	· · · · ·	1 4 5
(1) ワンストップポータルの構築	· · · · ·	1 4 5
(2) 防災情報の提供	· · · · ·	1 4 9
(3) I C T 活用力の向上	· · · · ·	1 5 3
(4) 行政情報のデジタルによる提供	· · · · ·	1 5 5
5-4 安心安全に暮らせる環境づくりの推進	· · · · ·	1 5 7
(1) 惠質電話被害対策機器設置の推進	· · · · ·	1 5 7
(2) 公共施設への A E D (自動体外式除細動器) 設置の普及	· · · · ·	1 5 9
(3) 防犯パトロール車運行の継続	· · · · ·	1 6 3
(4) 自主防災会の備蓄資機材等の整備と住宅感震ブレーカー設置の促進	· · · · ·	1 6 5
(5) 避難行動要支援者名簿の作成・整備	· · · · ·	1 6 7
5-5 いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進	· · · · ·	1 6 9
(1) 健康増進施設運営事業	· · · · ·	1 6 9
(2) 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策の充実	· · · · ·	1 7 1
5-6 道路交通網の整備	· · · · ·	1 7 5
(1) 道路施設整備	· · · · ·	1 7 5

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略アクションプラン施策間の横の関連

～まち・ひと・しごとの好循環の確立～

「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」といった構造的な問題を克服するためには、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立する「しごとの創生」「ひとの創生」「まちの創生」の取り組みが同時的かつ一体的に取り組まれることが重要。

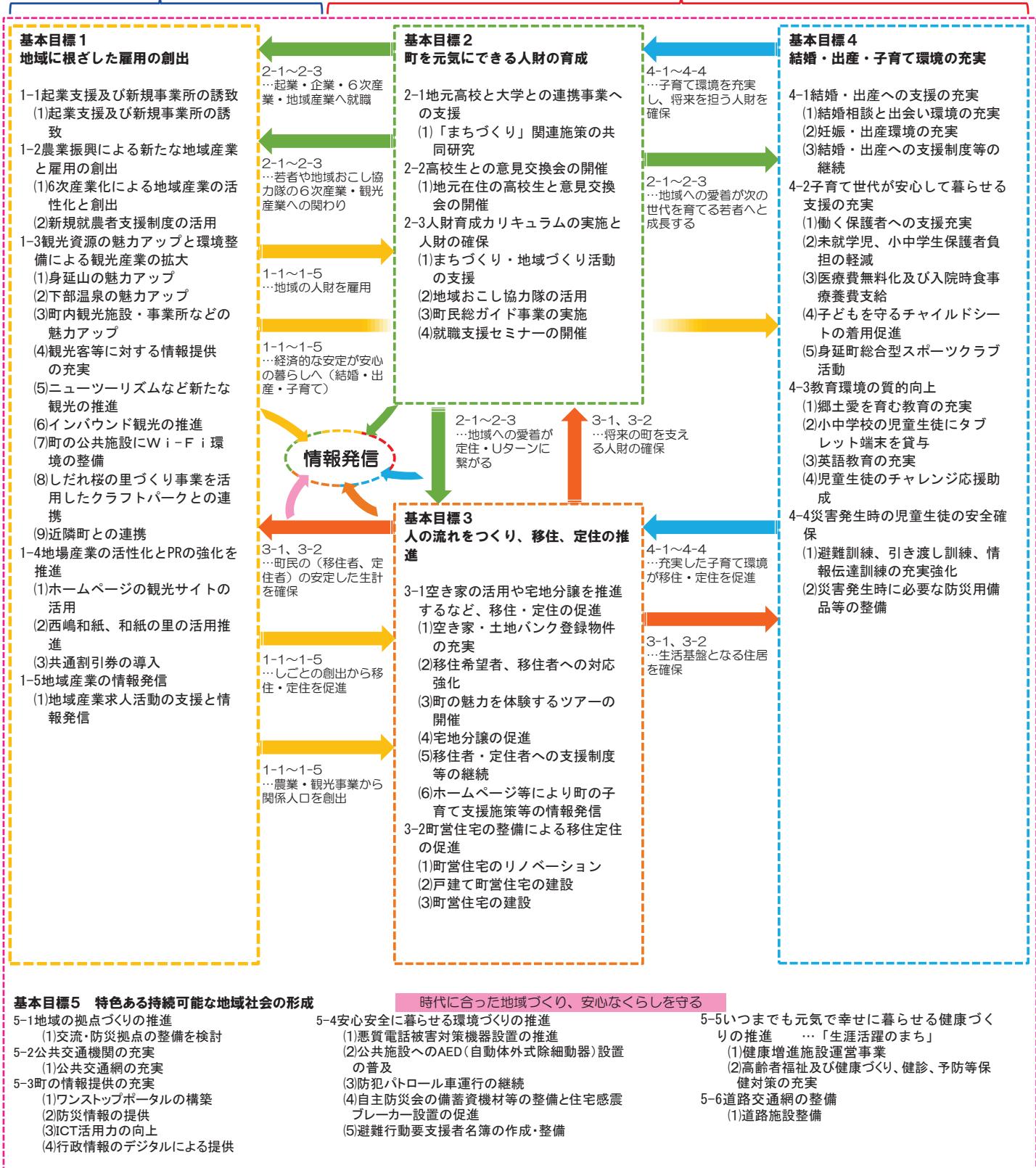


～アクションプラン施策間の横の関連～

「施策間の結びつきのイメージ」

「しごとの創生」「ひとの創生」の取り組みは、同時的・一体的にバランスよく取り組むことが重要です。デジタル田園都市国家構想総合戦略の推進は、各施策が互いに関係する横断的な視点の結びつきを強化し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立していきます。

しごと ← 好循環=横の関連 → ひと



アクションプラン

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-1	起業支援及び新規事業所の誘致					
施策内容		(1)	起業支援及び新規事業所の誘致					
アクション		①	起業者及び新規事業所の施設整備に係る費用に対し、補助金を交付します。					
施策のKPI (成果目標)		①創業支援等事業計画による起業相談件数 (毎年度相談件数を12件以上にする) ②創業支援等事業補助金交付要綱起業者及び新規事業所 数 (毎年度起業者及び新規事業所数を3件以上にする)		出典元 観光課調査	基準値 令和元年度(2019)	①相談8件 ②起業0件		
						目標値 令和8年度(2026)	①12件以上/毎年度 ②3件以上/毎年度	
■実施内容	◎ 起業予定者へのPRを行い、相談窓口を設置する。 ◎ 起業者及び新規事業所の施設整備に係る費用の1/2を補助する。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援 - 広報紙(広報みのぶ)により、事業概要のPRを実施 身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 - 相談窓口の設置 (創業相談、補助金申請の相談受付) 相談件数 8件 - 特定創業支援等事業証明書の発行 - 補助金申請の受付・審査・決定承認等 創業支援等事業補助金 3件=8,928,000円 ※ 身延町創業支援等事業補助金交付要綱の見直し ※ 創業支援等事業計画(認定期間: 令和3年3月31日まで)の認定申請		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,000 9,000	8,928 8,928	KPI実績 ① 8件 ② 3件	・創業塾を受講する人数も毎年度着実の増加している。 ・令和2年度は、創業支援補助金の交付を3名の方が受けた。業種は、自動車製造業、IT関連事業、飲食業。 ・補助金1件の上限額や交付対象の要件を見直し、より多くの創業希望者に補助金が交付できるよう交付要綱を改正する。	
	◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援 - 広報紙(広報みのぶ)により、事業概要のPRを実施 身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 - 相談窓口の設置 (創業相談、補助金申請の相談受付) 相談件数 10件 - 特定創業支援等事業証明書の発行 - 補助金申請の受付・審査・決定承認等 創業支援等事業補助金 4件=6,787,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,000 9,000	6,787 6,787	KPI実績 ① 10件 ② 4件	・創業塾を受講する人数も毎年度着実の増加している。 ・令和3年度は、創業支援補助金の交付を4名の方が受けた。業種は、整体業、青果業、飲食業、宿泊業。 ・補助金1件の上限額や交付対象の要件を見直し、より多くの創業希望者に補助金が交付できるよう交付要綱を改正した。	
令和4年度 (2022)	◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援 - 広報紙(広報みのぶ)により、事業概要のPRを実施 身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 - 相談窓口の設置 (創業相談、補助金申請の相談受付) 相談件数 11件 - 特定創業支援等事業証明書の発行 - 補助金申請の受付・審査・決定承認等 創業支援等事業補助金 6件=7,272,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,000 9,000	7,272 7,272	KPI実績 ① 11件 ② 6件	・相談件数、補助金交付件数とともに昨年度の数字を上回った。 ・令和4年度は、創業支援補助金の交付を6名の方が受けた。業種は、草刈り請負業、小売業、建材業、飲食業、広告業。	
	◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援 - 広報紙(広報みのぶ)により、事業概要のPRを実施 身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 - 相談窓口の設置 (創業相談、補助金申請の相談受付) 相談件数 15件 - 特定創業支援等事業証明書の発行 - 補助金申請の受付・審査・決定承認等 創業支援等事業補助金 3件=3,410,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,000 9,000	3,410 3,410	KPI実績 ① 15件 ② 3件	・相談件数については、昨年度の数字を上回った。 ・令和5年度は、創業支援補助金の交付を3名の方が受けた。業種は、製造業、食品販売業、飲食業。	
令和6年度 (2024)	◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援 - 広報紙(広報みのぶ)により、事業概要のPRを実施 身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 - 相談窓口の設置 (創業相談、補助金申請の相談受付) 相談件数 5件 - 特定創業支援等事業証明書の発行 - 補助金申請の受付・審査・決定承認等 創業支援等事業補助金 7,061,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,000 9,000	7,061 7,061	KPI実績 ① 5件 ② 4件	・相談件数については、昨年度の数字を下回った。 ・令和6年度は、創業支援補助金の交付を4名の方が受けた。業種は、車整備業、福祉サービス業、食品販売業。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(広報みのぶ)および町ホームページにより、事業概要のPRを実施 ・身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 ・産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 ・相談窓口の設置（創業相談、補助金申請の相談受付） ・相談件数 1件 ・特定創業支援等事業証明書の発行 ・補助金申請の受付・審査・決定承認等 ・創業支援等事業補助金 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,000</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	9,000	計	9,000		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	9,000																		
計	9,000																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 起業予定者の相談とPR及び創業支援等事業補助金交付による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(広報みのぶ)および町ホームページにより、事業概要のPRを実施 ・身延町創業支援等事業費補助金交付要綱 ・産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の啓発 ・相談窓口の設置（創業相談、補助金申請の相談受付） ・相談件数 1件 ・特定創業支援等事業証明書の発行 ・補助金申請の受付・審査・決定承認等 ・創業支援等事業補助金 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,000</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	9,000	計	9,000		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	9,000																		
計	9,000																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課		
基本的方向		1-1	起業支援及び新規事業所の誘致						
施策内容		(1)	起業支援及び新規事業所の誘致						
アクション		②	起業者及び新規事業所の町民の雇用者数に応じて、限度額の範囲内で補助金を交付します。						
施策のKPI (成果目標)		新たな補助金制度による新規事業所数 (令和4年度から新規事業所数を毎年度2件以上とする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 2件以上/毎年度		
■実施内容	◎ 起業者及び新規事業所が身延町民を雇用(正規採用)したとき、採用人数に応じて補助金を交付する。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の検討 - 起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)した際の補助金交付制度の検討実施			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度2件、R2年度3件の5件となったことから、町民雇用の実績を調査し、令和4年度から補助金交付制度を実施していくよう引き続き検討し、制度設計を令和3年度中に行う。		
令和3年度 (2021)	◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の検討 - 起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)した際の補助金交付制度の検討実施			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR3年度まで9件となったことから、町民雇用の実績を令和4年度に調査のうえ、補助金制度の制度設計に取り組み、令和5年度以降、補助金交付制度を実施していくよう引き続き検討する。		
令和4年度 (2022)	◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の検討 - 起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)状況調査 - 雇用に関する補助金があった場合、町民の雇用ニーズが発生するか起業者からのヒアリング調査実施 - 補助金の必要性についての検討			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR4年度まで15件となったが、今まで町民雇用の実績については確認されていないため、引き続き年度末の事業実績報告により調査するとともに、補助金制度の制度設計に取り組み、令和6年度以降、補助金交付制度を実施していくよう引き続き検討する。		
令和5年度 (2023)	◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の検討 - 起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)状況調査 - 雇用に関する補助金があった場合、町民の雇用ニーズが発生するか起業者からのヒアリング調査 - 補助金の必要性についての検討			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR5年度まで18件となったが、今まで町民雇用の実績については確認されていないため、引き続き年度末の事業実績報告により調査するとともに、補助金制度の制度設計に取り組み、令和6年度以降、補助金交付制度を実施していくよう引き続き検討する。		
令和6年度 (2024)	◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の検討 - 起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)状況調査 - 雇用に関する補助金があった場合、町民の雇用ニーズが発生するか起業者からのヒアリング調査 - 補助金の必要性についての検討			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR6年度まで22件となったが、今まで町民雇用の実績については確認されていないため、引き続き年度末の事業実績報告により調査するとともに、補助金制度の制度設計に取り組み、令和7年度以降、補助金交付制度を実施していくよう引き続き検討する。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業者及び新規事業所において、町民を雇用(正規採用)状況調査 ・雇用に関する補助金があつた場合、町民の雇用ニーズが発生するか起業者からのヒアリング調査 ・補助金の必要性についての検討 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 起業者及び新規事業所の町民雇用補助制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費未定 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-1	起業支援及び新規事業所の誘致					
施策内容		(1)	起業支援及び新規事業所の誘致					
アクション		(③)	起業者への支援事業の連絡会を開催し、新たな制度を創設します。					
施策のKPI (成果目標)		新たな補助金交付要綱による補助金交付者数 (交付者件数を令和4年度から毎年度2人以上にする)		出典元 観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 2人以上/毎年度		
■実施内容	◎商工会、金融機関、各種事業所、団体との連携を図り、起業に係る支援策を整理、ニーズに即した支援事業を創設する。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆起業者への新たな支援制度の検討 -町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 -商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度創設の検討実施 -ニーズに即した支援事業補助金交付制度の検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・コロナ禍により、関係団体等との調整を進めることができなかつた。令和4年度から新たな支援制度を実施していくよう、令和3年度中に細部を検討していく。		
令和3年度 (2021)	◆起業者への新たな支援制度の検討 -町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 -商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度創設検討 -ニーズに即した支援事業補助金交付要綱制定の検討 -関係団体による調整会議を開催し、既存事業の検証と情報交換を実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・長引くコロナ禍により、関係団体等との調整を進めることができなかつた。令和5年度以降、新たな支援制度を実施していくよう、令和4年度中に細部を検討していく。		
令和4年度 (2022)	◆起業者への新たな支援制度の検討 -町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 -商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度実施に向け検討の開始		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・長引くコロナ禍により、関係団体等との調整を進めることができなかつた。令和6年度以降、町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、新たな支援制度を実施していくよう、令和5年度中に細部を検討していく。		
令和5年度 (2023)	◆起業者への新たな支援制度の検討 -町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 -商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度実施 -関係団体による調整会議を開催し、既存事業の検証と情報交換を実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、ニーズの把握に努めた。 令和6年度以降、町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、新たな支援制度を実施していくよう引き続き検討を進めていく。		
令和6年度 (2024)	◆起業者への新たな支援制度の検討 -町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 -商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度検討 -関係団体による調整会議を開催し、既存事業の検証と情報交換を実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・町内における起業相談件数が多い、商工会と密に連絡調整を行うなかで、ニーズを把握し支援制度の利用促進に務めた。 ・起業者のニーズを把握するなかで、伴走型支援等の新たな支援制度を実施していくよう、引き続き検討を進めていく。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 起業者への新たな支援制度の創設 ・町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 ・商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度検討 ・関係団体による調整会議を開催し、既存事業の検証と情報交換を実施	国庫支出金			
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
	計	0	0		
令和8年度 (2026)	◆ 起業者への新たな支援制度の実施 ・町が認定する特定創業支援等事業の実施団体との連絡調整を行い、起業意欲のある方のニーズを把握 ・商工会、金融機関、実施団体等との調整会議を開催し、伴走型支援を行うための支援事業制度検討 ・関係団体による調整会議を開催し、既存事業の検証と情報交換を実施	KPI実績	年度末の実績を記載		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
計	0	0			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-1	起業支援及び新規事業所の誘致					
施策内容		(1)	起業支援及び新規事業所の誘致					
アクション		④	起業者及び新規事業所への伴走型支援を総合的に行うための施策を展開します。					
施策のKPI (成果目標)		特定創業支援等事業フォローアップセミナー受講者数 (受講者数を令和4年度から毎年4人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	2人 4人以上/毎年度	
■実施内容	◎ 起業者に対して伴走型支援を行う。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の検討 - 伴走型支援を行うための補助金交付制度の検討実施 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			·町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度2件、R2年度3件の5件となったことから、フォローアップセミナーの内容等について引き続き検討し、令和4年度から実施できるよう制度設計していく。		
令和3年度 (2021)	◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の検討 - 伴走型支援を行うための補助金についてニーズ等を調査 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			·町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR3年度までで9件となったことから、フォローアップセミナーの内容等について引き続き検討し、令和4年度以降、実施できるよう制度設計していく。		
令和4年度 (2022)	◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の検討 - 伴走型支援のフォローアップセミナー等の実施について検討 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			·町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR4年度までで15件となった。コロナの収束による事業実績を見極めながら、フォローアップセミナーの内容等について引き続き検討し、令和5年度以降、実施できるよう制度設計していく。		
令和5年度 (2023)	◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の検討 - 伴走型支援のフォローアップセミナー等の実施について検討 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			·町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR5年度までで18件となった。収益の波はあるものの、コロナ収束後もすべての起業者及び新規事業者において事業が継続されている状況であることから、今後も事業実績を見極めながら、フォローアップセミナーの内容等について引き続き検討し、令和6年度以降、実施できるよう制度設計を検討していく。		
令和6年度 (2024)	◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の検討 - 伴走型支援のフォローアップセミナー等の実施について検討 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			·町の創業支援補助金の交付を受け、起業した件数がR1年度からR6年度までで22件となった。収益の波はあるものの、コロナ収束後もすべての起業者及び新規事業者において事業が継続されている状況であることから、今後も事業実績を見極めながら、フォローアップセミナーの内容等について引き続き検討し、令和7年度以降、実施できるよう制度設計を検討していく。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援のフォローアップセミナー等について制度化 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等) 	国庫支出金			
		県支出金			
令和8年度 (2026)	<p>◆ 起業者及び新規事業所への伴走型支援制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援のフォローアップセミナー等の実施 (特定創業支援等事業、フォローアップセミナーへの参加等) ・事業費未定 	地方債			
		その他			
横断的な取り組みの状況		一般財源			
		計	0	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 企画政策課		
基本的方向		1-1	起業支援及び新規事業所の誘致						
施策内容		(1)	起業支援及び新規事業所の誘致						
アクション		(5)	雇用を創出する産業立地事業に対して助成金を交付します。また、テレワーク等も活用したサテライトオフィス誘致を推進します。						
施策のKPI (成果目標)		産業集積促進助成企業及びサテライトオフィス誘致件数(助成企業及びSO誘致件数を令和8年度までに累計3件以上にする)		出典元 企画政策課調査	基準値 令和元年度(2019)	累計1件			
					目標値 令和8年度(2026)	累計3件以上			
■実施内容	◎ 雇用を創出する産業を誘致する情報発信と立地を促進する助成金事業を実施します。また、サテライトオフィスの誘致も進めます。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業立地事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 協議会負担金 20,000円 ◆ 産業立地の推進と連携による地域活性化 ・産業立地事業費助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業振興及び雇用拡大に資する立地事業に助成 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,600 27,654 1,995 32,249	2,600 27,624 1,527 31,751	<p>岐阜プラスチック工業(株)へ産業立地事業として助成金を交付し、助成により町内から新たに5人の雇用がされた。 また、下山工業団地企業従業員へ今後の企業誘致・移住定住等の施策の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施。</p> <p>サテライトオフィス誘致として、次年度以降の誘致戦略の策定とPRサイトなどを制作。 企業立地は雇用創出の効果が大きいことから、新たな用地確保も検討しながら山梨県地域経済牽引事業促進協議会により、企業誘致PR等、事業全体の評価・検証を基に取り組んでいく。 サテライトオフィスについても誘致戦略に基づき取り組みを推進していく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 岐阜プラスチック工業(株) 27,624,054円 ・下山工業団地企業従業員へ今後の企業誘致・移住定住等の施策の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施 715,000円 ◆ サテライトオフィス誘致支援事業の実施 3,391,960円 ・サテライトオフィスを斡旋する民間事業者活用の検討 ・企業のニーズからカワーキングスペースなど施設整備支援制度の検討 ・町有未利用施設を活用したお試し施設の検討 			KPI実績	産業立地事業費助成 企業 1件 累計 2件				
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 协議会負担金 20,000円 ◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,751 3,124 6,004 12,879	3,751 2,948 6,093 12,792	<p>町内における企業誘致に必要な基礎資料として、企業誘致候補地調査を実施した。 サテライトオフィス誘致に向けた事業として、企業と自治体によるマッチングイベントへの出展と道の駅にもべ内にテレワーク設備を整備し、環境の整備が進んでいる。</p> <p>企業立地は雇用創出の効果が大きいことから、新たな用地確保も検討しながら山梨県地域経済牽引事業促進協議会により、企業誘致PR等、事業全体の評価・検証を基に取り組んでいく。サテライトオフィスについても誘致戦略に基づき取り組みを推進していく。</p> <p>今後もこれまでの事業による成果を基にニーズを見ながら企業へのアプローチを実施していく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から創生に向けた施策を検討 ・企業誘致候補地調査業務 候補地11箇所を調査選定し、進出希望企業への対応を図る 2,948,000円 ◆ 身延町サテライトオフィス誘致事業の実施 情報発信・視察対応マニュアル作成・マッチングイベント出展 2,233,000円 ◆ テレワーク設備整備事業 道の駅しまべ内にテレワーク設備を整備 7,591,467円 			KPI実績	0件 累計 2件				
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 協議会負担金 20,000円 ◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	 1,185 1,185	 928 928	<p>山梨県企業立地ガイドへの掲載によるPRや企業・サテライトオフィス誘致に向けた企業誘致チラシの作成、先進地視察研修、PRサイトの管理が容易にできるようサイトデータを庁内管理へ移行し取り組みを推進している。</p> <p>企業立地は雇用創出の効果が大きいことから、新たな用地確保も検討しながら山梨県地域経済牽引事業促進協議会により、企業誘致PR等、事業全体の評価・検証を基に取り組んでいき。サテライトオフィスについても誘致戦略に基づき取り組みを推進していく。</p> <p>今後もこれまでの事業による成果を基にニーズを見ながら企業へのアプローチを実施していく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・R2アンケート結果から創生に向けた施策を検討 ・R3調査業務から進出希望企業への対応を図る ◆ 企業・サテライトオフィス誘致事業の実施 先進地視察、チラシ作成、PRサイト移行 907,532円 			KPI実績	0件 累計 2件				
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 協議会負担金 20,000円 ◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	 632 632	 28 28	<p>山梨県企業立地ガイドへの掲載によるPRや企業・サテライトオフィス誘致に向けた企業誘致チラシの配布、PRサイトの管理が容易にできるようサイトデータを庁内管理へ移行し取り組みを推進している。</p> <p>企業立地は雇用創出の効果が大きいことから、新たな用地確保も検討しながら山梨県地域経済牽引事業促進協議会により、企業誘致PR等、事業全体の評価・検証を基に取り組んでいき。サテライトオフィスについても誘致戦略に基づき取り組みを推進していく。</p> <p>今後もこれまでの事業による成果を基にニーズを見ながら企業へのアプローチを実施していくとともに、令和5年度には検討企業の発掘とニーズ調査・マッチングを目的にした、アンケート調査事業の実施を予定している。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3調査業務から進出希望企業への対応を図る 			KPI実績	0件 累計 2件				
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 協議会負担金 20,000円 ◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	 632 632	 515 515	<p>山梨県企業立地ガイドへの掲載によるPRや企業・サテライトオフィス誘致に向けた企業誘致チラシの配布、PRサイトの管理が容易にできるようサイトデータを庁内管理へ移行し取り組みを推進している。</p> <p>企業立地は雇用創出の効果が大きいことから、新たな用地確保も検討しながら山梨県地域経済牽引事業促進協議会により、企業誘致PR等、事業全体の評価・検証を基に取り組んでいき。サテライトオフィスについても誘致戦略に基づき取り組みを推進していく。</p> <p>今後6年度には、検討企業の発掘とニーズ調査・マッチングを目的としたフォームマーケティング業務を実施した。令和7年度には、この業務により把握した、本町に興味を持っている事業者へのアプローチを実施していく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3調査業務から進出希望企業への対応を図る ◆ 身延町サテライトオフィス誘致事業の実施 			KPI実績	0件 累計 2件				
	<p>マッチングセミナー参加、フォームマーケティング業務</p>			495,000円					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 協議会負担金 20,000円</p> <p>◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 ・R3調査業務から進出希望企業への対応を図る</p> <p>◆ 身延町サテライトオフィス誘致事業の実施(施設整備・情報発信など) マッチングセミナー参加、フォームマーケティング業務 611,820円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>632</td></tr> <tr><td>計</td><td>632</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	632	計	632		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	632																		
計	632																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 産業集積促進事業推進の情報発信 山梨県と県内関係市町村で組織する山梨県地域経済牽引事業促進協議会からの情報発信(及び町HP等による情報発信) 协議会負担金 20,000円</p> <p>◆ 産業集積の促進と連携による地域活性化 ・産業集積促進助成金交付要綱による製造業・情報通信業等の立地、本社機能移転等による産業集積及び雇用拡大に資する立地事業に助成 ・R3調査業務から進出希望企業への対応を図る</p> <p>◆ 身延町サテライトオフィス誘致事業の実施(施設整備・情報発信など)</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>20</td></tr> <tr><td>計</td><td>20</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	20	計	20		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	20																		
計	20																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 産業課								
基本的方向		1-2	農業振興による新たな地域産業と雇用の創出												
施策内容		(1)	6次産業化による地域産業の活性化と創出												
アクション		①	あけぼの大豆のブランド化と6次産業化を推進し販路拡大と安定生産を図ります。												
■実施内容	◎ あけぼの大豆の種子の確保・生産技術の向上・品質の向上など、あけぼの大豆振興協議会による取り組みを継続し、更なるブランド化と6次産業化を推進します。また、6次産業事業を組織化し、あけぼの大豆事業の拡大を図るとともに、地域食材である農産物販売に努めます。	自立した6次産業組織数(令和8年度までに3団体自立する)	出典元	産業課調査	基準値 令和元年度(2019)	0団体									
					目標値 令和8年度(2026)	3団体									
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善									
令和2年度 (2020)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 <p>臨時職員雇用(作業員4人、一般事務員2名、調理員9名)</p> <table> <tbody> <tr><td>人件費</td><td>13,484,690 円</td></tr> <tr><td>商品開発・販路拡大事業</td><td>110,000 円</td></tr> <tr><td>その他拠点施設運営費</td><td>15,418,534 円</td></tr> <tr><td>協議会補助金</td><td>3,489,267 円</td></tr> </tbody> </table> <p>1団体 合同会社森の学び舎</p>		人件費	13,484,690 円	商品開発・販路拡大事業	110,000 円		その他拠点施設運営費	15,418,534 円	協議会補助金	3,489,267 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,600 33,980 35,580	1,611 30,892 32,503	<p>あけぼの大豆振興協議会を中心とした継続的な取り組みにより、あけぼの大豆の品質保全、安定的な生産、積極的なPRができた。</p> <p>あけぼの大豆の6次産業化については、新型コロナウイルス感染症の影響により、産地フェア等イベントが実施できないなか、新たな加工品の開発、販売の拡大、地産地消が図られた。</p>
人件費	13,484,690 円														
商品開発・販路拡大事業	110,000 円														
その他拠点施設運営費	15,418,534 円														
協議会補助金	3,489,267 円														
令和3年度 (2021)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 <p>臨時職員雇用(作業員4人、一般事務員2名、調理員9名)</p> <table> <tbody> <tr><td>人件費</td><td>17,572,855 円</td></tr> <tr><td>商品開発・販路拡大事業</td><td>110,000 円</td></tr> <tr><td>その他拠点施設運営費</td><td>15,864,142 円</td></tr> <tr><td>協議会補助金</td><td>1,939,976 円</td></tr> </tbody> </table> <p>1団体 あけぼの農園株式会社</p>		人件費	17,572,855 円	商品開発・販路拡大事業	110,000 円	その他拠点施設運営費	15,864,142 円	協議会補助金	1,939,976 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,600 34,641 36,241	1,475 34,012 35,487	<p>あけぼの大豆振興協議会を中心とした継続的な取り組みにより、あけぼの大豆の品質保全、安定的な生産、積極的なPRができた。</p> <p>あけぼの大豆の6次産業化については、新型コロナウイルス感染症の影響により、産地フェア等イベントが実施できないなか、新たな加工品の開発、販売の拡大、地産地消が図られた。</p>	
人件費	17,572,855 円														
商品開発・販路拡大事業	110,000 円														
その他拠点施設運営費	15,864,142 円														
協議会補助金	1,939,976 円														
令和4年度 (2022)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 <p>あけぼの大豆拠点施設業務委託料 種子確保事業 商品開発・販路拡大事業 協議会補助金</p> <table> <tbody> <tr><td>あけぼの大豆拠点施設業務委託料</td><td>14,500,000 円</td></tr> <tr><td>種子確保事業</td><td>1,575,000 円</td></tr> <tr><td>商品開発・販路拡大事業</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>協議会補助金</td><td>5,877,847 円</td></tr> </tbody> </table>		あけぼの大豆拠点施設業務委託料	14,500,000 円	種子確保事業	1,575,000 円	商品開発・販路拡大事業	0 円	協議会補助金	5,877,847 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,800 20,310 22,110	128 21,825 21,953	<p>あけぼの大豆振興協議会を中心とした継続的な取り組みにより、あけぼの大豆の品質保全、安定的な生産、積極的なPRができた。</p> <p>6次産業事業については、あけぼの大豆及び枝豆の地理的表示(GI)保護制度の登録により、認知度や販売規模の拡大や品質の向上につながった。</p>	
あけぼの大豆拠点施設業務委託料	14,500,000 円														
種子確保事業	1,575,000 円														
商品開発・販路拡大事業	0 円														
協議会補助金	5,877,847 円														
令和5年度 (2023)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 <p>あけぼの大豆拠点施設業務委託料 種子確保事業 協議会補助金</p> <table> <tbody> <tr><td>あけぼの大豆拠点施設業務委託料</td><td>13,500,000 円</td></tr> <tr><td>種子確保事業</td><td>1,325,000 円</td></tr> <tr><td>協議会補助金</td><td>3,767,940 円</td></tr> </tbody> </table>		あけぼの大豆拠点施設業務委託料	13,500,000 円	種子確保事業	1,325,000 円	協議会補助金	3,767,940 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,700 17,375 19,075	1,503 17,090 18,593	<p>あけぼの大豆振興協議会を中心とした継続的な取り組みにより、あけぼの大豆の品質保全、安定的な生産、積極的なPRができた。</p> <p>6次産業事業については、あけぼの大豆及び枝豆の地理的表示(GI)保護制度の登録により、認知度や販売規模の拡大や品質の向上につながった。</p>			
あけぼの大豆拠点施設業務委託料	13,500,000 円														
種子確保事業	1,325,000 円														
協議会補助金	3,767,940 円														
令和6年度 (2024)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 <p>あけぼの大豆拠点施設業務板委託料 種子確保事業 協議会補助金</p> <table> <tbody> <tr><td>あけぼの大豆拠点施設業務板委託料</td><td>10,000,000 円</td></tr> <tr><td>種子確保事業</td><td>695,000 円</td></tr> <tr><td>協議会補助金</td><td>3,953,100 円</td></tr> </tbody> </table>		あけぼの大豆拠点施設業務板委託料	10,000,000 円	種子確保事業	695,000 円	協議会補助金	3,953,100 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,700 16,375 18,075	1,007 13,642 14,649	<p>あけぼの大豆振興協議会を中心とした継続的な取り組みにより、あけぼの大豆の品質保全、安定的な生産、積極的なPRができた。</p> <p>6次産業化事業については、あけぼの大豆及び枝豆の地理的表示(GI)保護制度の登録により、認知度や販売規模の拡大や品質の向上につながった。今後も継続して品質を確保していくことと、収量の確保を目指す。</p>			
あけぼの大豆拠点施設業務板委託料	10,000,000 円														
種子確保事業	695,000 円														
協議会補助金	3,953,100 円														

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 あけぼの大豆拠点施設業務板委託料 8,000 千円 種子確保事業 1,575 千円 協議会補助金 4,600 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 1,300 一般財源 12,875 計 14,175		0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	<p>◆ ブランド化推進と販路拡大と安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼの大豆振興協議会による取り組みと、あけぼの大豆拠点施設の集出荷施設、加工品の製造販売を拡大し、地産地消、販路拡大を図る。 あけぼの大豆拠点施設業務板委託料 12,500 千円 種子確保事業 1,575 千円 協議会補助金 4,000 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 1,700 一般財源 16,375 計 18,075		0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		地域に根ざした雇用の創出				担当課 産業課	
基本的方向		農業振興による新たな地域産業と雇用の創出					
施策内容		(1) 6次産業化による地域産業の活性化と創出					
アクション		(2) 遊休農地の解消と作付面積の拡大を図ります。また、効果的な農業DXを検討していきます。					
■実施内容	◎ 農業委員会との連携により耕作放棄地の再生に向け調査し、新規就農者への情報発信やスマート農業等生産効率の改善による作付面積の拡大を図ります。	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
年度	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆出荷奨励金	165,000 円 898,100 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,025 2,025	1,064 1,064	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数の増加による面積の増加
令和2年度 (2020)	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆出荷奨励金	165,000 円 1,615,700 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,025 2,025	1,781 1,781	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数は増加したが一人当たりの面積減少による。
令和3年度 (2021)	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆出荷奨励金	165,000 円 1,411,400 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,025 2,025	1,577 1,577	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数の増加による面積の増加 あけぼの大豆振興協議会にて枝豆精選別機を導入してAIによる選別による効率化を果たした。
令和4年度 (2022)	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆出荷奨励金 枝豆精選別機(協議会購入)	165,000 円 1,411,400 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,295 2,295	1,007 1,007	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数の増加による面積の増加 あけぼの大豆振興協議会にて枝豆精選別機を導入してAIによる選別による効率化を果たした。
令和5年度 (2023)	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆出荷奨励金	165,000 円 842,300 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,145 3,145	1,347 1,347	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数の増加による面積は増加しているが、一部地域の著しい不作等に伴い大豆出荷量は減少している。
令和6年度 (2024)	◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大 ・ 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るために、大豆の出荷奨励金の充実を図る。	農地台帳システム 大豆等出荷奨励金	165,000 円 1,181,900 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,145 3,145	1,347 1,347	種子配布量等から推計するあけぼの大豆の耕作面積による。 種子配布件数の増加による面積は増加しているが、獣害によるものや高温少雨の影響による不作等に伴い大豆出荷量は減少している。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るため、大豆の出荷奨励金の充実を図る。 <p>農地台帳システム 165 千円 大豆出荷奨励金 2,130 千円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,295 2,295 0		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 遊休農地の解消と作付面積の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営拡大による雇用の増加と、遊休農地の再生による作付面積の拡大を図るため、農地利用意向調査を実施する。 栽培意欲の高揚を図るため、大豆の出荷奨励金の充実を図る。 <p>農地台帳システム 165 千円 大豆出荷奨励金 1,860 千円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,025 2,025 0		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 産業課	
基本的方向		1-2	農業振興による新たな地域産業と雇用の創出					
施策内容		(2)	新規就農者支援制度の活用					
アクション		①	国の制度を活用して新規就農の創出を図ります。					
施策のKPI (成果目標)		新規就農者数(令和8年度までに累計15人以上にする)		出典元 身延町農業委員会 の活動計画の点検・評価	基準値 令和2年度(2020) 目標値 令和8年度(2026)	開始 累計15人以上		
■実施内容	◎ 県及び農業委員会との連携や、移住定住担当者との情報共有により、新規就農者を掘り起し支援を図る。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出 - 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規就農者については、農業委員会が隨時相談を受けて、耕作希望者に対し耕作可能な農地を斡旋する。令和2年度には1団体が認定農業者となつたほか、4人が新たに営農を始めた。 国の制度である、農業次世代人材投資資金については、対象者がいなかった。		
令和3年度 (2021)	◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出 - 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規就農者については、農業委員会が随时相談を受けて、耕作希望者に対し耕作可能な農地を斡旋する。令和3年度には3人が新たに営農を始めた。 国の制度である、農業次世代人材投資資金については、対象者がいなかった。		
令和4年度 (2022)	◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出 - 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規就農者については、農業委員会が随时相談を受けて、耕作希望者に対し耕作可能な農地を斡旋する。令和4年度には6名が新たに営農を始めた。 国の制度である、農業次世代人材投資資金については、対象者がいなかった。		
令和5年度 (2023)	◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出 - 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,000	3,000	新規就農者については、農業委員会が随时相談を受けて、耕作希望者に対し耕作可能な農地を斡旋する。令和5年度に新規の営農者がいなかつたが、国の制度である農業次世代人材投資資金については、2名が該当した。		
令和6年度 (2024)	◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出 - 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,000	3,000	新規就農者については、農業委員会が随时相談を受けて、耕作希望者に対し耕作可能な農地を斡旋する。令和6年度に新規の営農者がいなかつたが、国の制度である農業次世代人材投資資金については、2名が該当した。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR 	國庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 国の制度を活用した新規就農者の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の掘り起こし あけぼの大豆のPRと情報提供による就農の呼びかけ 身延町あけぼの大豆振興協議会講習会の場でのPR 	國庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		地域に根ざした雇用の創出				担当課	
基本的方向		観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大				観光課	
施策内容		(1) 身延山の魅力アップ					
アクション		① 身延山観光協会と連携し、身延山地域の魅力アップと効果的なPRを行い誘客を図ります。また、観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用したPRにより、新たな観光客層の取り込みを推進します。					
施策のKPI (成果目標)		身延山入込客数(入込客数を令和8年度までに1,300,000人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	
■実施内容		◎ 身延山観光協会と連携し、観光客誘致に繋がる魅力的なPRを効果的に行う。 ◎ 観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用し、幅広い世代に向けた効果的なPRを実施する。					
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施 - 身延山観光協会と連携し、日蓮聖人御降誕800年慶讃事業の効果的なPRを行い観光客の誘客を図る (御降誕800年⇒R3年2月16日) - 三者会議(身延山・身延町役場・身延山観光協会)の実施 - 身延山観光協会への補助金		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	300 300	4,779 4,764 5,079 5,064	・コロナ禍により、入山行列等のイベントが中止となり、また初詣、観桜期のシャトルバス運行も中止となつたことから入込客数が大幅減少した。 ・県の補助金制度を活用する中で、門前町の商店街に行燈を新規に整備や、高速バスへの観光PRのラッピング事業を実施、また身延山の風景を撮影した写真展を静岡県で開催するなど、アフターコロナ期の入込客数を増加する補助事業を追加で実施した。	
			KPI実績	381,500人			
令和3年度 (2021)	◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施 - 御降誕800年慶讃事業PR効果の検証を行い、開闢750年事業に向けたPR方法の検討実施 - 三者会議(身延山・身延町役場・身延山観光協会)の実施 - 中部横断自動車道開通による入込客数の増加させるため、山梨県、身延観光協会、身延山、門内住民、身延町等の関係者で構成される身延山門周辺活性化検討会による社会実験の実施 - 身延山観光協会への補助金 2,200,000円 - 誘客関係イベント実行委員会への補助金 1,539,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,610 3,610	3,739 3,739	・長引くコロナ禍により、R2年度に引き続き入山行列等のイベントが中止となり、入込客数が期待値に達しなかった。 ・代替事業として、日蓮聖人御降誕800年事業、中部横断自動車道開通TVCM事業等に取り組み、ウィズコロナ期の誘客促進に努めた。	
			KPI実績	299,000人			
令和4年度 (2022)	◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施 - 身延山観光協会と連携し、身延山開闢750年記念事業の効果的なPR方法等の検討実施 (開闢750年⇒R5年6月17日) - 身延山門内周辺活性化検討会(継続開催) - 身延山観光協会への補助金 2,200,000円 - 誘客関係イベント実行委員会への補助金 1,801,600円 - 富士川クラフトパークで行う観桜期イベントとの連携の検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,700 3,700	3,999 3,999	・長引くコロナ禍により、R3年度に引き続き入山行列等のイベントが中止・規模縮小となり、入込客数が期待値に達しなかった。一方で、初詣期や観桜期にシャトルバスやインバウンドの再開等、着実に客足は回復傾向にある。 ・門前町の石畳風舗装や講談会等の小規模誘客イベントの実施等アフターコロナ禍を見据えた身延山のイメージづくりを推進した。 ・中部横断自動車道開通の効果を最大限に高めるため静岡方面を中心に観光キャンペーンを複数回実施した。	
			KPI実績	527,000人			
令和5年度 (2023)	◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施 - 身延山観光協会と連携し、身延山開闢750年記念事業の効果的なPRを行い観光客の誘客を図る(開闢750年⇒R5年6月17日) 補助金 1,500,000円 - 身延山門内周辺活性化検討会(継続開催) - 身延山観光協会への補助金 2,200,000円 - 身延山初詣入客対策実行委員会補助金 300,000円 - 宿坊支援事業 145,242円 - 富士川クラフトパークで行う観桜期イベントとの連携の検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,100 5,100	5,162 5,162	・5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、御入山行列や万灯行列などのイベントが再開したほか、身延山開闢750年記念事業が行われた。また、外国人観光客も増え、インバウンドに対応した看板の改修及び設置を行った。 ・観桜期では、新聞広告や観光サイトのみのラブでの桜特集、観光課Instagramでの広告などで身延山久遠寺のしだれ桜をPRし、幅広い世代の誘客に繋げた。	
			KPI実績	604,700人			
令和6年度 (2024)	◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施 - 身延山門内周辺活性化検討会(継続開催) - 身延山観光協会への補助金 2,200,000円 - 身延山観光協会WEBサイト改修(インバウンド対応)補助金 148,500円 - 身延山観光協会地域周遊コンテンツ制作(DX事業)補助金 1,154,400円 - 身延山開闢会実行委員会補助金 600,000円 - 身延山万灯行列実行委員会補助金 600,000円 - 身延山初詣入客対策実行委員会補助金 300,000円 - 身延山観桜期入客対策実行委員会補助金 300,000円 - 富士川クラフトパークで行う観桜期イベントと連携し、しだれ桜の里としての誘客PRを実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,303 5,303	5,303 5,303	・外国人観光客の増加を踏まえ、身延山観光協会のホームページを多言語対応に改修した。また、観光DXの取組として、WEB上で利用できる、位置情報連動型音声ガイド「おともだち」(日本語・英語対応)を導入した。地域周遊型コンテンツとして初詣・観桜期のシャトルバス乗場にてチラシを配布したほか、観光情報サイト等において周知を行った。 ・観桜期には、新聞広告やWEB・SNS広告を実施し、幅広い世代の誘客に繋げた。また、観桜期におけるクラフトパークのしだれ桜の里との連携として、開花情報の統一配信やしだれ桜フェスにおいて、桜を題材としたフォトコンテストを実施した。	
			KPI実績	※山梨県入込客数統計 調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身延山門内周辺活性化検討会(継続開催) ・身延山観光協会への補助金 2,200,000円 ・身延山開創会実行委員会補助金 300,000円 ・身延山万灯行列実行委員会補助金 600,000円 ・身延山初詣入客対策実行委員会補助金 300,000円 ・身延山観桜期入客対策実行委員会補助金 300,000円 ・富士川クラフトパークで行う観桜期イベントと連携し、しだれ桜の里としての誘客PRを実施 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,700</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,700</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,700	計	3,700		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,700																		
計	3,700																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 身延山観光協会と連携した観光客誘致事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身延山門内周辺活性化検討会(継続開催) ・身延山観光協会への補助金 ・富士川クラフトパークで行う観桜期イベントとの連携を検討し、しだれ桜の里としての誘客PRを実施 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>計</td><td>4,000</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	4,000	計	4,000		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	4,000																		
計	4,000																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		地域に根ざした雇用の創出					担当課												
基本的方向		観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					観光課												
施策内容		(2) 下部温泉の魅力アップ																	
アクション		① 下部温泉郷の魅力アップと効果的なPRを行い、誘客を図ります。また、観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用したPRにより、新たな観光客層の取り込みを推進します。																	
施策のKPI (成果目標)		入湯税課税人数 (課税人数を令和8年度までに105,000人以上にする)		出典元	税務課調査		基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)												
■実施内容		◎ 魅力ある下部温泉郷とするため下部川の将来的な包括的河川占用を含めた土地利用を行う。 ◎ 観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用し、幅広い世代に向けた効果的なPRを実施する。																	
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和2年度 (2020)	<p>◆ 下部川の包括的河川占用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 下部川包括的河川占用のための府内検討実施 地域への説明、活用策の検討実施 下部観光協会と連携した事業実施 下部観光協会への補助金 3,230,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,240</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,240</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,240	計	3,240			<p>・新型コロナの感染拡大による緊急事態宣言が幾度となく発出され、下部温泉郷への観光客は大幅に落ち込んだ。 ・アフターコロナ期の観光客の増加を見込み、いで湯橋欄干の燈籠リニューアルや、温泉郷大型看板のライト新規設置事業など魅力アップを図った。</p>		
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,240																		
計	3,240																		
令和3年度 (2021)	<p>◆ 下部川の包括的河川占用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 下部川包括的河川占用のための府内検討実施 地域への説明、活用策の検討実施 地域協議会の設置 下部観光協会と連携した事業実施 下部観光協会への補助金 3,525,000円 誘客関係イベント実行委員会への補助金 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,196</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,196</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,196	計	3,196			<p>・長引くコロナ禍により、R2年度に引き続き下部温泉郷を訪れる観光客が回復、増加に転ずることは厳しい状態であった。 ・ウィズコロナ期の観光客の増加を目指し、温泉街への行燈設置事業、武田信玄公生誕500年記念ノベルティ作成事業、中部横断自動車道開通ノベルティ作成事業など取り組み、誘客に努めた。 ・下部川の包括河川占用については、河川管理者である山梨県と占用の方法等について協議を重ね、検討を進めた。</p>		
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,196																		
計	3,196																		
令和4年度 (2022)	<p>◆ 下部川の包括的河川占用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 本栖湖包括的河川占用 3,949,000円 地域での活用 下部観光協会と連携した事業実施 下部温泉複合施設(仮称・R4完成予定)との連携 下部観光協会への補助金 3,519,000円 誘客関係イベント実行委員会への補助金 53,650円 (やまめまつり中止。代替誘客事業として実行委員会へ補助) 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,069</td></tr> <tr><td>計</td><td>4,069</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	4,069	計	4,069			<p>・コロナ禍の収束と共に観光客は回復傾向にある。 ・ウィズコロナの取り組みとして屋外でも楽しめる夏花火・冬花火を実施し誘客を図った。 ・中部横断自動車道開通の効果を最大限に高めるため静岡方面を中心に観光キャンペーンを複数回実施した。</p>		
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	4,069																		
計	4,069																		
令和5年度 (2023)	<p>◆ 魅力ある観光地づくりに向けた有効的な土地利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 下部川の将来的な包括的河川占用の検討 地域での活用 下部観光協会と連携した事業実施 スポーツ健康増進施設との連携 下部観光協会事業補助金 2,200,000円 一色ホタルまつり実行委員会補助金 90,537円 観光パンフレット作製事業 398,000円 夏花火大会事業 632,500円 冬花火大会事業 423,500円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,806</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,806</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,806	計	3,806			<p>・4月28日にスポーツ健康増進施設がオープンしたほか、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、下部温泉郷の観光客数は徐々に回復している。 ・ウィズコロナの取り組みとして行われていた夏花火・冬花火を同様に実施し、誘客を図った。</p>		
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,806																		
計	3,806																		
令和6年度 (2024)	<p>◆ 魅力ある観光地づくりに向けた有効的な土地利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 下部川の将来的な包括的河川占用の検討 地域での活用 下部観光協会と連携した事業実施 下部観光協会事業補助金 2,200,000円 下部温泉郷観光パンフレット作製事業 575,000円 下部温泉ホーミページリニューアル(インバウンド対応)事業 100,000円 夏花火大会事業 775,500円 下部温泉郷スタンプラリームービー事業 430,000円 誘客関係イベント実行委員会(一色ホタル)への補助金 100,000円 スポーツ健康増進施設(しまべの湯)との連携 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,281</td></tr> <tr><td>計</td><td>4,281</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	4,281	計	4,281			<p>・外国人観光客の増加を踏まえ、下部温泉ホームページを多言語対応に改修した。 ・スポーツ健康増進施設へのパンフレット掲出や下部温泉をPRするラジオCMやSNS(インスタグラム・インフルエンサー)広告を実施したほか、夏花火も定着し、温泉郷への誘客が図られた。 ・下部温泉郷内の観光施設をPRし、温泉郷の賑わい創出を図るため、下部温泉郷内10箇所にスタンプ台を設置し、スタンプラリーを開始した。</p>		
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	4,281																		
計	4,281																		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 魅力ある観光地づくりに向けた有効的な土地利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下部川の将来的な包括的河川占用の検討 ・地域での活用 ・下部観光協会と連携した事業実施 ・下部観光協会事業補助金 2,200,000円 ・下部温泉郷観光パンフレット作製事業 450,000円 ・夏花火大会事業 775,500円 ・一色ホタル誘客対策業務 200,000円 ・スポーツ健康増進施設(しもべの湯)との連携 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,626</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,626</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,626	計	3,626		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,626																		
計	3,626																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 魅力ある観光地づくりに向けた有効的な土地利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下部川の将来的な包括的河川占用の検討 ・地域での活用 ・下部観光協会と連携した事業実施 ・スポーツ健康増進施設(しもべの湯)との連携 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,400</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,400	計	2,400		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	2,400																		
計	2,400																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	1	地域に根ざした雇用の創出				担当課											
基本的方向	1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大				観光課											
施策内容	(2)	下部温泉の魅力アップ															
アクション	(②)	下部温泉郷活性化に向けた取り組みとして「新・湯治」の推進を行います。															
施策のKPI (成果目標)	入湯税課税人数 (課税人を令和8年度までに105,000人以上にする)		出典元	税務課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	87,805人 105,000人以上											
■実施内容	◎ 環境省の「新・湯治」推進の取り組みへ参画する。 ◎ 観光情報サイトやSNSを活用し、幅広い世代に向けた効果的なPRを実施する。																
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善												
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の提唱する「チーム 新・湯治」への参画を目指し、下部温泉郷を中心とした組織(枠組み)の創設検討 ・身延町版「新・湯治」の在り方を検討 「チーム 新・湯治」の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉地活性化に向けた団体、企業、自治体等のネットワークづくり ・環境省主催のセミナー等への参加 ・全国温泉地サミットへの参加 ・環境省HPへの掲載 ・温泉地活性化に関する関係省庁の取組等の案内を参考に実施する 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> KPI実績 42,033人 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			<ul style="list-style-type: none"> ・下部観光協会を中心とした「チーム新・湯治」への参画への枠組みを検討。 ・コロナ禍により、地元や関係団体との調整ができなかったため、令和3年度以降アフターコロナを見据える中で、「チーム新・湯治」への参画に向け、調整と検討を進めていく。
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
計	0																
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の提唱する「チーム 新・湯治」への参画を目指し、下部温泉郷を中心とした組織(枠組み)の創設検討 ※ 前年度から引き継ぐ取り組みを行う 「チーム 新・湯治」の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉地活性化に向けた団体、企業、自治体等のネットワークづくり ・環境省主催のセミナー等への参加 ・全国温泉地サミットへの参加 ・環境省HPへの掲載 ・温泉地活性化に関する関係省庁の取組等の案内を参考に実施する 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> KPI実績 45,110人 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
計	0																
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の提唱する「チーム 新・湯治」への参画を目指し、下部温泉郷を中心とした組織(枠組み)の創設検討 ※ 前年度から引き継ぐ取り組みを行う 「チーム 新・湯治」の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・参画等について検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> KPI実績 61,210人 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ期における、「チーム 新・湯治」の取り組みを注視する中で、下部温泉郷の関係団体が一丸となって参画することができるか、下部観光協会を中心には参画の可否も含め、検討を進める。
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
計	0																
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の提唱する「チーム 新・湯治」への参画を目指し、下部温泉郷を中心とした組織(枠組み)の創設検討 ※ 前年度から引き継ぐ取り組みを行う 「新・湯治」の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・身延町独自の取り組みについて検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> KPI実績 132,088人 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
計	0																
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境省が提唱する「新・湯治」推進に向けた具体的な取り組みについて検討する。 ※ 前年度から引き継ぐ取り組みを行う 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> KPI実績 151,774人 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナの観光周遊の取り組みに向け、下部観光協会だけでなく身延町観光協議会で情報共有するなか検討を進める。
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
計	0																

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 ・ 環境省が提唱する「新・湯治」推進に向けた具体的な取り組みについて検討する。 ※ 前年度から引き続く取り組みを行う ・ 事業費未定	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 環境省「新・湯治」への取り組みの検討 ・ 環境省が提唱する「新・湯治」推進に向けた具体的な取り組みについて検討する。 ※ 前年度から引き続く取り組みを行う ・ 事業費未定	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	1	地域に根ざした雇用の創出				担当課	
基本的方向	1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大				観光課	
施策内容	(3)	町内観光施設・事業所などの魅力アップ					
アクション	①	町内観光施設・事業所の魅力が伝わるプロモーション活動を実施し、誘客を図ります。プロモーション活動ではスマートフォン位置情報による人流データやデジタル媒体を活用し、広く効果的なPRを行います。また、電気自動車で訪れる観光客に対応するためEVスタンドの維持及び整備検討を行います。					
施策のKPI (成果目標)	身延町各観光施設への入込客数(入込客数を令和8年度までに595,000人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 平成30年度(2018)	496,611人	
■実施内容	◎「知ってもらう」「来てもらう」ためのプロモーション活動を行う。 ◎人流データを活用し、デジタル媒体を利用した効果的なPRを行う。 ◎EVスタンドの維持及び利用統計からの整備を検討する。 ◎町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業費への補助金を交付する。				目標値 令和8年度(2026)	595,000人以上	
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の検討 ・戦略的なプロモーション活動の実施 ・中部横断自動車道開通を見据えた効果的・積極的なPRの実施 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討実施 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	6,200 5,958 12,158	6,200 5,850 12,050	KPI実績 351,726人	・コロナ禍により、緊急事態宣言が幾度となく発出され本町を訪れる観光客が激減した。 ・国の臨時交付金を活用し ①ゆるキャン△ラッピングミネラルウォーターの作成及び来訪客へのノベルティのプレゼント事業 ②中部横断自動車道全線開通を見据えたドライブマップの作成などの事業を展開した。	
令和3年度 (2021)	◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の創設 ・戦略的なプロモーション活動の実施 ・中部横断自動車道開通に対する効果的・積極的なPRの実施 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付要綱の検討実施 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言 ・観光情報webサイト構築 ・SNSを活用した観光情報の発信	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	15,700 20,931 36,631	15,700 18,664 34,364	KPI実績 335,193人	・コロナ禍により観光キャンペーン等によるPR事業の展開ができなかつたが、非接触型の観光PR方法として、観光WEBサイトの構築や、SNSを活用した観光情報発信に取り組んだ。 【国の臨時交付金事業】 ・観光誘客PR広告事業 ・観光WEB構築運用事業 ・観光インスタグラム運用事業 ・観光PR動画作成 ・デジタルサイネージ購入事業 【観光宣伝事業】 ・観光パンフ「ディスカバーアー身延」増刷 ・広告宣伝事業 等	
令和4年度 (2022)	◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の実施 ・戦略的なプロモーション活動の実施 6,245,800円 ・中部横断自動車道開通に対する効果的・積極的なPRの実施 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 121,000円 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討実施 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言 ・観光情報webサイト運用 2,734,160円 ・SNSを活用した観光情報の発信 2,996,400円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	11,991 11,991	12,097 12,097	KPI実績 385,759人	・コロナ禍における行動制限の解除に伴い、観光客が回復傾向にあったことから、観光キャンペーンの実施とともに、令和3年度に構築した観光WEBサイト、SNSを活用した観光情報発信を行い、定着を図った。	
令和5年度 (2023)	◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の実施 ・戦略的なプロモーション活動の実施 10,193,400円 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 121,000円 (既存協定終了年度) ・観光情報webサイト運用等 3,718,000円 ・SNSを活用した観光情報の発信 2,889,920円 ・人流データ計測システム 1,650,000円 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討実施 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	19,369 19,369	18,572 18,572	KPI実績 503,788人	・新型コロナウィルスの収束に伴い、観光客の増加が見込まれたため、webサイト、SNSを活用した観光情報の発信を行うとともに、デジタル媒体での広告配信を重点的に実施した。また、広告配信には、本年度から導入した人流データ計測システムから得られたデータを、広告配信のエリア設定、配信対象者設定に活用したことで、閲覧数が増加し、効果的な広告配信につながった。 ・スマートフォンやデジタルサイネージなどで有効に活用できるな縦型の観光PR動画を作成した。	
令和6年度 (2024)	◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の実施 ・戦略的なプロモーション活動の実施 9,541,500円 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 121,000円 (協定継続) ・観光情報webサイト運用等 2,486,000円 ・SNSを活用した観光情報の発信 3,311,880円 ・人流データ計測システム 1,435,500円 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,966 17,966	16,896 16,896	KPI実績 ※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載	・WEBサイト、SNSを活用した観光情報の発信を行うとともに、デジタル媒体での広告配信を重点的に実施した。また、広告配信には、人流データ計測システムから得られたデータを、広告配信のエリア設定、配信対象者設定に活用し、効果的な広告配信につながった。 ・R6年度に制作した、縦型の観光PR動画を活用した広告配信を実施するとともに、デジタルサイネージでの活用にもつながった。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的なプロモーション活動の実施 8,989,000円 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 209,000円 ・観光情報webサイト運用 2,420,000円 ・SNSを活用した観光情報の発信 3,398,450円 ・人流データ計測システムの活用 1,485,000円 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	16,502		
		計	16,502	0	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 観光資源のPR及び魅力アップ事業への補助金制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的なプロモーション活動の実施 ・EVスタンドの維持及び利用統計からの新規整備検討 ・観光情報webサイト運用 ・SNSを活用した観光情報の発信 ・町内観光施設・事業所が実施する魅力アップ事業への補助金交付制度の検討 ・ゆるキャン△の活用による観光施設・事業所などの魅力アップ事業の実施・助言 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	15,916		
		計	15,916	0	
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 企画政策課 観光課	
基本的方向		1-3	観光資源の魅力アップと環境整備により観光産業を拡大					
施策内容		(4)	観光客等に対する情報提供の充実					
アクション		①	見やすく利用しやすいホームページの構築に努め利用者に分かりやすく観光情報等を発信します。					
■実施内容	◎掲載記事の登録編集操作の職員への研修や観光ページへの誘導バナー作成等を行い、利用者に分かりやすく観光情報等を発信します。 WEB広告及びSNS等と身延町ホームページを連携させイベント情報・特産品情報等を発信する。		施策のKPI (成果目標)	ホームページの各種観光関連ページの訪問数(訪問数を令和8年度までに300,000回以上にする)	出典元 企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	153,413回 300,000回以上	
年度	内 容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信 -掲載記事の登録編集操作の職員への研修 -観光ページへの誘導バナー作成 -WEB広告費</p> <p>維持費 -ホームページの管理運用(保守)</p>		1,430,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,845 2,651	KPI実績 223,764回	ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる更新予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により、システム開発が遅れ更新できなかった。 開発完了次第、更新を行う。	
令和3年度 (2021)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信 -掲載記事の登録編集操作の職員への研修</p> <p>維持費 -ホームページの管理運用(保守) -OSのサポート終了に伴う機器改修</p>		1,221,000円 137,280円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,886 1,358	KPI実績 159,287回	夏の観光シーズンに新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発出された影響もあり、アクセス数は前年を下回った。 新年度に向けて楽しく分かりやすい公式観光情報サイト「みのラブ」を新規に開設した。 ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる機器の更新を行った。	
令和4年度 (2022)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信 -掲載記事の登録編集操作の職員への研修 -観光ページへの誘導バナー作成</p> <p>維持費 -ホームページの管理運用(保守)</p>		1,353,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353 1,353	KPI実績 196,864回	新型コロナウイルス感染症の制限緩和に伴い観光需要も大きく増加した結果、観光関連ホームページのアクセス数は前年を大きく上回った。 しかしながら目標値には若干届かなかつた。 公式観光情報サイト「みのラブ」と連携をしつつ観光関連情報の充実を図っていく。	
令和5年度 (2023)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信 -掲載記事の登録編集操作の職員への研修 -観光ページへの誘導バナー作成 -WEB広告費</p> <p>維持費 -ホームページの管理運用(保守)</p>		1,353,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353 1,353	KPI実績 150,145回	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い観光需要も大きく増加したが、観光関連ホームページのアクセス数は前年を下回る結果となった。 「みのラブ」の充実により直接「みのラブ」を閲覧する影響も考えられる。 今後も公式観光情報サイト「みのラブ」と連携をしつつ観光関連情報の充実を図っていく。	
令和6年度 (2024)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信 -掲載記事の登録編集操作の職員への研修 -観光ページへの誘導バナー作成 -WEB広告費</p> <p>維持費 -ホームページの管理運用(保守)</p>		1,353,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353 1,353	KPI実績 114,645回	観光関連ホームページのアクセス数は前年を下回る結果となった。 「みのラブ」の充実により直接「みのラブ」を閲覧する影響も考えられる。 今後も公式観光情報サイト「みのラブ」と連携をしつつ観光関連情報の充実を図っていく。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善												
令和7年度 (2025)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載記事の登録編集操作の職員への研修 ・観光ページへの誘導バナー作成 ・WEB広告費 <p>維持費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理運用(保守) 	1,353,000円	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,353</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,353</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,353	計	1,353	0	
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	1,353																
計	1,353																
		KPI実績	年度末の実績を記載														
令和8年度 (2026)	<p>◆ 見やすいHPの構築による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載記事の登録編集操作の職員への研修 ・観光ページへの誘導バナー作成 ・WEB広告費 <p>維持費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理運用(保守) 	1,353,000円	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,353</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,353</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,353	計	1,353	0	
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	1,353																
計	1,353																
		KPI実績	年度末の実績を記載														
横断的な取り組みの状況																	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					
施策内容		(5)	ニューソーリズムなど新たな観光の推進					
アクション		①	地域の観光資源を生かした体験・受け入れ体制の整備を行います。また、観光情報サイトやSNS等のデジタル媒体を活用し施設の魅力の効果的な発信を推進します。					
施策のKPI (成果目標)		みのぶ自然の里への入込客数(入込客数を令和8年度までに4,000人以上にする		出典元	観光課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	3,043人 4,000人以上	
■実施内容		◎ 地域の観光資源を生かした体験・受け入れ体制の整備を行う。 ◎ 観光情報サイトやSNSを活用し、幅広い世代に向けた効果的なPRを実施する。						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成 - みのぶ自然の里の指定管理による運営及び魅力ある体験プランの作成 - トレイルランニングコース(遊歩道)整備、イベント実施 - 下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売PR活動実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	13,000 13,000	10,468 10,468	・コロナ禍により、緊急事態宣言が幾度となく発出され入込客数が昨年度比3割減となった。 ・キャンプ場をメインとし、宿泊棟ではセミグランピングを柱としたメニューで対応。 ・各種体験、アウトドアクッキング、BBQ検定など、コロナ対策を取りつつ自主事業を展開した。		
			KPI実績	2,234人				
令和3年度 (2021)	◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成 - みのぶ自然の里の指定管理による運営 10,000,000円 - みのぶ自然の里の維持 - みのぶ自然の里での魅力ある体験プランの作成 - 体験プラン実施環境の整備 - 各種体験イベント実施 - 下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売PR活動実施検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	14,373 14,373	13,889 13,889	・合同会社森の学び舎を指定管理者とし、観光客の増加に向けた体験型プランを造成し、施設運営が行われている。また、コロナウィルス感染対策を徹底する中で、うどん店の開設や特産品のあけぼの大豆を取り入れた新製品の開発などに取り組んでいる。 ・観光推進の拠点施設として位置付け、観光客の増加、観光による町づくりを行うため、今後も町内観光事業者との連携、各種周遊プランを造成し、事業を進めていく。また、近年のアウトドアニーズを捉えた、運営方法を検討し、事業展開していく。		
			KPI実績	2,668人				
令和4年度 (2022)	◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成 - みのぶ自然の里の指定管理による運営 9,600,000円 - みのぶ自然の里の維持 1,758,786円 - みのぶ自然の里での魅力ある体験プランの作成 - 体験プラン実施環境の整備 226,000円 - 各種体験イベント実施 - 下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売PR活動実施検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	11,553 11,553	11,585 11,585	・農泊体験等の体験型プランや林間学校・合宿等の学校利用の受入等幅広い客層を受け入れた。また、県事業によるデジタルデトックスキャンプの会場に選定される等新たな客層の開拓に努めた。 ・あけぼの大豆を取り入れた商品開発を継続して行った他、キッチンカーを導入し町内外イベントにてあけぼの大豆カレーの販売を行う等、身延町と施設のPRする等の自主事業を開拓した。 ・映画「ゆるキャン△」のロケ地として協力したことによりキャンプ客を倍増させた。また施設利用客以外でも750名以上の見物客があり、施設の周辺にも繋がった。		
			KPI実績	3,603人				
令和5年度 (2023)	◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成 - みのぶ自然の里の指定管理による運営 8,800,000円 - みのぶ自然の里修繕費 19,210,180円 - みのぶ自然の里賃借料 1,038,708円 - みのぶ自然の里備品購入費 258,000円 - みのぶ自然の里での魅力ある体験プランの作成 - 各種体験イベント実施 - 下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売PR活動実施検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	20,209 20,209	27,507 29,307	・指定管理者「合同会社森の学び舎」が「合同会社manabiyā」に社名を変更した。 ・農泊体験等の体験型プランや林間学校・合宿等の学校利用のほか、県や通信高校、一般社団法人等によるデジタルデトックスキャンプの会場として利用され、自然を求める新たな客層の開拓に取り組んだ。教育機関との連携を図り、校外学習場所としての定着を目指す。 ・2022年に上映した映画「ゆるキャン△」のロケ地として協力したことにより、上映直後に比べキャンプ利用客は減少しているが、未だ多くの人に利用されている。		
			KPI実績	2,710人				
令和6年度 (2024)	◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成 - みのぶ自然の里の指定管理による運営 7,000,000円 - みのぶ自然の里修繕費 1,826,449円 - みのぶ自然の里賃借料 1,038,708円 - 各種体験イベント実施 - 下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売PR活動実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,871 9,871	9,866 9,866	・継続していく集客、リピート性の高い集客を考え「目的地観光」を農作業中心に取り入れた活動を実施。 ・教育機関の校外学習場所として、農×キャンプの常設宿泊プラン(主に子ども達対象)を提供。 ・その他、農ケーション、有機農業学習宿泊プランを、移住や二拠点居住希望者を対象にして、実施した。		
			KPI実績	1,527人				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのぶ自然の里の指定管理による運営 6,000,000円 ・みのぶ自然の里消耗品費 62,000円 ・みのぶ自然の里修繕費 2,722,000円 ・みのぶ自然の里賃借料 1,039,000円 ・みのぶ自然の里での魅力ある体験プランの作成 ・各種体験イベント実施 ・下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,823</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,823</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	9,823	計	9,823		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	9,823																		
計	9,823																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ みのぶ自然の里の魅力ある体験プランの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのぶ自然の里の指定管理による運営 ・みのぶ自然の里での魅力ある体験プランの作成 ・各種体験イベント実施 ・下部、身延山観光協会と連携した着地型観光商品の旅行業者への販売 PR活動実施 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>8,539</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,539</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	8,539	計	8,539		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	8,539																		
計	8,539																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					
施策内容		(6)	インバウンド観光の推進					
アクション		①	外国人向け多言語(英語・中国語・韓国語等)パンフレット等を作成するとともに、受け入れ体制を整備します。また、デジタル媒体を活用したインバウンド観光客向けの情報発信を推進します。					
施策のKPI (成果目標)		外国人観光客宿泊者数(入込客数を令和8年度までにコロナ禍以前の水準(平成30年度)6,447人に回復させる)		出典元 山梨県入込客数統計調査	基準値 平成30年度(2018)	6,447人		
					目標値 令和8年度(2026)	6,447人		
■実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 外国人向け多言語(英語・中国語・韓国語)パンフレット等を作成する。 ◎ 外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信を実施する。 ◎ インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用を補助する。 ◎ デジタル媒体を活用したインバウンド観光客向けの情報発信を推進する。 						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度及び情報発信の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の検討実施 ・令和元年度作成外国人向け英語パンフレットの多言語化検討実施 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信の検討実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			<p>・コロナ禍により、緊急事態宣言が幾度となく発出され本町を訪れる外国人観光客が前年比8.5割減となった。</p> <p>・コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況により、インバウンド観光客の入込も今後どう展開していくか不透明であるが、国や県の補助金を有効活用し、アフターコロナ期のインバウンド観光客への対応を進めていく。</p>			
令和3年度 (2021)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度の検討及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の検討 ・令和元年度に作成した外国人向け英語パンフレットの多言語化実施 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 ・多言語に対応した町内案内看板と本栖湖の紹介看板を設置 2,624,000円 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,373 1,312	1,312	<p>・コロナ禍により、緊急事態宣言やまん延防止措置が幾度となく発出され、外国人の観光目的の入国も厳しく制限された。</p> <p>・コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、インバウンド観光客の受け入れが進みつつある。このため、外国人観光スポットの一つである本栖湖西岸に、多言語の町内案内看板と本栖湖の紹介看板を設置し、ウィズコロナ期におけるインバウンド観光対応を図った。</p>			
令和4年度 (2022)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度の検討及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の検討 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			<p>・コロナ禍により、外国人観光客の入国が引き続き制限されていたが、感染症の収束と共に、徐々にインバウンド観光の受入が回復しつつある。コロナ期の反動により、海外からの観光需要の高まりが予想されるため情報発信等の強化を検討していく。</p>			
令和5年度 (2023)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度の検討及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の検討 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			<p>・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行及び円安の影響により、全国的に外国人観光客が急増しているため、インバウンドに対応したパンフレットの作成や案内看板の改修・設置、SNSを活用した情報発信を検討していく。</p>			
令和6年度 (2024)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度の検討及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の検討 ・インバウンド対応パンフレット制作 891,000円 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	891 891 891	891	<p>・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行及び円安の影響により、全国的に外国人観光客が急増しているため、インバウンドに対応したパンフレットの作成や案内看板の改修・設置、SNSを活用した情報発信を検討していく。</p>			
		KPI実績	※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度の創設及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度の創設 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
		計	0	0	
令和8年度 (2026)	<p>◆ インバウンド観光客向け補助金交付制度及び情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客受け入れのための案内看板設置・印刷物作成等費用に対する補助金交付制度実施 ・町内在住の外国語に長けた人材によるSNSを活用した情報発信実施 ・事業費未定 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
		計	0	0	
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	1	地域に根ざした雇用の創出					担当課														
基本的方向	1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					観光課														
施策内容	(6)	インバウンド観光の推進																			
アクション	②	観光案内所を開設し、インバウンド観光客対応のため、外国語に長けた人財を配置します。また、インバウンド観光客受け入れのための事業者向けの研修会を実施します。																			
施策のKPI (成果目標)	外国人観光客宿泊者数(入込客数を令和8年度までにコロナ禍以前の水準(平成30年度)6,447人に回復させる)		出典元	山梨県入込客数統計調査	基準値 平成30年度(2018)	6,447人															
■実施内容	◎ インバウンド観光客に対応した観光案内所を設置する。 ◎ インバウンド観光客受け入れ対応に向けた事業者研修会を実施する。																				
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,400,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の導入検討実施 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討実施 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,900</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>554人</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,900	計	3,900	KPI実績	554人			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、緊急事態宣言が幾度となく発出され本町を訪れる外国人観光客が前年比8.5割減となった。 ・観光案内所を訪れたお客様は、5,626人で国内観光客がほとんどであった。このため、町内の観光スポットを紹介し、更なる滞在時間の延長を目指した。 		
国庫支出金																					
県支出金																					
地方債																					
その他																					
一般財源	3,900																				
計	3,900																				
KPI実績	554人																				
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,900</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>84人</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,900	計	3,900	KPI実績	84人			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、緊急事態宣言やまん延防止措置が幾度となく発出され、外国人の観光目的の入国も厳しく制限された。 ・観光案内所を訪れたお客様は、5,776人で国内観光客がほとんどであった。このため、昨年と同様に町内の観光スポットを紹介し、更なる滞在時間の延長を目指した。 		
国庫支出金																					
県支出金																					
地方債																					
その他																					
一般財源	3,900																				
計	3,900																				
KPI実績	84人																				
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,900</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>231人</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,900	計	3,900	KPI実績	231人			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、外国人観光客の入国が引き続き制限されていたが、感染症の収束と共に、徐々にインバウンド観光の受入が回復しつつある。コロナ期の反動により、海外からの観光需要の高まりが予想されるため受け入れ対応の強化を検討していく。 		
国庫支出金																					
県支出金																					
地方債																					
その他																					
一般財源	3,900																				
計	3,900																				
KPI実績	231人																				
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>3,723</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,900</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>2,782人</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他	3,723	一般財源	3,900	計	3,900	KPI実績	2,782人			<ul style="list-style-type: none"> ・本栖湖にあるみのぶ観光案内所を訪れた観光客7,198人のうち、外国人観光客は723人だった。 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行及び円安の影響により、全国的に外国人観光客が急増しているため、引き続きインバウンド対応の強化に取り組んでいく。 		
国庫支出金																					
県支出金																					
地方債																					
その他	3,723																				
一般財源	3,900																				
計	3,900																				
KPI実績	2,782人																				
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,900</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,900	計	3,900	KPI実績	※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載			<ul style="list-style-type: none"> ・本栖湖にあるみのぶ観光案内所を訪れた観光客7,369人のうち、外国人観光客は1,445人だった。 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行及び円安の影響により、全国的に外国人観光客が急増しているため、引き続きインバウンド対応の強化に取り組んでいく。 		
国庫支出金																					
県支出金																					
地方債																					
その他																					
一般財源	3,900																				
計	3,900																				
KPI実績	※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載																				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	3,900		
		計	3,900	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ インバウンド観光客受け入れ対応の実施及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光客に対応する観光案内所への人員配置 3,900,000円 ・インバウンド観光客対応研修の実施検討 ・インバウンド観光客の利便性向上のための音声翻訳機の追加導入検討 ・インバウンド観光客のサポート組織(人材)の設置検討 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	3,900		
		計	3,900	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					
施策内容		(7)	町の公共施設にWi-Fi環境の整備					
アクション		①	町内の公共施設にWi-Fiを設置し、観光客の利便性を高めます。					
施策のKPI (成果目標)		Wi-Fiスポットアクセス数(アクセス数を令和8年度までに70,000回以上にする)		出典元	日本ネットワークサービス(株)	基準値 平成30年度(2018)	41,499回	
						目標値 令和8年度(2026)	70,000回以上	
■実施内容		(◎ 観光地にWi-Fiスポットを整備する。						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の実施 ・設置施設 12箇所 設置数 13台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討実施 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、本栖湖観光案内所、身延駅前、下部温泉駅前		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,039 1,038	1,039 1,038	・コロナ禍により、緊急事態宣言が幾度となく発出され本町を訪れる観光客は激減した。 ・このため、wifiスポットアクセス数も伸びなかった。しかし、アフターコロナ期の観光客のフリーwifiスポット需要は高まると予想されるため、今後も新規アクセススポットの設置を検討していく。 ・R2新規アクセススポット→本栖湖観光案内所		
			KPI実績	63,728回				
令和3年度 (2021)	◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討 ・設置施設 12箇所 設置数 13台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討実施 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	227 227	217 217	・コロナ禍により、緊急事態宣言やまん延防止措置が幾度となく発出され、観光客の回復は期待値には届かなかった。 ・wifiスポットアクセス数については、前年度と比較し減少した。ウィズコロナ期におけるフリーwifiスポット需要は高まると予想されるため、今後も新規アクセススポットの設置を検討していく。		
			KPI実績	59,973回				
令和4年度 (2022)	◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討 ・設置施設 12箇所 設置数 13台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討実施 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	684 684	684 684	・長引くコロナ禍により、観光客数は期待値には届かなかっただが、着実に回復傾向にある。 ・wifiスポットアクセス数については、前年度と比較し増加した。フリーwifiスポット需要も高まると予想されるため、今後も新規アクセススポットの設置を検討していく。		
			KPI実績	68,563回				
令和5年度 (2023)	◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討 ・設置施設 13箇所 設置数 14台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、すこやかセンター、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討実施 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,025 1,025	1,015 1,015	・観光客数は回復傾向にある。 ・wifiスポットアクセス数については、データの無い3か月間を除くと、前年度と比較しほぼ横ばいとなった。インバウンド等の拡大やイベントの再開等により、フリー wifiスポット需要も高まると予想されるため、今後も新規アクセススポットの設置を検討していく。		
			KPI実績	49,566回				
令和6年度 (2024)	◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討 ・設置施設 13箇所 設置数 15台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、すこやかセンター2基、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所(三門)、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討 6箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,107 1,107	1,107 1,107	・観光客数の増加により利用者が増えた。 ・Wi-Fiスポットアクセス数については、R6.4月～5月分についてはデータが無い。 ・設置施設11箇所の内(※)、9箇所で増加した。フリーWi-Fiスポットの需要は今後も拡大すると予想されるため、今後も新規アクセススポットの設置を検討する。 ※「道の駅しもべ」と「自然の里」については指定管理者が費用負担しているためデータ無し。		
			KPI実績	329,756回				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																		
令和7年度 (2025)	<p>◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置施設 13箇所 設置数 14台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、すこやかセンター、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,107</td><td>1,107</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,107</td><td>1,107</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	1,107	1,107	計	1,107	1,107			
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	1,107	1,107																					
計	1,107	1,107																					
令和8年度 (2026)	<p>◆ 観光客受け入れのためのWi-Fiスポット維持・整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置施設 13箇所 設置数 14台 (役場本庁舎、身延支所、下部支所、すこやかセンター、和紙の里、金山博物館、道の駅しもべ、身延山観光案内所、本栖湖駐車場、ゆばの里、みのぶ自然の里、旧下部中学校2基、本栖湖観光案内所) ・新規設置箇所の検討 5箇所 身延山門前町、富士川クラフトパーク、門内仲町駐車場、身延駅前、下部温泉駅前 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,107</td><td>1,107</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,107</td><td>1,107</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	1,107	1,107	計	1,107	1,107			
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	1,107	1,107																					
計	1,107	1,107																					
横断的な取り組みの状況																							

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1 地域に根ざした雇用の創出				担当課 観光課	
基本的方向		1-3 観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大					
施策内容		(8) しだれ桜の里づくり事業を活用したクラフトパークとの連携					
アクション		① 町内全域へ計画的にシダレザクラを植栽することで町のイメージアップを図り、デジタル媒体も活用したPRにより観光に結び付けます。					
■実施内容	◎ 町内全域へ計画的に町の木であるシダレザクラを植栽し、町のイメージアップを図りデジタル媒体も活用したPRにより観光に結び付けます。		施策のKPI (成果目標)	しだれ桜の里づくり事業苗木配布要綱による配布本数(配布本数を毎年度100本以上にする)	出典元 観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	90本 100本以上/毎年度
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ しだれ桜の里づくり事業の実施 - クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ5,243本+R01植栽完了予定38本 - しだれ桜の里づくり苗木配布事業 - しだれ桜植栽工事 - クラフトパーク(自然観察の森)の排水及び遊歩道整備計画 - クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業の検討・実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	44,198 44,198	43,129 43,129	- クラフトパークに植栽したシダレザクラは、適切な維持管理により順調に成長している。 - 大きな災害がなかったため、園路の大規模修繕はなかった。 - シダレザクラの苗木を101本配布し、町内各所に植栽することができた。 - 自然観察の森の管理運営計画を策定し、今後、計画に沿った整備を進めていく。	
令和3年度 (2021)	◆ しだれ桜の里づくり事業の実施 - クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ5,915本 - しだれ桜の里づくり苗木配布事業 69本 - しだれ桜植栽工事 - クラフトパーク(自然観察の森)の園路整備事業 - クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 - キッチンカー等の設置によるイベントの検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	10,000 11,100 16,394 43,208 53,208	10,000 12,313 49,807	- クラフトパークに植栽したシダレザクラは、適切な維持管理により順調に成長している。 - 策定した自然観察の森の管理運営計画に沿った、園路整備の第1期工事が完了した。 - シダレザクラの苗木を69本配布し、町内各所に植栽した。 - KPIの100本を達成することができなかつたが、日本一のしだれ桜の里を目指し、区や事業所等へ植栽に協力いただけるよう、PRに更に努める。	
令和4年度 (2022)	◆ しだれ桜の里づくり事業の実施 - クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ5,955本 - しだれ桜の里づくり苗木配布事業 40本 - しだれ桜植栽工事 - クラフトパーク(自然観察の森)の園路整備事業 - クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 - キッチンカー等の設置によるイベントの検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	10,000 18,398 44,736 54,736	7,000 13,756 39,154	- クラフトパークに植栽したシダレザクラは、適切な維持管理により順調に成長している。 - 策定した自然観察の森の管理運営計画に沿った、園路整備の第2期工事が完了した。 - シダレザクラの苗木を40本配布し、町内各所に植栽した。 - KPIの100本を達成することができなかつたが、日本一のしだれ桜の里を目指し、区や事業所等へ植栽に協力いただけるよう、PRに更に努める。	
令和5年度 (2023)	◆ しだれ桜の里づくり事業の実施 - クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ5,992本 - しだれ桜の里づくり苗木配布事業 37本 - しだれ桜植栽工事 - クラフトパーク(自然観察の森)の園路整備事業 - クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 - キッチンカー等の設置によるイベントの検討実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	10,000 18,276 44,021 54,021	7,000 500 43,776	- クラフトパークに植栽したシダレザクラは、適切な維持管理により順調に成長している。 - 策定した自然観察の森の管理運営計画に沿った、園路整備の第3期工事が完了した。 - シダレザクラの苗木を37本配布し、町内各所に植栽した。 - KPIの100本を達成することができなかつたが、日本一のしだれ桜の里を目指し、区や事業所等へ植栽に協力いただけるよう、PRに更に努める。 - 民間事業者主体の桜フェス実行委員会により、しだれ桜フェス2024in富士川クラフトパークが開催された。	
令和6年度 (2024)	◆ しだれ桜の里づくり事業及び新イベントの実施 - クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ - しだれ桜の里づくり苗木配布事業 - 定住者へのシダレザクラの苗木配布 - クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 - 観光客の誘客について、園内をカートで周遊の検討 - キッチンカー等の設置によるイベントの実施 - 身延山の観桜期と連携した誘客(周遊イベント)の実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	26,219 26,219	18,071 18,071	- クラフトパークに植栽したシダレザクラは、適切な維持管理により順調に成長している。 - シダレザクラの苗木を60本配布し、町内各所に植栽した。 - クラウドファンディング賛同者へは、ハガキにより現況報告を実施。 - 園内のカート周遊について走行試験を実施し、走行自体は可能であることを確認したが、傾斜のある園路においては、安全性を引き続き検証していく必要がある。 - 民間事業者主体の桜フェス実行委員会により、しだれ桜フェス2025in富士川クラフトパークが開催された。	
			KPI実績	37本	60本		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ しだれ桜の里づくり事業及びイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ ・しだれ桜の里づくり苗木配布事業 ・定住者へのシダレザクラの苗木配布 ・クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 ・観光客の誘客について、園内をカートで周遊の検討 ・キッチンカー等の設置によるイベントの実施 ・身延山の観桜期と連携した誘客(周遊イベント)の実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	23,415 23,415	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ しだれ桜の里づくり事業及び新イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラフトパーク(自然観察の森・サバイバルの森)の維持管理 シダレザクラ ・しだれ桜の里づくり苗木配布事業 ・定住者へのシダレザ克拉の苗木配布 ・クラウドファンディング賛同者へのフォロー事業実施 ・観光客の誘客について、園内をカートで周遊の検討 ・キッチンカー等の設置によるイベントの実施 ・身延山の観桜期と連携した誘客(周遊イベント)の実施 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	26,219 26,219	0	
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	1	地域に根ざした雇用の創出				担当課												
基本的方向	1-3	観光資源の魅力アップと環境整備による観光産業の拡大				観光課												
施策内容	(9)	近隣町との連携																
アクション	①	近隣町と連携した広域周遊ルートを作成し、観光客に向けてPRします。また、ホームページ等のデジタル媒体により、広域周遊ルートのPRを推進します。																
施策のKPI (成果目標)	身延町各観光施設への入込客数(入込客数を令和8年度までに595,000人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 平成30年度(2018)	496,611人												
					目標値 令和8年度(2026)	595,000人以上												
■実施内容	◎ 広域的な見地から峠南地域全域での観光推進を図り、観光地の活性化に繋げる。 ◎ ホームページ等のデジタル媒体により、広域周遊ルートのPRを推進する。																	
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善													
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのプラッシュアップ ・峠南地域道の駅ネットワークによる広域周遊ルートの作成 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>239</td></tr> <tr><td>計</td><td>239</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;">KPI実績</div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	239	計	239			351,726人	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	239																	
計	239																	
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのプラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討 ・各種協議会負担金 77,000円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>77</td></tr> <tr><td>計</td><td>77</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;">KPI実績</div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	77	計	77			335,193人	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	77																	
計	77																	
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのプラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討 ・峠南ネクスト共創会議 3,703,871円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>88</td></tr> <tr><td>計</td><td>88</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;">KPI実績</div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	88	計	88			385,759人	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	88																	
計	88																	
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのプラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討 ・峠南ネクスト共創会議 963,987円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,945</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,945</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;">KPI実績</div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,945	計	1,945			503,788人	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	1,945																	
計	1,945																	
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのプラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討(峠南ネクスト共創会議関係含む) ・峠南ネクスト共創会議 1,511,066円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,058</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,058</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-right: 10px;">KPI実績</div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,058	計	2,058	※山梨県入込客数統計調査の公表が11月頃のため、公表後記載年度末の実績を記載			
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	2,058																	
計	2,058																	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのブラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
			KPI実績	年度末の実績を記載	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 峠南地域における広域周遊ルートPRの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士川地域観光振興協議会と連携し、広域周遊ルートのPRについて検討実施 ・既存ルートのブラッシュアップ ・富士川地域観光振興協議会と連携したモデル事業実施検討 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
横断的な取り組みの状況			KPI実績	年度末の実績を記載	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 産業課		
基本的方向		1-4	地場産業の活性化とPRの強化を推進						
施策内容		(1)	ホームページの観光サイトの活用						
アクション		①	あけぼの大豆のPRを強化し、地産地消を推進すると共にデジタル媒体を活用した販路の拡大を進めます。						
施策のKPI (成果目標)		あけぼの大豆の生産量(大豆出荷等奨励金の交付数量・収穫体験者数から算出したあけぼの大豆の生産量を令和8年度までに38.0t以上にする)		出典元 産業課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	20.0t 38.0t以上			
■実施内容	◎ ホームページ・ネットショップ等を活用し、あけぼの大豆の情報を発信します。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 110,000 円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110	110	あけぼの大豆のブランドサイトにより、加工品の販売に加え、枝豆の販売を行い大幅な増収が図られた。 その都度内容の時点修正を行ったことで、消費者の購買意欲の促進につながった。		
令和3年度 (2021)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 110,000 円 ブランドサイト改修業務委託 440,000 円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	550	550	あけぼの大豆のブランドサイトのリニューアルを実施した。 加工品の販売に加え、枝豆の販売を行い大幅な増収が図られ、消費者の購買意欲の促進につながった。		
令和4年度 (2022)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 0 千円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	指定管理に伴い、あけぼの大豆のブランドサイトの運営、加工品の販売、枝豆の販売等は拠点施設に移管され、その収益は前年度より増額している。 生産量の減少については、気候の影響等による不作のため。		
令和5年度 (2023)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 0 千円 あけぼの大豆拠点施設の指定管理により、あけぼの大豆ブランドサイトも管理が移行しており、管理費用は指定管理料に含まれるため計上なし			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	高温少雨等気候の影響に伴う一部地域の著しい不作により、生産量は減少したが、あけぼの大豆のブランドサイトの運営、加工品の販売、枝豆の販売等は順調に推している。 今後は各種イベントでの展開を進める。		
令和6年度 (2024)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 0 千円 あけぼの大豆拠点施設の指定管理により、あけぼの大豆ブランドサイトも管理が移行しており、管理費用は指定管理料に含まれるため計上なし			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	生産量は増加したが、高温少雨等気候の影響に伴う一部地域の著しい不作や獣害により、種子販売数量の増加に比べると増加量は少なかった。あけぼの大豆のブランドサイトの運営、加工品の販売、枝豆の販売等は順調に推している。 今後は各種イベントでの展開を進めます。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ あけぼの大豆ブランドサイトにより、PRとネットショップによる加工販売の促進 ブランドサイト運用管理委託 0 千円 あけぼの大豆拠点施設の指定管理により、あけぼの大豆ブランドサイトも管理が移行しており、管理費用は指定管理料に含まれるため計上なし	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計					
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計					
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		地域に根ざした雇用の創出				担当課	
基本的方向		地場産業の活性化とPRの強化を推進				生涯学習課	
施策内容		(2) 西嶋和紙、和紙の里の活用推進					
アクション		① 県内外の学校等をはじめ、広く一般に向けて西嶋和紙や体験施設等の利用を働きかけます。					
施策のKPI (成果目標)		創作教室及び体験教室参加者数(参加者を令和8年度までに累計200名以上にする)		出典元	生涯学習課調査	基準値 令和2年度(2020) 目標値 令和8年度(2026)	
■実施内容		◎ 西嶋和紙や体験施設の利用を働きかける。 ◎ 販路拡大のためのキャンペーン参加に対する補助金交付。 ◎ 新商品開発や創作教室の開催によるブランド化。 ◎ 地場産業品(印章業)の活性化。 ◎ 民間活力の導入検討。					
年度	財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・県内外の学校に対し西嶋和紙や体験施設の利用働きかけ 町内小中学校への西嶋和紙購入及び書道展への出品経費 63,600円 ・県内外の学校等ダイレクトメールによるPR及び体験教室の実施 講師報償等経費 147,090円 ・販路拡大に向けた見本市等の、キャンペーン参加に要する経費に対して 补助金の交付 177,550円 ・西嶋和紙のブランド化を図るため、新商品の開発及び創作教室の実施 開発商品の購入及び創作教室開催経費 88,000円 ・町内の行事の記念品として印鑑を送り、印章業の活性化を図る機会にする 成人式の記念品として新成人、及び中学校卒業式の記念品として 178,500円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,600 1,600	654 654	KPI実績 45名		
令和3年度 (2021)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・県内外の学校に対し西嶋和紙や体験施設の利用働きかけ 町内小中学校への西嶋和紙購入及び書道展への出品経費 65,200円 ・県内外の学校等ダイレクトメールによるPR及び体験教室の実施 講師報償等経費 170,510円 ・販路拡大に向けた見本市等の、キャンペーン参加に要する経費に対して 补助金の交付 100,000円 ・西嶋和紙のブランド化を図るため、新商品の開発及び創作教室の実施 開発商品の購入及び創作教室開催経費 99,000円 ・町内の行事の記念品として印鑑を送り、印章業の活性化を図る機会にする 成人式の記念品として新成人、及び中学校卒業式の記念品として 184,800円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,564 1,564	620 620	KPI実績 39名 累計 84名		
令和4年度 (2022)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・県内外の学校に対し西嶋和紙や体験施設の利用働きかけ 町内小中学校への西嶋和紙購入及び書道展への出品経費 65,200円 ・県内外の学校等ダイレクトメールによるPR及び体験教室の実施 講師報償等経費 75,000円 ・販路拡大に向けた見本市等の、キャンペーン参加に要する経費に対して 补助金の交付 200,000円 ・西嶋和紙のブランド化を図るため、新商品の開発及び創作教室の実施 開発商品の購入及び創作教室開催経費 93,420円 ・町内の行事の記念品として印鑑を送り、印章業の活性化を図る機会にする 二十歳の集いの記念品として新成人、及び中学校卒業式の記念品として 160,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,352 1,352	593 593	KPI実績 39名 累計 123名		
令和5年度 (2023)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・地場産業品活用推進 二十歳の集いの記念品として印鑑を寄贈、また西嶋和紙を原料づくりから行う宿泊体験の経費 378,300円 ・西嶋和紙販路拡大事業 販路拡大に向けた経費に対する補助金など 300,000円 ・西嶋和紙普及促進PR事業 町内学校に対する書道展出品料及び半紙購入代 73,000円 ・西嶋和紙交流促進事業 西嶋和紙を使用したワークショップ開催経費 257,705円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,340 1,340	1,009 1,009	KPI実績 70名 累計 193名		
令和6年度 (2024)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・地場産業品活用推進 二十歳の集いの記念品として印鑑を寄贈 192,500円 ・西嶋和紙販路拡大事業 販路拡大に向けた経費に対する補助金 300,000円 ・西嶋和紙普及促進PR事業 町内学校に対する書道展出品料 93,600円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	827 827	587 587	KPI実績 0名 累計 193名		

年度		財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 県内外へ広く地場産業の西嶋和紙の活用をPR ・地場産業品活用推進 二十歳の集いの記念品として印鑑を寄贈(社会教育事業費) 214,500円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	・西嶋和紙販路拡大事業 販路拡大に向けた経費に対する補助金(商工総務費) 300,000円		702	0	
	・西嶋和紙普及促進PR事業 町内学校に対する書道展出品料 (地場産業の活性化とPR強化推進事業費)※学校教育課 187,500円	KPI実績	年度末の実績を記載		
		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
			0	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課 生涯学習課		
基本的方向		1-4	地場産業の活性化とPRの強化を推進						
施策内容		(2)	西嶋和紙、和紙の里の活用推進						
アクション		②	西嶋和紙の里を地域の活性化拠点として道の駅へリニューアルし、新たな民間活力の導入を目指します。また、地域活性化の拠点となるよう、デジタル技術を活用し民間と協働して取り組みます。		出典元 生涯学習課調査	基準値 令和4年度(2022)	16,000人		
施策のKPI (成果目標)		令和7年度までに道の駅へリニューアルし、道の駅への入込客数(入込客数を令和8年度までに70,000人にする)			目標値 令和8年度(2026)	70,000人			
■実施内容		◎ 24時間使用できる駐車場・トイレを整備する。 ◎ 既存施設(みすきふれあい館、味菜庵等)を改修する。 ◎ 新たな民間活力を導入する。 ◎ 道の駅へ登録する。							
年度				財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	KPI実績		
令和3年度 (2021)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	KPI実績		
令和4年度 (2022)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	KPI実績		
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道の駅に登録、リニューアル <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、トイレ等の設計業務 ・既存施設改修設計、改修コンセプト作成業務 ・道の駅整備支援業務 ・駐車場内民有地鑑定業務 ・駐車場内民有地の用地取得等 ・デジ田交付金施設整備計画作成支援業務 ・指定管理候補者の選定 ・道の駅基本整備計画の策定 ・道の駅登録に向けた関係機関との協議 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	12,944 23,166,000円 1,650,000円 218,900円 23,873,780円 4,565,000円 55,363	12,944 81,504 94,448	<p>道の駅登録と西嶋和紙の里リニューアルに向け道の駅整備計画を策定し、道の駅への登録に向け関係機関との協議を進めた。</p> <p>また、道の駅オープン後施設管理を行う指定管理候補者を選定し、リニューアルに向けた各種改修設計やコンセプト作成に協働して取り組み、令和6年度中の改修工事実施に向け準備を進めた。</p>		
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道の駅に登録、リニューアル <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場改修工事 ・トイレ新築工事(R5縁越分) ・既存施設改修工事 ・看板、案内標識等改修工事 ・複合遊具設置工事 ・その他工事 ・各種施工監理業務 ・その他業務委託 ・デジタルサイネージ機器設置設定業務 ・消耗品、光熱水等 ・備品類調達 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	153,560,000円 119,350,000円 371,800,000円 24,368,600円 20,557,900円 13,904,000円 18,286,000円 26,489,600円 5,797,000円 1,136,104円 10,979,000円 745,083	293,376 251,400 79,209 142,243 766,228	<p>各種改修設計等に基づき、駐車場改修工事、既存施設改修工事、24時間トイレ新築工事を実施した。</p> <p>また、令和7年8月には山梨県内22番目の道の駅として国土交通省から登録を受けた。</p> <p>令和6年12月議会において、指定管理候補者の(株)アルプスが指定管理者として選定され、令和7年1月から道の駅立ち上げ準備に取組み、4月18日にグランドオープンを迎えることができた。</p>		

年度		財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 道の駅オープン、運営開始 ・指定管理料 ・修繕費	28,000,000円 500,000円	国庫支出金		
			県支出金		
			地方債		
			その他		
			一般財源	28,500	
			計	28,500	0
			KPI実績	年度末の実績を記載	
令和8年度 (2026)	◆ 道の駅運営 ・指定管理料 未定 ・修繕費		国庫支出金		
			県支出金		
			地方債		
			その他		
			一般財源		
			計	0	0
			KPI実績	年度末の実績を記載	
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	1	地域に根ざした雇用の創出				担当課	
基本的方向	1-4	地場産業の活性化とPRの強化を推進				観光課	
施策内容	(3)	共通割引券の導入					
アクション	①	観光客などを対象に観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券を作成・配布し、各施設への誘導を図り利用者の増加に結び付けます。また、ホームページ等のデジタル媒体により、PRの強化を推進します。					
施策のKPI (成果目標)	各施設での割引券利用者数(利用者数を令和3年度から毎年500人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 500人以上/年度	
■実施内容	◎ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券を作成する。 ◎ ホームページ等のデジタル媒体により、PRの強化を推進する。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券の検討 ・各施設で使用できる割引券について事業内容を検討実施 ・導入施設等の調査実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	・導入施設の選定と合わせ、割引券の事業内容を検討し、令和3年度当初予算に計上した。		
令和3年度 (2021)	◆ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券の実施 ・割引券作成 5,000部 =78,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	586	78	・新型コロナウイルス感染症の収束を見込み、共通割引券を印刷し、導入予定施設との調整を進めていたが、緊急事態宣言やまん延防止措置の度重なる発出により、実施することができなかった。		
令和4年度 (2022)	◆ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券の実施 ・割引券 10,000部 ・割引分報償費 1,931人分 × 500円=965,500円 ・利用者数調査 換金枚数により調査 ・効果検証 券発行施設と券使用施設との券の流れから周遊状況を調査	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	792	965	・14施設で割引券を配布した(R4.4末～R5.3末)。5000枚配布、当初の目標換金率15%以上であったが、39%の換金があつた(割引券配布のキャンペーン6回実施)。ただし町内施設での周遊に全てが繋がつたとは言い難いので配布方法含め検討が必要。		
令和5年度 (2023)	◆ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券の実施 ・割引券作成 5,000部 57,200円 ・割引分報償費 611人分 × 500円=305,500円 ・利用者数調査 換金枚数により調査 ・効果検証 券発行施設と券使用施設との券の流れから周遊状況を調査	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	863	363	・14施設で割引券を配布した(R5.7～R6.2末)。5,000枚を配布し、12%の換金があつた。高速道路のサービスエリアで配布した際の換金率が比較的高く、町内への誘客、周遊に繋がっていることが確認できたので、引き続き事業を継続していきたい。		
令和6年度 (2024)	◆ 観光施設・地場産業関連施設等で使用できる割引券の実施 ・割引券作成 5,000部 70,400円 ・割引分報償費 204人分 × 500円=102,000円 ・利用者数調査 換金枚数により調査 ・効果検証 券発行施設と券使用施設との券の流れから周遊状況を調査	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	628	172	・14施設で割引券を配布した(R5.7～R6.2末)。5,000枚を配布し、換金は4%であつた。町内イベントで配布した際の換金率が高く町内の周遊に繋がっていることが確認できた。ネット広告キャンペーンでの配布も利用があつたので、引き続き事業を継続していきたい。	券70,400 報償102,000	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 観光施設・地場産業関連施設等使用割引券の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割引券作成 部数未定 ・利用者数調査 ・効果検証 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	628		
		計	628	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 観光施設・地場産業関連施設等使用割引券の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割引券作成 部数未定 ・利用者数調査 ・効果検証 	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	628		
		計	628	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		1	地域に根ざした雇用の創出				担当課			
基本的方向		1-5	地域産業の情報発信				企画政策課			
施策内容		(1)	地域産業求人活動の支援と情報発信							
アクション		①	町内企業の求人活動を支援します。また、ホームページ等デジタルを活用した企業情報を発信します。							
施策のKPI (成果目標)		有料広告掲載の取扱いに関する要綱を活用した求人情報発信件数の累計(件数を令和8年度までに累計100件以上にする)		出典元	有料広告掲載実績 (企画政策課調査)	基準値 令和2年度(2020)	開始			
						目標値 令和8年度(2026)	累計100件以上			
■実施内容	(◎) 町内企業の求人活動等について、デジタルを活用した情報発信することにより支援します。また、求職者の町内企業への就職のきっかけづくりとします。									
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 ・新たな取り組み「企業情報発信」の検討 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 実施方法の検討 			国庫支出金			広報みのぶ及びホームページに有料広告を延べ12件載せ、情報発信を行った。 また、広報みのぶに活躍する町内企業を掲載した。			
				県支出金						
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 ・新たな取り組み「企業情報発信」の検討 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 実施方法の検討 			地方債						
				その他						
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 ・新たな取り組み「企業情報発信」の実施 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 実施方法の検討 			一般財源						
				計	0	0				
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 ・新たな取り組み「企業情報発信」の実施 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 			KPI実績	12件	累計 21件				
				国庫支出金						
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 ・新たな取り組み「企業情報発信」の実施 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 			県支出金						
				地方債						
				その他						
				一般財源						
				計	0	0				
				KPI実績	12件	累計 33件				
				国庫支出金						
				県支出金						
				地方債						
				その他						
				一般財源						
				計	0	0				
				KPI実績	11件	累計 44件				
				国庫支出金						
				県支出金						
				地方債						
				その他						
				一般財源						
				計	0	0				
				KPI実績	9件	累計 53件				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> 求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 新たな取り組み「企業情報発信」の実施 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 予算未定 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> 求人情報の町民向け情報発信 広報みのぶ、ホームページ、封筒への有料広告を活用した情報発信。 ・身延町有料広告掲載の取扱いに関する要綱 ・身延町有料広告掲載基準 新たな取り組み「企業情報発信」の実施 町内企業の魅力を発信することにより認知度を高め、就業希望者へ町内企業への就職のきっかけづくりを行うことを目的とする 予算未定 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	2	町を元気にできる人財の育成				担当課	
基本的方向	2-1	地元高校と大学との連携事業への支援				企画政策課	
施策内容	(1)	「まちづくり」関連施策の共同研究					
アクション	①	施策等の提言を町に行える、地域を担う人財を育成するため、地元高校と大学が連携して行う研究事業を支援します。また、将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、調査研究会へ参加します。					
■実施内容	◎ 連携事業の共同研究活動を支援することで、町に関心を持ちまちづくりに参画できる人財の育成を図ります。また、若者の意見を聞くため高大連携事業へ参加します。		地元高校と大学の連携事業により研究したまちづくり研究の報告提案件数(提案件数を令和8年度までに累計10件以上にする)	出典元 企画政策課調査	基準値 令和2年度(2020)	開始	
					目標値 令和8年度(2026)	累計10件以上	
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。 - 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 研修費(15人) 町内 町外 資料作成 181,984円 11,616円</p> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、高大連携調査研究会へ参加する。 - 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	303 194	KPI実績 1件	<p>高大連携事業において町の活性化(地域貢献)をテーマに取り組みを研究している。 参加生徒は15名と多くの生徒が参加している。 今年度は、平成30年度から作成した「身延で働きたいあなたへ」、「身延で暮らしたいあなたへ」を継続し、「身延に関わりのあるあなたへ」として、進学先での費用や住みやすさ等について調査・比較をした冊子を作成した。 高校生が将来の生活をイメージできるものを調査・研究することで、定住に繋げる取組みとなっている。 まちづくりを担う若者が町づくりへの関心を高める良い機会となっているので、高校と連携を図りながら取り組みを推進していく。</p>	
令和3年度 (2021)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。 - 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 研修費(21人) 町内 町外 資料作成等 164,338円 74,250円 食糧費 17,180円 交通費 300円 計 181,818円 74,250円 256,068円</p> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、高大連携調査研究会へ参加する。 - 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	303 261	KPI実績 1件 累計 2件	<p>高大連携事業では町の活性化(地域貢献)をテーマに取り組みを研究しており、参加生徒は21名と多くの生徒が参加している。 令和3年度は、観光による地域活性化として「みのぶ道」を紹介するパンフレットを作成した。 高校生からはみのぶ道の活用について提案もあり、町でも広報や観光PRサイトへ掲載し、周知をしている。 まちづくりを担う若者が町づくりへの関心を高める良い機会となっているので、高校と連携を図りながら今後も事業への支援を行い取り組みを推進していく。</p>	
令和4年度 (2022)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。 - 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 研修費(21人) 町内 町外 資料作成等 5,313円 食糧費 17,940円 有料道路</p> <p>計 23,253円 円 23,253円</p> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、高大連携調査研究会へ参加する。 - 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	303 23	KPI実績 4件 累計 6件	<p>高大連携事業では町の活性化(地域貢献)をテーマに取り組みを研究しており、参加生徒は21名と多くの生徒が参加している。 令和4年度は、観光による地域活性化として「アクティビティ」、「歴史」、「宿泊・リノベーション・移住促進」、「情報発信」による4分野で、地域の方への取材やフィールドワークを通じて気づいた課題に対する提案がされた。 高校生からはPRチラシやサイクリングルートの作成等の提案があり高校生としても次年度以降の実現に向けて継続する内容であった。 まちづくりを担う若者が町づくりへの関心を高める良い機会となっているので、高校と連携を図りながら今後も事業への支援を行い取り組みを推進していく。</p>	
令和5年度 (2023)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。 - 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 研修費(19人) 町内 町外 資料作成等 5,313円 食糧費 17,940円 有料道路</p> <p>計 23,253円 円 23,253円</p> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、高大連携調査研究会へ参加する。 - 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	303 129	KPI実績 2件 累計 8件	<p>高大連携事業では町の活性化(地域貢献)をテーマに取り組みを研究しており、参加生徒は19名と多くの生徒が参加している。 令和5年度は、昨年度の研究事業をもとに岐南地域の観光活性化策をテーマに「食事」、「自然」、「体験」、「歴史」による4分野で、地域の魅力発見と調査研究を行い、高校生目線での身延町の魅力を感じることのできる2つのサイクリングマップを作成した。 高校生ら自らサイクリングを体験し調査研究することで、地域の魅力を知り、継続して地域活性化に取り組んで行きたいとのことであった。 まちづくりを担う若者がまちづくりへの関心を高める良い機会となっているので、高校と連携を図りながら今後も事業への支援を行い取り組みを推進していく。</p>	
令和6年度 (2024)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。 - 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 研修費(30人) 町内 町外 資料作成等 81,456円 20,954円 食糧費 50,799円 有料道路</p> <p>計 132,255円 20,954円 153,209円</p> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聞くため、高大連携調査研究会へ参加する。 - 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	303 153	KPI実績 1件 累計 9件	<p>高大連携事業では町の活性化(地域貢献)をテーマに取り組みを研究しており、参加生徒は14名と多くの生徒が参加している。 令和6年度は、身延町を中心とした岐南地域に伝わる民話の調査を行い、民話に付加価値を付けることによって観光活性化ができるのでは、とのことから日本語版・英語版の民話紹介カードの提案がなされた。 今後は民話に付加価値を付けることにより、カードの実用化を目指し、観光活性化につなげていきたいとのことであった。 まちづくりを担う若者がまちづくりへの関心を高める良い機会となっているので、高校と連携を図りながら今後も事業への支援を行い取り組みを推進していく。</p>	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																																			
令和7年度 (2025)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 <table> <tr><td>研修費(30人)</td><td>町内</td><td>町外</td></tr> <tr><td>施設使用料</td><td>129,000円</td><td>45,000円</td></tr> <tr><td>食糧費</td><td>38,000円</td><td>38,000円</td></tr> <tr><td>有料道路</td><td></td><td>20,000円</td></tr> <tr><td>町有バス運行</td><td>15,000円</td><td>18,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>182,000円</td><td>121,000円</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>303,000円</td></tr> </table> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聴くため、高大連携調査研究会へ参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。 	研修費(30人)	町内	町外	施設使用料	129,000円	45,000円	食糧費	38,000円	38,000円	有料道路		20,000円	町有バス運行	15,000円	18,000円	計	182,000円	121,000円			303,000円	<table> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>303</td></tr> <tr><td>計</td><td>303</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	303	計	303		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
研修費(30人)	町内	町外																																						
施設使用料	129,000円	45,000円																																						
食糧費	38,000円	38,000円																																						
有料道路		20,000円																																						
町有バス運行	15,000円	18,000円																																						
計	182,000円	121,000円																																						
		303,000円																																						
国庫支出金																																								
県支出金																																								
地方債																																								
その他																																								
一般財源	303																																							
計	303																																							
	0																																							
令和8年度 (2026)	<p>◆ 地元高校と大学が連携して行うまちづくり研究事業を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校大学連携事業補助金交付要綱による補助 <table> <tr><td>研修費(30人)</td><td>町内</td><td>町外</td></tr> <tr><td>施設使用料</td><td>129,000円</td><td>45,000円</td></tr> <tr><td>食糧費</td><td>38,000円</td><td>38,000円</td></tr> <tr><td>有料道路</td><td></td><td>20,000円</td></tr> <tr><td>町有バス運行</td><td>15,000円</td><td>18,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>182,000円</td><td>121,000円</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>303,000円</td></tr> </table> <p>◆ 将来のまちづくりを担う若者の意見を聴くため、高大連携調査研究会へ参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究会に参加し、求めに応じて意見や資料提供など協力する。 	研修費(30人)	町内	町外	施設使用料	129,000円	45,000円	食糧費	38,000円	38,000円	有料道路		20,000円	町有バス運行	15,000円	18,000円	計	182,000円	121,000円			303,000円	<table> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>303</td></tr> <tr><td>計</td><td>303</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	303	計	303		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
研修費(30人)	町内	町外																																						
施設使用料	129,000円	45,000円																																						
食糧費	38,000円	38,000円																																						
有料道路		20,000円																																						
町有バス運行	15,000円	18,000円																																						
計	182,000円	121,000円																																						
		303,000円																																						
国庫支出金																																								
県支出金																																								
地方債																																								
その他																																								
一般財源	303																																							
計	303																																							
	0																																							
横断的な取り組みの状況																																								

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	2	町を元気にできる人財の育成				担当課 企画政策課	
基本的方向	2-2	高校生との意見交換会の開催					
施策内容	(1)	地元に住む高校生と意見交換会の開催					
アクション	①	'町長と語る高校生の集い'を開催し、意見交換を行うことで、将来を担う人財の育成の契機とします。					
■実施内容	◎ 町施設を会場に「町長と語る高校生の集い」を開催し、意見交換と特産品や地場産業などを知り町の関心を深める機会を通じ、将来の町を担う人財育成の契機とする。また、高校卒業後も若者(大学生等)に町への愛着を持ち続けてもらうため、若者が集う事業を検討する。	施策のKPI (成果目標)	「町長と語る高校生の集い」参加人数 (実績:H28-21人、H29-8人、H30-8人、平均12人) (参加人数を令和8年度までに累計75人以上にする)	出典元 企画政策課調査	基準値 令和2年度(2020)	開始	
					目標値 令和8年度(2026)	累計75人以上	
年度	内 容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 高校生19名参加応募 資料代 お茶代 会場使用料 16,500円 施設体験料 合計 16,500円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	67 67	17 17	町長と語る高校生の集いは、高校生から町づくりに関する意見、施策提案を聞くことで町長との会話から町への関心を高める効果がある。 令和2年度は参加者の募集を行い、19名から応募があったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止とした。 町についてどのように考えるのか、意見を交わし確かめ合うことは、町への関心、意識付けに大切なことと考えており、将来を担う町を元気にできる人財育成を推進する機会として今後も取り組みを推進していく。		
	◆ また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。 (したれ桜の里づくり事業は、高校生の提案)	KPI実績	19人(応募)				
令和3年度 (2021)	◆ 「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 高校生10名参加 消耗品費 7,000円(資料代) 食糧費(お茶代) 46,080円(クラフトパーク・スヴニール) 合計 53,080円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	62 62	53 53	町長と語る高校生の集いは、高校生から町づくりに関する意見、施策提案を聞くことで町長との会話から町への関心を高める効果がある。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症禍での開催として、参加者を10名程度にして実施した。 町についてどのように考えるのか、意見を交わし確かめ合うことは、町への関心、意識付けに大切なことと考えており、将来を担う町を元気にできる人財育成を推進する機会として今後も取り組みを推進していく。		
	◆ また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。	KPI実績	10人 累計 29人				
令和4年度 (2022)	◆ 「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止 消耗品費(資料代) 食糧費(特産品) 合計	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	62 62	0 0	町長と語る高校生の集いは、高校生から町づくりに関する意見、施策提案を聞くことで町長との会話から町への関心を高める効果がある。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止した。 町についてどのように考えるのか、意見を交わし確かめ合うことは、町への関心、意識付けに大切なことと考えており、将来を担う町を元気にできる人財育成を推進する機会とともに将来の町を支える若者をより多く身延町に残すことになるための取り組みとして今後も事業を推進していく。		
	◆ また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。	KPI実績	0人 累計 29人				
令和5年度 (2023)	◆ 「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 高校生6名参加 消耗品費 9,500円(資料代他) 食糧費 26,400円(特産品) 通信運搬費 3,460円(郵便料) 筆耕翻訳料 28,937円 合計 68,297円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	119 119	68 68	町長と語る高校生の集いは、高校生から町づくりに関する意見、施策提案を聞くことで町長との会話から町への関心を高める効果がある。 令和5年度は、3高校から6名の参加者により開催した。 町についてどのように考えるのか、意見を交わし確かめ合うことは、町への関心、意識付けに大切なことと考えており、将来を担う町を元気にできる人財育成を推進する機会とともに将来の町を支える若者をより多く身延町に残すことになるための取り組みとして今後も事業を推進していく。		
	◆ また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。	KPI実績	6人 累計 35人				
令和6年度 (2024)	◆ 「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 高校生20名参加 消耗品費 9,600円(資料代) 食糧費 28,704円(特産品) 通信運搬費 1,428円(郵便料) 筆耕翻訳料 28,512円 合計 68,244円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	119 119	68 68	町長と語る高校生の集いは、高校生から町づくりに関する意見、施策提案を聞くことで町長との会話から町への関心を高める効果がある。 令和6年度は、3高校から7名の参加者により開催した。 町についてどのように考えるのか、意見を交わし確かめ合うことは、町への関心、意識付けに大切なことと考えており、将来を担う町を元気にできる人財育成を推進する機会とともに将来の町を支える若者をより多く身延町に残すことになるための取り組みとして今後も事業を推進していく。		
	◆ また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。	KPI実績	7人 累計 42人				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆「町長と語る高校生の集い」を開催し、町長とまちづくりに関連する意見交換などを行うことで町や地域、文化、特産品、地場産業などの関心を深め、将来を担い、町を元気にできる人財育成を推進する。 高校生20名参加 消耗品費 15,000円（資料代） 食糧費 47,000円（特産品） 通信運搬費 9,000円（郵便料） 筆耕翻訳料 48,000円 合計 119,000円 ◆また、町づくり等において将来性のある高校生のアイデアについては、実施についての検討を行います。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	119 119	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	119 119	0			
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	2	町を元気にできる人材の育成				担当課	
基本的方向	2-3	人材育成カリキュラムの実施と人材の確保				生涯学習課	
施策内容	(1)	まちづくり・地域づくり活動の支援					
アクション	①	まちづくりに関する企画等を実行するグループに対し、アドバイザーの派遣や講習の開催等の必要な支援を行い、グループの活動を促進します。また、公民館や備品の無償貸与等の活動支援をします。					
施策のKPI (成果目標)	グループの活動支援回数(支援を令和8年度までに5回以上実施する)		出典元	生涯学習課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 累計5回以上	
■実施内容	◎						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 ・専門アドバイザー報酬 ・イベント関連消耗品 ・イベントチラシ等印刷	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,500 1,500	0 0	KPI実績 0回		
令和3年度 (2021)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 ・専門アドバイザー報酬 ・イベント関連消耗品 ・イベントチラシ等印刷	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	800 800	0 0	KPI実績 0回		
令和4年度 (2022)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 ・専門アドバイザー報酬 ・イベント関連消耗品 ・イベントチラシ等印刷	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 円 0 円 0 円 0 円	800 800	0 0	KPI実績 0回	
令和5年度 (2023)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 ・専門アドバイザー報酬 ・イベント関連消耗品 ・イベントチラシ等印刷	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 円 0 円 0 円 0 円	800 800	0 0	KPI実績 0回	
令和6年度 (2024)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 ・事業消耗品 ・チラシ等印刷費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 円 65,890 円 31,520 円 計 97,410 円	600 600	97 97	KPI実績 1回 累計1回	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 300,000 円 ・事業消耗品 150,000 円 ・チラシ等印刷費 150,000 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	600 600	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆「みのべーしょん288」から派生したグループの活動支援。 ・講演会等講師報酬 500,000円 ・専門アドバイザー報酬 500,000円 ・イベント関連消耗品 300,000円 ・イベントチラシ等印刷 200,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,500 1,500	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	2	町を元気にできる人財の育成				担当課	
基本的方向	2-3	人財育成カリキュラムの実施と人財の確保				企画政策課	
施策内容	(2)	地域おこし協力隊の活用					
アクション	①	地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、起業支援等を行うことで、任期終了後の定住に繋げます。					
施策のKPI (成果目標)	地域おこし協力隊の任期終了後の定住率(任期後の定住率を令和8年度に50%以上にする) …協力隊の定住状況等に係る調査結果48%:総務省		出典元	任期終了後の定住率(企画政策課調査)	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	100% 50%以上	
■実施内容	◎ 地域おこし協力隊の起業支援等により、任期終了後の定住促進を図ります。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課 定住率 100% 令和2年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			地域おこし協力隊に向け起業セミナーの情報提供等を行った。 隊員は観光分野で隊員3人、産業分野で3人が活動。産業分野1人が任期満了となつた。 町の第2期総合戦略推進委員会への参加や、地元有志ど「寺café」を主催するなど、地域づくりや地域の活性化に寄与している。 退任した1人は引き続き産業分野への関わりを持っている。		
令和3年度 (2021)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課 定住率 50% 令和2年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人 令和3年度 任期満了協力隊員 1人 定住0人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			地域おこし協力隊に向け起業セミナーの情報提供等を行った。 隊員は観光分野で隊員3人、産業分野で2人が活動。観光分野1人が任期満了となつた。 定住にはいたらなかったものの、引き続き観光分野への関わりを持っている。 地域おこし協力隊員は地域活性化組織への参加等、地域づくりや地域の活性化に寄与している。		
令和4年度 (2022)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課 定住率 80% 令和2年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人 令和3年度 任期満了協力隊員 1人 定住0人 令和4年度 任期満了協力隊員 3人 定住3人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,638 4,638	3,377 3,377	地域おこし協力隊に向け起業セミナーの情報提供等を行った。 隊員は観光分野2人、産業分野3人、移住コーディネーター1人が活動。観光分野2人と産業分野1人が任期満了となつた。 内2人は引き続き観光・産業分野への関わりを持って活動し、3人全員が定住に結びつき、令和2年度から令和4年度までの定住率は80%となり、目標値50%以上をキープした。 地域おこし協力隊員は地域活性化組織への参加等、地域づくりや地域の活性化に寄与している。 ※産業分野1人は任期途中で辞任。		
令和5年度 (2023)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課 定住率 83% 令和2年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人 令和3年度 任期満了協力隊員 1人 定住0人 令和4年度 任期満了協力隊員 3人 定住3人 令和5年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,274 4,274	3,738 3,738	地域おこし協力隊に向け起業セミナーの情報提供等を行った。 隊員は産業分野3人、移住コーディネーター1人が活動。産業分野1人が任期満了となり、引き続き産業分野への関わりを持って活動し、定住に結びついた。令和2年度から令和5年度までの定住率は83%となり、目標値50%以上をキープした。 地域おこし協力隊員は地域活性化組織への参加等、地域づくりや地域の活性化に寄与している。		
令和6年度 (2024)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課 定住率 85.7% 令和2年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人 令和3年度 任期満了協力隊員 1人 定住0人 令和4年度 任期満了協力隊員 3人 定住3人 令和5年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人 令和6年度 任期満了協力隊員 1人 定住1人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,869 4,869	4,561 4,561	地域おこし協力隊に向け起業セミナーの情報提供等を行った。 隊員は産業分野2人、移住コーディネーター1人が年度末で任期満了となり、令和7年度からは会計年度任用職員として同業務にあたることとなり、定住に結びついた。 令和2年度から令和6年度までの定住率は85.7%となり、目標値50%以上をキープした。 地域おこし協力隊員は地域活性化組織への参加等、地域づくりや地域の活性化に寄与している。 ※産業分野1人は任期途中で辞任。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	◆ 地域おこし協力隊の任期終了後の起業支援等 ・身延町地域おこし協力隊起業支援事業費補助金の活用 ※予算措置は隊員配属課	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	
横断的な取り組みの状況	KPI実績	年度末の実績を記載			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		2	町を元気にできる人財の育成				担当課 観光課		
基本的方向		2-3	人財育成カリキュラムの実施と人財の確保						
施策内容		(2)	地域おこし協力隊の活用						
アクション		②	地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、町を元気にする各種団体や地域と連携できるように必要に応じて支援していきます。						
施策のKPI (成果目標)		地域おこし協力隊採用人数(隊員人数を令和8年度まで毎年4人にする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	3人 4人/毎年度		
■実施内容									
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 - 地域おこし協力隊の継続採用実施 - 地域おこし協力隊の新規採用、募集実施 - インバウンドに対応できる(外国語に長けた)人財の募集実施 4人			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	13,200 13,200	12,344 12,344	みのぶ自然の里を活動拠点とする隊員2名といこいの森キャンプ場を拠点とする隊員1名を採用した。 インバウンド観光客に対応できる隊員については、コロナ禍によりインバウンド観光客が激減し、またコロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であったことから、募集しなかった。また、今後については社会情勢を見極め採用の是非を検討していく。		
令和3年度 (2021)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 - 地域おこし協力隊の継続任用実施 3人			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	9,170 9,170	8,523 8,523	いこいの森キャンプ場を活動拠点としている隊員1名は令和3年4月末日を持って任期満了となった。 また、みのぶ自然の里を活動拠点としていた隊員2名は、みのぶ自然の里の指定管理者が変更となったことから、みのぶ観光センターを拠点とした、観光振興活動に取り組んだ。 地域おこし協力隊員の採用人数については、社会情勢を見極め引き続き検討していく。		
令和4年度 (2022)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 - 地域おこし協力隊の継続任用実施 2人			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	11,700 11,700	2,641 2,641	2名の協力隊員が6月、8月にそれぞれ任期を終了した。 引き続き協力隊員の募集をしたが採用に至らなかった。 令和4年度内に3人が来庁し内容を説明したが採用まで至らなかった。 引き続き新規協力隊員の採用に繋がるようWEB等募集を強化、継続していく。		
令和5年度 (2023)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 - 地域おこし協力隊の継続任用実施 0人			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,519 4,519	0 0	令和5年度内に1人と面談したが採用まで至らなかった。 引き続き新規協力隊員の採用に繋がるよう募集を継続していく。		
令和6年度 (2024)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 - 地域おこし協力隊の継続任用実施 0人			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,849 4,849	0 0	令和6年度内に1人と面談し、令和7年4月1日からの採用を決定した。 引き続き新規協力隊員の採用に繋がるよう募集を継続していく。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 ・地域おこし協力隊の継続任用実施 2人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,849 4,849	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 地域おこし協力隊採用事業の実施 ・地域おこし協力隊の継続任用実施 2人	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,849 4,849	0	
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		2	町を元気にできる人材の育成				担当課 産業課		
基本的方向		2-3	人材育成カリキュラムの実施と人材の確保						
施策内容		(2)	地域おこし協力隊の活用						
アクション		(3)	地域おこし協力隊を採用し、活動を通して地域力の維持・強化を図ります。また、町を元気にする各種団体や地域と連携で行きるように必要に応じて支援していきます。						
施策のKPI (成果目標)		地域おこし協力隊採用人数(隊員人数を令和8年度まで毎年 度4人にする)		出典元	産業課調査	基準値 平成30年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	3人 4人/年度		
■実施内容	◎ 地域おこし協力隊を採用する。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・ 地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・ あけぼの大豆振興かかる人材の募集実施 3人 報酬 5,989,788円 職員手当 805,094円 共済費 1,061,351円 旅費 152,000円 活動経費 4,937,149円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	15,570 15,570	12,946 12,946	あけぼの大豆の振興にかかる3名の隊員は、あけぼの大豆拠点施設における勤務のほか、自ら農業を実践し将来的な起業に向けた準備を進めている。 あわせて新規就農のモデル的な役割も担っている。		
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・ 地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・ あけぼの大豆振興にかかる3人の雇用の外、新たに森林整備にかかる隊員1名を募集 報酬 4,091,239円 職員手当 806,538円 共済費 784,849円 旅費 100,800円 委託料 0円 活動経費 2,852,538円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	19,220 19,220	8,366 8,366			
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・ 地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・ あけぼの大豆振興にかかる3人の雇用の外、新たに森林整備にかかる隊員1名を募集 委託料 9,245,962円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	11,750 11,750	9,246 9,246	あけぼの大豆の振興にかかる3名の隊員は、あけぼの大豆拠点施設における勤務のほか、自ら農業を実践し将来的な起業に向けた準備を進めている。 あわせて新規就農のモデル的な役割も担っている。		
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・ 地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・ あけぼの大豆振興にかかる1人の雇用の外、新たに活性化施設及び相又特產品生産施設整備にかかる隊員1名を募集 報酬 1,052,846円 職員手当 67,918円 共済費 58,657円 旅費 12,000円 委託料 3,597,988円 活動経費 540,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	13,670 13,670	5,329 5,329			
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・ 地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・ あけぼの大豆振興にかかる1人の雇用の外、活性化施設及び相又特產品生産施設整備にかかる隊員1名を雇用 報酬 2,482,809円 職員手当 907,787円 共済費 504,663円 旅費 24,000円 委託料 3,417,077円 活動経費 1,669,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,008 17,008	9,005 9,005	あけぼの大豆の振興にかかる1名の隊員は、あけぼの大豆拠点施設における勤務のほか、自ら農業を実践し将来的な起業に向けた準備を進めている。 また、相又特產品生産施設整備にかかる隊員1名も商品売上増加のための活動を精力的に行っている。		
				KPI実績	3人	3人			
				KPI実績	2人	2人	あけぼの大豆の振興にかかる1名の隊員は、あけぼの大豆拠点施設における勤務のほか、自ら農業を実践し将来的な起業に向けた準備を進めている。 また、相又特產品生産施設整備にかかる隊員1名は途中退任したが、本町に残り就職した。		
				KPI実績	1人	1人			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・あけぼの大豆振興にかかる3人の雇用の外、新たに活性化施設及び相又特産品生産施設整備にかかる隊員1名を雇用	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	委託料 活動経費	14,000 千円 8,000 千円	22,000	0	
			KPI実績	年度末の実績を記載	
令和8年度 (2026)	◆ 地域おこし協力隊の活動によるまちづくり ・地域おこし協力隊の採用、募集実施 ・あけぼの大豆振興にかかる2人の雇用の外、新たに活性化施設及び相又特産品生産施設整備にかかる隊員1名を募集	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	報酬 職員手当 共済費 旅費 委託料 活動経費	4,510 千円 540 千円 820 千円 168 千円 3,132 千円 4,500 千円	13,670	0	
			KPI実績	年度末の実績を記載	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		2	町を元気にできる人材の育成				担当課 観光課	
基本的方向		2-3	人材育成カリキュラムの実施と人材の確保					
施策内容		(3)	町民総ガイド事業の実施					
アクション		①	町民総ガイド事業として、子どもから大人まで、町民が、町を大好きになるガイドブックを活用します。ガイドブックはデジタル版を整備し、周知することで多くの町民がガイドブックに触れる機会を増やします。					
施策のKPI (成果目標)		学校・企業等での活用人数(活用人数を令和8年度までに累計500人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	0人 累計500人以上	
■実施内容	◎ 学校・家庭で使用できる観光ガイドブックを活用する。 ◎ ガイドブックはデジタル版を整備する。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 - 平成29年度に作成した「みのぶのびのびガイドブック」について転入者、観光施設等で配付 - 学校・企業等での活用依頼を実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町への転入者、町内観光施設等に配布し、活用していく。 ・KPIを達成していくために、ガイドブックの活用方法や活動事例を学校や企業に紹介する取り組みを検討する。		
令和3年度 (2021)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 - 平成29年度に作成した「みのぶのびのびガイドブック」について転入者、観光施設等で配付 - 学校・企業等での活用依頼を実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・町への転入者、町内観光施設等に配布し、活用していく。 ・KPIを達成するために、ガイドブックの活用方法や活動事例を学校や企業に紹介する取り組みを検討する。 ・現存のガイドブックの改訂を検討し、活用されやすいガイドブックを目指す。		
令和4年度 (2022)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 - 平成29年度に作成した「みのぶのびのびガイドブック」のリニューアル検討 - 配布先、活用方法等の検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・既存ガイドブックの在庫がなくなることから、改定を検討するとともに、活用方法を検討し、活用されやすいガイドブックを目指す。		
令和5年度 (2023)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 - 平成29年度に作成した「みのぶのびのびガイドブック」のリニューアル検討 - 配布先、活用方法等の検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・ガイドブックのリニューアルを検討し、町民が活用しやすいガイドブックの作成を目指す。 ・イベント等で町民に観光サイト「みのラブ」・観光課Instagramの周知やフォローを呼びかけた。多くの町民に投稿・掲載内容を見てもらい、町の魅力を認知し、発信してもらえるよう努めた。		
令和6年度 (2024)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 - ガイドブック等のデジタル化検討 - 配布先、活用方法等の検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			・ガイドブックをリニューアルし、町民が活用しやすいガイドブックの作成を目指す。 ・イベント等で町民に観光サイト「みのラブ」・観光課Instagramの周知やフォローを呼びかけた。多くの町民に投稿・掲載内容を見てもらい、町の魅力を認知し、発信してもらえるよう努めた。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 ・ガイドブック等のデジタル化検討 ・配布先、活用方法等の検討	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 町民総ガイド事業としてのガイドブック活用の実施 ・ガイドブックのデジタル化 ・配布先、活用方法等の検討	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		2	町を元気にできる人材の育成				担当課 観光課	
基本的方向		2-3	人材育成カリキュラムの実施と人材の確保					
施策内容		(4)	就職支援セミナーの開催					
アクション		①	高校生・大学生に向けた就職支援セミナーを開催します。					
施策のKPI (成果目標)		就職支援セミナー等参加人数(参加人数を令和8年度までに累計250人以上にする)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	0人 累計250人以上	
■実施内容	◎ 身延町内に就職先があれば定住促進につながるため、町が町内企業、高校と連携して就職活動を応援する。特に、高校を卒業して就職を希望する生徒に町内の就職先を紹介する。町内在住の大学生も対象とする。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・求人を募集する町内企業への周知 社会福祉施設、病院、工場、郵便局、消防署、飲食業、アルバイトなどジャンルを問わない ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー実施検討 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	KPI実績 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、関係機関や町内企業との調整ができなかった。 ・令和4年度以降、支援セミナーを実施できるよう、検討していく。 	
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・求人を募集する町内企業への周知 社会福祉施設、病院、工場、郵便局、消防署、飲食業、アルバイトなどジャンルを問わない ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー実施検討 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	KPI実績 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、関係機関や町内企業との調整ができなかった。 ・町と包括協定を締結している、民間事業者と連携し、異業種交流会の開催やハローワークと連携した、各種セミナーの開催など今後検討していく。 	
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を交わした、明治安田生命と異種業交流会の開催検討 ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー実施検討 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	KPI実績 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、関係機関や町内企業との調整ができなかった。 ・町と包括協定を締結している、民間事業者と連携し、異業種交流会の開催やハローワークと連携した、各種セミナーの開催など今後検討していく。 	
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を交わした、明治安田生命と異種業交流会の開催検討 ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー実施 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	KPI実績 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・町と包括協定を締結している、民間事業者と連携し、異業種交流会の開催やハローワークと連携した、各種セミナーの開催など今後検討していく。 	
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を交わした、明治安田生命と異種業交流会の開催検討 ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー検討実施 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	KPI実績 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・学生向けのセミナーは行っていないが、学生も参加できる一般向け就職応援セミナーをハローワークと連携して行っている。令和6年度には計5回行った。ハローワークや各関係機関とも連携し学生を中心参加できるセミナーの開催も今後検討していく。 	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を交わした、明治安田生命と異種業交流会の開催検討 ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー検討実施 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 	国庫支出金			
		県支出金			
令和8年度 (2026)	<p>◆ 学生に向けた就職支援セミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括連携協定を交わした、明治安田生命と異種業交流会の開催検討 ・ハローワークと連携し、各企業が集まって合同の就職説明会・セミナー検討実施 ・町内企業を知ってもらうための企業説明会開催検討 	地方債			
		その他			
横断的な取り組みの状況		一般財源			
		計	0	0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
	KPI実績	年度末の実績を記載			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		3	人の流れをつくり、移住・定住の促進				担当課 企画政策課		
基本的方向		3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進						
施策内容		(1)	空き家・土地バンク登録物件の充実						
アクション		①	空き家・土地バンク登録物件の充実を図り、移住希望者へ情報発信を行います。また、登録物件と利用登録者のマッチングを行い、情報提供することで契約の増加に繋げます。						
施策のKPI (成果目標)		空き家バンクシステムによる成約数 (成約数を令和2年度から令和8年度までに累計70件以上にする)		出典元 企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	11件 累計70件以上			
■実施内容	◎ 空き家・土地バンク優良物件の登録促進と、移住希望者への情報発信を強化する。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封した（継続実施） <ul style="list-style-type: none"> ・用紙代 8,054円 ◆ 優良な空き家の登録増加のための検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、町内所有者へ向け、チラシの回覧、広報への掲載を行った。 ◆ 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供を実施した <ul style="list-style-type: none"> ・郵送料 51,000円 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	62 62	60 60	令和2年度の成約件数は空き家14件、土地1件の合計15件と前年の8件から增加了。 登録物件の充実を図るため、固定資産税通知書への制度の案内通知の同封や町内への回覧を行った。 また、移住希望者へ対しては、各イベントへの積極的な参加や全国版空き家バンクへの掲載等、積極的な情報発信に努めた。 今後も物件の登録促進と移住希望者への情報発信を積極的に行う。		
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封する（令和3年度より新たに「みのワン」を使用し、より分かりやすく目に留まりやすい周知チラシを作成、配布を行った） <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 138,600円 ◆ 優良な空き家の登録増加のための事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、町内所有者向け広報みのぶへの掲載を行った。 ◆ 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供を実施する <ul style="list-style-type: none"> ・郵送料 51,000円 ◆ 田舎暮らし体験施設の整備を検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の体験施設及び新たな体験施設の整備等を検討した 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	190 190	190 190	令和3年度の成約件数は空き家19件、土地1件の合計20件と前年の15件から增加了。 登録物件の充実を図るため、固定資産税通知書への制度の案内通知の同封や広報みのぶへの掲載を行った。 また、移住希望者へ対しては、各イベントへの積極的な参加や全国版空き家バンクへの掲載等、積極的な情報発信に努めた。 今後も物件の登録促進と移住希望者への情報発信を積極的に行う。		
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封する（継続実施） <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 107,800円 ◆ 優良な空き家の登録増加のための事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 上記に含む ◆ 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供を実施する <ul style="list-style-type: none"> ・郵送料 51,000円 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	167 167	159 159	令和4年度の成約件数は空き家6件、土地1件の合計7件と前年の20件から減少了。 登録物件の充実を図るため、固定資産税通知書への制度の案内通知の同封や広報みのぶへの掲載を行った。 また、移住希望者へ対しては、各イベントへの積極的な参加や全国版空き家バンクへの掲載等、積極的な情報発信に努めた。 今後も物件の登録促進と移住希望者への情報発信を積極的に行う。		
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封する（継続実施） <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 138,600円 ◆ 優良な空き家の登録増加のための事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 上記に含む ◆ 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供を実施する <ul style="list-style-type: none"> ・郵送料 49,446円 ◆ 田舎暮らし体験施設の整備を検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の体験施設及び新たな体験施設の整備等を検討した 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	221 221	189 189	令和5年度の成約件数は空き家11件、土地0件の合計11件と、前年の7件から增加了。 登録物件の充実を図るため、固定資産税通知書への制度の案内通知の同封や広報みのぶへの掲載を行った。 また、移住希望者へ対しては、各イベントへの積極的な参加や全国版空き家バンクへの掲載等、積極的な情報発信に努めた。 今後も物件の登録促進と移住希望者への情報発信を積極的に行う。		
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封する（継続実施） <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 138,600円 ◆ 優良な空き家の登録増加のための事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 上記に含む ◆ 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供を実施する <ul style="list-style-type: none"> ・郵送料 139,206円 ◆ 田舎暮らし体験施設の整備を検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・既存の体験施設及び新たな体験施設の整備等を検討する 			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	384 384	278 278	令和6年度の成約件数は空き家9件、土地0件の合計9件と、前年の11件から減少了。 登録物件の充実を図るため、固定資産税通知書への制度の案内通知の同封や広報みのぶへの掲載を行った。 また、移住希望者へ対しては、各イベントへの参加案内や全国版空き家バンクへの掲載等、積極的な情報発信に努めた。 今後も物件の登録促進と移住希望者への情報発信を積極的に行う。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 固定資産税通知書に、空き家バンク制度の案内通知を同封する (継続実施) ・ 印刷製本費	193,000円	国庫支出金		
	◆ 優良な空き家の登録増加のための事業実施 ・ 用紙代等		県支出金		
令和8年度 (2026)	上記に含む 登録物件と利用登録者のマッチングを強化し、積極的な情報提供 を実施する ・ 郵送料	119,000円	地方債		
	◆ 田舎暮らし体験施設の整備を検討実施 ・ 既存の体験施設及び新たな体験施設の整備等を検討する		その他		
横断的な取り組みの状況		一般財源	312		
		計	312	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	140		
		計	140	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住・定住の促進				担当課	
基本的方向	3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進				企画政策課	
施策内容	(2)	移住希望者、移住者への対応強化					
アクション	①	移住希望者、移住者への対応を充実させるため、専門職員(移住コーディネーター)を配置します。また、移住支援業務の委託(NPO法人等)及び休日の問い合わせに対応する専用デジタル窓口の設置を検討し、専門職員と連携した移住支援を推進します。					
施策のKPI (成果目標)	休日も対応可能な移住支援体制の確立(令和8年度までに体制を確立する)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 確立	
■実施内容	◎ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用による移住相談窓口の充実を図る。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 ・ 専門職員による相談業務を継続する【特交100%】 2,326,684円	国庫支出金			令和2年度の問い合わせ・相談件数は253件と令和元年度の132件から急増している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面でのイベントや相談会への参加はできなかつたがオンライン相談会等へ積極的に参加した。移住コーディネーターの相談会等での細やかな対応や積極的な情報発信により、本町への関心が高まり、問い合わせ件数の増加に結びついていると思われる。 今後も専門的に相談対応し、情報発信する移住コーディネーターを活用して行きたい。		
	◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施 ・ 専門職員旅費 【特交100%】	県支出金					
	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の研修参加を検討 ・ 空き家の活用のため、空き家相談の扱い手を育成する研修 への参加を検討 【特交100%】	地方債					
	◆ 移住支援業務の委託について検討を実施 ・ 移住支援業務の委託を検討 (休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など)	その他					
	◆ 移住紹介パンフレットの作成 ・ パンフレットを作成 【特交50%】 1,844,700円	一般財源	4,737	4,172			
		計	4,737	4,172			
令和3年度 (2021)	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 ・ 専門職員による相談業務を継続する【特交100%】 2,502,518円	KPI実績	検討		令和3年度の問い合わせ・相談件数は213件。令和2年度と比較すると減少しているが、令和元年度以前との比較では増加している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面での相談会等への参加はできなかつたがオンライン相談会等へ積極的に参加した。移住コーディネーターの相談会等での細やかな対応や積極的な情報発信により、本町への関心が高まり、問い合わせ件数の増加に結びついていると思われる。 今後も専門的に相談対応し、情報発信する移住コーディネーターを活用して行きたい。		
	◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施 ・ 専門職員旅費(令和3年度は全てオンラインにて参加)	国庫支出金					
	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の研修参加を検討 ・ 空き家の活用のため、空き家相談の扱い手を育成する研修 への参加を検討する 【特交100%】 円	県支出金					
	◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 ・ 移住支援業務の委託を検討する (休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など)	地方債					
		その他					
		一般財源	2,716	2,503			
令和4年度 (2022)	◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 ・ 移住支援業務の委託を検討する (休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など)	計	2,716	2,503	令和4年度の問い合わせ・相談件数は314件。令和3年度と比較すると増加したが、コロナ禍に参加を見合わせていた対面での相談会へ積極的に参加したことも増加要因のひとつと思われる。また、コロナ禍で導入したオンライン相談会も、継続して参加した。移住コーディネーターの相談会等での細やかな対応や積極的な情報発信により、本町への関心が高まり、問い合わせ件数の増加に結びついていると思われる。 今後も専門的に相談対応し、情報発信する移住コーディネーターを活用して行きたい。		
	◆ 移住紹介パンフレットの増刷 ・ パンフレットを増刷(一部修正)する 【特交50%】 517,000円	KPI実績	検討				
	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 ・ 専門職員による相談業務を継続する ※令和4年度より専門職員(移住コーディネーター)は地域おこし協力隊として採用。基本目標2-3(2)①へ記載。	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
令和5年度 (2023)	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 ・ 専門職員による相談業務を継続する ※令和4年度より専門職員(移住コーディネーター)は地域おこし協力隊として採用。基本目標2-3(2)①へ記載。	一般財源	541	517	令和5年度の問い合わせ・相談件数は322件。令和4年度から微増となり、依然として移住への関心は高いと感じる。対面での相談会参加や、コロナ禍で導入したオンライン相談会も継続して実施している。移住コーディネーターの細やかな対応や積極的な情報発信により、本町への関心が高まり、問い合わせ件数の増加に結びついていると思われる。 また、休日も可能な限り対応し、夜間も問い合わせメールにより受付して対応した。 今後も専門的に相談対応し、情報発信する移住コーディネーターを活用していくたい。		
	◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施	計	541	517			
	◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 ・ 移住支援業務の委託を検討した (休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など)	KPI実績	検討				
	◆ 移住紹介パンフレットの増刷 ・ 在庫確認の結果パンフレットの増刷はしなかった 0円	国庫支出金					
	◆ 移住専用デジタル窓口の設置 ・ 休日、夜間の問い合わせに対応するための専用窓口の設置を検討	県支出金					
		地方債					
令和6年度 (2024)	◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 ・ 専門職員による相談業務を継続する ◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施	その他			令和6年度の問い合わせ・相談件数は281件。令和5年度から減少しているが、依然移住への関心は高いと感じる。対面での相談会参加や、コロナ禍で導入したオンライン相談会も継続して実施している。移住コーディネーターの細やかな対応や積極的な情報発信により、本町への関心の高まりに結びついていると思われる。 また、休日も可能な限り対応し、夜間も問い合わせメールにより受付して対応している。 今後も専門的に相談対応し、情報発信する移住コーディネーターを活用していくたい。		
	◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 ・ 移住支援業務の委託を検討した (休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など)	一般財源	0	0			
	◆ 移住専用デジタル窓口の設置 ・ 休日、夜間の問い合わせに対応するための専用窓口の設置・運用	計	0	0			
		KPI実績	検討				
		国庫支出金					
		県支出金					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																		
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職員による相談業務を継続する 【特交100%】 3,969,000円 ◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施 ◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住支援業務の委託を検討する （休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など） ◆ 移住紹介パンフレットの増刷 <ul style="list-style-type: none"> パンフレット増刷(一部修正)延期 0円 ◆ 移住専用デジタル窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日、夜間の問い合わせに対応するための専用窓口の設置・運用 	<table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="background-color: #ffffcc;">3,969</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td style="background-color: #ffffcc;">3,969</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	3,969		計	3,969	0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	3,969																						
計	3,969	0																					
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 専門職員(移住コーディネーター)の雇用を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職員による相談業務を継続する ◆ 首都圏や都市部で開催する移住相談会への参加を継続実施 ◆ 移住支援業務の委託について検討を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住支援業務の委託を検討する （休日の対応や空き家の紹介と併せた町の案内など） ◆ 移住紹介パンフレットの増刷 <ul style="list-style-type: none"> パンフレットを増刷(一部修正)する 550,000円 ◆ 移住専用デジタル窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日、夜間の問い合わせに対応するための専用窓口の設置・運用 	<table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="background-color: #ffffcc;">550</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td style="background-color: #ffffcc;">550</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	550		計	550	0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	550																						
計	550	0																					
横断的な取り組みの状況																							

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住・定住の促進					担当課	
基本的方向	3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進					企画政策課	
施策内容	(3)	町の魅力を体験するツアーの開催						
アクション	①	先輩移住者との交流や観光施設等を利用した体験型のツアーを企画し、町の魅力を知ってもらうことで関係人口を創出します。						
施策のKPI (成果目標)	ツアー参加後の再訪件数(再訪件数を令和2年度から令和8年度までに累計10組以上とする) … 平成30年度2組4名参加		出典元	企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018)	累計2組		
					目標値 令和8年度(2026)	累計10組以上		
■実施内容	◎ 身延町魅力体験ツアー(暮らしや人、伝統文化や自然に触れる体験型)の実施により、関係人口の創出に繋げる。							
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	778	0	KPI実績 0組	テレワーク実施者向け移住体験ツアーを企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ検討していく。		
令和3年度 (2021)	◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	16,500円	933	17	KPI実績 0組 累計 0組	先輩移住者との交流や身延山や西嶋和紙の紹介等を行う体験ツアーを企画した。3組8人の参加希望があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ検討していく。	
令和4年度 (2022)	◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 ・ 旅行業法の関係から、専門事業者に委託して実施する 委託料(年2回程度) 【特交50%】 339,244円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	977	339	KPI実績 0組 累計 0組	先輩移住者との交流や味噌づくり体験、身延山の宿坊への宿泊等、身延町ならではの体験を盛り込んだ1泊2日のツアーを実施し、3組4人が参加した。 今後も町の魅力を直接的に知つてもらう機会として、ツアー内容を工夫しながら継続して実施し、関係人口及び移住者の創出に繋げたい。		
令和5年度 (2023)	◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 ・ 旅行業法の関係から、専門事業者に委託して実施 委託料(年2回) 【特交50%】 245,538円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,042	246	KPI実績 3組 累計 3組	あけぼの大豆の枝豆収穫体験や味噌づくり体験、和紙漉き体験など、身延町ならではの体験を盛り込んだ日帰りツアーを2回実施し、5組10人が参加した。参加者の中には、ツアー後何度も身延町に再訪してくれた参加者もいた。 今後も町の魅力を直接的に知つてもらう機会として、ツアー内容を工夫しながら継続して実施し、関係人口及び移住者の創出に繋げたい。		
令和6年度 (2024)	◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 ・ 専門事業者に委託したが、最少催行人数に達しなかったため未実施 ◆ 身延町オーダーメイドツアーを実施 ・ 移住後の生活をイメージするための個々の希望に合わせたツアー ◆ ツアー参加者との関係継続のための取組みを検討 ・ 町の情報の配信など	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0円	662	0	KPI実績 1組 累計 4組	夏休み期間に砂金採り体験を、冬は味噌づくり体験と先輩移住者との交流など、身延町ならではの体験を盛り込んだ日帰りツアーを2回計画したが、子育て世代限定したことなどもあり最少催行人数に達しなかった為中止となった。 年度途中から開始したオーダーメイドツアーに1組の参加があった。 今後も町の魅力を直接的に知つてもらう機会として、ツアー内容を工夫しながら継続して実施し、関係人口及び移住者の創出に繋げたい。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行業法の関係から、専門事業者に委託して実施する 委託料(年2回程度) 508,000円 ◆ 身延町オーダーメイドツアーを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・移住後の生活をイメージするための個々の希望に合わせたツアー ◆ ツアー参加者との関係継続のための取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・町の情報の配信、町内割引チケット配布など 0円 	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>508</td></tr> <tr><td>計</td><td>508</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	508	計	508		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	508																		
計	508																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 身延町魅力体験ツアーを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行業法の関係から、専門事業者に委託して実施する 委託料(年2回程度) 700,000円 ◆ ツアー参加者との関係継続のための取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・町の情報の配信、町内割引チケット配布など 予算未定 	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>700</td></tr> <tr><td>計</td><td>700</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	700	計	700		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	700																		
計	700																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住・定住の促進				担当課	
基本的方向	3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進				企画政策課	
施策内容	(4)	宅地分譲の促進					
アクション	①	分譲地の販売のためメディア等を活用し、PRを図り販売促進に繋げます。また、町有地の宅地分譲を進め、定住促進を図ります。					
施策のKPI (成果目標)	分譲地販売数(分譲地全27区画(丸滝宮の前団地22区画、常葉日向宅地区5区画)を令和8年度までに完売する)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	累計17区画 累計27区画	
■実施内容	◎ 新聞・インターネット広告等を活用し、分譲地の販売に繋げる。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 分譲地販売の継続実施 ・丸滝宮の前団地(残7区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞広告の活用を継続実施 ・山梨日日新聞の住宅特集(年3回)を活用 ・山梨日日新聞住まいナビ(年6回)を活用 ◆ インターネット広告の活用を実施	1,782,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,782 1,782 1,782	1,782 1,782	令和2年度末で丸滝、常葉併せて18区画を販売済。令和2年度では1区画販売。徐々にではあるが毎年着実に売れており、問い合わせもあることからニーズは依然あると考える。 引き続き、求めやすい価格、ゆとりある敷地面積、移住・定住祝金制度、金融機関との提携住宅ローン制度などの有利な情報を、ホームページやチラシを積極的に活用して町内外に周知し、販売に繋げたい。	
	KPI実績		丸滝宮の前団地 1区画 常葉日向宅地 0区画 累計 18区画				
令和3年度 (2021)	◆ 分譲地販売の継続実施 ・丸滝宮の前団地(残6区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞広告の活用を継続実施 ・山梨日日新聞の住宅特集(年3回)を活用 ・山梨日日新聞住まいナビ(年6回)を活用	1,782,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,782 1,782 1,782	1,782 1,782	令和3年度末で丸滝、常葉併せて20区画を販売済。令和3年度では2区画販売。徐々にではあるが毎年着実に売れており、問い合わせもあることからニーズは依然あると考える。 引き続き、求めやすい価格、ゆとりある敷地面積、移住・定住祝金制度、金融機関との提携住宅ローン制度などの有利な情報を、ホームページやチラシを積極的に活用して町内外に周知し、販売に繋げたい。	
	KPI実績		丸滝宮の前団地 2区画 常葉日向宅地 0区画 累計 20区画				
令和4年度 (2022)	◆ 分譲地販売の継続実施 ・丸滝宮の前団地(残4区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞広告の活用を継続実施 ・山梨日日新聞のジタクのシタク新聞(旧住宅特集)(年3回)を活用 ・山梨日日新聞住まいナビ(年6回)を活用 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、価格の見直し等を検討実施 ・販売価格の見直し、戸建て販売などを検討する ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、新たな分譲地の検討実施 ・分譲候補地等を検討する	1,782,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,782 1,782 1,782	1,782 1,782	令和4年度末で丸滝、常葉併せて21区画を販売済。令和4年度では1区画販売。徐々にではあるが毎年着実に売れており、問い合わせもあることからニーズは依然あると考える。 引き続き、求めやすい価格、ゆとりある敷地面積、移住・定住祝金制度、金融機関との提携住宅ローン制度などの有利な情報を、ホームページやチラシを積極的に活用して町内外に周知し、販売に繋げたい。	
	KPI実績		丸滝宮の前団地 1区画 常葉日向宅地 0区画 累計 21区画				
令和5年度 (2023)	◆ 分譲地販売の継続実施 ・丸滝宮の前団地(残3区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞・インターネット広告等の活用を継続実施 ・山梨日日新聞のジタクのシタク新聞(旧住宅特集)(年2回)を活用 ・山梨日日新聞住まいナビ(年5回)を活用 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、価格の見直し等を検討実施 ・販売価格の見直し、戸建て販売などを検討する ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、新たな分譲地の検討実施 ・分譲候補地等を検討する	1,320,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,090 1,090	1,320 1,320	令和5年度末で丸滝、常葉併せて23区画を販売済。令和5年度では丸滝分譲地2区画を販売。徐々にではあるが毎年着実に売れており、問い合わせもあることからニーズは依然あると考える。 引き続き、求めやすい価格、ゆとりある敷地面積、移住・定住祝金制度、金融機関との提携住宅ローン制度などの有利な情報を、ホームページやチラシを積極的に活用して町内外に周知し、販売に繋げたい。	
	KPI実績		丸滝宮の前団地 2区画 常葉日向宅地 0区画 累計 23区画				
令和6年度 (2024)	◆ 分譲地販売の継続実施 ・丸滝宮の前団地(残1区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進 ◆ 新聞・インターネット広告等の活用を継続実施 ・山梨日日新聞の住宅特集、インターネット等を活用 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、価格の見直し等を検討実施 ・販売価格の見直し、戸建て販売などを検討 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、新たな分譲地の検討実施 ・分譲候補地等を検討	792,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	792 792	792 792	令和6年度は販売数0で、残りの販売区画は丸滝1区画、常葉3区画。問い合わせはあることからニーズは依然あると考える。 引き続き、求めやすい価格、ゆとりある敷地面積、移住・定住祝金制度、金融機関との提携住宅ローン制度などの有利な情報を、ホームページやチラシを積極的に活用して町内外に周知し、販売に繋げたい。 戸建て販売の検討、新たな分譲候補地の検討も実施。次年度以降も引き続き検討を続ける。	
	KPI実績		丸滝宮の前団地 0区画 常葉日向宅地 0区画 累計 23区画				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																		
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 分譲地販売の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸滝宮の前団地(残1区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞・インターネット広告等の活用を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨日日新聞の住宅特集、インターネット等を活用 792,000円 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、価格の見直し等を検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売価格の見直し、戸建て販売などを検討する ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、新たな分譲地の検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分譲候補地等を検討する 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="background-color: #ffffcc;">792</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td style="background-color: #ffffcc;">792</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	792		計	792	0			
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	792																						
計	792	0																					
	KPI実績	年度末の実績を記載																					
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 分譲地販売の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸滝宮の前団地(残1区画)、常葉日向宅地(残3区画)の販売を促進する ◆ 新聞・インターネット広告等の活用を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨日日新聞の住宅特集、インターネット、ラジオ等を活用する 1,090,000円 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、価格の見直し等を検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売価格の見直し、戸建て販売などを検討する 予算未定 ◆ 分譲地の販売状況を見ながら、新たな分譲地の検討実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分譲候補地等を検討する 予算未定 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td style="background-color: #ffffcc;"></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td style="background-color: #ffffcc;">1,090</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td style="background-color: #ffffcc;">1,090</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源	1,090		計	1,090	0			
国庫支出金																							
県支出金																							
地方債																							
その他																							
一般財源	1,090																						
計	1,090	0																					
	KPI実績	年度末の実績を記載																					
横断的な取り組みの状況																							

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		3	人の流れをつくり、移住・定住の促進				担当課 企画政策課																				
基本的方向		3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進																								
施策内容		(5)	移住者・定住者への支援制度等の継続																								
アクション		①	移住者への祝金制度(新築住宅祝金、住宅購入祝金)を継続します。また、定住者への祝金制度を拡充し、移住・定住の促進に繋げます。																								
施策のKPI (成果目標)		身延町移住・定住祝金支給要綱による支給実績数(各種祝金の支給を令和2年度から令和8年度までに累計60件以上にする)		出典元	企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	8件 累計60件以上																				
■実施内容	◎ 移住者、定住者に対し、各種祝金を支給する。																										
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善																				
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…町内に住宅を新築(50万円) 分譲地に住宅を新築(100万円) ・ 住宅購入祝金…空き家バンクで中古住宅を購入(20万円) ・ 引越し祝金…空き家バンクで賃貸契約(10万円) ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子どもも加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…分譲地に住宅を新築(50万円) ◆ 要綱の改正の検討 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,300</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,300</td></tr> <tr><td></td><td>6,300</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	7,300	計	7,300		6,300	KPI実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>新築住宅祝金(移住者)4件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(定住者・分譲地)3件</td></tr> <tr><td>住宅購入祝金1件</td></tr> <tr><td>引越し祝金2件</td></tr> <tr><td>合計11件</td></tr> </table>	新築住宅祝金(移住者)4件	新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件	新築住宅祝金(定住者・分譲地)3件	住宅購入祝金1件	引越し祝金2件	合計11件	分譲地の購入や移住者が住宅を新築する動機付けになっていると思われる。また、定住を直接的に後押しする制度でもあるため、継続して実施したい。より効果的な制度となるよう検討を行う。
国庫支出金																											
県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源	7,300																										
計	7,300																										
	6,300																										
新築住宅祝金(移住者)4件																											
新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件																											
新築住宅祝金(定住者・分譲地)3件																											
住宅購入祝金1件																											
引越し祝金2件																											
合計11件																											
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…町内に住宅を新築(50万円) 分譲地に住宅を新築(100万円) ・ 住宅購入祝金…空き家バンクで中古住宅を購入(20万円) ・ 引越し祝金…空き家バンクで賃貸契約(10万円) ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子どもも加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…分譲地に住宅を新築(50万円) 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,900</td></tr> <tr><td></td><td>5,000</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	6,900	計	6,900		5,000	KPI実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>新築住宅祝金(移住者)2件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(移住者・分譲地)2件</td></tr> <tr><td>住宅購入祝金4件</td></tr> <tr><td>引越し祝金2件</td></tr> <tr><td>合計10件</td></tr> <tr><td>累計 21件</td></tr> </table>	新築住宅祝金(移住者)2件	新築住宅祝金(移住者・分譲地)2件	住宅購入祝金4件	引越し祝金2件	合計10件	累計 21件	分譲地の購入や移住者が住宅を新築する動機付けになっていると思われる。また、定住を直接的に後押しする制度でもあるため、継続して実施したい
国庫支出金																											
県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源	6,900																										
計	6,900																										
	5,000																										
新築住宅祝金(移住者)2件																											
新築住宅祝金(移住者・分譲地)2件																											
住宅購入祝金4件																											
引越し祝金2件																											
合計10件																											
累計 21件																											
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…町内に住宅を新築(50万円) 分譲地に住宅を新築(100万円) ・ 住宅購入祝金…空き家バンクで中古住宅を購入(20万円) ・ 引越し祝金…空き家バンクで賃貸契約(10万円) ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子どもも加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度の金額を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…分譲地に住宅を新築(50万円) 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,700</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,700</td></tr> <tr><td></td><td>2,600</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	6,700	計	6,700		2,600	KPI実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>新築住宅祝金(移住者)1件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(定住者・分譲地)1件</td></tr> <tr><td>引越し祝金6件</td></tr> <tr><td>合計9件</td></tr> <tr><td>累計 30件</td></tr> </table>	新築住宅祝金(移住者)1件	新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件	新築住宅祝金(定住者・分譲地)1件	引越し祝金6件	合計9件	累計 30件	分譲地の購入や移住者が住宅を新築する動機付けになっていると思われる。また、定住を直接的に後押しする制度でもあるため、継続して実施したい
国庫支出金																											
県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源	6,700																										
計	6,700																										
	2,600																										
新築住宅祝金(移住者)1件																											
新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件																											
新築住宅祝金(定住者・分譲地)1件																											
引越し祝金6件																											
合計9件																											
累計 30件																											
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…町内に住宅を新築(50万円) 分譲地に住宅を新築(100万円) ・ 住宅購入祝金…空き家バンクで中古住宅を購入(20万円) ・ 引越し祝金…空き家バンクで賃貸契約(10万円) ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子どもも加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度の金額を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…分譲地に住宅を新築(50万円) 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,600</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,600</td></tr> <tr><td></td><td>3,600</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	6,600	計	6,600		3,600	KPI実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>新築住宅祝金(移住者)2件</td></tr> <tr><td>新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件</td></tr> <tr><td>住宅購入祝金3件</td></tr> <tr><td>引越し祝金3件</td></tr> <tr><td>合計9件</td></tr> <tr><td>累計 39件</td></tr> </table>	新築住宅祝金(移住者)2件	新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件	住宅購入祝金3件	引越し祝金3件	合計9件	累計 39件	分譲地の購入や移住者が住宅を新築する動機付けになっていると思われる。また、定住を直接的に後押しする制度でもあるため、継続して実施したい
国庫支出金																											
県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源	6,600																										
計	6,600																										
	3,600																										
新築住宅祝金(移住者)2件																											
新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件																											
住宅購入祝金3件																											
引越し祝金3件																											
合計9件																											
累計 39件																											
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金…分譲地に住宅を新築(100万円) ・ 住宅購入祝金…空き家バンクで中古住宅を購入(20万円) ・ 引越し祝金…空き家バンクで賃貸契約(10万円) ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子どもも加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新築住宅祝金 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,900</td></tr> <tr><td>計</td><td>5,900</td></tr> <tr><td></td><td>1,700</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	5,900	計	5,900		1,700	KPI実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件</td></tr> <tr><td>住宅購入祝金2件</td></tr> <tr><td>引越し祝金1件</td></tr> <tr><td>合計4件</td></tr> <tr><td>累計 43件</td></tr> </table>	新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件	住宅購入祝金2件	引越し祝金1件	合計4件	累計 43件	分譲地の購入や移住者が住宅を新築する動機付けになっていると思われる。また、定住を直接的に後押しする制度でもあるため、継続して実施したい	
国庫支出金																											
県支出金																											
地方債																											
その他																											
一般財源	5,900																										
計	5,900																										
	1,700																										
新築住宅祝金(移住者・分譲地)1件																											
住宅購入祝金2件																											
引越し祝金1件																											
合計4件																											
累計 43件																											

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金、住宅購入祝金、引越祝金 ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子ども加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金 	4,000,000円 800,000円 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,800 0	KPI実績 年度末の実績を記載
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住者への各種祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金、住宅購入祝金、引越祝金 ◆ 移住者への子ども加算制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金、住宅購入祝金には、子ども加算を実施 (18歳未満1人20万円※上限5人) ◆ 定住者への祝金制度を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅祝金 	4,000,000円 1,000,000円 1,000,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	6,000 0	KPI実績 年度末の実績を記載
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住・定住の促進					担当課	
基本的方向	3-1	空き家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進					企画政策課	
施策内容	(5)	移住者・定住者への支援制度等の継続						
アクション	②	定住促進祝金制度(就職奨励金)を拡充継続します。						
施策のKPI (成果目標)	定住促進に関する条例による就職奨励金の支給実績数(実績数を令和2年度から令和8年度までに累計100件以上にする)		出典元	企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018)	12件		
					目標値 令和8年度(2026)	累計100件以上		
■実施内容	◎ 定住促進祝金(就職奨励金)を支給する。							
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	◆ 定住促進祝金の金額を拡充 ・ 就職奨励金…新規学卒者、転入して就職した者 (5万円)	850,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	900 900	850 850	受給者からは好評を得ている。 今後は事業の効果等を見つつ、事業検討を行う。		
	◆ 身延町定住促進に関する条例の改正の検討 ・ 金額や要件、申請方法等については要検討		KPI実績	17件				
令和3年度 (2021)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 就職奨励金…新規学卒者、転入して就職した者	1,250,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,250 1,250	550 550	受給者からは好評を得ている。 今後は事業の効果等を見つつ、事業検討を行う。		
	◆ 身延町定住促進に関する条例の改正 ・ 制度全体について要検討		KPI実績	11件 累計 28件				
令和4年度 (2022)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 就職奨励金…新規学卒者、転入して就職した者	750,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,000 1,000	750 750	受給者からは好評を得ている。 今後は事業の効果等を見つつ、事業検討を行う。		
			KPI実績	15件 累計 43件				
令和5年度 (2023)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 就職奨励金…新規学卒者、転入して就職した者	700,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,000 1,000	700 700	受給者からは好評を得ている。 今後は事業の効果等を見つつ、事業検討を行う。		
			KPI実績	14件 累計 57件				
令和6年度 (2024)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 就職奨励金…新規学卒者、転入して就職した者	900,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,100 1,100	900 900	受給者からは好評を得ている。 今後は事業の効果等を見つつ、事業検討を行う。		
			KPI実績	18件 累計 75件				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・就職奨励金	850,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	850 0	KPI実績 年度末の実績を記載
令和8年度 (2026)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・就職奨励金	1,000,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,000 0	KPI実績 年度末の実績を記載
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住・定住の促進				担当課												
基本的方向	3-1	空家の活用や宅地分譲を推進するなど、移住・定住の促進				企画政策課												
施策内容	(6)	ホームページ等により町の子育て支援施策等の情報発信																
アクション	①	ホームページ等を利用して町の子育て支援施策等を情報発信して転入を促します。																
施策のKPI (成果目標)	ホームページの子育てサイトアクセス数(アクセス数を毎年 度10,000回以上にする)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和2年度(2020) 目標値 令和8年度(2026)	開始 10,000回以上/毎年度												
■実施内容	◎ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、本町への転入を促す。																	
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善													
令和2年度 (2020)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告宣伝費 4,433,000円 子育て支援サイト制作 2,530,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,718</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,718</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	7,718	計	7,718			KPI実績 子育てサイト新設	町の子育て施策情報を1つにまとめ、年 齢別、目的別で分かりやすく検索できる ようにサイトを作成した。
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	7,718																	
計	7,718																	
令和3年度 (2021)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			KPI実績 7,484回	町の子育て施策情報を、年齢別、目的 別で分かりやすくまとめたことで、目標の 7倍を超える7,484のアクセスがあった。 引き続き最新の情報をアップしつつ分 かりやすいホームページにしていく。
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源																		
計	0																	
令和4年度 (2022)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			KPI実績 6,649回	昨年度は、サイト開設1年目ということも あり目標の7倍を超える約7,500アクセス があったが、今年度は数を減らしたもの の6,649アクセスとなり高い数値を維持で きた。 スマートフォン等の電子機器普及により 誰でも簡単に閲覧が可能となっているた め引き続き最新の情報をアップしつつカ レンダーなども有効活用しながら見やす いホームページにしていく。
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源																		
計	0																	
令和5年度 (2023)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の施策PRポスター作成 114,125円 町の施策パンフレット作成 715,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>829</td></tr> <tr><td>計</td><td>829</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	829	計	829			KPI実績 6,652回	令和5年度は前年度と横ばいの6,652ア クセスであった。 年度末には、子育て支援策をPRするパ ンフレットを作成しホームページでもダウ ンロードし閲覧できるようにした。 スマートフォン等の電子機器普及により 誰でも簡単に閲覧が可能となっているた め、引き続き最新の情報をアップしつつカ レンダーなども有効活用しながら見やす いホームページにしていく。
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	829																	
計	829																	
令和6年度 (2024)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		計	0			KPI実績 7,362回	令和6年度は前年度より710多い7,362 アクセスであった。 令和5年度末に作成した子育て支援策 をPRするパンフレットを各種窓口に設置 し、児童・園児の保護者や子育て世代の 方々へ配布した。 簡単に閲覧が可能となっているため、 引き続き最新の情報をアップしつつか レンダーなども有効活用しながら見やす いホームページにしていく。
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源																		
計	0																	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。 ・ 子育てガイドブックNOBINOBI増刷 246,400円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	246 246 0		
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ ホームページ等により町の子育て支援施策等をPR ホームページ等により町の子育て支援施策等をPRし、転入を促す。</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0		
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住、定住の推進				担当課	
基本的方向	3-2	町営住宅の整備による移住定住の促進				建設課	
施策内容	(1)	町営住宅のリノベーション					
アクション	①	入居率の低下した古いタイプの町営住宅を子育て世帯向けにリノベーションし、使いやすく、安心・快適な住まいを提供します。					
■実施内容	○ 子育て世帯をターゲットにリノベーション(構造上重要な壁・床・梁以外の内装を全面的に改修(7室))する。改修は間取りへの変更、床、サッシの断熱性向上による省エネ化や浴室、キッチン、トイレ、洗面台、LED照明など設備更新を行う。	施策のKPI (成果目標)	町営住宅リノベーション済み空き室入居数(入居数を令和8年度までに7室にする)	出典元	建設課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 7室
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<p>◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション 空き部屋 3室をリノベーション計画 基本検討 入居対象者に合わせた建築設計のビジョン作成 ・老朽化した和室を改修し、リビングダイニングキッチンを造る。 ・浴室については他の部屋と同様に改修を行い、併せて3点給湯にする。 ・サッシをペアガラスに替え断熱性を向上させる。 ・和室、一室を洋間に替え子供部屋を造る。 ・その他、設備や内装も改修を行う。</p> <p>※ 町営住宅八日市場団地の空き室を活用の方向。中部横断自動車道のインターに近く、立地条件も優れているので、子育て世帯向けにリノベーションすれば需要は高いと思われる。</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 地方債 その他 一般財源 計		0	0	改修内容を決定したので、R3年度にて、空き部屋3部屋を改修する。 改修後は、みなじ特定公共賃貸住宅とし、入居募集をする。	
令和3年度 (2021)	<p>◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・改修工事 3戸 ・子育て世帯向け情報発信</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	12,550	12,244	12,550	12,244	町営八日市場団地の3部屋の改修事業完了。 みなじ特定公共賃貸住宅として入居募集開始。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・改修工事 0戸(設計込み) ・子育て世帯向け情報発信</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	0	0	みなじ特定公共賃貸住宅として入居募集開始後、1戸入居。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・子育て世帯へ向けた情報発信 ・改修工事0戸</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	0	0	みなじ特定公共賃貸住宅として入居募集開始後、1戸入居していたが、年度途中で退去。 今後も町ホームページなどで、情報発信し子育て世帯住宅の周知を図っていく。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・子育て世帯へ向けた情報発信 ・改修工事0戸</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	0	0	問い合わせ等はあったが、入居要件を満たさず他の町営住宅への入居となつた。 今後も町ホームページなどで情報発信し子育て世帯住宅の周知を図っていく。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・子育て世帯へ向けた情報発信	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 子育て世帯をターゲットに町営住宅をリノベーション ・子育て世帯へ向けた情報発信	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		3	人の流れをつくり、移住、定住の促進				担当課 建設課		
基本的方向		3-2	町営住宅の整備による移住定住の促進						
施策内容		(2)	戸建て町営住宅の建設						
アクション		①	戸建ての町営住宅を建設し、子育て世代の移住定住を促進します。						
施策のKPI (成果目標)		戸建て町営住宅入居数(完成後入居数を令和8年度までに8戸にする)		出典元	建設課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 8戸		
■実施内容	◎ 所得制限を設けない子育て世代向けの戸建て賃貸町営住宅の整備(建て替え)を行い移住定住を促進する。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<p>◆ 町営戸建て賃貸住宅の建設検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居対象者の検討 ・入居者に合わせた用地・建築設計のビジョン作成(平屋若しくは、2階建て、木造、3LDK、5棟建設) ・用地取得準備(筆確定・払い下げ) <p>※ 飯富地区の町営住宅跡地の活用の方向。新中学校や中部横断自動車道の全線開通を見込み新しい転入者を見込む立地条件としても、優れているため需要は高いと思われる。</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	用地取得について、財務事務所や、山梨県用地課と協議したが、公団上の問題が解決できなかった。 解決するには、まず、地籍調査をする必要がある。 地籍調査後、再検討とする。		
令和3年度 (2021)	<p>※ 用地取得について、検討したが、元町営飯富団地跡地は、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない。 地籍調査にて、土地問題が解決した後、再検討とする。</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規に用地を取得しての事業化は財源的に困難であるため、既存用地として元町営飯富団地跡地を活用しての事業化を検討したが、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない状況にある。 今後、地籍調査にて土地問題が解決した後に検討していく。		
令和4年度 (2022)	<p>※ 用地取得について、検討したが、元町営飯富団地跡地は、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない。 地籍調査にて、土地問題が解決した後、再検討とする。</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規に用地を取得しての事業化は財源的に困難であるため、既存用地として元町営飯富団地跡地を活用しての事業化を検討したが、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない状況にある。 今後、地籍調査にて土地問題が解決した後に検討していく。 また老朽化した町営住宅1団地を、子育て世帯向けの戸建て住宅建設に向け、再検討し進めていく。		
令和5年度 (2023)	<p>※ 用地取得について、甲府財務事務所とも打合せを行ったが、元町営飯富団地跡地は、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない。 地籍調査にて、土地問題が解決した後、再検討とする。</p> <p>※ 老朽化した町営住宅1団地について、PFI協会を委託契約を交わし今後の住宅整備について協議を行った。必要に応じ、民間ヒアリングを実施した。 当初は戸建て住宅整備について検討を進めていたが、財政状況等も含め計画の見直しを行うこととした。</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	495 990	0	新規に用地を取得しての事業化は財源的に困難であるため、既存用地として元町営飯富団地跡地を活用しての事業化を検討したが、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない状況にある。 今後、地籍調査にて土地問題が解決した後に検討していく。 また老朽化した町営住宅1団地について、民間ヒアリングの結果も踏まえながら戸建て住宅も含め計画の見直しを行い、今後も検討を進める。		
令和6年度 (2024)	<p>※ 用地取得について、甲府財務事務所とも打合せを行ったが、元町営飯富団地跡地は、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない。 地籍調査にて、土地問題が解決した後、再検討とする。</p> <p>※ 老朽化した町営住宅1団地について、当初は戸建て住宅整備について検討を進めていたが、財政状況等も含め計画の見直しを行うこととした。</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	新規に用地を取得しての事業化は財源的に困難であるため、既存用地として元町営飯富団地跡地を活用しての事業化を検討したが、公団と現況が大きく乖離しており、地籍調査の成果にて解決しないと、用地取得及び住宅建設の手続きは出来ない状況にある。 今後、地籍調査にて土地問題が解決した後に検討していく。 また老朽化した町営住宅1団地について計画の見直しを行い、検討を進める。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	計画の見直しを行い、検討を進めていく。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 維持管理を行っていく。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	3	人の流れをつくり、移住、定住の促進				担当課	
基本的方向	3-2	町営住宅の整備による移住定住の促進				建設課	
施策内容	(3)	町営住宅の建設					
アクション	①	若い夫婦向けの集合賃貸住宅を建設します。子育て世帯への低価格家賃での提供を検討し、移住定住を促進します。					
施策のKPI (成果目標)	集合賃貸住宅入居数(18戸建設後令和8年度までに18室入居する)		出典元	建設課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 18室	
■実施内容	◎若い夫婦向けの集合賃貸住宅を建設します。子育て世帯への低価格家賃での提供を検討し、移住定住を促進します。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆賃貸集合住宅の建設 検討 ・入居対象者の検討 ・入居対象者に合わせた用地・建築設計のビジョン作成 ※一般企業等では住宅手当が支給されないところもあることから、単身者、子育て世帯へ住宅を供給して移住定住を図る。	国庫支出金 県支出金 地方債 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 0室	PFIにおいて住宅整備が出来るのか調査を行っている。 建設場所、住宅の規模についても調査中である。	
令和3年度 (2021)	◆賃貸集合住宅の建設 雇用・子育て定住促進住宅整備PFI導入可能性調査 ・事業計画の検討、概略事業計画の作成、概算事業費の算出	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,650 1,650 1,650 1,650	1,650 1,650 1,650 1,650	KPI実績 0室	PFI事業による住宅整備が可能かどうかの検討業務を委託実施し、既存住宅の建て替えによる事業実施が可能な住宅を選考した。 次年度以降、建て替えに向けて事業化を検討していく。	
令和4年度 (2022)	◆賃貸集合住宅の建設 雇用・子育て定住促進住宅整備PFI導入可能性調査の結果を踏まえて、建設実施に向けての再調査検討の実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 0室	PFI事業による住宅整備が可能かどうかの検討業務を委託実施し、既存住宅の建て替えによる事業実施が可能な住宅を選考したが、事業者ヒアリングにより、集合住宅の建て替えについては実施に向け厳しい評価であったため、再検討することとした。	
令和5年度 (2023)	◆賃貸集合住宅の建設について、PFI導入可能性調査の結果を踏まえ、賃貸集合住宅については、建設実施に向けては厳しい評価であったため内容等について再検討する。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 0室	内容等について、再検討していく。	
令和6年度 (2024)	◆賃貸集合住宅の建設について、以前行ったPFI導入可能性調査の結果を踏まえ賃貸集合住宅については、建設実施に向けては厳しい評価であったため内容等について再検討する。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 0室	内容等について、再検討していく。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 賃貸集合住宅の建設について、以前行ったPFI導入可能性調査の結果を踏まえ賃貸集合住宅については、建設実施に向けては厳しい評価であったため内容等について再検討する。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 賃貸集合住宅の建設について、PFI導入可能性調査の結果を踏まえ、賃貸集合住宅については、建設実施に向けては厳しい評価であったため内容等について再検討する。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実					担当課
基本的方向	4-1	結婚・出産への支援の充実					企画政策課
施策内容	(1)	結婚相談と出会い環境の充実					
アクション	①	結婚の希望を叶えるため、婚活イベントの開催による出会いの場の提供をします。また、参加がしやすい環境としてオンラインの活用を検討します。					
施策のKPI (成果目標)	婚活イベントでの町民のカップル成立件数(カップル件数を毎年度2組以上成立する)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和2年度(2020)	開始	
					目標値 令和8年度(2026)	累計40組以上	
■実施内容	◎ 婚活イベントを年3回程度開催する。						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など 		100,000円	国庫支出金		KPI実績	<p>新型コロナ感染症拡大防止のため、対面でのイベントは行わず、代替策としてオンラインイベント(1回)や委託事業者の提供するお見合い事業等の利用の無料化(1月～3月)を行った。 お見合い事業については一定のニーズがあり新規利用者の掘り起こしがつた。</p>
				県支出金			
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など 		100,000円	地方債			<p>新型コロナ感染症拡大防止のため、対面でのイベントは行わず、代替策として委託事業者の提供するお見合い事業等の利用の無料化(4月～6月)割引(11月～1月)を行った。 お見合い事業については昨年度同様一定のニーズがあり好評であった。</p>
				その他			
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベント等を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ・個別フォローアップ業務 ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など ◆ 身延町婚活事業支援補助金交付要綱の改正を検討 <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に制定してから実績が無い要綱の改正を検討実施(市民が使いやすい要綱へ) 		243,000円	一般財源	200	100	<p>新型コロナ感染症拡大防止対策を講じながら、婚活イベントを業者委託により2回実施。さらに、お見合い事業や個別相談を実施し、独身男女の出会い系の場を提供。また、個別のフォローアップの実施により、効果的な支援を実現した。 今後もイベントの周知を積極的に実施して、参加者の増加と効果的な支援等、出会い系の場の提供を継続していきたい。</p>
				計	200	100	
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ・個別フォローアップ業務 ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など ◆ 身延町婚活事業支援補助金交付要綱の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請件数 0件 		369,000円	国庫支出金		KPI実績	<p>婚活イベント 3組 お見合い後の連絡先交換 4組 累計 30組</p> <p>婚活イベントを業者委託により2回実施。さらに、お見合い支援や婚活イベント参加費の助成を実施し、独身男女の出会い系の場を提供。また、個別のフォローアップの実施により、効果的な支援を実現した。 今後もイベントの周知を積極的に実施して、参加者の増加と効果的な支援等、出会い系の場の提供を継続していきたい。</p>
				県支出金			
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ・イベントの内容や開催方法等について検討を継続 ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など ◆ 身延町婚活事業支援補助金交付要綱の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請件数 0件 		265,500円	地方債		KPI実績	<p>婚活イベント 11組 お見合い後の連絡先交換 9組 累計 59組</p> <p>婚活イベントを業者委託により3回実施。さらに、お見合い支援や婚活イベント参加費の助成を実施し、独身男女の出会い系の場を提供。また、個別のフォローアップの実施により、効果的な支援を実現した。 今後もイベントの周知を積極的に実施して、参加者の増加と効果的な支援等、出会い系の場の提供を継続していきたい。</p>
				その他			
				一般財源	490	266	
				計	490	266	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ・イベントの内容や開催方法等について検討を継続 ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など ◆ 身延町婚活事業支援補助金交付要綱の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請件数 0件 	495,000円 円 円	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>495</td></tr> <tr><td>計</td><td>495</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	495	計	495		0	KPI実績	年度末の実績を記載
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	495																		
計	495																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 婚活イベントを継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村・事業所との合同婚活事業を継続する委託料(民間婚活業者) ・イベントの内容や開催方法等について検討を継続 ◆ 出会いの場の提供方法の検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな婚活イベント等について検討する町内の男性を対象とした出会い系の場の提供など ◆ 身延町婚活事業支援補助金交付要綱の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請件数 2件 	100,000円 予算未定 200,000円	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>300</td></tr> <tr><td>計</td><td>300</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	300	計	300		0	KPI実績	年度末の実績を記載
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	300																		
計	300																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課												
基本的方向		4-1 結婚・出産への支援の充実					子育て支援課												
施策内容		(2) 妊娠・出産環境の充実																	
アクション		① 多胎児妊婦健診に対する助成額の拡充を継続します。																	
■実施内容	◎ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。	妊娠及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。 ・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えしていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。	出典元 基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	子育て支援課調査 100% 100%/毎年度															
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善													
令和2年度 (2020)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <p>・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>30</td></tr> <tr><td>計</td><td>30</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	30	計	30	<table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>対象者なし</td></tr> </table>	KPI実績	対象者なし	<p>多胎妊娠の妊婦も安心して出産を迎える事ができるよう、事業を継続していく。 令和2年度対象者なし</p>	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	30																		
計	30																		
KPI実績	対象者なし																		
令和3年度 (2021)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <p>・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>30</td></tr> <tr><td>計</td><td>30</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	30	計	30	<table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>対象者なし</td></tr> </table>	KPI実績	対象者なし	<p>多胎妊娠の妊婦も安心して出産を迎える事ができるよう、事業を継続していく。 令和3年度対象者なし</p>	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	30																		
計	30																		
KPI実績	対象者なし																		
令和4年度 (2022)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <p>・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>30</td></tr> <tr><td>計</td><td>30</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	30	計	30	<table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>対象者なし</td></tr> </table>	KPI実績	対象者なし	<p>多胎妊娠の妊婦も安心して出産を迎える事ができるよう、事業を継続していく。 令和4年度対象者なし</p>	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	30																		
計	30																		
KPI実績	対象者なし																		
令和5年度 (2023)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <p>・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>30</td></tr> <tr><td>計</td><td>30</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	30	計	30	<table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>対象者なし</td></tr> </table>	KPI実績	対象者なし	<p>多胎妊娠の妊婦も安心して出産を迎える事ができるよう、事業を継続していく。 令和5年度対象者なし</p>	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	30																		
計	30																		
KPI実績	対象者なし																		
令和6年度 (2024)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <p>・全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>30</td></tr> <tr><td>計</td><td>30</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	30	計	30	<table border="1"> <tr><td>KPI実績</td><td>対象者なし</td></tr> </table>	KPI実績	対象者なし	<p>多胎妊娠の妊婦も安心して出産を迎える事ができるよう、事業を継続していく。 令和6年度対象者なし</p>	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	30																		
計	30																		
KPI実績	対象者なし																		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えしていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 妊婦及び乳幼児健康診査費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦への健診費用の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての妊婦に対し、妊婦健診の助成を14回分実施しているが、多胎妊娠の場合は、妊娠継続や出産に対してのリスクも高く、経過を慎重に見ていく必要性があることから、妊婦健診の回数が増えていく傾向にある。そのため、多胎妊娠をしている妊婦が、安心して妊娠、出産を迎えることができるよう、多胎児妊娠については、5回分(6,000円/回)を追加して19回分の妊婦健診費用の助成を行います。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-1	結婚・出産への支援の充実				子育て支援課
施策内容	(2)	妊娠・出産環境の充実				子育て支援課
アクション	②	不妊治療費に対しての補助金を増額して継続します。				子育て支援課
施策のKPI (成果目標)	不妊治療費助成事業実施要綱に基づく支給対象者助成金 支給率(支給率を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 平成30年度(2018)	100%
					目標値 令和8年度(2026)	100%/毎年度
■実施内容	◎ 不妊治療費助成事業実施要綱に基づき、多胎妊婦の経済的負担の軽減を図る。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業(R2.5要綱改正) 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。 ・ 補助率を10/10とし、上限額を50万円。 3組に対し1,356,157円助成</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,357 1,357	1,357 1,357	KPI実績 100%	不妊治療は、高額の治療費を要するため、今後も経済的負担軽減のため事業を継続する。 不妊治療を実施した3組すべてに対し助成を行った。
令和3年度 (2021)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業(R2.5要綱改正) 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。 ・ 補助率を10/10とし、上限額を50万円。 6組に対し2,484,885円助成</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,500 3,500	2,484 2,484	KPI実績 100%	R4.4.1より不妊治療の多くが保険適用となつたが、本町は「子どもを産み育てやすい町」を目指しているので、保険診療とそれ以外の併用や、保険診療分患者一部負担金に対して助成を継続する 不妊治療を実施した6組すべてに対し助成を行った。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業(R2.5要綱改正) 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。 ・ 補助率を10/10とし、上限額を50万円。 2組に対し746,180円助成</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,500 2,500	746 746	KPI実績 100%	R4.4.1より不妊治療の多くが保険適用となつたが、本町は「子どもを産み育てやすい町」を目指しているので、保険診療とそれ以外の併用や、保険診療分患者一部負担金に対して助成を継続する 不妊治療を実施した2組に対し助成を行った。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。 ・ 補助率を10/10とし、上限額を50万円。 3組に対し1,274,167円助成</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,500 2,500	1,274 1,274	KPI実績 100%	R4.4.1より不妊治療の多くが保険適用となつたが、本町は「子どもを産み育てやすい町」を目指しているので、保険診療とそれ以外の併用や、保険診療分患者一部負担金に対して助成を継続する 不妊治療を実施した3組に対し助成を行った。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。 ・ 補助率を10/10とし、上限額を50万円。 4組に対し1,408,000円助成</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,500 2,500	1,408 1,408	KPI実績 100%	R4.4.1より不妊治療の多くが保険適用となつたが、本町は「子どもを産み育てやすい町」を目指しているので、保険診療とそれ以外の併用や、保険診療分患者一部負担金に対して助成を継続する 不妊治療を実施した4組に対し助成を行った。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。</p> <p>補助率を10/10とし、上限額を50万円とする。 年度1回の申請 50万円×5組=250万円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,500</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,500	計	2,500		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	2,500																		
計	2,500																		
	0																		
	KPI実績	年度末の実績を記載																	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 不妊治療費助成事業実施要綱支給事業 子どもを望む夫婦に対し、高額になる不妊治療にかかる費用の助成を行い、安心して治療を受けられるよう事業の継続を行う。</p> <p>補助率を10/10とし、上限額を50万円とする。 年度1回の申請 50万円×5組=250万円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,500</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,500	計	2,500		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	2,500																		
計	2,500																		
	0																		
KPI実績	年度末の実績を記載																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課	
基本的方向	4-1	結婚・出産への支援の充実				子育て支援課	
施策内容	(2)	妊娠・出産環境の充実					
アクション	(3)	宿泊型産後ケアセンター利用者への補助を継続します。					
施策のKPI (成果目標)	産後ケア事業実施要綱に基づく利用者負担の無料化率(無料化を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	100% 100%/毎年度	
■実施内容	◎ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担の軽減を図る。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する ・原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 3人に対し54,900円を補助</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110 110	55 55	KPI実績 100%	継続して産後ケアセンターの積極的利用を促し、子育てに対する不安を軽減する。 産後ケアセンターを利用した3人すべてに対し自己負担を軽減する事ができた。	
令和3年度 (2021)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する ・原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 5人に対し79,300円を補助</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110 110	79 79	KPI実績 100%	継続して産後ケアセンターの積極的利用を促し、子育てに対する不安を軽減する。 産後ケアセンターを利用した5人すべてに対し自己負担を軽減する事ができた。	
令和4年度 (2022)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する ・原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 1人に対し12,000円を補助</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110 110	12 12	KPI実績 100%	継続して産後ケアセンターの積極的利用を促し、子育てに対する不安を軽減する。 産後ケアセンターを利用した1人に対し自己負担を軽減する事ができた。	
令和5年度 (2023)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する ・原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 1泊 6100円×11泊=67,100円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110 110	67 67	KPI実績 100%	継続して産後ケアセンターの積極的利用を促し、子育てに対する不安を軽減する。 産後ケアセンターを利用した4人に対し自己負担を軽減する事ができた。	
令和6年度 (2024)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する ・原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 1泊 6100円×2泊×1人=12,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	110 110	12 12	KPI実績 100%	継続して産後ケアセンターの積極的利用を促し、子育てに対する不安を軽減する。 産後ケアセンターを利用した1人に対し自己負担を軽減する事ができた。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 <p>1泊 6100円×3泊×6人＝109,800円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>110</td></tr> <tr><td>計</td><td>110</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	110	計	110		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	110																		
計	110																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 産後ケア事業実施要項に基づき、利用者負担を軽減する</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則3泊4日程度の宿泊で、産後の育児不安の軽減、母体の疲労回復を目的に実施されている宿泊型産後ケアセンターの利用者自己負担額(1泊6100円)を公費負担することで、利用者が利用しやすい環境整備を行い、産後の早期から子育てしやすい町づくりを推進します。 <p>1泊 6100円×3泊×6人＝109,800円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>110</td></tr> <tr><td>計</td><td>110</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	110	計	110		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	110																		
計	110																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-1	結婚・出産への支援の充実				子育て支援課
施策内容	(2)	妊娠・出産環境の充実				
アクション	④	母子手帳の記録をデジタル化し、出産前後だけでなく妊娠・出産・育児期を継続的にサポートできる母子手帳アプリの導入を検討します。				
施策のKPI (成果目標)	母子手帳アプリ導入決定後に目標を設定する		出典元	—	基準値 令和5年度(2023) 目標値 令和8年度(2026)	—
■実施内容	◎ 山梨県市町村総合事務組合電子自治体推進課が導入を検討している、母子手帳アプリの共同化事業の動向を見据えながら検討する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
	KPI実績					
令和3年度 (2021)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
	KPI実績					
令和4年度 (2022)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
	KPI実績					
令和5年度 (2023)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
	KPI実績					
令和6年度 (2024)	◆ 母子手帳アプリ導入の検討 ・スケールメリットを活かして効率的に導入するため、山梨県総合事務組合電子自治体推進課との連携 ・導入を見据えた県内市町村における共同化事業の推進 ・導入に関する住民へのニーズ調査	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	県、他市町村との調整が必要となるため、導入に時間を要し、実績を記載できない。 引き続き、導入を検討していく。
	KPI実績		検討			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 母子手帳アプリ導入の検討 ・スケールメリットを活かして効率的に導入するため、山梨県総合事務組合電子自治体推進課との連携 ・導入を見据えた県内市町村における共同化事業の推進 ・導入に関する住民へのニーズ調査	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 母子手帳アプリ導入の検討 ・スケールメリットを活かして効率的に導入するため、山梨県総合事務組合電子自治体推進課との連携 ・導入を見据えた県内市町村における共同化事業の推進	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課	
基本的方向		4-1 結婚・出産への支援の充実					企画政策課	
施策内容		(3) 結婚・出産への支援制度等の継続						
アクション		① 定住促進祝金制度(結婚祝金、出産祝金)を拡充継続します。						
施策のKPI (成果目標)		定住促進に関する条例祝金支給実績数(祝金支給件数を令和2年度から令和8年度までに①結婚祝金累計75件以上、②出産祝金累計150件以上にする)	出典元	企画政策課調査	基準値 平成30年度(2018)	①結婚18件 ②出産32件		
					目標値 令和8年度(2026)	①累計 75件以上 ②累計150件以上		
■実施内容	◎ 定住促進祝金(結婚祝金、出産祝金)を支給する。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 定住促進祝金の金額を拡充 - 結婚祝金…町内に居住し、結婚後も定住する者 350,000円 1組 7万円 - 出産祝金…身延町に居住し、出産後も定住する者 2,520,000円 第1子 5万円 第2子 7万円 第3子 30万円 以降、1人増えるごとに10万円加算 ◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続 - 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 15,092円 ◆ 印鑑贈呈の継続 - 出産祝金申請者に贈呈 62,700円 ◆ 身延町定住促進に関する条例の改正の検討 - 既存事業の改正の検討や結婚出産支援につながる新規事業の検討		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	7,168 2,330 2,948	KPI実績 結婚祝金 5件 出産祝金 18件	人口減少や晩婚化、それに伴う出生数の減少から申請数が前年度に比べ減少している。しかし、結婚・出産を後押しする制度として利用者からは好評であり今後も継続して実施したい。 なお、結婚への支援策の拡充として、結婚新生活支援事業を令和3年度より実施する。		
令和3年度 (2021)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 - 結婚祝金…町内に居住し、結婚後も定住する者 700,000円 1組 7万円 - 出産祝金…身延町に居住し、出産後も定住する者 3,310,000円 第1子 5万円 第2子 7万円 第3子 30万円 以降、1人増えるごとに10万円加算 ◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 - 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 39,270円 ◆ 印鑑贈呈の継続実施 - 出産祝金申請者に贈呈 62,700円 ◆ 結婚新生活支援事業補助金の実施(支援制度拡充) 結婚に伴う住居費、引越し費用等を助成する。 年齢制限、所得制限有		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,015 3,298 4,112	KPI実績 結婚祝金 10件 累計 14件 出産祝金 19件 累計 37件	結婚祝金・出産祝金ともに令和2年度より增加了もの、基準値からは減少している。 しかし、結婚・出産を後押しする制度として利用者からは好評であり今後も継続して実施したい。 また、令和3年度より結婚新生活支援事業を実施したが、申請者はいなかつた。 引き続き周知に努め結婚への後押しとしたい。		
令和4年度 (2022)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 - 結婚祝金、出産祝金など - 結婚祝金…町内に居住し、結婚後も定住する者 630,000円 1組 7万円 - 出産祝金…身延町に居住し、出産後も定住する者 1,210,000円 第1子 5万円 第2子 7万円 第3子 30万円 以降、1人増えるごとに10万円加算 ◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 - 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 26,741円 ◆ 印鑑贈呈の継続実施 - 出産祝金申請者に贈呈 52,800円 ◆ 結婚新生活支援事業補助金の実施(支援制度拡充) 結婚に伴う住居費、引越し費用等を助成する。 年齢制限、所得制限有		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	450 200 456 1,564 2,220	KPI実績 結婚祝金 9件 累計 23件 出産祝金 16件 累計 53件	結婚祝金・出産祝金ともに令和3年度より減少している。 しかし、結婚・出産を後押しする制度として利用者からは好評であり今後も継続して実施したい。 また、令和3年度より実施している結婚新生活支援事業は、1件の申請・交付があつた。 引き続き周知に努め結婚への後押しとしたい。		
令和5年度 (2023)	◆ 定住促進祝金制度の継続実施 - 結婚祝金、出産祝金など - 結婚祝金…町内に居住し、結婚後も定住する者 280,000円 1組 7万円 - 出産祝金…身延町に居住し、出産後も定住する者 2,960,000円 第1子 5万円 第2子 7万円 第3子 30万円 以降、1人増えるごとに10万円加算 ◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 - 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 17,204円 ◆ 印鑑贈呈の継続実施 - 出産祝金申請者に贈呈 46,200円 ◆ 結婚新生活支援事業補助金の実施(支援制度拡充) 結婚に伴う住居費、引越し費用等を助成する。 年齢制限、所得制限有		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,050 423 2,881 3,304	KPI実績 結婚祝金 4件 累計 27件 出産祝金 14件 累計 67件	結婚祝金・出産祝金ともに令和4年度より減少している。 しかし、結婚・出産を後押しする制度として利用者からは好評であり今後も継続して実施したい。 結婚新生活支援事業は、実績0件だつた。 引き続き周知に努め結婚への後押しとしたい。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和6年度 (2024)	<p>◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金など ・ 結婚祝金…町内に居住し、結婚後も定住する者 630,000円 1組 7万円 ・ 出産祝金…身延町に居住し、出産後も定住する者 3,230,000円 第1子 5万円 第2子 7万円 第3子 30万円 以降、1人増えるごとに10万円加算</p> <p>◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 24,849円</p> <p>◆ 印鑑贈呈の継続実施 ・ 出産祝金申請者に贈呈 72,600円</p> <p>◆ 結婚新生活支援事業補助金の実施(支援制度拡充) 結婚に伴う住居費、引越し費用等を助成する。 0円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支払金</td><td>1,050</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>645</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,526</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,576</td></tr> <tr><td></td><td>3,958</td></tr> </table>	国庫支出金		県支払金	1,050	地方債		その他	645	一般財源	5,526	計	6,576		3,958	KPI実績	<p>結婚祝金 9件 累計 36件</p> <p>出産祝金 22件 累計 89件</p>	<p>結婚祝金・出産祝金ともに令和5年度より増加している。 結婚・出産を後押しする制度として利用者からは好評であり今後も継続して実施したい。 結婚新生活支援事業は、実績0件だった。 引き続き周知に努め結婚への後押ししたい。</p>
国庫支出金																			
県支払金	1,050																		
地方債																			
その他	645																		
一般財源	5,526																		
計	6,576																		
	3,958																		
令和7年度 (2025)	<p>◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金など 3,020,000円</p> <p>◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 74,052円</p> <p>◆ 印鑑贈呈の継続実施 ・ 出産祝金申請者に贈呈 69,300円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支払金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,164</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,164</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支払金		地方債		その他		一般財源	3,164	計	3,164		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支払金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	3,164																		
計	3,164																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 定住促進祝金制度の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金など 5,000,000円</p> <p>◆ しだれ桜の苗木贈呈の継続実施 ・ 結婚祝金、出産祝金申請の希望者に贈呈 100,000円</p> <p>◆ 印鑑贈呈の継続実施 ・ 出産祝金申請者に贈呈 100,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支払金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,200</td></tr> <tr><td>計</td><td>5,200</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支払金		地方債		その他		一般財源	5,200	計	5,200		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支払金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	5,200																		
計	5,200																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				
施策内容	(1)	働く保護者への支援充実				子育て支援課
アクション	①	学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。				
施策のKPI (成果目標)	学童保育アンケート結果学童保育事業の運営全般の満足度(満足度を令和8年度に90.0%以上にする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	87.3% 90.0%以上
■実施内容	<p>◎ 学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。</p>					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	<p>169の配布世帯の内、122の世帯からニーズ調査の回答を得た。 今後も利用者のニーズ把握に努め現在の運営の在り方について検討していく。</p>
令和3年度 (2021)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	<p>154の配布世帯の内、110の世帯からニーズ調査の回答を得た。 今後も利用者のニーズ把握に努め現在の運営の在り方について検討していく。</p>
令和4年度 (2022)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	<p>148の配布世帯の内、109の世帯からニーズ調査の回答を得た。 今後も利用者のニーズ把握に努め現在の運営の在り方について検討していく。</p>
令和5年度 (2023)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	<p>146の配布世帯の内、110の世帯からニーズ調査の回答を得た。 今後も利用者のニーズ把握に努め現在の運営の在り方について検討していく。</p>
令和6年度 (2024)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	<p>129の配布世帯の内、90の世帯からニーズ調査の回答を得た。 今後も利用者のニーズ把握に努め現在の運営の在り方について検討していく。 令和7年度から学校休業日の開所時間を早める予定</p>

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	國庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 学童保育の時間延長等に対するニーズを把握し、運営の在り方について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育登録している児童の保護者にニーズ調査を行う。開所時間、開所日数等についての利用者のニーズを把握し、現在の運営の在り方について見直しを検討する。 	國庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課	
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				子育て支援課	
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減					
アクション	①	国・県事業で対象とならない0歳から2歳までの世帯へ利用料の無償化を行い、保護者負担の軽減を図ります。 3歳から5歳までの副食費徴収対象者へ補助を行い、保護者負担の軽減を図ります。					
施策のKPI (成果目標)	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例補助対象者への補助率(補助支給率を毎年度100%とする)		出典元 子育て支援課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	未実施		
					100%/毎年度		
■実施内容	◎ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例 及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例に基づき、保護者負担の軽減を図る。						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆保育利用料等無償化事業 (予算:調整中) ◎国事業 ・事業内容 3歳から5歳までのすべての児童の利用料を無償化 0歳から2歳までの住民税非課税世帯の利用料を無償化 【 多子軽減 】 同時入所の場合、最年長の児童を第1カウントとして第2子の利用料を半額、第3子以降の利用料を全て無料 (世帯年収360万円以下の場合、第1子の年齢制限なし) ◎県事業 ・事業内容 第1子の年齢に関わらず、第2子以降の利用料を全て無料。 世帯年収640万円以下、3歳未満児で、世帯の第2子以降が対象(3歳到達の年度末まで対象) ◎町事業 ・事業内容 県事業費の1/2を町負担 国・県事業の対象とならない0歳から2歳までの世帯の利用料を無償化 3歳から5歳までの副食費徴収対象者へ、一人あたり月額4,500円(上限)を補助		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 2,767 4,330 7,097	0 2,767 3,965 6,732	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,296 4,032 6,328	2,279 3,768 6,047	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。
令和4年度 (2022)	◆保育利用料等無償化事業 ※事業内容は、令和2年度と同じ		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,138 4,374 6,512	2,410 2,851 5,261	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,340 3,618 5,958	2,384 2,210 4,594	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。
令和6年度 (2024)	◆保育利用料等無償化事業 ※事業内容は、令和2年度と同じ		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,251 3,554 5,805	2,494 2,495 4,989	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,251 3,554 5,805	2,494 2,495 4,989	KPI実績 100%	国庫支出金については、地方交付税措置されています。 予算・決算額については、予算書および決算書に記載のあるもののみ記載しています。 条例に基づき事業を行い、補助率は成果目標の100%を達成しました。 補助率100%を達成しているため、今後も条例に基づき保護者の負担軽減を図っていきます。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆保育利用料等無償化事業 ※事業内容は、原則として令和2年度と同じだが、◎町事業のうち3歳から5歳までの副食費徴収対象者への補助上限額を、一人あたり月額4,800円から4,900円に増額する。	国庫支出金				
		県支出金	2,463			
		地方債				
		その他				
		一般財源	3,053			
		計	5,516	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	◆保育利用料等無償化事業 ※事業内容は、令和2年度と同じ	国庫支出金				
		県支出金	2,701			
		地方債				
		その他				
		一般財源	4,968			
		計	7,669	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況						

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減				
アクション	②	障害児をもつ保護者に対し、町障害児通所支援利用者負担額助成金支給制度により、障害児通所支援利用者負担額を助成します。				
施策のKPI (成果目標)	身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱による助成率(助成金支給率を毎年度100%とする)		出典元	福祉保健課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	100% 100%/毎年度
■実施内容	(◎) 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。					
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和2年度 (2020)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容:国・県事業の補助対象外となる障害児(所得要件を満たす0~3歳未満の第1子)をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。 <p>助成金支給実績(町単独分) 4,600 円 × 12 月 × 0 人 = 0 円</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	56 56	0 0	令和2年度は申請がなかったが、引き続き要綱に基づき支援をしていく。
			KPI実績	申請なし		
令和3年度 (2021)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容:国・県事業の補助対象外となる障害児(所得要件を満たす0~3歳未満の第1子)をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。 <p>助成金支給実績(町単独分) 4,600 円 × 12 月 × 0 人 = 0 円</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	56 56	0 0	令和3年度は申請がなかったが、引き続き要綱に基づき支援をしていく。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容:国・県事業の補助対象外となる障害児(所得要件を満たす0~3歳未満の第1子)をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。 <p>助成金支給実績(町単独分) 4,600 円 × 12 月 × 0 人 = 0 円</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	56 56	0 0	令和4年度は申請がなかったが、引き続き要綱に基づき支援をしていく。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容:国・県事業の補助対象外となる障害児(所得要件を満たす0~3歳未満の第1子)をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。 <p>助成金支給実績(町単独分) 5ヵ月 × 1人 = 11,427 円</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	56 56	12 12	令和5年度は1件申請があった。引き続き要綱に基づき支援をしていく。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容:国・県事業の補助対象外となる障害児(所得要件を満たす0~3歳未満の第1子)をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世带の経済的負担を軽減。 <p>助成金支給実績(町単独分) 1ヵ月 × 1人 = 3,737 円</p>		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	56 56	4 4	令和6年度は1件申請があった。引き続き要綱に基づき支援をしていく。
			KPI実績	100%		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善												
令和7年度 (2025)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <p>・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容：国・県事業の補助対象外となる障害児（所得要件を満たす0～3歳未満の第1子）をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。</p> <p>助成金支給実績（町単独分） 4,600 円 × 12 月 × 1 人 = 55,200 円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>56</td></tr> <tr><td>計</td><td>56</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	56	計	56			
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	56																
計	56																
	KPI実績	年度末の実績を記載															
令和8年度 (2026)	<p>◆ 一定の所得要件を満たす世帯において、就学前の障害児が利用する「障害児通所支援」の利用者負担金に対する助成について、国・県の補助対象要件を拡大し適用する。</p> <p>・「身延町障害児通所支援利用者負担額助成金支給要綱」による助成内容：国・県事業の補助対象外となる障害児（所得要件を満たす0～3歳未満の第1子）をもつ保護者に対し、町単独で障害児通所支援利用者負担額を助成。子育て世帯の経済的負担を軽減。</p> <p>助成金支給実績（町単独分） 4,600 円 × 12 月 × 1 人 = 55,200 円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>56</td></tr> <tr><td>計</td><td>56</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	56	計	56			
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	56																
計	56																
KPI実績	年度末の実績を記載																
横断的な取り組みの状況																	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-2	子育て世帯が安心して暮らせる支援の充実				子育て支援課
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減				子育て支援課
アクション	(3)	保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給します。				子育て支援課
施策のKPI (成果目標)	保育所等入園支度金支給要綱に基づく支給対象者への支給率(入園支度金支給率を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	100% 100%/毎年度
■実施内容	◎ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。 ・ 保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給(R2.12要綱改正)</p> <p>令和2年度入園児 15,000円×15人=225,000円 令和3年度入園児 20,000円×21人=420,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	650 650	645 645	KPI実績 100%	転入者を含む全対象者に対し支給する事ができた。(令和2年度入園児15人、令和3年度入園児21人にに対し支給。) 年度途中での入所者(転入含む)の把握を行い、申請漏れがないようにする。
令和3年度 (2021)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。 ・ 保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給(R2.12要綱改正)</p> <p>令和3年度入園児 20,000円×16人=320,000円 令和4年度入園児 20,000円×15人=300,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	900 900	620 620	KPI実績 100%	転入者を含む全対象者に対し支給する事ができた。(令和3年度入園児16人、令和4年度入園児15人にに対し支給。) 年度途中での入所者(転入含む)の把握を行い、申請漏れがないようにする。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。 ・ 保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給(R2.12要綱改正)</p> <p>令和4年度入園児 20,000円×16人=320,000円 令和5年度入園児 20,000円×15人=300,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	800 800	620 620	KPI実績 100%	転入者を含む全対象者に対し支給する事ができた。(令和4年度入園児16人、令和5年度入園児15人にに対し支給。) 年度途中での入所者(転入含む)の把握を行い、申請漏れがないようにする。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。 ・ 保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給</p> <p>令和5年度入園児 20,000円×11人=220,000円 令和6年度入園児 20,000円×15人=300,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	750 750	520 520	KPI実績 100%	転入者を含む全対象者に対し支給する事ができた。(令和5年度入園児11人、令和6年度入園児15人にに対し支給。) 年度途中での入所者(転入含む)の把握を行い、申請漏れがないようにする。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。 ・ 保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給</p> <p>令和6年度入園児 20,000円×14人=280,000円 令和7年度入園児 20,000円×3人=60,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	600 600	340 340	KPI実績 100%	転入者を含む全対象者に対し支給する事ができた。(令和6年度入園児14人、令和7年度入園児3人にに対し支給。) 年度途中での入所者(転入含む)の把握を行い、申請漏れがないようにする。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給 <p>園児 30人 × 20,000円 =600,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>600</td></tr> <tr><td>計</td><td>600</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	600	計	600		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	600																		
計	600																		
	0																		
	KPI実績	年度末の実績を記載																	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 保育所等入園支度金支給要綱に基づき、保護者負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の入園時に必要となる園服、体操着、学用品等の保護者の負担軽減のため入園支度金を支給 <p>園児 30人 × 20,000円 =600,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>600</td></tr> <tr><td>計</td><td>600</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	600	計	600		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	600																		
計	600																		
	0																		
KPI実績	年度末の実績を記載																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課		
基本的方向		4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				学校教育課		
施策内容		(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減						
アクション		④	入園時、小中学校入学時に必要となる園服、制服、体育着、学用品等の支度金として入園・入学支度金を支給します。						
施策のKPI (成果目標)		入学支度金支給要綱に基づく支給対象者への支給率(対象者への支給率を毎年度100%とする)		出典元	学校教育課調査	基準値 平成30年度(2018)	100%		
						目標値 令和8年度(2026)	100%/毎年度		
■実施内容	◎ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。 ・入学者数 小学校 7人 × 30,000円 = 210,000円 中学校 0人 × 60,000円 = 0円 小学校 50人 × 40,000円 = 2,000,000円 中学校 47人 × 70,000円 = 3,290,000円 合計 5,500,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,890 5,500 5,890 5,500		令和2年度の入学支度金については、年度途中の転入児童及び令和3年度入学児童生徒へ支給を行った。令和3年度入学児童生徒からは、入学時の必要物品を精査し、金額を小中共に1万円増額とし、入学時の保護者負担の更なる軽減を行うことができた。 今後も保護者負担軽減のため、必要に応じて内容を見直しながら、取り組みを推進する。		
				KPI実績	100%				
令和3年度 (2021)	◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。 ・入学者数見込み 小学校 33人 × 40,000円 = 1,320,000円 中学校 62人 × 70,000円 = 4,340,000円 合計 5,660,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,950 5,660 5,950 5,660		令和3年度の入学支度金については、年度途中の転入児童及び令和4年度入学児童生徒へ支給を行った。入学前の3ヶ月に支給している。 今後も保護者負担軽減のため、必要に応じて内容を見直しながら、取り組みを推進する。		
				KPI実績	100%				
令和4年度 (2022)	◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。 ・入学者数見込み 小学校 45人 × 40,000円 = 1,800,000円 中学校 49人 × 70,000円 = 3,430,000円 合計 5,230,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	6,050 5,230 6,050 5,230		令和4年度の入学支度金については、年度途中の転入児童及び令和5年度入学児童生徒へ支給を行った。入学前の3ヶ月に支給している。 今後も保護者負担軽減のため、必要に応じて内容を見直しながら、取り組みを推進する。		
				KPI実績	100%				
令和5年度 (2023)	◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。 ・入学者数見込み 小学校 31人 × 40,000円 = 1,240,000円 中学校 58人 × 70,000円 = 4,060,000円 合計 5,300,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	6,050 1,932 3,368 0 6,050 5,300		令和6年度入学児童生徒へ支給を行った。入学前の3ヶ月に支給している。 今後も保護者負担軽減のため、必要に応じて内容を見直しながら、取り組みを推進する。		
				KPI実績	100%				
令和6年度 (2024)	◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。 ・転入者及び入学生 小学校 25人 × 40,000円 = 1,000,000円 中学校 1人 × 70,000円 = 70,000円 43人 × 80,000円 = 3,440,000円 合計 4,510,000円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,560 4,510 4,560 4,510		令和6年度中の転入生徒及び令和7年度入学の児童生徒へ支給を行った。入学前の2月に支給している。令和7年度の中学校入学生徒は、著しい成長によるジャージの買い替えに考慮し10,000円増額し80,000円を支給した。 今後も保護者負担軽減のため、必要に応じて内容を見直しながら、取り組みを推進する。		
				KPI実績	100%				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																		
令和7年度 (2025)	<p>◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。</p> <p>・入学者数見込み</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>小学校</td><td>38 人</td><td>×</td><td>40,000 円</td><td>=</td><td>1,520,000 円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>48 人</td><td>×</td><td>80,000 円</td><td>=</td><td>3,840,000 円</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>合計</td><td></td><td>5,360,000 円</td></tr> </table>	小学校	38 人	×	40,000 円	=	1,520,000 円	中学校	48 人	×	80,000 円	=	3,840,000 円				合計		5,360,000 円	国庫支出金			
		小学校	38 人	×	40,000 円	=	1,520,000 円																
		中学校	48 人	×	80,000 円	=	3,840,000 円																
					合計		5,360,000 円																
		県支出金																					
		地方債																					
その他																							
一般財源		5,360																					
計		5,360	0																				
令和8年度 (2026)	<p>◆ 身延町小中学校等入学支度金支給要綱に基づき、未就学児及び小中学生保護者負担の軽減を図る。</p> <p>・入学者数見込み</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>小学校</td><td>30 人</td><td>×</td><td>40,000 円</td><td>=</td><td>1,200,000 円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>60 人</td><td>×</td><td>80,000 円</td><td>=</td><td>4,800,000 円</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>合計</td><td></td><td>6,000,000 円</td></tr> </table>	小学校	30 人	×	40,000 円	=	1,200,000 円	中学校	60 人	×	80,000 円	=	4,800,000 円				合計		6,000,000 円	国庫支出金			
		小学校	30 人	×	40,000 円	=	1,200,000 円																
		中学校	60 人	×	80,000 円	=	4,800,000 円																
					合計		6,000,000 円																
		県支出金																					
		地方債																					
その他																							
一般財源		6,000																					
計		6,000	0																				
横断的な取り組みの状況	KPI実績	年度末の実績を記載																					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実				担当課																									
基本的方向		4-2 子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				学校教育課																									
施策内容		(2) 未就学児、小中学生保護者負担の軽減																													
アクション		(5) 小中学生の給食費の全額を補助します。																													
施策のKPI (成果目標)		身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助対象者への交付率(対象者交付率を毎年度100%とする)		出典元 学校教育課調査	基準値 平成30年度(2018)	100%																									
					目標値 令和8年度(2026)	100%/毎年度																									
■実施内容	◎ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づき子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。																														
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善																								
令和2年度 (2020)	<p>◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。</p> <p>給食費実績</p> <table border="1"> <tr><td>身延清稟小 のべ55人</td><td>9,584 食 × 270 円 =</td><td>2,587,680 円</td></tr> <tr><td>下山小 のべ102人</td><td>18,550 食 × 270 円 =</td><td>5,008,500 円</td></tr> <tr><td>身延小 のべ142人</td><td>26,204 食 × 270 円 =</td><td>7,075,080 円</td></tr> <tr><td>身延中 のべ166人</td><td>29,724 食 × 300 円 =</td><td>8,917,200 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ(中学) 1人</td><td>182 食 × 54.572 円 =</td><td>9,932 円</td></tr> <tr><td colspan="2">給食実施数</td><td>合計 23,598,392 円</td></tr> <tr><td colspan="2" rowspan="2">小学校 187回 中学校 186回</td><td></td></tr> </table>			身延清稟小 のべ55人	9,584 食 × 270 円 =	2,587,680 円	下山小 のべ102人	18,550 食 × 270 円 =	5,008,500 円	身延小 のべ142人	26,204 食 × 270 円 =	7,075,080 円	身延中 のべ166人	29,724 食 × 300 円 =	8,917,200 円	牛乳のみ(中学) 1人	182 食 × 54.572 円 =	9,932 円	給食実施数		合計 23,598,392 円	小学校 187回 中学校 186回			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	27,217 27,217	23,599 23,599	補助金交付要綱に基づき補助金交付を実施し、子育て世代の経済的負担の軽減、児童・生徒の健全な育成の支援が図られた。 引き続き取り組みを推進していく。			
身延清稟小 のべ55人	9,584 食 × 270 円 =	2,587,680 円																													
下山小 のべ102人	18,550 食 × 270 円 =	5,008,500 円																													
身延小 のべ142人	26,204 食 × 270 円 =	7,075,080 円																													
身延中 のべ166人	29,724 食 × 300 円 =	8,917,200 円																													
牛乳のみ(中学) 1人	182 食 × 54.572 円 =	9,932 円																													
給食実施数		合計 23,598,392 円																													
小学校 187回 中学校 186回																															
		KPI実績	100%																												
令和3年度 (2021)	<p>◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。</p> <p>給食費実績</p> <table border="1"> <tr><td>身延清稟小 のべ52人</td><td>10,309 食 × 270 円 =</td><td>2,783,430 円</td></tr> <tr><td>下山小 のべ102人</td><td>20,070 食 × 270 円 =</td><td>5,418,900 円</td></tr> <tr><td>身延小 のべ145人</td><td>28,735 食 × 270 円 =</td><td>7,758,450 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ 1人</td><td>128 食 × 54.13 円 =</td><td>6,928 円</td></tr> <tr><td>身延中 のべ167人</td><td>31,858 食 × 300 円 =</td><td>9,557,400 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ 1人</td><td>196 食 × 54.13 円 =</td><td>10,609 円</td></tr> <tr><td colspan="2">給食実施回数</td><td>合計 25,535,717 円</td></tr> <tr><td colspan="2" rowspan="2">小学校 202回 中学校 198回</td><td></td></tr> </table>			身延清稟小 のべ52人	10,309 食 × 270 円 =	2,783,430 円	下山小 のべ102人	20,070 食 × 270 円 =	5,418,900 円	身延小 のべ145人	28,735 食 × 270 円 =	7,758,450 円	牛乳のみ 1人	128 食 × 54.13 円 =	6,928 円	身延中 のべ167人	31,858 食 × 300 円 =	9,557,400 円	牛乳のみ 1人	196 食 × 54.13 円 =	10,609 円	給食実施回数		合計 25,535,717 円	小学校 202回 中学校 198回			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	26,759 26,759	25,536 25,536	補助金交付要綱に基づき補助金交付を実施し、子育て世代の経済的負担の軽減、児童・生徒の健全な育成の支援が図られた。 引き続き取り組みを推進していく。
身延清稟小 のべ52人	10,309 食 × 270 円 =	2,783,430 円																													
下山小 のべ102人	20,070 食 × 270 円 =	5,418,900 円																													
身延小 のべ145人	28,735 食 × 270 円 =	7,758,450 円																													
牛乳のみ 1人	128 食 × 54.13 円 =	6,928 円																													
身延中 のべ167人	31,858 食 × 300 円 =	9,557,400 円																													
牛乳のみ 1人	196 食 × 54.13 円 =	10,609 円																													
給食実施回数		合計 25,535,717 円																													
小学校 202回 中学校 198回																															
		KPI実績	100%																												
令和4年度 (2022)	<p>◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。</p> <p>給食費実績</p> <table border="1"> <tr><td>身延清稟小 のべ48人</td><td>9,711 食 × 290 円 =</td><td>2,816,190 円</td></tr> <tr><td>下山小 のべ95人</td><td>18,854 食 × 290 円 =</td><td>5,467,660 円</td></tr> <tr><td>身延小 のべ121人</td><td>23,846 食 × 290 円 =</td><td>6,915,340 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ 1人</td><td>128 食 × 55.2 円 =</td><td>7,065 円</td></tr> <tr><td>身延中 のべ164人</td><td>30,681 食 × 340 円 =</td><td>10,431,540 円</td></tr> <tr><td colspan="2">給食実施回数</td><td>合計 25,637,795 円</td></tr> <tr><td colspan="2" rowspan="2">小学校 202回 中学校 198回</td><td></td></tr> </table>			身延清稟小 のべ48人	9,711 食 × 290 円 =	2,816,190 円	下山小 のべ95人	18,854 食 × 290 円 =	5,467,660 円	身延小 のべ121人	23,846 食 × 290 円 =	6,915,340 円	牛乳のみ 1人	128 食 × 55.2 円 =	7,065 円	身延中 のべ164人	30,681 食 × 340 円 =	10,431,540 円	給食実施回数		合計 25,637,795 円	小学校 202回 中学校 198回			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	27,349 27,349	25,638 25,638	補助金交付要綱に基づき補助金交付を実施し、子育て世代の経済的負担の軽減、児童・生徒の健全な育成の支援が図られた。 引き続き取り組みを推進していく。			
身延清稟小 のべ48人	9,711 食 × 290 円 =	2,816,190 円																													
下山小 のべ95人	18,854 食 × 290 円 =	5,467,660 円																													
身延小 のべ121人	23,846 食 × 290 円 =	6,915,340 円																													
牛乳のみ 1人	128 食 × 55.2 円 =	7,065 円																													
身延中 のべ164人	30,681 食 × 340 円 =	10,431,540 円																													
給食実施回数		合計 25,637,795 円																													
小学校 202回 中学校 198回																															
		KPI実績	100%																												
令和5年度 (2023)	<p>◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。</p> <p>給食費実績</p> <table border="1"> <tr><td>身延清稟小 のべ42人</td><td>8,046 食 × 290 円 =</td><td>2,333,340 円</td></tr> <tr><td>下山小 のべ93人</td><td>18,484 食 × 290 円 =</td><td>5,360,360 円</td></tr> <tr><td>身延小 のべ129人</td><td>25,462 食 × 290 円 =</td><td>7,383,980 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ 1人</td><td>195 食 × 59.85 円 =</td><td>11,670 円</td></tr> <tr><td>身延中 のべ151人</td><td>28,403 食 × 340 円 =</td><td>9,657,020 円</td></tr> <tr><td colspan="2">給食実施回数</td><td>合計 24,746,370 円</td></tr> <tr><td colspan="2" rowspan="2">小学校 202回 中学校 198回</td><td></td></tr> </table>			身延清稟小 のべ42人	8,046 食 × 290 円 =	2,333,340 円	下山小 のべ93人	18,484 食 × 290 円 =	5,360,360 円	身延小 のべ129人	25,462 食 × 290 円 =	7,383,980 円	牛乳のみ 1人	195 食 × 59.85 円 =	11,670 円	身延中 のべ151人	28,403 食 × 340 円 =	9,657,020 円	給食実施回数		合計 24,746,370 円	小学校 202回 中学校 198回			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	26,260 26,260	24,746 0	補助金交付要綱に基づき補助金交付を実施し、子育て世代の経済的負担の軽減、児童・生徒の健全な育成の支援が図られた。 引き続き取り組みを推進していく。			
身延清稟小 のべ42人	8,046 食 × 290 円 =	2,333,340 円																													
下山小 のべ93人	18,484 食 × 290 円 =	5,360,360 円																													
身延小 のべ129人	25,462 食 × 290 円 =	7,383,980 円																													
牛乳のみ 1人	195 食 × 59.85 円 =	11,670 円																													
身延中 のべ151人	28,403 食 × 340 円 =	9,657,020 円																													
給食実施回数		合計 24,746,370 円																													
小学校 202回 中学校 198回																															
		KPI実績	100%																												
令和6年度 (2024)	<p>◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。</p> <p>給食費実績</p> <table border="1"> <tr><td>身延清稟小 のべ40人</td><td>7,439 食 × 290 円 =</td><td>2,157,310 円</td></tr> <tr><td>牛乳停止 1人</td><td>48 食 × 227 円 =</td><td>10,896 円</td></tr> <tr><td>下山小 のべ85人</td><td>16,504 食 × 290 円 =</td><td>4,786,160 円</td></tr> <tr><td>身延小 のべ113人</td><td>21,896 食 × 290 円 =</td><td>6,349,840 円</td></tr> <tr><td>身延中 のべ157人</td><td>28,962 食 × 340 円 =</td><td>9,847,080 円</td></tr> <tr><td>牛乳のみ 1人</td><td>174 食 × 63 円 =</td><td>10,962 円</td></tr> <tr><td colspan="2">給食実施回数</td><td>合計 23,162,248 円</td></tr> <tr><td colspan="2" rowspan="2">小学校 198回 中学校 192回</td><td></td></tr> </table>			身延清稟小 のべ40人	7,439 食 × 290 円 =	2,157,310 円	牛乳停止 1人	48 食 × 227 円 =	10,896 円	下山小 のべ85人	16,504 食 × 290 円 =	4,786,160 円	身延小 のべ113人	21,896 食 × 290 円 =	6,349,840 円	身延中 のべ157人	28,962 食 × 340 円 =	9,847,080 円	牛乳のみ 1人	174 食 × 63 円 =	10,962 円	給食実施回数		合計 23,162,248 円	小学校 198回 中学校 192回			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	24,887 24,887	23,162 23,162	補助金交付要綱に基づき補助金交付を実施し、子育て世代の経済的負担の軽減、児童・生徒の健全な育成の支援が図られた。 引き続き取り組みを推進していく。
身延清稟小 のべ40人	7,439 食 × 290 円 =	2,157,310 円																													
牛乳停止 1人	48 食 × 227 円 =	10,896 円																													
下山小 のべ85人	16,504 食 × 290 円 =	4,786,160 円																													
身延小 のべ113人	21,896 食 × 290 円 =	6,349,840 円																													
身延中 のべ157人	28,962 食 × 340 円 =	9,847,080 円																													
牛乳のみ 1人	174 食 × 63 円 =	10,962 円																													
給食実施回数		合計 23,162,248 円																													
小学校 198回 中学校 192回																															
		KPI実績	100%																												

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 身延町学校給食費補助金交付要綱に基づく補助金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援する。 給食費見込み 小学校(1~5年) 195 人 × 350 円 × 197 日 = 13,445,250 円 小学校(6年) 38 人 × 350 円 × 190 日 = 2,527,000 円 中学校(1年) 45 人 × 400 円 × 192 日 = 3,456,000 円 中学校(2年) 59 人 × 400 円 × 193 日 = 4,554,800 円 中学校(3年) 46 人 × 400 円 × 182 日 = 3,348,800 円 学校による行事等の差額 47,150 円 合計 27,379,000 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	27,379 27,379	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	25,200 25,200	0			
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実					担当課	
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実					学校教育課	
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減						
アクション	(6)	小中学校で使用する教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行います。						
施策のKPI (成果目標)	①教育委員会学校運営関係補助金交付要綱補助対象者への交付率(対象者交付率を毎年度100%とする) ②小中学校修学旅行費補助金交付要綱補助対象者への交付率(対象者交付率を毎年度100%とする)		出典元 学校教育課調査	基準値 平成30年度(2018)	①100% ②100%		①100%/毎年度 ②100%/毎年度	
					目標値 令和8年度(2026)			
■実施内容	◎ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。							
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。 - 補助教材費公費負担 小学生 298人 × 6,000円 = 1,781,180円 中学生 167人 × 10,000円 = 1,561,332円 - 校外行事補助金 小学校 1,386,054円 中学校 1,156,996円 - 修学旅行費補助金 小学生 48人 × 60,000円 = 1,758,414円 中学生 47人 × 110,000円 = 4,878,833円 合計 12,522,809円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	18,509 12,523 18,509 12,523	KPI実績 ① 100% ② 100%	令和2年度の実施内容として、校外行事補助金については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業の縮小や中止の影響で、執行額が大幅に減額となった。また、修学旅行費補助金についても行き先及び日数の見直し、go toトラベルキャンペーンの対象となり、同様に大幅減額となった。 引き続き子育て世代の負担軽減のため、取り組みを推進する。	
	◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。 - 補助教材費公費負担 小学生 295人 × 6,000円 = 1,766,250円 中学生 169人 × 10,000円 = 1,505,290円 - 校外行事補助金 小学校 3,490,835円 中学校 1,641,307円 - 修学旅行費補助金 小学生 61人 × 60,000円 = 3,335,297円 中学生 64人 × 110,000円 = 4,602,454円 合計 16,341,433円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	21,947 16,341 21,947 16,341	KPI実績 ① 100% ② 100%		
	◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。 - 補助教材費公費負担 小学生 265人 × 6,000円 = 1,572,940円 中学生 164人 × 10,000円 = 1,548,434円 - 校外行事補助金 小学校 2,924,095円 中学校 2,841,430円 - 修学旅行費補助金 小学生 49人 × 60,000円 = 2,399,311円 中学生 58人 × 120,000円 = 6,897,854円 合計 18,184,064円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	22,397 18,184 22,397 18,184	KPI実績 ① 100% ② 100%		
	◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。 - 補助教材費公費負担 小学生 275人 × 6,000円 = 1,574,660円 中学生 160人 × 10,000円 = 1,539,300円 - 校外行事補助金 小学校 2,680,482円 中学校 1,261,396円 - 修学旅行費補助金 小学生 71人 × 60,000円 = 3,127,534円 中学生 53人 × 120,000円 = 5,634,404円 合計 15,817,776円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,036 5,726 7,056 22,535 15,818	KPI実績 ① 100% ② 100%		
	◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。 - 補助教材費公費負担 小学生 237人 × 8,000円 = 1,768,210円 中学生 158人 × 12,000円 = 1,624,400円 - 校外行事補助金 小学校 2,323,736円 中学校 1,192,830円 - 修学旅行費補助金 小学生 38人 × 60,000円 = 2,166,826円 中学生 58人 × 120,000円 = 6,550,508円 合計 15,626,510円			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	22,277 15,627 22,277 15,627	KPI実績 ① 100% ② 100%		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助教材費公費負担 <p>小学生 234 人 × 8,000 円 = 1,872,000 円 中学生 171 人 × 12,000 円 = 2,052,000 円</p> ・校外行事補助金 <p>小学校 6,000,000 円 中学校 2,500,000 円</p> ・修学旅行費補助金 <p>小学生 50 人 × 60,000 円 = 3,000,000 円 中学生 55 人 × 120,000 円 = 6,600,000 円</p> <p style="text-align: right;">合計 22,024,000 円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	22,024		
		計	22,024	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 教材の公費負担並びに校外学習及び修学旅行等の全額補助を行うことにより、子育て世代の負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助教材費公費負担 <p>小学生 234 人 × 8,000 円 = 1,872,000 円 中学生 171 人 × 12,000 円 = 2,052,000 円</p> ・校外行事補助金 <p>小学校 6,000,000 円 中学校 2,500,000 円</p> ・修学旅行費補助金 <p>小学生 60 人 × 60,000 円 = 3,600,000 円 中学生 65 人 × 120,000 円 = 7,800,000 円</p> <p style="text-align: right;">合計 23,824,000 円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	23,824		
		計	23,824	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				子育て支援課
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減				子育て支援課
アクション	(7)	乳幼児の保護者への乳幼児用おむつ購入費の補助をします。				子育て支援課
施策のKPI (成果目標)	乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業支給対象者への補助金支給率(支給率を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 100%/毎年度
■実施内容	◎ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助を行う。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業 ・補助事業の制度設計実施済 ・補助事業要綱の制定実施済	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 要綱制定	制度設計、要綱制定完了 令和3年度から事業実施する体制を整えた。 子育てにかかる経済的負担を軽減し子育て支援及び少子化対策を図るため、令和3年度から事業を実施する。
令和3年度 (2021)	◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業 助成対象児及び助成額 1歳未満 51人 × 36,000円 = 1,836,000円 2歳未満 34人 × 24,000円 = 816,000円 3歳未満 24人 × 12,000円 = 288,000円 合計 2,940,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 100%	転入者、新生児を含む全世帯に対し、支給する事ができた。町民課戸籍担当と連携し、申請漏れがないようにする。
令和4年度 (2022)	◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業 助成対象児及び助成額 1歳未満 19人 × 36,000円 = 684,000円 2歳未満 23人 × 24,000円 = 552,000円 3歳未満 29人 × 12,000円 = 348,000円 合計 1,584,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 100%	転入者、新生児を含む全世帯に対し、支給する事ができた。町民課戸籍担当と連携し、申請漏れがないようにする。
令和5年度 (2023)	◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業 ・事業実施 ・補助金額 1歳まで 28人 × 36,000円 = 1,008,000円 2歳まで 23人 × 24,000円 = 552,000円 3歳まで 23人 × 12,000円 = 276,000円 合計 1,836,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 100%	転入者、新生児を含む全世帯に対し、支給する事ができた。町民課戸籍担当と連携し、申請漏れがないようにする。
令和6年度 (2024)	◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業 ・事業実施 ・補助金額 1歳まで 13人 × 36,000円 = 468,000円 2歳まで 16人 × 24,000円 = 384,000円 3歳まで 26人 × 12,000円 = 312,000円 合計 1,164,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 100%	転入者、新生児を含む全世帯に対し、支給する事ができた。町民課戸籍担当と連携し、申請漏れがないようにする。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																								
令和7年度 (2025)	<p>◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施 ・補助金額 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1歳まで</td><td>20 人</td><td>×</td><td>36,000 円</td><td>=</td><td>720,000 円</td></tr> <tr><td>2歳まで</td><td>30 人</td><td>×</td><td>24,000 円</td><td>=</td><td>720,000 円</td></tr> <tr><td>3歳まで</td><td>30 人</td><td>×</td><td>12,000 円</td><td>=</td><td>360,000 円</td></tr> <tr><td colspan="5" style="text-align: right;">合計</td><td>1,800,000 円</td></tr> </table>	1歳まで	20 人	×	36,000 円	=	720,000 円	2歳まで	30 人	×	24,000 円	=	720,000 円	3歳まで	30 人	×	12,000 円	=	360,000 円	合計					1,800,000 円	国庫支出金			
		1歳まで	20 人	×	36,000 円	=	720,000 円																						
2歳まで	30 人	×	24,000 円	=	720,000 円																								
3歳まで	30 人	×	12,000 円	=	360,000 円																								
合計					1,800,000 円																								
県支出金																													
地方債																													
その他																													
一般財源		1,800																											
計		1,800	0																										
	KPI実績	年度末の実績を記載																											
令和8年度 (2026)	<p>◆ 乳幼児保護者への乳幼児用おむつの購入費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施 ・補助金額 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1歳まで</td><td>28 人</td><td>×</td><td>36,000 円</td><td>=</td><td>1,008,000 円</td></tr> <tr><td>2歳まで</td><td>28 人</td><td>×</td><td>24,000 円</td><td>=</td><td>672,000 円</td></tr> <tr><td>3歳まで</td><td>24 人</td><td>×</td><td>12,000 円</td><td>=</td><td>288,000 円</td></tr> <tr><td colspan="5" style="text-align: right;">合計</td><td>1,968,000 円</td></tr> </table> <p>※乳幼児の人数はH31.4.1時点を基に想定</p>	1歳まで	28 人	×	36,000 円	=	1,008,000 円	2歳まで	28 人	×	24,000 円	=	672,000 円	3歳まで	24 人	×	12,000 円	=	288,000 円	合計					1,968,000 円	国庫支出金			
		1歳まで	28 人	×	36,000 円	=	1,008,000 円																						
2歳まで	28 人	×	24,000 円	=	672,000 円																								
3歳まで	24 人	×	12,000 円	=	288,000 円																								
合計					1,968,000 円																								
県支出金																													
地方債																													
その他																													
一般財源		1,968																											
計		1,968	0																										
	KPI実績	年度末の実績を記載																											
横断的な取り組みの状況																													

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実					担当課
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実					子育て支援課
施策内容	(2)	未就学児、小中学生保護者負担の軽減					
アクション	(8)	時間や休日を問わず、出産や育児について気になることがあった時に、気軽に専門家に相談することができるオンラインによる医療相談体制の整備を検討します。					
施策のKPI (成果目標)	オンラインによる医療相談体制整備決定後に目標を設定する		出典元	-	基準値 平成30年度(2018)	-	
					目標値 令和8年度(2026)	-	
■実施内容	(◎ 山梨県による検討の動向を見据えながら検討する。)						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
			KPI実績				
令和3年度 (2021)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
			KPI実績				
令和4年度 (2022)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
			KPI実績				
令和5年度 (2023)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
			KPI実績				
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オンラインによる医療相談体制の整備検討 ・産婦人科・小児科に直接相談できる体制が確立されるよう、県における関係施策実施と既存の施策強化への連携 ・産前産後ケアセンター(健康科学大学による)と県既存事業における連携強化の推進及び民間事業者と町の協力体制の検討 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	県全体としての医療体制確立の一環として、事業のあり方が具体化されていない。 ただし、今後の県の動向次第で整備が進むことが予想される。
			KPI実績	検討			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ オンラインによる医療相談体制の整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科・小児科に直接相談できる体制が確立されるよう、県における関係施策実施と既存の施策強化への連携 ・産前産後ケアセンター(健康科学大学による)と県既存事業における連携強化の推進及び民間事業者と町の協力体制の検討 	国庫支出金			
		県支出金			
	地方債				
	その他				
	一般財源				
	計		0	0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	<p>◆ オンラインによる医療相談体制の整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科・小児科に直接相談できる体制が確立されるよう、県における関係施策実施と既存の施策強化への連携 ・産前産後ケアセンター(健康科学大学による)と県既存事業における連携強化の推進及び民間事業者と町の協力体制の検討 	国庫支出金			
		県支出金			
	地方債				
	その他				
	一般財源				
	計		0	0	
	KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課	
基本的方向		4-2 子育て世帯が安心して暮らせる支援の充実					子育て支援課	
施策内容		(3) 医療費無料化及び入院時食事療養費支給						
アクション		① 0歳から18歳までの医療費の無料化及び入院時食事療養費の支給を行います。						
施策のKPI (成果目標)		子育て支援医療費助成金支給条例支給対象者への支給率 (支給率を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調査	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	100% 100%/毎年度	
■実施内容	◎ 子育て支援医療費助成金支給条例に基づき、0歳から18歳までの子供の医療費等にかかる保護者負担の軽減を図る。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象としている。 ・令和2年度は診療報酬明細書7674件につき、補助を行った。 (入院時食事療養費4件) 17,580千円 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	862 0 11,456 8,654 20,972	1,766 11,375 4,439 17,580	KPI実績 100%		
令和3年度 (2021)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 ・令和3年度は診療報酬明細書6362件につき、補助を行った。 (入院時食事療養費10件) 119千円 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,351 14,223 3,373 20,947	2,124 14,684 2,486 19,294	KPI実績 100%		
令和4年度 (2022)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 ・令和4年度は診療報酬明細書6413件につき、補助を行った。 (入院時食事療養費20件) 324千円 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,163 10,402 8,131 20,696	1,827 14,252 3,445 19,524	KPI実績 100%		
令和5年度 (2023)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 ・令和5年度は診療報酬明細書6,944件につき、補助を行った。 (入院時食事療養費5件) 32千円 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,088 10,654 8,542 21,284	1,882 7,390 9,449 18,721	KPI実績 100%		
令和6年度 (2024)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 ・令和6年度は診療報酬明細書7,063件につき、補助を行った。 (入院時食事療養費16件) 147千円 		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,084 10,468 8,750 21,302	1,981 12,602 4,937 19,520	KPI実績 100%		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,084</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>10,376</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,799</td></tr> <tr><td>計</td><td>22,259</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金	2,084	地方債		その他	10,376	一般財源	9,799	計	22,259		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金	2,084																		
地方債																			
その他	10,376																		
一般財源	9,799																		
計	22,259																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 子育て支援医療費助成金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※県では通院:満5歳に達した月まで、入院:満6歳に達する日以後の最初3月31日までの間にある者について医療費の補助対象としている。町では県の対象から外れた子どもに対して補助を行う。 ・H31年4月診療分より、「入院時食事療養費」についても補助対象とする。 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,210</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,072</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>17,165</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,447</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金	2,210	地方債		その他	1,072	一般財源	17,165	計	20,447		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金	2,210																		
地方債																			
その他	1,072																		
一般財源	17,165																		
計	20,447																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				福祉保健課
施策内容	(3)	医療費無料化及び入院時食事療養費支給				
アクション	②	重度心身障害児の医療費窓口無料化を継続して実施します。				
施策のKPI (成果目標)	重度心身障害児の医療費窓口無料化を継続実施(令和8年度まで継続実施する)		出典元	福祉保健課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	実施 継続実施
■実施内容	◎ 重度心身障害児の医療費負担を軽減し、必要な医療を受けられる環境を整え、18歳未満の障害児に対する窓口無料化を維持する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	230 141	230 142	KPI実績 継続実施	重度心身障害児が必要な医療を受けるにあたり、保護者等の負担を軽減するため今後も当該事業を継続していく。
令和3年度 (2021)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	230 235	230 236	KPI実績 継続実施	重度心身障害児が必要な医療を受けるにあたり、保護者等の負担を軽減するため今後も当該事業を継続していく。
令和4年度 (2022)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	290 269	290 271	KPI実績 継続実施	重度心身障害児が必要な医療を受けるにあたり、保護者等の負担を軽減するため今後も当該事業を継続していく。
令和5年度 (2023)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	385 300	385 301	KPI実績 継続実施	重度心身障害児が必要な医療を受けるにあたり、保護者等の負担を軽減するため今後も当該事業を継続していく。
令和6年度 (2024)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	670 260	670 260	KPI実績 継続実施	重度心身障害児が必要な医療を受けるにあたり、保護者等の負担を軽減するため今後も当該事業を継続していく。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	国庫支出金			
		県支出金	670		
令和8年度 (2026)	◆ 身延町重度心身障害者医療費助成条例、身延町重度心身障害者医療費助成条例施行規則に基づく助成事業の継続実施	地方債			
		その他			
横断的な取り組みの状況		一般財源	670		
		計	1,340	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
		国庫支出金			
		県支出金	670		
		地方債			
		その他			
		一般財源	670		
		計	1,340	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課												
基本的方向	4-2	結婚・出産への支援の充実				子育て支援課												
施策内容	(3)	医療費無料化及び入院時食事療養費支給				子育て支援課												
アクション	(3)	子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います。				子育て支援課												
施策のKPI (成果目標)	子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業実施要綱支給対象者への支給率(支給率を毎年度100%とする)		出典元	子育て支援課調	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 100%/毎年度												
■実施内容	◎ 子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行い、保護者負担の軽減を図る。																	
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善													
令和2年度 (2020)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 ・ インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します</p> <p>対象者899人、557人接種(延べ880人)</p> <p>合計2,202,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,638</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,638</td></tr> </table> <p>KPI実績 62%</p>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,638	計	3,638			子どものインフルエンザ予防接種に係る費用を助成し、経済的負担を図るとともに、接種勧奨を継続する。 100%接種の目標に及ばず62%にとどまったが、昨年度の58.4%を上回る事ができた。	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	3,638																	
計	3,638																	
令和3年度 (2021)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 ・ インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します</p> <p>対象者867人、448人接種(延べ744人)</p> <p>合計1,860,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,915</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,915</td></tr> </table> <p>KPI実績 52%</p>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,915	計	1,915			子どものインフルエンザ予防接種に係る費用を助成し、経済的負担を図るとともに、接種勧奨を継続する。 100%接種の目標に及ばず52%にとどまった。	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	1,915																	
計	1,915																	
令和4年度 (2022)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 ・ インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します</p> <p>対象者816人、345人接種(延べ542人)</p> <p>合計1,355,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,713</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,713</td></tr> </table> <p>KPI実績 42%</p>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,713	計	2,713			子どものインフルエンザ予防接種に係る費用を助成し、経済的負担を図るとともに、接種勧奨を継続する。 100%接種の目標に及ばず42%にとどまった。コロナウイルス感染拡大の影響により、マスク着用等諸事情も影響したと考えている。	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	2,713																	
計	2,713																	
令和5年度 (2023)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 ・ インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します</p> <p>対象者769人、306人接種(延べ459人)</p> <p>合計1,148,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,450</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,450</td></tr> </table> <p>KPI実績 40%</p>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,450	計	2,450			子どものインフルエンザ予防接種に係る費用を助成し、経済的負担を図るとともに、接種勧奨を継続する。 100%接種の目標に及ばず40%にとどまった。コロナウイルス感染拡大の影響により、マスク着用等諸事情も影響したと考えている。	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	2,450																	
計	2,450																	
令和6年度 (2024)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業 ・ インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します</p> <p>対象者723人、405人接種(延べ459人)</p> <p>合計1,012,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,325</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,325</td></tr> </table> <p>KPI実績 56%</p>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,325	計	2,325			子どものインフルエンザ予防接種に係る費用を助成し、経済的負担を図るとともに、接種勧奨を継続する。 100%接種の目標に及ばず56%にとどまったが、様々な感染症への対応等もあり昨年度と比較して接種率が向上した。	
国庫支出金																		
県支出金																		
地方債																		
その他																		
一般財源	2,325																	
計	2,325																	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します <p>1回 2500円 × 2回(12歳以下は2回接種) × 300人 = 1,500,000円 1回 2500円 × 1回(13歳以上は1回接種) × 250人 = 625,000円</p> <p style="text-align: right;">合計2,125,000円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	2,125		
		計	2,125	0	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種の費用の助成をすることで、子どもの感染予防と保護者の経済的負担を軽減します <p>1回 2500円 × 2回(12歳以下は2回接種) × 570人 = 2,850,000円 1回 2500円 × 1回(13歳以上は1回接種) × 350人 = 875,000円</p> <p style="text-align: right;">合計3,725,000円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	3,725		
		計	3,725	0	
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課	
基本的方向		4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実				交通防災課	
施策内容		(4)	子どもを守るチャイルドシートの着用促進					
アクション		①	子どもたちを守るチャイルドシート着用を促進するため、購入費を補助します。					
施策のKPI (成果目標)		チャイルドシート購入補助実績(補助件数を令和8年度までに累計150件以上にする)		出典元	交通防災課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 累計150件以上	
■実施内容		◎ 6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行い、乳幼児の交通安全、チャイルドシート購入に伴う負担の軽減、チャイルドシートの着用促進を図る。						
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行った。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行った。 <p>実績 補助件数21件、補助合計額185,800円</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	500 500	186 186	事業初年度であったが、21件の実績があった。今後も自動車に同乗中の乳幼児への交通事故による被害の軽減を図るとともにチャイルドシート購入に伴う保護者の負担軽減を図り、もって乳幼児の交通安全の確保、チャイルドシートの着用促進を図るため事業の周知を行っていく。	
				KPI実績	21件			
令和3年度 (2021)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行った。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行った。 <p>実績 補助件数22件、補助合計額193,300円</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	300 300	194 194	22件の実績があった。今後も自動車に同乗中の乳幼児への交通事故による被害の軽減を図るとともに、チャイルドシート購入に伴う保護者の負担軽減を図り、もって乳幼児の交通安全の確保、チャイルドシートの着用促進を図るため事業の周知を行っていく。	
				KPI実績	22件 累計 43件			
令和4年度 (2022)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行う。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行う。 <p>実績 補助件数15件、補助合計額115,400円</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	300 300	115 115	15件の実績があった。減少は少子化によるもの。今後も自動車に同乗中の乳幼児への交通事故による被害の軽減を図るとともに、チャイルドシート購入に伴う保護者の負担軽減を図り、もって乳幼児の交通安全の確保、チャイルドシートの着用促進を図るため事業の周知を行っていく。	
				KPI実績	15件 累計 58件			
令和5年度 (2023)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行う。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行う。 <p>実績 補助件数13件、補助合計額111,200円</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	300 300	112 112	13件の実績があった。減少は少子化によるもの。今後も自動車に同乗中の乳幼児への交通事故による被害の軽減を図るとともに、チャイルドシート購入に伴う保護者の負担軽減を図り、もって乳幼児の交通安全の確保、チャイルドシートの着用促進を図るため事業の周知を行っていく。	
				KPI実績	13件 累計 71件			
令和6年度 (2024)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行う。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行う。 <p>実績 補助件数8件、補助合計額69,500円</p>			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	300 300	70 70	8件の実績があった。減少は少子化によるもの。今後も自動車に同乗中の乳幼児への交通事故による被害の軽減を図るとともに、チャイルドシート購入に伴う保護者の負担軽減を図り、もって乳幼児の交通安全の確保、チャイルドシートの着用促進を図るため事業の周知を行っていく。	
				KPI実績	8件 累計 79件			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行う。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行う。 ・補助件数20件 × 補助金10,000円(上限)=200,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>200</td></tr> <tr><td>計</td><td>200</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	200	計	200		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	200																		
計	200																		
	0																		
	KPI実績	年度末の実績を記載																	
令和8年度 (2026)	<p>◆ チャイルドシート購入費補助金交付要綱による促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の乳幼児の保護者に対しチャイルドシートの購入補助を行う。 ・広報紙やホームページなどの方法で周知を行う。 ・補助件数20件 × 補助金10,000円(上限)=200,000円 <p>予算未定: 200,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>200</td></tr> <tr><td>計</td><td>200</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	200	計	200		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	200																		
計	200																		
	0																		
KPI実績	年度末の実績を記載																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課		
基本的方向	4-2	子育て世代が安心して暮らせる支援の充実					生涯学習課		
施策内容	(5)	身延町総合型スポーツクラブ活動							
アクション	①	様々なスポーツに接する機会を提供することにより、関心・興味を持ち、競技力向上や健康づくり環境の充実を図ります。							
施策のKPI (成果目標)	スポーツクラブ活動参加者数(参加者数を令和8年度までに累計100人以上にする)		出典元 生涯学習課調査	基準値 令和2年度(2020)		開始			
				目標値 令和8年度(2026)		累計100人以上			
■実施内容	(◎ 月替わりで色々なスポーツや動き作りの運動を行う。指導員は、町内スポーツ少年団指導者や中学校体育教諭経験者、県スポ協(元体協)などに御願いをする。町では道具代や指導者の日当を負担する。身体を動かすことの楽しさを感じてもらい、生涯スポーツやスポーツ少年団の活性化に繋げる。								
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善				
令和2年度 (2020)	◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進 ・ 関係者協議(年間スケジュール作成) (開催種目・講師・指導者・会場等の調整) ・ 開催周知(チラシ・広報・ホームページ等) ・ 教室・講習会・セミナー等の開催	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	180 180	34 34	令和2年度は総合型スポーツクラブ活動の推進に向け、軽スポーツ教室の開催等を予定していたが、新型コロナウィルス感染症の影響により多くが中止となり、開催できたのは、ソフトボール教室のみだった。				
		KPI実績	24人						
令和3年度 (2021)	◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	180 180	0 0	令和3年度は総合型スポーツクラブ活動の推進に向け、軽スポーツ教室の開催等を予定していたが、新型コロナウィルス感染症の影響により、すべてが中止となった。 なお、令和3年度は、ソフトボールがスポーツ少年団への新規登録を行い活性化をすることことができた。				
		KPI実績	0人 累計 24人						
令和4年度 (2022)	◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	180 180	0 0	令和4年度は総合型スポーツクラブ活動の推進に向け、軽スポーツ教室の開催等を予定していたが、新型コロナウィルス感染症の影響により、すべてが中止となった。 なお、令和4年度は、ソフトボールルスポーツ少年団が関東・全国大会へ出場し、平成30年度から始めたソフトボール教室が実を結ぶことができた。				
		KPI実績	0人 累計 24人						
令和5年度 (2023)	◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	170 170	0 0	令和5年度は総合型スポーツクラブ活動の推進に向け、軽スポーツ教室の開催等を予定していたが、新型コロナウィルス感染症が5類移行後もまん延防止をしていたため中止となった。 なお、令和5年度も、ソフトボールルスポーツ少年団が関東大会へ出場し、平成30年度から始めたソフトボール教室が実を結ぶことができた。				
		KPI実績	0人 累計 24人						
令和6年度 (2024)	◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	180 180	0 0	これまで設置することが望ましいとされてきた総合型スポーツクラブだが、今後、中学校部活動の地域移行に伴い、設置の有無について判断する必要がある。 なお、令和6年度も、ソフトボールルスポーツ少年団が関東大会へ出場し、平成30年度から始めたソフトボール教室が実を結ぶことができた。				
		KPI実績	0人 累計 24人						

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	<p>◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議(年間スケジュール作成) (開催種目・講師・指導者・会場等の調整) ・開催周知(チラシ・広報・ホームページ等) ・教室・講習会・セミナー等の開催 	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	120			
		計	120	0		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 総合型スポーツクラブ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議(年間スケジュール作成) (開催種目・講師・指導者・会場等の調整) ・開催周知(チラシ・広報・ホームページ等) ・教室・講習会・セミナー等の開催 	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	170			
		計	170	0		
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-3	教育環境の質的向上				
施策内容	(1)	郷土愛を育む教育の充実				学校教育課
アクション	①	将来町を担う子どもたちが、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行います。				
施策のKPI (成果目標)	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」(満足度を令和8年度までに基準値から5%向上する)		出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	78.3% 5%向上
■実施内容	◎ 第一期総合戦略に基づき、平成29年度に郷土愛を育む社会科副読本を作成し、翌30年度から地域学習教材として有効に活用されている。 令和2年度以降も、引き続き活用し、郷土愛を育む教育を行う。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	副読本が配布され、地域学習の教材として有効に活用されている。 今後も定期的に内容の見直し等を行なながら、取り組みを継続する。
令和3年度 (2021)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	副読本が配布され、地域学習の教材として有効に活用されている。 今後も定期的に内容の見直し等を行なながら、取り組みを継続する。
令和4年度 (2022)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う ◆ 社会科副読本の改定及び増刷業務に向けた検討	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	副読本が配布され、地域学習の教材として有効に活用されている。 令和4年度は、教育研修センターと社会科副読本編集委員会が中心となり、令和6年4月に使用開始となる副読本の作成にあたり、修正箇所の抽出を行い、関係機関に対して照会や取材等を行った。
令和5年度 (2023)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う ◆ 社会科副読本作成業務委託料 3,312,980円 合計 3,312,980円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,313 3,345 0 3,345 3,313	88.6%		副読本が配布され、地域学習の教材として有効に活用されている。 令和5年度は、教育研修センターと社会科副読本編集委員会が中心となり、出版社と連携を図りながら、令和6年4月から使用する新しい「わたしたちの身延町」を作成した。中学校と給食センターの移転、中部横断道の全面開通等をふまえた改訂を行った。
令和6年度 (2024)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う ◆ 改訂した新しい副読本により学習が始まる	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0	89.6%		令和5年度末までに、教育研修センターと社会科副読本編集委員会が中心となり改訂した新しい「わたしたちの身延町」の配布を開始した。今改訂では300部を作成したが、令和11年度末まで使用する。地域学習の教材として有効に活用されている。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 社会科副読本を地域学習教材として有効活用し、生まれ育った地域の文化・歴史を学び郷土愛を育む教育・講座等を行う	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実				担当課											
基本的方向	4-3	教育環境の質的向上				生涯学習課											
施策内容	(1)	郷土愛を育む教育の充実															
アクション	②	将来町を担う子どもたちが、生まれ育った地域の歴史文化・自然を学び郷土愛を育む機会を提供するため、講演会等を開催するとともに、学習資料のデジタル化を図り、町ホームページ等で公開します。															
施策のKPI (成果目標)	町内文化財等の学習資料作成数(資料を令和8年度までに14種作成し累計17種とする)		出典元	生涯学習課調査	基準値 令和元年(2019) 目標値 令和8年度(2026)	累計3種 累計17種											
■実施内容	◎ より充実した「歴史文化・自然」に関する学習資料を作成し、町内小中学校へ配布して地域学習の教材に活用してもらう。																
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善												
令和2年度 (2020)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) →町文化財担当職員が講師を務めたため未執行 ※対象: 身延中学校生徒 開催日: 2月12日(金) 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>100</td></tr> <tr><td>計</td><td>100</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	100	計	100			<p>新型コロナウィルス感染症対策のため外部講師による講座はできなかつたが、町文化財担当職員が身延中学校で「武田信玄公ゆかりの文化財」と題し講演した。</p> <p>また、郷土学習の教材として「身延町の文化財Part1」「綱脇龍妙上人とハンセン病」「町の鳥ブッポウソウ」を作成し、身延中学校生徒に配布した。地域の歴史文化や名誉町民、自然について理解を深め、郷土愛を育む場を提供できた。</p>
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	100																
計	100																
令和3年度 (2021)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 60,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>100</td></tr> <tr><td>計</td><td>100</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	100	計	100			<p>歴史作家江宮隆之氏を招き、「裏切り者でなかった穴山梅雪の真実」と題した講演会を開催し、武田信玄公生誕500年の節目の年に、郷土の戦国武将について理解を深めることができた。</p> <p>また、郷土学習の教材として「旧市川家住宅と昔のくらし」・「穴山梅雪の生涯と文化財」を作成し、町内小中学校に配布するとともに、町文化財担当職員が身延中学校で文化財等を学習する講座を行うことができた。</p>
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	100																
計	100																
令和4年度 (2022)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上の作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 60,000円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>100</td></tr> <tr><td>計</td><td>100</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	100	計	100			<p>歴史作家江宮隆之氏を招き、「白磁の人・異聞 木喰の発見」と題した講演会を開催し、木喰仮の価値や木喰上人の生涯について理解を深める機会を提供できた。</p> <p>また、郷土学習の教材として「身延町の植物」・「甲斐源氏と文化財」・「身延町の文化財Part2」を作成し、町内小中学校に配布するとともに、町文化財担当職員が身延中学校で文化財等を学習する講座を行うことができた。</p>
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	100																
計	100																
令和5年度 (2023)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 60,000円 ・文化財等保存継承事業調査員謝金(交通費含) 203,600円 ・※深敬園所蔵の綱脇龍妙上人関係資料の調査 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>304</td></tr> <tr><td>計</td><td>304</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	304	計	304			<p>身延山大学講師の林は恭氏を招き、「おの方(養珠院)はどう生きたか-その生涯を辿る」と題した講演会を開催し、おの方の事績やゆかりの文化財について理解を深める機会を提供できた。</p> <p>また、郷土学習の教材として「徳川家康とゆかりの文化財」・「世界文化遺産富士山」を作成するとともに、町文化財保護審議委員等が身延中学校で文化財等を学習する講座を行うことができた。</p> <p>また、本年度より名誉町民の綱脇龍妙上人の事績を人権学習の教材として活かすため、深敬園の資料調査を始めるとともに、普及啓発事業として草津重監房資料館学芸部長の黒尾和久氏を招き「みのぶ人権フォーラム2024」を開催することができた。</p>
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	304																
計	304																
令和6年度 (2024)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 50,000円 ・文化財等保存継承事業調査員謝金(交通費含) 138,400円 ・※深敬園所蔵の綱脇龍妙上人関係資料の調査 ・上記継承事業に伴う調査費(担当職員旅費・交通費) 13,470円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>327</td></tr> <tr><td>計</td><td>327</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	327	計	327			<p>郷土学習の教材として「身延町の動物」・「下山大工」を作成できた。また、名誉町民の綱脇龍妙上人の実績を人権学習の教材として活かすため、前年度に引き続き深敬園の資料調査を実施し、普及啓発事業として草津重監房資料館学芸部長の黒尾和久氏を招き「フィールドワークin 身延深敬園」を開催することができた。</p>
国庫支出金																	
県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源	327																
計	327																

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 110,000円 ・文化財等保存継承事業調査員謝金(交通費含) 137,000円 ※深敬園所蔵の綱脇龍妙上人関係資料の調査 ・上記継承事業に伴う調査費(担当職員旅費・交通費) 55,000円 ・上記継承事業調査備品(フィルムスキヤナー)購入費 39,000円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>341</td></tr> <tr><td>計</td><td>341</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> KPI実績 年度末の実績を記載 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	341	計	341		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	341																		
計	341																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 町内文化財等の学習資料14種以上を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習資料2種以上の作成 ・学習講座の実施 講師謝金(交通費含) 100,000円 ・文化財等保存継承事業調査員謝金(交通費含) 250,000円 ・綱脇龍妙上人関係資料の調査報告書 印刷製本費 500,000円 	<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>850</td></tr> <tr><td>計</td><td>850</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> KPI実績 年度末の実績を記載 </div>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	850	計	850		0			
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	850																		
計	850																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課	
基本的方向		4-3 教育環境の質的向上					学校教育課	
施策内容		(2) 小中学校の児童生徒にタブレット端末を貸与						
アクション		① 全児童・生徒に対して導入・整備された、1人1台端末のデジタル環境を今後も維持し、授業にデジタルを取り入れて有効に活用することにより、児童生徒の学力の向上を図ります。						
施策のKPI (成果目標)		アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」(満足度を令和8年度までに基準値から5%向上する)	出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	78.3% 5%向上		
■実施内容	◎ 授業等にタブレットPCを活用することにより、教育環境の質的向上を図ると共に、児童生徒の学力の向上を図る。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する タブレット型PC 環境整備(Wi-Fi環境、充電保管庫、管理サーバー、運用ソフト等) リース料 小学校 10,244,880 円 中学校 6,027,696 円 合計 16,272,576 円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	16,273 16,273	16,273 16,273	KPI実績 77.5%	授業等にタブレットPCを活用することにより教育の質的向上が図られ、児童生徒の学力の向上に有効に活用されている。引き続きタブレットPCを活用することにより、児童生徒の調べ学習等の充実を推進する。	
令和3年度 (2021)	◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する タブレット型PC 環境整備(Wi-Fi環境、充電保管庫、管理サーバー、運用ソフト等) リース料 小学校 10,244,880 円 中学校 2,412,720 円 合計 12,657,600 円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	12,658 12,658	12,658 12,658	KPI実績 74.4%	授業等にタブレットPCを活用することにより教育の質的向上が図られ、児童生徒の学力の向上に有効に活用されている。引き続きタブレットPCを活用することにより、児童生徒の調べ学習等の充実を推進する。	
令和4年度 (2022)	◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する タブレット型PC 環境整備(Wi-Fi環境、充電保管庫、管理サーバー、運用ソフト等) リース料 小学校 4,268,700 円 中学校 0 円 合計 4,268,700 円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,269 4,269	4,269 4,269	KPI実績 79.3%	各教科の授業等にタブレットPCを活用することにより教育の質的向上が図られ、学力の向上に有効に活用されている。また、中学校を中心に持ち帰りでのドリル学習などでタブレットPCの有効活用を行っている。 引き続き、各教科等の学習の目的を達成するため、タブレットPCの有効活用に取り組んでいきたい。	
令和5年度 (2023)	◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する アクションプランで位置づけた本事業は、リース期間が中学校は令和3年8月、小学校は令和4年8月に終了した。 令和2年度に国がGIGAスクール構想を前倒しで実施したことにより、同年度中に全国で全児童生徒に対して1人1台端末が導入され、町でも整備(購入)した。 整備されたデジタル環境を今後も維持していく。		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	KPI実績 88.6%	各教科の授業等にタブレットPCを活用することにより教育の質的向上が図られ、学力の向上に有効に活用されている。また、令和5年度からは小学校においてもタブレットの持ち帰り学習の取り組みが始まつた。中学校では殆どのアンケートはタブレットによって実施されている。教職員を対象にICTを活用した実践についての研修が行われた。 引き続き、各教科等の学習の目的を達成するため、タブレットPCの有効活用に取り組んでいきたい。	
令和6年度 (2024)	◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する アクションプランで位置づけた本事業は、リース期間が中学校は令和3年8月、小学校は令和4年8月に終了した。 令和2年度に国がGIGAスクール構想を前倒しで実施したことにより、同年度中に全国で全児童生徒に対して1人1台端末が導入され、町でも整備(購入)した。 整備されたデジタル環境を今後も維持していく。		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0	0	KPI実績 89.6%	各教科の授業等にタブレットPCを活用することにより教育の質的向上が図られ、学力の向上に有効に活用されている。また、令和5年度からは小学校においてもタブレットの持ち帰り学習の取り組みが始ままり活用頻度が増した。中学校では新校舎となりネット環境が格段に改善された為、不具合等がなくなり快適に活用されている。またほぼ全てのアンケートはタブレットによって実施されている。夏休みには教職員を対象にICT研修が行われた。 引き続き、各教科等の学習の目的を達成するため、タブレットPCの有効活用に取り組んでいきたい。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する</p> <p>アクションプランで位置づけた本事業は、リース期間が中学校は令和3年8月、小学校は令和4年8月に終了した。</p> <p>令和2年度に国がGIGAスクール構想を前倒しで実施したことにより、同年度中に全国で全児童生徒に対して1人1台端末が導入され、町でも整備(購入)した。</p> <p>整備されたデジタル環境を今後も維持していく。</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	<p>◆ 授業等にタブレットPCを活用することによる教育の質的向上を図り、児童生徒の学力を向上する</p> <p>アクションプランで位置づけた本事業は、リース期間が中学校は令和3年8月、小学校は令和4年8月に終了した。</p> <p>令和2年度に国がGIGAスクール構想を前倒しで実施したことにより、同年度中に全国で全児童生徒に対して1人1台端末が導入され、町でも整備(購入)した。</p> <p>整備されたデジタル環境を今後も維持していく。</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
	KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実					担当課
基本的方向	4-3	教育環境の質的向上					学校教育課
施策内容	(3)	英語教育の充実					
アクション	①	英語指導助手(ALT)等による中学校英語学習時間を増やすとともに、小学生に対しても英語学習機会の充実を図ります。					
施策のKPI (成果目標)	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」(満足度を令和8年度までに基準値から5%向上する)		出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019)	78.3%	
					目標値 令和8年度(2026)	5%向上	
■実施内容	◎ 英語指導助手(ALT)等による中学校英語学習時間を増やすとともに、小学生に対しても英語学習機会の充実を図る。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。 【ALT】 中学校1校に2名配置 9,257,600 円 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 合計 16,158,230 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,128 17,128	16,158 16,158	KPI実績 77.5%	中学校1校に2人配置することにより、生きた教材として活用することができ、英語教育の充実が図れた。小学校3校には各校に1人配置し、新学習指導要領の円滑な実施に活用することができた。 引き続き配置することにより、児童生徒の英語学習機会の充実を推進する。	
令和3年度 (2021)	◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。 【ALT】 中学校1校に2名配置 9,257,600 円 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 合計 16,158,230 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	16,352 16,352	16,158 16,158	KPI実績 74.4%	中学校1校に2人配置することにより、生きた教材として活用することができ、英語教育の充実が図れた。小学校3校には各校に1人配置し、新学習指導要領の円滑な実施に活用することができた。 引き続き配置することにより、児童生徒の英語学習機会の充実を推進する。	
令和4年度 (2022)	◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。 【ALT】 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 中学校1校に2名配置 10,573,200 円 合計 17,473,830 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,474 17,474	17,474 17,474	KPI実績 79.3%	中学校1校に2人配置することにより、生きた教材として活用することができ、英語教育の充実が図れた。小学校3校には各校に1人配置し、新学習指導要領の円滑な実施に活用することができた。 引き続き配置することにより、児童生徒の英語学習機会の充実を推進する。	
令和5年度 (2023)	◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。 【ALT】 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 中学校1校に2名配置 10,611,425 円 合計 17,512,055 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,738 17,738	119 17,512	KPI実績 88.6%	小学校3校に各校1人、中学校1校に2人配置した。小学校においては音声を中心、外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について理解を深めることができた。中学校においては生きた教材として活用することができ、英語教育の充実が図れた。小学校3校には各校に1人配置し、新学習指導要領の円滑な実施に活用することができた。 引き続き配置することにより、児童生徒の英語学習機会の充実を推進する。	
令和6年度 (2024)	◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。 【ALT】 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 中学校1校に2名配置 10,560,000 円 合計 17,460,630 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	17,461 17,461	17,461 17,461	KPI実績 89.6%	小学校3校に各校1人、中学校1校に2人配置した。小学校においては音声を中心、外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について理解を深めることができた。中学校においては生きた教材として活用することができ、英語教育の充実が図れた。小学校3校には各校に1人配置し、新学習指導要領の円滑な実施に活用することができた。 引き続き配置することにより、児童生徒の英語学習機会の充実を推進する。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。</p> <p>【ALT】 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 中学校1校に2名配置 10,560,000 円</p> <p>合計 17,460,630 円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	17,461		
		計	17,461	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 英語指導助手(ALT)等により小中学校英語学習機会の充実を図る。</p> <p>【ALT】 小学校3校に各1名、合計3名配置 6,900,630 円 中学校1校に2名配置 10,560,000 円</p> <p>合計 17,460,630 円</p>	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	17,461		
		計	17,461	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-3	教育環境の質的向上				子育て支援課
施策内容	(3)	英語教育の充実				子育て支援課
アクション	②	町内全園児に、英会話に親しむ機会を設けるため、町内の各保育所(園)に外国人講師を派遣します。				子育て支援課
施策のKPI (成果目標)	アンケート調査「英語教育に関する満足度」(満足度を令和8年度までに基準値から5%向上する)		出典元	子育て支援課調査	基準値 令和元年度(2019)	68.0%
					目標値 令和8年度(2026)	5%向上
■実施内容	◎ 町内の各保育所(園)に外国人講師を派遣し、園児が英会話に親しむ機会を設けます					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う <p>・私立保育園補助額 240,000円 × 1 園 302,400円 × 1 園 合計542,400円</p> <p>・町内全園児への英語教材の配布 95 人 = 153,175 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	865 865	696 696	KPI実績 63.2%	アンケート調査の結果98.3%が英語教育が必要と考えており、教材の活用率は63.2%である。 町内全園児に対し、英会話に親しむ機会を設けるため、事業を継続したい。
令和3年度 (2021)	<p>◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う <p>・私立保育園補助額 260,000円 × 1 園 319,200円 × 1 園</p> <p>・町内全園児への英語教材の配布 90 人 = 160,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	900 900	739 739	KPI実績 63.0%	アンケート調査の結果98.9%が英語教育が必要と考えており、教材の活用率は63.0%である。 町内全園児に対し、英会話に親しむ機会を設けるため、事業を継続したい。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う <p>・私立保育園補助額 410,000円 × 1 園 450,000円 × 1 園</p> <p>・町内全園児への英語教材の配布 95 人 = 186,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,100 1,100	1,046 1,046	KPI実績 70.2%	アンケート調査の結果98.9%が英語教育が必要と考えおり、教材の活用率は70.2%である。 町内全園児に対し、英会話に親しむ機会を設けるため、事業を継続したい。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う <p>・私立保育園補助額 413,400円 × 1 園 = 413,400 円 380,000円 × 1 園 = 380,000 円</p> <p>・町内全園児への英語教材の配布 1,800円 × 70 人 = 126,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,060 1,060	919 919	KPI実績 79.8%	アンケート調査の結果97.1%が英語教育が必要と考えおり、教材の活用率は79.8%である。 町内全園児に対し、英会話に親しむ機会を設けるため、事業を継続したい。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う <p>・私立保育園補助額 440,000円 × 1 園 = 440,000 円 396,600円 × 1 園 = 396,600 円</p> <p>・町内全園児への英語教材の配布 1,914円 × 70 人 = 133,980 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,054 1,054	971 971	KPI実績 76.5%	アンケート調査の結果100%が英語教育が必要と考えおり、教材の活用率は79.8%である。 町内全園児に対し、英会話に親しむ機会を設けるため、事業を継続したい。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。	国庫支出金				
	・夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う	県支出金				
		地方債				
		その他				
	・私立保育園補助額 450,000円 × 2 園 = 900,000 円	一般財源	1,054			
	・町内全園児への英語教材の配布 2,200円 × 70 人 = 154,000 円	計	1,054	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	◆ 町内全園児に対して、英会話に親しむ機会を設ける。	国庫支出金				
	・夏休み、冬休みを除く1年間、小中学校の指導時間以外に、各園、週に1回、ALTが指導を行う	県支出金				
		地方債				
		その他				
	・私立保育園補助額 350,000円 × 2 園 = 700,000 円	一般財源	854			
	・町内全園児への英語教材の配布 1,540 円 × 100 人 = 154,000 円	計	854	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況						

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-3	教育環境の質的向上				
施策内容	(4)	児童生徒のチャレンジ応援助成				
アクション	①	児童生徒のチャレンジを応援するため、英語検定・漢字検定・数学検定の検定料を助成します。 また、中学校で実施する団体受検時に小学生も受検できるようにすることにより、受検しやすい環境を整えます。				
施策のKPI (成果目標)	アンケート調査「生徒の教育に関する満足度」(満足度を令和8年度までに基準値から5%向上する)		出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	78.3% 5%向上
■実施内容	◎ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱により検定料の助成を行う。また、教員の負担軽減のため、試験官として臨時職員を配置する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級17名×2,000円、4級14名×2,600円、3級16名×3,900円、準2級12名×5,800円 2級2名×6,500円 157,300 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級39名×1,500円、7～5級40名×2,000円、4・3級23名×2,500円、準2級1名×2,500円、2級3名×3,500円 209,000 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級24名×2,000円、8～6級20名×2,500円、5・4級10名×3,000円、3級8名×3,500円、6級1名×2,200円 158,200 円</p> <p>・ 試験官賃金 2名×1,500円×2.5時間×4回 30,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	982 982	555 555	KPI実績 77.5%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、年間3回実施予定であった英語検定及び漢字検定の実施回数がそれぞれ2回となったが、検定料助成により積極的な検定へのチャレンジを応援することができた。 引き続き学校を通じて制度の周知を行うとともに、受検機会の確保に努めながら取り組みを推進していく。
令和3年度 (2021)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級13名×2,500円、4級21名×2,900円、3級15名×4,800円、準2級20名×4,900円、2級5名×5,500円 248,000 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級32名×1,500円、7～5級43名×2,000円、4・3・準2級23名×2,500円 2級2名×3,500円 198,500 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級15名×2,000円、8～6級23名×2,500円、5・4級14名×3,000円、3級4名×3,500円、準2級2名×4,000円 150,500 円</p> <p>・ 試験官賃金 2名×1,500円×2.5時間×2回 15,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	851 851	612 612	KPI実績 74.4%	令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、年間3回実施予定であった漢字検定の実施回数が2回、年間2回実施予定の数学検定は1回の実施となった。回数は減ったが、検定料助成により積極的な検定へのチャレンジを応援することができた。 引き続き学校を通じて制度の周知を行うとともに、受検機会の確保に努めながら取り組みを推進していく。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級13名×2,500円、4級19名×2,900円、3級16名×4,700円、準2級8名×5,700円、2級2名×6,400円 221,200 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級17名×1,500円、7～5級27名×2,000円、4・3級15名×2,500円、準2級4名×2,500円、2級1名×3,500円 130,500 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級17名×2,000円、8～6級28名×2,500円、5・4級12名×3,000円、3級6名×3,500円、準2級1名×4,000円、2級1名×4,800円 169,800 円</p> <p>・ 試験官賃金 1,500円×11.5時間 17,250 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	869 869	539 539	KPI実績 79.3%	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染者が学校現場においても発生したが、検定は計画どおり実施した。(漢字検定3回、英語検定3回、数学検定2回) 検定料助成により積極的な検定へのチャレンジを応援することができた。 引き続き学校を通じて制度の周知を行うとともに、受検機会の確保に努めながら取り組みを推進していく。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級6名×2,400円、4級12名×2,800円、3級14名×4,700円、準2級4名×5,600円、2級2名×6,300円 149,100 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級16名×1,500円、7～5級29名×2,000円、4・3級18名×2,500円、準2級4名×2,500円、2級2名×3,500円 144,000 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級10名×2,500円、8～6級17名×3,100円、5・4級10名×3,800円、3級4名×4,300円、準2級1名×4,800円、2級0名×5,600円 準1級1名×6,400円 144,100 円</p> <p>・ 試験官賃金 2名×1,500円×2時間×5回 30,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	874 874	437 30 467	KPI実績 88.6%	令和5年度も昨年度に引き続き、計画どおり実施した。(漢字検定3回、英語検定3回、数学検定2回)6月実施の漢字検定日が中学校の授業参観と重複した為、対応として、小学生と中学生を分けて検定を実施する措置をとった。 検定料助成により積極的な検定へのチャレンジを応援することができた。 引き続き学校を通じて制度の周知を行うとともに、受検機会の確保に努めながら取り組みを推進していく。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級5名×2,500円、4級9名×2,900円、3級17名×5,000円、準2級10名×6,100円、2級4名×6,900円 212,200 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級21名×1,500円、7～5級20名×2,000円、4・3級18名×2,500円、準2級10名×2,500円、2級1名×3,500円 132,500 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級16名×2,500円、8～6級10名×3,100円、5・4級10名×3,800円、3級7名×4,300円、準2級1名×4,800円、2級0名×5,600円 準1級1名×6,400円 142,900 円</p> <p>・ 試験官賃金 1,500円×2時間×7回 21,000 円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	938 938	509 509	KPI実績 89.6%	令和6年度も昨年度に引き続き、計画どおり実施した。(漢字検定3回、英語検定3回、数学検定2回) 検定料助成により積極的な検定へのチャレンジを応援することができた。受検する児童生徒が固定化する傾向にあるため、各種検定のメリット等の周知を行った。 引き続き学校を通じて制度の周知を行うとともに、受検機会の確保に努めながら取り組みを推進していく。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級20名×2,500円、4級25名×2,900円、3級25名×4,700円、準2級10名×5,700円、2級5名×6,400円 369,900 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級40名×1,500円、7～5級40名×2,000円、4・3級25名×2,500円、準2級10名×2,500円、2級5名×3,500円 210,000 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級20名×2,500円、8～6級25名×3,100円、5・4級25名×3,800円、3級5名×4,300円、準2級5名×4,800円、2級1名×5,600円 試験官賃金 2名×1,500円×3時間×5回 45,000 円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>880</td></tr> <tr><td>計</td><td>880</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	880	計	880		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	880																		
計	880																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 身延町児童生徒チャレンジ応援助成金交付要綱に基づく助成金交付により子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の検定へのチャレンジを応援する。</p> <p>【英語検定料助成】 5級20名×2,500円、4級25名×2,900円、3級25名×4,700円、準2級10名×5,700円、2級5名×6,400円 369,900 円</p> <p>【漢字検定料助成】 10～8級40名×1,500円、7～5級40名×2,000円、4・3級25名×2,500円、準2級10名×2,500円、2級5名×3,500円 210,000 円</p> <p>【数字検定料助成】 11～9級20名×2,500円、8～6級25名×3,100円、5・4級25名×3,800円、3級5名×4,300円、準2級5名×4,800円、2級1名×5,600円 試験官賃金 2名×1,500円×3時間×5回 45,000 円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>880</td></tr> <tr><td>計</td><td>880</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	880	計	880		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	880																		
計	880																		
	0																		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	4	結婚・出産・子育て環境の充実				担当課
基本的方向	4-4	災害発生時の児童生徒の安全確保				
施策内容	(1)	避難訓練、引き渡し訓練、情報伝達訓練の充実強化				学校教育課
アクション	①	近い将来発生が予想されている東海沖地震等の大規模災害に備え、避難訓練や引き渡し訓練を実施するとともに、就学区域に対応した情報伝達訓練を行います。				
施策のKPI (成果目標)	各学校の避難訓練実施回数(訓練実施回数を毎年度各校3回以上とする)		出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	各校2回以上 各校3回以上/毎年度
■実施内容	◎ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 各校3回以上	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、予定されていた訓練で未実施のものがありました。目標値を上回る訓練が実施されています。 引き続き大規模災害に備え訓練を実施していく。
令和3年度 (2021)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 各校3回以上	今年度は各校とも目標値を上回る訓練が実施されている。 引き続き大規模災害に備え訓練を実施していく。
令和4年度 (2022)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 各校3回以上	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、予定されていた訓練で未実施のものがありました。目標値を上回る訓練が実施されています。 引き続き大規模災害に備え訓練を実施していく。
令和5年度 (2023)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 各校3回以上	今年度は各校とも目標値を上回る訓練が実施されている。 引き続き大規模災害に備え訓練を実施していく。
令和6年度 (2024)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			KPI実績 各校3回以上	今年度は各校とも目標値を上回る訓練が実施されている。 引き続き大規模災害に備え訓練を実施していく。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆ 各学校において大規模災害を想定した避難訓練を実施する。 訓練実施(目標値3回以上)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		4 結婚・出産・子育て環境の充実					担当課		
基本的方向		4-4 災害発生時の児童生徒の安全確保					学校教育課		
施策内容		(2) 災害発生時に必要な防災用備品等の整備							
アクション		① 災害発生時に必要となる防災用備品等を整備し、児童生徒の安全を確保した上で、地域の防災備品等としても活用します。							
施策のKPI (成果目標)		備蓄品の備蓄量(備蓄量を令和8年度までに1人2日分確保する)		出典元	学校教育課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	1.5日分/人 2日分/人		
■実施内容	◎ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める。								
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める			国庫支出金			令和2年度はアルファ化米の入れ替えのみのためKPI実績増はない。 引き続き目標値達成のため購入を続けていく。		
	非常食等の入れ替え 小学校 511,080 円 中学校 348,560 円 合計 859,640 円			県支出金					
令和3年度 (2021)	◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める			地方債			令和3年度はビスケットの入れ替えのみのためKPI実績増はない。 引き続き目標値達成のため購入を続けていく。		
	非常食等の追加・入れ替え 小学校 149,770 円 中学校 79,290 円 合計 229,060 円			その他					
令和4年度 (2022)	◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める			一般財源	906	860	令和4年度はシチューを追加購入した。 引き続き目標値達成のため購入を続けていく。		
	非常食等の追加・入れ替え 小学校 157,950 円 中学校 84,240 円 合計 242,190 円			計	906	860			
令和5年度 (2023)	◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める			KPI実績	1.5日分/人		令和5年度からは、配布時の負担軽減のためオリジナル防災セット(リュックタイプ)を1人2セット(2日分)ずつ順次整備していくこととした。 引き続き目標達成のため購入を続けていく。		
	非常食等の追加・入れ替え 小学校 367,200 円 中学校 324,000 円 合計 691,200 円			国庫支出金					
令和6年度 (2024)	◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める			県支出金			令和5年度からは、配布時の負担軽減のためオリジナル防災セット(リュックタイプ)を1人2セット(2日分)ずつ順次整備していくこととした。 引き続き目標達成のため購入を続けていく。		
	非常食等の追加・入れ替え 小学校 303,264 円 中学校 396,576 円 合計 699,840 円			地方債					
				その他					
				一般財源	719	692			
				計	719	692			
				KPI実績	1.6日分/人				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善									
令和7年度 (2025)	<p>◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める</p> <p>非常食等の追加・入れ替え</p> <table> <tr><td>小学校</td><td>304,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>397,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>701,000</td><td>円</td></tr> </table>	小学校	304,000	円	中学校	397,000	円	合計	701,000	円	国庫支出金			
小学校	304,000	円												
中学校	397,000	円												
合計	701,000	円												
県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	701													
計	701	0												
KPI実績	年度末の実績を記載													
令和8年度 (2026)	<p>◆ 平成28年度に整備した備品等を定期的に点検し、適正な管理に努める</p> <p>非常食等の追加・入れ替え</p> <table> <tr><td>小学校</td><td>304,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>397,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>701,000</td><td>円</td></tr> </table>	小学校	304,000	円	中学校	397,000	円	合計	701,000	円	国庫支出金			
小学校	304,000	円												
中学校	397,000	円												
合計	701,000	円												
県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	701													
計	701	0												
KPI実績	年度末の実績を記載													
横断的な取り組みの状況														

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成					担当課	
基本的方向	5-1	地域の拠点づくりの推進					財政課 関係各課	
施策内容	(1)	交流・防災拠点の整備を検討						
アクション	①	空き校舎等の活用について、未利用公共施設検討委員会の提言を重視したうえで活用の方向を決定します。						
施策のKPI (成果目標)	空き校舎4校舎の活用等を決定する(空き校舎4校舎の活用等を令和8年度までに決定する) (旧久那土小、旧久那土中、旧下部小、旧下部中)		出典元 財政課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	0校舎			
					4校舎			
■実施内容	◎ 未利用公共施設検討委員会の提言を重視し、提言内容関連各課等をメンバーとする府内会議(仮称)により活用等の方向性を決定する。							
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善			
令和2年度 (2020)	◆ 未利用公共施設検討委員会の提言を重視し、提言内容関連各課等をメンバーとする府内会議(仮称)を開催し活用等の方向性を決定する。 ※町の方針を決定する。 ※ 未利用公共施設検討委員会の提言を受ける(事務局:企画政策課) ※ 府内会議により活用処分の検討決定を行う(事務局:財政課)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			旧下部小中学校校舎活用検討委員会より提言された内容について、府内会議を実施。ゆるキャン△、地域コミュニティ施設、企業の誘致、防災拠点施設としての活用を検討。 旧下部小学校については、企業の誘致を実施。 旧下部中学校は、ゆるキャン△による活用など、観光課と五条が丘活性化協議会が主体となり各種事業を実施。 防災拠点については、避難用備蓄品等の保管場所として使用、なお地域コミュニティ施設としては、下部地区公民館が近隣にあり、その施設を活用してもらうこととした。 久那土小中学校校舎活用検討委員会より令和3年3月に提言いただいた内容については、令和3年度初期に府内会議と開催する予定。			
	KPI実績 2校舎 計2校舎							
令和3年度 (2021)	◆ 町の方針を決定し、活用を進める。 ※ 府内会議により活用処分の検討決定を行う(事務局:財政課) ※ 活用状況を把握し、必要に応じて改善を図る。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			旧久那土小中学校校舎活用検討委員会より提言された内容について、府内会議を実施。地域コミュニティ施設、企業の誘致、防災拠点施設としての活用を検討する事とした。 旧久那土中学校については、企業の誘致を実施。旧久那土小学校は、老朽化している働く婦人の家を中心に一的な整備を行い、久那土地区を中心に身延町の活性化に繋がるような機能的で効率的な多目的施設の整備に向けて検討する。			
	KPI実績 0校舎 計2校舎							
令和4年度 (2022)	◆ 町の方針により活用を進める。 ※ 活用状況を把握し、必要に応じて改善を図る。 学校施設の管理点検業務委託料 500 千円 小中学校の草刈業務委託料 1,353 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,500 2,500	1,853 1,853	旧久那土小中学校の活用については、府内での検討結果を踏まえて中学校への企業の誘致へつなげることができた。 また、下部小学校的校舎についても企業の業績が順調とのことで賃貸借エリアの拡大を図ることができた。 久那土小学校については解体する方向とし、今後は引き続き、久那土小学校の跡地及び働く婦人の家を含めた一的な整備の時期、方法などを検討する。			
	KPI実績 2校舎 計4校舎							
令和5年度 (2023)	◆ 町の方針により活用を進める。 ※ 活用状況を把握し、必要に応じて改善を図る。 学校施設の管理点検業務委託料 576 千円 小中学校の草刈業務委託料 619 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,544 1,544	1,195 1,195	昨年度企業誘致へつながった旧久那土中学校だが、借り受けた企業が破産し、校舎内に残置物が残された状態である。 破産管財人には早期の残置物撤去を依頼しているが、年度末現在撤去はなされていないため、今後も引き続き早期の撤去を依頼する。 今後の久那土中学校の施設活用方法については、企業誘致または、久那土小学校とともに、働く婦人の家を含めた一的な整備を目指し、時期及び方法などを検討する。			
	KPI実績 計4校舎							
令和6年度 (2024)	◆ 町の方針により活用を進める。 ※ 活用状況を把握し、必要に応じて改善を図る。 学校施設の管理点検業務委託料 577 千円 小中学校の草刈業務委託料 824 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,508 2,508	1,401 1,401	旧久那土中学校については、破産管財人により残置物の撤去は完了した。 年度末に企業誘致により新たな事業者が、拠点施設として借りる予定である。			
	KPI実績 計4校舎							

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 町の方針により活用を進める。 ※ 活用状況を把握し、必要に応じて改善を図る。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
	学校施設の管理点検業務委託料 500 千円	1,544				
	小中学校の草刈業務委託料 1,044 千円	1,544	0			
		KPI実績	年度末の実績を記載			
		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
		1,544	0			
		KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況						

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課
基本的方向	5-2	公共交通機関の充実				交通防災課
施策内容	(1)	公共交通網の充実				交通防災課
アクション	①	町営公共交通の運行の調整と山梨県・隣接町相互の接続などで公共交通網の利便性向上を検討します。				交通防災課
施策のKPI (成果目標)	町営バス、乗り合いタクシー、町営公共交通機関利用者数 (利用者数を令和8年度までに44,000人以上にする)		出典元	交通防災課調査	基準値 平成30年度(2018)	43,806人
					目標値 令和8年度(2026)	44,000人以上
■実施内容	(◎ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討します。また、地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れについて協議します。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議 ・ 峠南新設校に伴う廃校(増穂・峠南)による路線見直し、富士川町コミュニティーバスとの接続強化の検討の検討	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	平成29年度から公共交通ネットワーク計画に基づいた町営バス路線の運行を実施している。今後も利用状況を把握しながら、より利便性が高く効率的な公共交通の運営を行う。 公共交通の利用者は36,220人であったが、新型コロナウイルス感染予防のため学校の休校や不要不急の外出自粛のための減少だと思われる。 令和3年4月から増穂商業高校の廃校により路線の見直しを行った。今後は青洲高校に通学する学生のため関係機関と協議してニーズに合った路線を検討する。	
令和3年度 (2021)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	平成29年度から公共交通ネットワーク計画に基づいた町営バス路線の運行を実施している。今後も利用状況を把握しながら、より利便性が高く効率的な公共交通の運営を行う。 富士急バス路線廃線に伴い、令和3年11月から飯富本栖湖線の運行を開始した。 公共交通の利用者は、39,192人であった。 新型コロナウイルス感染予防の影響がまだあると思うが、コロナウイルス感染前と同等まで回復した。 今後も青洲高校に通学する学生のため関係機関と協議してニーズに合った路線を検討する。	
令和4年度 (2022)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	平成29年度から公共交通ネットワーク計画に基づいた町営バス路線の運行を実施している。今後も利用状況を把握しながら、より利便性が高く効率的な公共交通の運営を行う。 公共交通の利用者は、40,691人であった。 新型コロナウイルス感染予防の影響がまだあると思うが、コロナウイルス感染前と同等まで回復した。 今後も高校に通学する学生の為の調整や新しい公共施設への利便性を関係機関と協議してニーズに合った運行を検討する。	
令和5年度 (2023)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	平成29年度から公共交通ネットワーク計画に基づいた町営バス路線の運行を実施している。今後も利用状況を把握しながら、より利便性が高く効率的な公共交通の運営を行う。 公共交通の利用者は、37,274人であった。 身延駒沢線の利用者数の減少は高校生の利用者が減ったことによるものと思われる。 今後も高校に通学する学生の為の調整や新しい公共施設への利便性を関係機関と協議してニーズに合った運行を検討する。	
令和6年度 (2024)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	平成29年度から公共交通ネットワーク計画に基づいた町営バス路線の運行を実施している。今後も利用状況を把握しながら、より利便性が高く効率的な公共交通の運営を行う。 公共交通の利用者は、36,545人であった。 町営バス全体の利用者数が減っている。 今後も高校に通学する学生の為の調整や新しい公共施設への利便性を関係機関と協議してニーズに合った運行を検討する。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 利用状況を把握しながら、町民のニーズに応じた路線や時刻等を検討調整 ◆ 地域の状況に応じて山梨県・隣接町と相互のバスの接続やそれぞれに所在する高等学校、駅、病院等への直接乗り入れ協議	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計					
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向	5-3	町の情報提供の充実				企画政策課 観光課	
施策内容	(1)	ワンストップポータルの構築					
アクション	①	町民や国内外からの観光客などへ、町の有用な情報を手軽に提供できるように、スマートフォンにも対応したホームページにより情報発信をします。					
施策のKPI (成果目標)	ホームページアクセス数(アクセス数を令和8年度までに700,000回以上にする)		出典元	企画政策課調査	基準値 平成30年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	548,524回 700,000回以上	
■実施内容	◎掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成等を行い、各種行政情報を分かりやすく発信します。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実 維持費 ・ホームページの維持管理	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,221,000円	KPI実績 639,662回	ホームページのアクセス数は増加している。引き続き分かりやすいホームページしていく。 ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる更新予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延により、システム開発が遅れ更新できなかった。開発完了次第、更新を行う。		
	・ OSのサポート終了に伴う機器改修	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	137,280円	KPI実績 636,453回			
令和3年度 (2021)	・ホームページの維持管理	1,221,000円			ホームページのアクセス数は、公式マスコットキャラクター「みのワ」や公式観光情報サイト「みのラブ」の新規開設により、コロナ過の中でも高い水準を維持しており、引き続き見やすいホームページしていく。 ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる機器の更新を行った。		
	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実 維持費 ・ホームページの維持管理	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	KPI実績 692,527回			
令和4年度 (2022)	・ホームページの維持管理	1,353,000円			新型コロナウイルス感染症の制限緩和に伴い、観光関連ホームページのアクセス数の増加もあり公式ホームページ全体のアクセス数も大きく増加した。 引き続き観光関連情報の充実を図りつつ見やすいホームページしていく。		
	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実 維持費 ・ホームページの維持管理	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	KPI実績 661,944回			
令和5年度 (2023)	・ホームページの維持管理	1,353,000円			観光情報サイト「みのラブ」の充実もあり直接アクセスする場面も多く、公式ホームページの観光情報ページを中心にアクセス数は昨年を若干下回ったが概ね平年並みの水準を維持している。 引き続き観光関連情報の充実を図りつつ見やすいホームページしていく。		
	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実 維持費 ・ホームページの維持管理	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	KPI実績 620,671回			
令和6年度 (2024)	・ホームページの維持管理	1,353,000円			観光情報サイト「みのラブ」の充実もあり直接アクセスする場面も多く、公式ホームページの観光情報ページを中心にアクセス数は昨年を若干下回ったが概ね平年並みの水準を維持している。 引き続き観光関連情報の充実を図りつつ見やすいホームページしていく。		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
	維持費 ・ホームページの維持管理	1,353,000円	1,353	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	◆掲載記事の登録編集操作の職員への指導や観光ページへの誘導バナー作成、観光サイトの充実 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 観光課による観光サイトの充実	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
	維持費 ・ホームページの維持管理	2,327,600円	2,328	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況						

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向		5-3	町の情報提供の充実				企画政策課	
施策内容		(1)	ワンストップポータルの構築					
アクション		(2)	各種行政情報を分かりやすく発信するため、デジタル社会に対応したホームページのリニューアルを行います。また、電子申請システムと連携し、町民生活の利便性向上を図ります。					
施策のKPI (成果目標)		電子申請手続き利用数(利用数を令和8年度から毎年度3,000件以上にする)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和3年度(2021) 目標値 令和8年度(2026)	2,588件 3,000件以上/毎年度	
■実施内容		◎ 令和7年度を目標にホームページのデザインを見直し、より見やすく検索しやすいホームページにリニューアルする。 ◎ 電子申請システムと連携する。						
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
				KPI実績	年度末の実績を記載			
令和3年度 (2021)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
				KPI実績	年度末の実績を記載			
令和4年度 (2022)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
				KPI実績	年度末の実績を記載			
令和5年度 (2023)				国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	
				KPI実績	年度末の実績を記載			
令和6年度 (2024)	◆ 電子申請情報を掲載したホームページを構築 見やすく検索しやすいホームページへのリニューアルの内容を検討し概要を整理する。 ・ 公式ホームページリニューアル設計業務 維持費 ・ ホームページの管理運用(保守)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		3,652	1,997	
				KPI実績	-			
					現在のホームページは開設から9年が経過し、掲載内容の煩雑化が進みリニューアルに向けて設計業務を実施した。次年度はリニューアルに向けた事業を進める。今後も随時情報の更新を行うことで、インターネットの手軽に最新情報が受信できるというメリットをいかした取り組みを継続し、住民福祉の向上と外部への情報発信を進める。			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 電子申請情報を掲載したホームページを構築 見やすく検索しやすいホームページへのリニューアルの実施 ・ホームページリニューアル業務 19,077,300円</p> <p>維持費 ・ホームページの管理運用(保守) 1,353,000円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>20,430</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,430</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	20,430	計	20,430		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	20,430																		
計	20,430																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ ホームページ掲載内容の充実と見直し 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 維持費 ・ホームページの管理運用(保守) 2,327,600円</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,328</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,328</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	2,328	計	2,328		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	2,328																		
計	2,328																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成					担当課
基本的方向	5-3	町の情報提供の充実					企画政策課 交通防災課
施策内容	(2)	防災情報の提供					
アクション	①	町民や国内外からの観光客などに対して、災害発生時に必要とされる情報の優先順位を付けて、インターネットを活用し途切れることのない情報の提供を実施します					
施策のKPI (成果目標)	災害時用情報発信訓練の実施回数(訓練を毎年度1回以上実施する)		出典元	企画政策課調査	基準値 令和元年度(2019)	1回	
					目標値 令和8年度(2026)	1回以上/毎年度	
■実施内容	◎ 町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報をインターネットを活用し発信する。						
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,221,000円	1,221 1,221	KPI実績 1回	災害時を想定した情報発信訓練を町の防災訓練開催時に実施した。引き続き訓練を行う。 ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる更新予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延により、システム開発が遅れ更新できなかった。開発完了次第、更新を行う。
	維持費 ・ホームページの維持管理		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
令和3年度 (2021)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	137,280円	1,886 1,886	KPI実績 1回	災害時を想定した情報発信訓練を町の防災訓練開催時に実施した。引き続き訓練を行う。 ホームページ用のWebサーバとCMSサーバがOSのサポート切れによる機器の更新を行った。
	・OSのサポート終了に伴う機器改修 維持費 ・ホームページの維持管理		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,221,000円	1,358 1,358		
令和4年度 (2022)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	1,353 1,353	KPI実績 1回	災害時を想定した情報発信訓練を秋の台風シーズンを前に9月に実施した。 担当者の専用ページ更新研修も継続的に実施しつつ引き続き訓練を行う。
	維持費 ・ホームページの維持管理		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
令和5年度 (2023)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	1,353 1,353	KPI実績 1回	災害時を想定した情報発信訓練を秋の台風シーズンを前に9月に実施した。 担当者の専用ページ更新研修も継続的に実施しつつ引き続き訓練を行う。
	維持費 ・ホームページの維持管理		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
令和6年度 (2024)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	1,353,000円	1,353 1,353	KPI実績 1回	災害時を想定した情報発信訓練を秋の台風シーズンを前に9月に実施した。 担当者の専用ページ更新研修も継続的に実施しつつ引き続き訓練を行う。
	維持費 ・ホームページの維持管理		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施	1,353,000円	国庫支出金		
	維持費 ・ホームページの維持管理		県支出金		
令和8年度 (2026)	◆町民や観光客などに対して、災害発生時に必要となる情報発信 掲載記事の登録編集操作の職員への指導 災害時用情報発信訓練の定期的な実施	1,353,000円	地方債		
	維持費 ・ホームページの維持管理		その他		
横断的な取り組みの状況		一般財源	1,353		
		計	1,353	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向	5-3	町の情報提供の充実				交通防災課	
施策内容	(2)	防災情報の提供					
アクション	(2)	時間や場所の制約を受けず、町の災害・行政情報をスマートフォンやタブレットで知ることができる、防災・行政情報アプリを導入し、プッシュ型により迅速・的確な情報の提供を実施します。					
施策のKPI (成果目標)	防災・行政情報アプリ登録者数(登録者数を令和8年度までに2,000件(人口の20%)以上にする)		出典元	交通防災課調査	基準値 令和5年度(2023) 目標値 令和8年度(2026)	未整備 2,000件以上	
■実施内容	(◎ 町の災害・行政情報をスマートフォンやタブレットで知ることができる、防災・行政情報アプリを導入する。また、登録者数の増加を図る。)						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和3年度 (2021)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和4年度 (2022)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和5年度 (2023)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和6年度 (2024)	◆ 防災・行政情報アプリ導入 ・システム構築費 6,000,000円 ・防災無線連携 2,500,000円 ・職員参集機能 750,000円 ・避難所管理・写真投稿機能 2,000,000円 ・オンライン地図機能等 1,500,000円 ・一般管理費 500,000円 ・消費税 1,325,000円 計 14,575,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	15,428 462 15,890	14,000 575 14,575	KPI実績 システム構築完了		
		令和7年度からの運用に向け防災・行政アプリのシステムの構築ができた。 運用開始後は多くの方にアプリをダウンロードいただき使用されるよう周知していく。					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 防災・行政情報アプリによる情報提供 防災・行政情報アプリ維持費 ・システム運用保守費用 924,000円（税込） ・オプション機能保守費用 264,000円（税込）</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,188</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,188</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,188	計	1,188		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	1,188																		
計	1,188																		
	0																		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 防災・行政情報アプリによる情報提供 防災・行政情報アプリ維持費 ・システム運用保守費用 924,000円（税込） ・オプション機能保守費用 264,000円（税込）</p>	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,188</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,188</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,188	計	1,188		0	KPI実績	年度末の実績を記載	
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	1,188																		
計	1,188																		
	0																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向	5-3	町の情報提供の充実				生涯学習課	
施策内容	(3)	ICT活用力の向上					
アクション	①	町民を対象としたスマートフォンやタブレットの講習会を開催することで、ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図ります。					
施策のKPI (成果目標)	スマートフォン・タブレット講習会参加者(講習会参加者を令和8年度までに累計250人以上にする)		出典元	生涯学習課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	0人 累計250人以上	
■実施内容	◎ 初心者を対象にしたスマートフォン・タブレット講習会を開催する。講習会の実施によりICTに対する抵抗感を和らげ、誰にでも簡単に操作ができる学んでいただき、町のホームページの閲覧方法も紹介するなどして、ICTに興味をもつていただく。また、社会情勢の変化に対応した内容の講習会も開催する。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る ・講習会について新型コロナウイルス感染症対策のため中止	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0 0	0人	新型コロナウイルス感染症対策のため中止したが、講習会によりICTへの関心が高まり、町ホームページの閲覧件数の増加にもつながるものと考える。	
令和3年度 (2021)	◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る ・町内の通信専門業者の協力を得て、講習会を複数回開催。 (初心者向け) 12回開催	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0 0	68人 累計 68人	定期的に地区公民館を利用しているグループを中心とした講習会を実施した。コロナ禍による急速なデジタル化に伴い、ICTへの関心を深め、町ホームページの閲覧件数の増加につながるものと考える。	
令和4年度 (2022)	◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る システム開発事業者の協力を得て、講習会を複数回開催 (初心者向け) 年間の参加者数 延べ10名以上 ・講習会 9回 ・参加者数(延べ) 60人 ・講習会業務委託料 1,089,000 円 ※ 委託名 高齢者を中心としたデジタル活用支援事業業務	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		1,089 1,089	60人 累計128人	地区公民館を定期的に利用している高齢者を中心としたグループを対象に、初心者向けの「タブレット教室」を開催した。参加者へのアンケート結果では、全体的に満足度と理解度が高く、全員から、「また実施して欲しい」との回答があった。 コロナ禍による急速なデジタル化が進む中、ICTへの苦手意識を解消し、ICT活用力の向上を図るために引き続き講習会を開催していく。	
令和5年度 (2023)	◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る システム開発事業者の協力を得て、講習会を複数回開催 (入門編・初級編) ・講習会 9回 ・参加者数(延べ) 73人 ・講習会業務委託料 869,000 円 ※ 委託名 高齢者を中心としたデジタル活用支援事業業務	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		869 869	73人 累計201人	地区公民館を定期的に利用している高齢者を中心としたグループを対象に、初心者向けの「タブレット教室」を開催。「入門編」と「初級編」、2種類の講座を用意し、参加グループがレベルに合わせて選択できるよう工夫した。 また、教室の後半を、参加者が所持するスマートフォンの相談時間とし、講師等(3~4名)が個別に相談に応じることで、参加者満足度が高い(平均4.7)の教室を開催することができた。 加えて、令和5年度は、文部科学省の『国民のデジタルリテラシー向上事業』に申請し、事業経費の一部について補助を受けた。 高齢者のICT活用力の向上を図るために引き続き講習会を開催していく。	
令和6年度 (2024)	◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る システム開発事業者の協力を得て、講習会を複数回開催 (入門編・初級編・LINE編) ・講習会 5回 ・参加者数(延べ) 39人 ・講習会業務委託料 517,000 円 ※ 委託名 高齢者を中心としたデジタル活用支援事業業務	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		605 605	39人 累計240人	地区公民館を利用している高齢者グループを対象に、初心者向けのタブレット教室を開催。令和6年度は、「入門編」「初級編」に加え、要望が多かった「LINE編」を新設。5組中3組がLINE編を受講し、参加者の満足度が高い(平均4.8)の教室となつた。 引き続き、タブレットやスマートフォンを使った教室を継続し、高齢者のデジタル活用に対する支援と、苦手意識の解消を図る。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	<p>◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る</p> <p>システム開発事業者の協力を得て、講習会を複数回開催 (入門編・初級編・LINE編)</p> <p>年間の参加者数延べ 30名以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会業務委託料 341,000 円 (年3回) ※ 委託名 高齢者を中心としたデジタル活用支援事業業務 	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	341			
		計	341	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	<p>◆ ホームページの閲覧方法等を習得し、ICT活用力の向上を図る</p> <p>町内の通信専門業者の協力を得て、講習会を複数回開催。 (初心者・中級者向け)</p> <p>年間の参加者数延べ 20名以上</p>	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	0			
		計	0	0		
		KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況						

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向	5-3	町の情報提供の充実				企画政策課	
施策内容	(4)	行政情報のデジタルによる提供					
アクション	①	新たに導入する防災・行政情報アプリを活用し、広報や町からのお知らせ等をプッシュ型により迅速・的確に情報の提供を実施します。					
施策のKPI (成果目標)	防災・行政情報アプリ登録者数(登録者数を令和8年度までに2,000件(人口の20%)以上にする)	出典元	企画政策課調査	基準値 令和5年度(2023) 目標値 令和8年度(2026)	未整備 2,000件以上		
■実施内容	◎ 防災・行政情報アプリの整備にあわせて、広報や町からのお知らせ等をスマートフォン等のデジタル機器で何時でも何処でも閲覧できるようにする。お知らせは各担当課から最新の情報を提供していく。						
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和3年度 (2021)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和4年度 (2022)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和5年度 (2023)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載					
令和6年度 (2024)	◆ 防災・行政情報アプリによる情報提供 防災・政情報アプリ導入にあわせ広報のデジタル化について調整検討	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0	R7年度から始まる「みのぶ防災・行政ナビアプリ」に広報みのぶを掲載できるよう調整を行った。	
	KPI実績	令和7年4月より掲載					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ 防災・行政情報アプリによる情報提供</p> <p>防災・行政情報アプリを利用した「広報みのぶ」と町からのお知らせ等を配信</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	<p>◆ 防災・行政情報アプリによる情報提供</p> <p>防災・行政情報アプリを利用した「広報みのぶ」と町からのお知らせ等を配信</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課
基本的方向	5-4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進				交通防災課
施策内容	(1)	悪質電話被害対策機器設置の推進				交通防災課
アクション	①	高齢者を狙った悪質電話による詐欺等の犯罪を未然に防止するため、自動応答録音装置の購入費への補助を行います。				交通防災課
施策のKPI (成果目標)	悪質電話被害対策機器購入費補助金交付要綱の実績(実績件数を令和8年度までに累計50件以上にする)		出典元	交通防災課調査	基準値 令和2年度(2020) 目標値 令和8年度(2026)	開始 累計50件以上
■実施内容	◎ 本町に住所を有する65歳以上の者が属する世帯の世帯員で、徴税等の滞納がないものに対し、自動応答録音装置(自動応答録音装置付電話機を含む)の購入及び設置に要した費用の2分の1で、1世帯1回に限り5,000円を限度として補助する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 悪質電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知した。 ・ 広報紙やホームページで周知を行った。 実績 2件、補助合計額10,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		50 50	10 10	住民への広報活動を実施(高齢者でデイサービスでの案内20回(約250名)、中富学級での周知、区長会での周知)を行ったが、補助金を活用したのは2件であった。 今後は現在の周知方法に加え、全国的に被害が多い年金支給日に注意喚起を行い、被害の発生を抑止できるような活動も実施していく。
	KPI実績		2件			
令和3年度 (2021)	◆ 悪質電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知した。 ・ 広報紙やホームページで周知を行った。 実績 2件、補助合計額10,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		50 50	10 10	住民への広報活動を実施(高齢者でデイサービスでの案内20回(約250名)、区長会での周知)を行った。補助金の活用は2件だった。 今後も引き続き現在の周知方法に加え、全国的に被害が多い年金支給日に注意喚起を行い、被害の発生を抑止できるような活動も実施していく。
	KPI実績		2件 累計 4件			
令和4年度 (2022)	◆ 悪質電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知する。 ・ 広報紙やホームページで周知を行う。 実績 2件、補助合計額10,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		50 50	10 10	住民への広報活動を実施(高齢者でデイサービスでの案内20回(約250名)、区長会での周知)を行った。補助金の活用は2件だった。 今後も引き続き現在の周知方法に加え、全国的に被害が多い年金支給日に注意喚起を行い、被害の発生を抑止できるような活動も実施していく。
	KPI実績		2件 累計 6件			
令和5年度 (2023)	◆ 悪質電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知する。 ・ 広報紙やホームページで周知を行う。 実績 3件、補助合計額15,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		50 50	15 15	住民への広報活動を実施(高齢者でデイサービスでの案内20回(約250名)、区長会資料での周知)を行った。補助金の活用は3件だった。 今後も引き続き現在の周知方法に加え、全国的に被害が多い年金支給日に注意喚起を行い、被害の発生を抑止できるような活動も実施していく。
	KPI実績		3件 累計 9件			
令和6年度 (2024)	◆ 悪質電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知する。 ・ 広報紙やホームページで周知を行う。 実績 1件、補助合計額5,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		50 50	5 5	住民への広報活動を実施(高齢者でデイサービスでの案内20回(約230名)、区長会資料での周知)を行った。補助金の活用は1件だった。 今後も引き続き現在の周知方法に加え、全国的に被害が多い年金支給日に注意喚起を行い、被害の発生を抑止できるような活動も実施していく。
	KPI実績		1件 累計 10件			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 惠賀電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知する。 ・ 広報紙やホームページで周知を行う。 ・ 5,000円×5件＝ 25,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
				25		
			計	25	0	
令和8年度 (2026)	◆ 惠賀電話被害対策機器設置の推進 ・ 区長会及び自主防災会議で制度を周知する。 ・ 広報紙やホームページで周知を行う。 ・ 5,000円×10件＝ 50,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計				
				50		
			計	50	0	
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成					担当課												
基本的方向	5-4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進					観光課												
施策内容	(2)	公共施設へのAED(自動体外式除細動器)設置の普及																	
アクション	①	AEDを公共施設に配備します。																	
施策のKPI (成果目標)	観光課関連施設AED設置数(設置数を令和8年度まで維持する)		出典元	観光課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	5台 5台													
■実施内容	◎ AEDの設置場所の検討、拡充配備を行う。																		
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和2年度 (2020)	<p>◆ AED維持・整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置施設 4箇所 設置数 5台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ観光センター、みのぶ自然の里、下部温泉会館) ・ 新規設置箇所の検討実施 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>251</td></tr> <tr><td>計</td><td>251</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	251	計	251			KPI実績	5台	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な管理と普通救命講習を実施し、町民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として継続していく。
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	251																		
計	251																		
令和3年度 (2021)	<p>◆ AED維持・整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置施設 4箇所 設置数 5台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ観光センター、みのぶ自然の里、下部温泉会館) ・ 新規設置箇所の検討実施 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>131</td></tr> <tr><td>計</td><td>131</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	131	計	131			KPI実績	5台	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な管理と普通救命講習を実施し、町民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として継続していく。 ・新規設置については、社会情勢を見極める中で検討を進めていく。
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	131																		
計	131																		
令和4年度 (2022)	<p>◆ AED維持・整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置施設 3箇所 設置数 4台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ自然の里、下部温泉会館) ・ 新規設置箇所の検討 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>248</td></tr> <tr><td>計</td><td>248</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	248	計	248			KPI実績	4台	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な管理と普通救命講習を実施し、町民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として継続していく。 ・施設の廃止に伴う減となった。新規設置については、コロナ禍の状況でもあり、今後の社会情勢を見極める中で検討を進めていく。
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	248																		
計	248																		
令和5年度 (2023)	<p>◆ AED維持・整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置施設 2箇所 設置数 3台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ自然の里) ・ 新規設置箇所の検討 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>166</td></tr> <tr><td>計</td><td>166</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	166	計	166			KPI実績	3台	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な管理と普通救命講習を実施し、町民協働の安心して暮らせる環境づくり施策として継続していく。 ・新規設置については、観光関連団体との検討や今後の社会情勢を見極める中で検討を進めていく。
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	166																		
計	166																		
令和6年度 (2024)	<p>◆ AED維持・整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置施設 2箇所 設置数 3台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ自然の里) ・ 新規設置箇所の検討 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>166</td></tr> <tr><td>計</td><td>166</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	166	計	166			KPI実績	3台	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も適正な管理と普通救命講習を実施し、町民協働の安心して暮らせる環境づくり施策として継続していく。 ・新規設置については、観光関連団体との検討や今後の社会情勢を見極める中で検討を進めていく。
国庫支出金																			
県支出金																			
地方債																			
その他																			
一般財源	166																		
計	166																		

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	<p>◆ AED維持・整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置施設 3箇所 設置数 4台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ自然の里1台、道の駅にしじまかみすきパーク1台) ・新規設置箇所の検討 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
			KPI実績	年度末の実績を記載	
令和8年度 (2026)	<p>◆ AED維持・整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置施設 2箇所 設置数 3台 (いこいの森キャンプ場2台、みのぶ自然の里) ・新規設置箇所の検討 2箇所 本栖湖観光案内所、身延山(仲町)駐車場 	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
横断的な取り組みの状況			KPI実績	年度末の実績を記載	

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課
基本的方向	5-4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進				生涯学習課
施策内容	(2)	公共施設へのAED設置の普及				生涯学習課
アクション	②	公共施設に設置したAEDの維持管理を継続します。				
施策のKPI (成果目標)	生涯学習課関連施設AED維持数(設置数を令和8年度まで維持する)		出典元	生涯学習課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	15台 15台
■実施内容	◎ 公共施設に設置したAED15台の設置・維持管理を継続する。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	<p>◆ 生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理</p> <p>西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、大須成分館、曙分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館、遅沢スポーツ広場、みすきふれあい館、木喰微笑館</p> <p>・AEDリース料 4,180円 × 15台 × 12月 = 752,400円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	753 753	752 752	KPI実績 15台	市民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として継続する。
令和3年度 (2021)	<p>◆ 生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理</p> <p>西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、大須成分館、曙分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館、遅沢スポーツ広場、みすきふれあい館、木喰微笑館</p> <p>(生涯学習課施設)</p> <p>・AEDリース料 4,180円 × 15台 × 4月 = 250,800円 1,100円 × 15台 × 8月 = 132,000円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	753 753	383 383	KPI実績 15台	市民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として継続する。
令和4年度 (2022)	<p>◆ 生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理</p> <p>(生涯学習課 12施設) ※令和4年7月31日リース契約期間満了</p> <p>西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館、遅沢スポーツ広場、木喰微笑館</p> <p>・AEDリース料 1,100円 × 12台 × 4月 = 52,800円 (4~7月) 4,609円 × 12台 × 4月 = 221,232円 (12~3月)</p> <p>(生涯学習課貸出用 3台)</p> <p>・AEDリース料 3,685円 × 3台 × 12月 = 132,660円 (4~3月)</p> <p>計 15台 406,692円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	924 924	407 407	KPI実績 15台	市民協同の安心して暮らせる環境づくり施策として、生涯学習課関連施設に設置しているAEDの維持管理を継続する。
令和5年度 (2023)	<p>◆ 生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理</p> <p>(生涯学習課 12施設)</p> <p>西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館、遅沢スポーツ広場、木喰微笑館</p> <p>・AEDリース料 4,609円(税込) × 12台 × 12月 = 663,696円</p> <p>(生涯学習課貸出用 3台)</p> <p>・AEDリース料 3,685円(税込) × 3台 × 12月 = 132,660円</p> <p>計 15台 796,356円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	797 797	796 796	KPI実績 15台	安心安全に暮らせる環境づくりを推進するため、生涯学習課関連公共施設に設置しているAEDの維持管理を継続する。
令和6年度 (2024)	<p>◆ 生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理</p> <p>(生涯学習課 12施設)</p> <p>西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館、遅沢スポーツ広場、木喰微笑館</p> <p>・AEDリース料 4,609円(税込) × 12台 × 12月 = 663,696円</p> <p>(生涯学習課貸出用 3台)</p> <p>・AEDリース料 3,685円(税込) × 3台 × 12月 = 132,660円</p> <p>計 15台 796,356円</p>	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	797 797	796 796	KPI実績 15台	安心安全に暮らせる環境づくりを推進するため、生涯学習課関連公共施設に設置しているAEDの維持管理を継続する。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理 (生涯学習課 12施設) 西嶋分館、静川分館、原分館、豊岡分館、身延分館、大河内分館、下山分館、下部町民体育館、下山野球場、静川体育館 遅沢スポーツ広場、木喰微笑館 ・AEDリース料 4,609円(税込) × 12台 × 12月 663,696 円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
令和8年度 (2026)	◆生涯学習課関連公共施設に設置したAEDの維持管理 (生涯学習課施設) ・AEDリース料 4,180円 × 15台 × 12月 = 752,400円	KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課
基本的方向	5-4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進				交通防災課
施策内容	(3)	防犯パトロール車運行の継続				交通防災課
アクション	①	防犯パトロール車2台体制で町内全域を毎日(平日)パトロールし、防犯に努めます。				交通防災課
施策のKPI (成果目標)	防犯パトロール車2台の毎日(平日)パトロールの継続実施 (防犯パトロールを令和8年度まで継続する)		出典元	交通防災課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	実施 毎日(平日)実施/年度
■実施内容	◎ 防犯パトロール車2台体制で町内全域を毎日(平日)パトロールし、防犯に努めます。					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	3,389	3,751	KPI実績 実施	平成29年5月から2台の車両で防犯パトロールを実施することで、見守り体制が一層強化された。今後もより効果的な方法を検討しながら継続して実施していく。
令和3年度 (2021)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,074	3,811	KPI実績 実施	シルバー人材センターに運転委託し、2台の車両にてパトロールを実施している。犯罪の抑止のひとつとなっている。今後も効果的な方法を検討しながら継続実施して行く。
令和4年度 (2022)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,330	4,115	KPI実績 実施	シルバー人材センターに運転委託し、2台の車両にてパトロールを実施している。犯罪の抑止のひとつとなっている。今後も効果的な方法を検討しながら継続実施して行く。
令和5年度 (2023)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,116	3,894	KPI実績 実施	シルバー人材センターに運転委託し、2台の車両にてパトロールを実施している。犯罪の抑止のひとつとなっている。今後も効果的な方法を検討しながら継続実施して行く。
令和6年度 (2024)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,055	3,764	KPI実績 実施	シルバー人材センターに運転委託し、2台の車両にてパトロールを実施している。犯罪の抑止のひとつとなっている。今後も効果的な方法を検討しながら継続実施して行く。

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,059	4,059	0
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	・ 防犯パトロール実施 防犯パトロール車のリース 防犯パトロール車運転委託	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,150	4,150	0
横断的な取り組みの状況		KPI実績	年度末の実績を記載		

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成					担当課	
基本的方向	5-4	安心安全に暮らせる環境づくりを推進					交通防災課	
施策内容	(4)	自主防災会の備蓄資機材等の整備と住宅感震ブレーカー設置の促進						
アクション	①	自助共助の促進と地域防災力強化のため、各地区的自主防災会に備蓄資機材等購入に対する補助を行います。また、住宅感震ブレーカー設置の補助を行います。						
施策のKPI (成果目標)	(①)自主防災会備蓄資機材等購入補助金実績件数(補助件数を令和8年度までに累計50件以上にする) (②)設置累計(設置累計を令和8年度までに50世帯以上にする)		出典元 交通防災課調査	基準値 令和元年度(2019)	未実施			
					目標値 令和8年度(2026)	①累計50件以上 ②累計50世帯以上		
■実施内容	◎ 備蓄資機材購入、感震ブレーカー購入・設置の補助を行い、地域防災力の強化を図ることによって安心安全に暮らせる環境をつくりを推進する							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 新規での、自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を検討実施。 自主防災組織の発電機、備蓄倉庫等の備蓄資機材購入の補助を行った。 実績0件		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,250	35	① 0件 ② 2件	初区長会や広報紙等で事業の周知は実施したが、事業初年度であり、新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため、防災に関する説明会や研修会が開催できなく、制度の周知不足となってしまったため、感震ブレーカー設置補助の2件のみとなってしまった。 今後は様々な手段で事業内容を周知し、地域の防災力強化を図っていく。	
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を検討実施。 実績 2件 補助合計額 34,200円		KPI実績					
令和3年度 (2021)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 自主防災組織の発電機や投光器、防災倉庫購入の補助を行った。 実績 2件 355,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,250	355	① 2件 累計 2件 ② 0件 累計 2件	初区長会や広報紙等で事業の周知を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人を集めての説明会や研修会が開催できなかつたが、2つの自主防災会で自主防災組織資機材整備費補助により発電機等資器材を整備された。 感震ブレーカー設置補助の利用はなかつた。 今後も様々な手段で事業内容を周知し、地域の防災力強化を図っていく。	
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 実績 0件 実績合計 2件 補助合計額 355,000円		KPI実績					
令和4年度 (2022)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 ・実績 0件		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,250	0	① 0件 累計 2件 ② 0件 累計 2件	初区長会資料や広報紙等で事業の周知を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人を集めての説明会や研修会が開催しにくく状況だった。 残念ながら自主防災組織資機材整備補助も感震ブレーカー設置補助の利用はなかつた。 今後は事業内容の新たな周知手段も考えながら、地域の防災力強化を図っていく。	
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 ・実績 0件		KPI実績					
令和5年度 (2023)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 実績 2件 204,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,250	229	① 2件 累計 4件 ② 1件 累計 3件	初区長会資料や広報紙等で事業の周知を実施した。 補助について問い合わせはあるものの、実績は自主防災組織資機材整備補助2件、感震ブレーカー設置補助1件であった。 引き続き事業内容の新たな周知手段も考えながら、地域の防災力強化を図っていく。	
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 実績 1件 25,000円 実績合計 3件 補助合計額 229,000円		KPI実績					
令和6年度 (2024)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 実績 1件 9,000円		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	2,250	9	① 1件 累計 5件 ② 0件 累計 3件	初区長会資料や広報紙等で事業の周知を実施した。 補助について問い合わせはあるものの、実績は自主防災組織資機材整備補助1件、感震ブレーカー設置補助は0件であった。 引き続き事業内容の新たな周知手段も考えながら、地域の防災力強化を図っていく。	
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 ・実績 0件 実績合計 1件 補助合計額 9,000円		KPI実績					

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 自主防災会5件 × 補助上限20万 = 1,000,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 申請5世帯 × 補助上限2万5千 = 125,000円	1,125	0	KPI実績	年度末の実績を記載
令和8年度 (2026)	◆ 自主防災会備蓄資機材等購入費補助金制度を継続実施。 自主防災会10件 × 補助上限20万 = 2,000,000円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	◆ 個人向けに、感震ブレーカー設置費補助金制度を継続実施。 申請10世帯 × 補助上限2万5千 = 250,000円	2,250	0	KPI実績	年度末の実績を記載
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課	
基本的方向		5-4	安心安全に暮らせる環境づくりの推進				福祉保健課	
施策内容		(5)	避難行動要支援者名簿の作成・整備					
アクション		①	避難行動要支援者名簿の作成・整備により要配慮者を的確に把握し、災害時の避難行動要支援者の安否確認、避難支援などに活かします。					
施策のKPI (成果目標)		避難行動要支援者システムの運用(令和8年度までシステムを運用する)		出典元	福祉保健課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未整備 整備・運用	
■実施内容		(◎ 峠南5町で避難行動要支援者システム導入を検討し、避難行動要支援者台帳管理・地図情報により要配慮者を的確に把握することで災害時の避難行動要支援者対応に活かし、安心安全に暮らせる環境づくりを推進する。)						
年度	内容			財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・峠南5町で避難行動要支援者システム導入に向けた検討 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報)導入、活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	令和2年度システムを導入し支援者の台帳を管理できるようになった。災害時に役立てるよう活用していきたい。	
				KPI実績	システム導入			
令和3年度 (2021)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報)活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	令和2年度システムを導入し支援者の台帳を管理できるようになった。災害時に役立てるよう活用していきたい。	
				KPI実績	システム活用			
令和4年度 (2022)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報)活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	令和2年度システムを導入し支援者の台帳を見直し災害時に役立てるよう活用していきたい。	
				KPI実績	システム活用			
令和5年度 (2023)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報)活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	令和2年度システムを導入し支援者の台帳を見直し災害時に役立てるよう活用していきたい。	
				KPI実績	システム活用			
令和6年度 (2024)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報)活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	令和2年度システムを導入し支援者の台帳を見直し災害時に役立てるよう活用していきたい。	
				KPI実績	システム活用			

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報) 活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
		計	0	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
令和8年度 (2026)	◆避難行動要支援者名簿の作成整備 ・避難行動要支援者システム(MARSシステム:台帳管理+地図情報) 活用 (基幹系業務システム統合パッケージに含まれるため追加費用は不要)	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
		計	0	0	
		KPI実績	年度末の実績を記載		
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課
基本的方向	5-5	いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進				生涯学習課
施策内容	(1)	健康増進施設運営事業				
アクション	①	温泉施設と健康増進施設等を併設した健康増進施設を建設し、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の保持や体力向上を図ります。				
施策のKPI (成果目標)	スポーツ健康増進施設への入館者数(入込客数を令和8年度までに164,000人にする)		出典元 指定管理契約による報告	基準値 令和5年度(2023) 目標値 令和8年度(2026)	103,000人(目標数) 164,000人	
■実施内容	(◎ 指定管理者である、株式会社ヘルシースパサンロード身延湯の社が、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が健康づくりや疾病、介護予防等に取り組める様々な運動プログラムを提供すること等による「町民の健康増進」と地域資源を活かした「交流人口の拡大」を目的として、身延町健康増進施設整備運営事業要求水準書に沿った運営が行われているか確認をする。)					
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和2年度 (2020)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0 0	KPI実績 年度末の実績を記載	
令和3年度 (2021)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0 0	KPI実績 年度末の実績を記載	
令和4年度 (2022)		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計		0 0	KPI実績 年度末の実績を記載	
令和5年度 (2023)	◆ 健康増進施設運営事業 施設運営 ・光熱水費(下水道使用料・雨河内源泉電気料) 13,718 千円 ・役務費(雨河内源泉通信料) 86 千円 ・委託料(雨河内源泉調査業務) 348 千円 ・委託料(指定管理料) 20,000 千円 ・使用料(奥の湯温泉使用料) 3,703 千円 ・賃借料(土地賃借料) 30 千円 ・負担金(一般利用料金との差額) 7,644 千円 施設PR ・役務費(FM FUJIラジオ放送) 457 千円 ・委託料(竣工時プロモーション業務) 1,011 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	49,758 46,997 49,759 46,997	101,534人	オープンから1年が経ち、売上、客数に 関しては、指定管理者が作成した計画ど おりの流れできている。 利用者アンケートの集計結果において も、ほぼすべての方が満足している結果 である。 引き続き要求水準書に沿った管理・運 営をしているか確認するとともに、施設の 利用率アップに向けてのイベント等に協 力していく。	
令和6年度 (2024)	◆ 健康増進施設運営事業 施設運営 ・光熱水費(下水道使用料・雨河内源泉電気料) 16,122 千円 ・修繕費(雨河内源泉貯湯施設設計・機器修繕) 594 千円 ・役務費(雨河内源泉通信料) 86 千円 ・委託料(雨河内源泉調査業務) 406 千円 ・委託料(雨河内源泉貯湯施設維持管理業務) 682 千円 ・委託料(指定管理料) 20,000 千円 ・使用料(奥の湯温泉使用料) 4,039 千円 ・賃借料(土地賃借料) 30 千円 ・負担金(一般利用料金との差額) 8,432 千円 施設利用促進 ・委託料(市民向けスタジオメニュー開催業務) 796 千円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	50,278 51,187 50,279 51,187	令和6年度入館者数 120,435人 累計入館者数 221,969人	オープン2年目となり、昨年度より売上、 客数とも増加している。 利用者アンケートの集計結果において も、昨年同様、ほぼすべての方が満足し ている結果である。 引き続き要求水準書に沿った管理・運 営をしているか確認するとともに、施設の 利用率アップに向けてのイベント等に協 力していく。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善
令和7年度 (2025)	◆ 健康増進施設運営事業 施設運営	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	・光熱水費(下水道使用料・雨河内源泉電気料)	17,012 千円			
	・役務費(雨河内源泉通信料)	86 千円			
	・委託料(雨河内源泉調査業務)	489 千円			
	・委託料(雨河内源泉貯湯施設維持管理業務)	682 千円			
	・委託料(指定管理料)	20,000 千円			
	・使用料(奥の湯温泉使用料)	4,040 千円			
	・賃借料(土地賃借料)	31 千円			
・負担金(一般利用料金との差額)	9,964 千円				
施設利用促進					
・委託料(町民向けスタジオメニュー開催業務)	674 千円				
	KPI実績	年度末の実績を記載			
令和8年度 (2026)	◆ 健康増進施設運営事業 施設運営	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計			
	・光熱水費(下水道使用料・雨河内源泉電気料)	15,823 千円			
	・役務費(雨河内源泉通信料)	86 千円			
	・委託料(雨河内源泉調査業務)	349 千円			
	・委託料(指定管理料)	20,000 千円			
	・使用料(奥の湯温泉使用料)	4,040 千円			
	・賃借料(土地賃借料)	31 千円			
	・負担金(一般利用料金との差額)	7,950 千円			
	KPI実績	年度末の実績を記載			
横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成					担当課	
基本的方向	5-5	いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進					町民課 福祉保健課	
施策内容	(2)	高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策の充実						
アクション	①	国民健康保険及び後期高齢者の被保険者を対象とした健診事業と国民健康保険被保険者の受診後の保健指導利用を推進し、健康づくりを推進します。					町民課 福祉保健課	
施策のKPI (成果目標)	①国民健康保険の特定健診受診率(受診率を令和8年度までに60%以上にする) ②後期高齢者医療保険の健診受診率(受診率を令和8年度までに35%以上にする)		出典元 市町村別特定健診 実施結果	基準値 平成30年度(2018) 目標値 令和8年度(2026)	①57.7% ②30.87%			
					①60%以上 ②35%以上			
■実施内容	◎ 国民健康保険及び後期高齢者の被保険者を対象とした特定健診の実施、国民健康保険の被保険者の受診後の保健指導の充実							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 生活習慣病予防対策 ・ 特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・ 特定保健指導の実施 345 ・ 国民健康保険特定健診費用 10,889千円 8,388 ・ 後期高齢者医療特定健診費用 8,979千円 7,707 16,440		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,409 4,588	4,588	新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令されたことで急遽7月に3地区を全て実施した。 日程の変更・感染対策等により、未受診者対策が出来ず、健診受診率が低下した。 来年度は、コロナの状況が心配だが感染対策を徹底する中で従来どおりの健診日程に戻して行う予定でいるので、今年度以上の受診率の向上を目指す。 ※R2健診受診率 国保 1,181/2,531 46.66%(-4.89%) 後期 870/2,936 29.63%(-2.55%)		
			KPI実績	① 46.66% ② 29.63%				
令和3年度 (2021)	◆ 生生活習慣病予防対策 ・ 特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・ 特定保健指導の実施 648 ・ 国民健康保険特定健診費用 11,287千円 9,735 ・ 後期高齢者医療特定健診費用 9,386千円 8,572 18,955		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,548 4,638	3,656 3,308	コロナ禍ではあったが感染対策を徹底したうえで、5月に中富・下部地区、7月に身延地区的住民健診を行った。あらかじめ時間を割り振っていたため、目立った混雑もなくスムーズに行うことができた。 特定保健指導についても、コロナ禍前の実施率には戻ってはいないが、県や国平均よりは高い水準を維持している。 来年度も感染対策等を徹底したうえで今年度以上の受診率を目指す。 ※R3健診受診率 国保 1,308/2,512 52.07%(+5.41%) 後期 902/2,791 32.31%(+2.68%)		
			KPI実績	① 52.07% ② 32.31%				
令和4年度 (2022)	◆ 生活習慣病予防対策 ・ 特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・ 特定保健指導の実施 541 ・ 国民健康保険特定健診費用 11,287千円 9,324 ・ 後期高齢者医療特定健診費用 9,433千円 8,816 18,681		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,548 5,186	3,656 3,732	コロナ禍ではあったが感染対策を徹底したうえで、5月に中富・下部地区、7月に身延地区的住民健診を行った。前年同様、事前に時間を割り振っていたため、目立った混雑もなくスムーズに行うことができた。 特定保健指導についても、コロナ禍前の実施率には戻ってはいないが、引き続き県や国平均よりは高い水準を維持している。 来年度も感染対策等を徹底したうえで今年度以上の受診率を目指す。 ※R4健診受診率 国保 55.40%(+3.33%) 後期 31.40%(-0.91%)		
			KPI実績	① 55.40% ② 31.40%				
令和5年度 (2023)	◆ 生生活習慣病予防対策 ・ 特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・ 特定保健指導の実施 598 ・ 国民健康保険特定健診費用 11,369千円 9,051 ・ 後期高齢者医療特定健診費用 11,199千円 9,115 18,764		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	5,186 4,923	3,984 3,772	前年同様に感染対策を徹底したうえで、5月に中富・下部地区、7月に身延地区的住民健診を行った。本年度、下部地区会場を下部地区民体育館から下部地区公民館へと変更したが事前に時間を割り振っていたため、駐車場等にも大きな混雑もなくスムーズに行うことができた。 県や国平均よりは高い水準を維持しているが前年度より、健診受診率が低下した。 今年度の受診状況等を確認し、来年度は今年度以上の受診率を目指す。 ※R5健診受診率 国保 53.0%(-2.4%) 後期 32.1%(+0.7%)		
			KPI実績	① 53.0% ② 32.1%				
令和6年度 (2024)	◆ 生生活習慣病予防対策 ・ 特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・ 特定保健指導の実施 499 ・ 国民健康保険特定健診費用 12,026千円 8,286 ・ 後期高齢者医療特定健診費用 11,242千円 10,280 19,065		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	4,923 4,680	3,736 3,728	5月に中富・下部地区、7月に身延地区的住民健診を行った。昨年度より下部地区会場が下部地区公民館へと変更したが、駐車場等にも大きな混雑もなくスムーズに行うことができた。 今年度は国保、後期ともに、受診率が上昇した。 勧奨方法を研究し、より一層の受診率の向上を目指す。 ※R6健診受診率 国保 54.2%(+1.2%) 後期 34.5%(+2.4%)		
			KPI実績	① 54.2% ② 34.5%				

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善														
令和7年度 (2025)	<p>◆ 生活習慣病予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・特定保健指導の実施 908 千円 ・国民健康保険特定健診費用 10,245 千円 ・後期高齢者医療特定健診費用 13,254 千円 24,407 千円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>4,680</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>5,340</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>14,387</td></tr> <tr><td>計</td><td>24,407</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金	4,680	地方債		その他	5,340	一般財源	14,387	計	24,407		0			
国庫支出金																			
県支出金	4,680																		
地方債																			
その他	5,340																		
一般財源	14,387																		
計	24,407																		
	0																		
	KPI実績	年度末の実績を記載																	
令和8年度 (2026)	<p>◆ 生活習慣病予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査 3地区の会場において5月から8月にかけて実施 ・特定保健指導の実施 908 千円 ・国民健康保険特定健診費用 10,245 千円 ・後期高齢者医療特定健診費用 13,254 千円 24,407 千円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>4,680</td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>5,340</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>14,387</td></tr> <tr><td>計</td><td>24,407</td></tr> <tr><td></td><td>0</td></tr> </table>	国庫支出金		県支出金	4,680	地方債		その他	5,340	一般財源	14,387	計	24,407		0			
国庫支出金																			
県支出金	4,680																		
地方債																			
その他	5,340																		
一般財源	14,387																		
計	24,407																		
	0																		
KPI実績	年度末の実績を記載																		
横断的な取り組みの状況																			

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標		5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課 福祉保健課	
基本的方向		5-5	いつまでも元気で幸せに暮らせる健康づくりの推進					
施策内容		(2)	高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策の充実					
アクション		②	高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。					
施策のKPI (成果目標)		いきいき100歳体操の参加人数(参加者数を令和8年度までに850人に増加する)		出典元	福祉保健課調査	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	44グループ645人 60グループ850人	
■実施内容	◎ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。							
年度	内容		財源(千円)	予算	決算	評価・改善		
令和2年度 (2020)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	51 666 26 34,799 35,542	220 185 98 31,650 32,153	KPI実績 49グループ636人	いきいき百歳体操は、49グループ636人(高齢者人口の11.3%)が登録。 新型コロナ感染防止の中、集まつての活動が自粛傾向。 生活習慣病予防健診(循環器・がん検診)を継続し、生活習慣の改善、心の健康づくりの普及啓発を引き続き実施していく。	
令和3年度 (2021)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	326 853 515 35,904 37,598	1,061 540 228 32,214 34,043	KPI実績 48グループ590人	いきいき百歳体操は、48グループ590人(高齢者人口の11.5%)が登録。コロナ感染拡大により、22グループが休止中。 コロナ禍において、地域の集いの場でもある「いきいき百歳体操」を感染予防に努めながら継続できるよう、必要な情報を周知した。 しかしコロナ感染拡大に伴い、活動は自粛傾向で休会グループが多くみられたため、再開に向けた支援を継続していく。 コロナ禍により、健診結果説明会等実施できなかった。感染症予防対策を講じ、生活習慣病予防健診(循環器・がん検診)を継続し、生活習慣の改善、心の健康づくりの普及啓発を引き続き実施していく。	
令和4年度 (2022)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	347 741 0 525 37,795 39,408	393 609 0 298 26,696 27,996	KPI実績 41グループ450人	いきいき百歳体操は、高齢者人口の9.0%が登録。コロナによる休止後に再開できないグループがあること、参加者の高齢化、世話人の引継ぎの困難さ等により、活動グループが減少している。 地域の集いの場でもある「いきいき百歳体操」の継続実施に向けた支援を今後も行っていく。 健診結果説明会をコロナ前と同じように実施することができた。特定保健指導(動機づけ)の指導終了率は69.2%であった。 第3次健康増進計画、第2期自死対策推進計画を策定。 生活習慣病予防健診(循環器・がん検診)を継続し、生活習慣病の改善、心の健康づくりの普及啓発を引き続き実施していく。	
令和5年度 (2023)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	379 754 0 573 38,017 39,723	492 621 0 326 29,845 31,284	KPI実績 41グループ440人	いきいき百歳体操は、高齢者人口の8.6%が登録。コロナにより休会したグループが活動再開し、介護予防教室・体力測定の参加者が増加した。 地域の集いの場でもある「いきいき百歳体操」の継続実施に向けた支援(世話人交流会実施など)を今後も行っていく。 受診しやすい環境を整え、また待ち時間を少なくするための受付時間設定を行い健診を実施した。 結果説明会を実施し、特定保健指導(動機づけ)の暫定指導終了率は87.5%と高率。(R6.6現在) 今後も生活習慣病予防健診(循環器・がん検診)を継続し、生活習慣病の改善、心の健康づくりの普及啓発を引き続き実施していく。	
令和6年度 (2024)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	416 668 0 608 39,465 41,157	496 583 0 362 26,731 28,172	KPI実績 39グループ401人	いきいき百歳体操は、高齢者人口の8.1%が登録。3年ぶりに新規グループ(下部地区2グループ)が発足したが、活動中止・解散グループもあり活動グループ数は減少した。 百歳体操実施集落に専門職が出向き、介護予防教室を実施(年間73回、参加者490名)。 地域の集いの場でもある「いきいき百歳体操」の継続実施に向けた支援(体力測定・世話人交流会等)を今後も行っていく。 受診しやすい環境を整え、又待ち時間を少なくするための受付時間設定の改善を行い健診を実施。 結果説明会を実施し、特定健診保健指導(動機づけ)の暫定指導終了率は81.3%(R7.6現在) 今後も生活習慣病予防健診(循環器・がん検診)を継続し、生活習慣病の改善、心の健康づくりの普及啓発を引き続き実施していく。	

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 高齢者福祉及び健康づくり、健診、予防等保健対策を充実します。 ・地域の支え合いの推進 生活支援体制整備事業の推進 いきいき100歳体操の推進 ・生活習慣病予防対策 特定健康診査・特定保健指導の実施 子宮がん検診の受診勧奨の推進 ・心の健康づくり 心の健康づくりの普及啓発の推進 相談事業の充実	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	385 633 0 580 38,808 40,406			
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 計	416 668 0 608 39,465 41,157				
	KPI実績	年度末の実績を記載				
	横断的な取り組みの状況					

身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略 アクションプラン

基本目標	5	特色ある持続可能な地域社会の形成				担当課																		
基本的方向	5-6	道路交通網の整備				建設課																		
施策内容	(1)	道路施設整備				建設課																		
アクション	①	町産材、県産材の木材の流通効率を向上するため、林道及び接続する町道の施設整備を行います。				建設課																		
施策のKPI (成果目標)	町道・林道の道路改良延長(改良延長を令和8年度までに3,500m行う)		出典元	建設課調査 町道台帳、林道台帳	基準値 令和元年度(2019) 目標値 令和8年度(2026)	未実施 3,500m																		
■実施内容	◎ 法面工、防護柵工、舗装工、その他道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。																							
年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善																			
令和2年度 (2020)	<p>◆ 町道・林道の整備の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道等整備 (事業費 82,165千円 L=104m) 林道三石山線・樋之上線・富士見山線改良工事 ・町道橋梁改良事業 (事業費 271,434千円 L=470m N=7橋) 道路改良工事 橋梁修繕工事 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>102,655</td><td>97,111</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>171</td><td>171</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>275,470</td><td>211,400</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3,739</td><td>3,739</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>62,129</td><td>41,178</td></tr> <tr><td>計</td><td>444,164</td><td>353,599</td></tr> </table>	国庫支出金	102,655	97,111	県支出金	171	171	地方債	275,470	211,400	その他	3,739	3,739	一般財源	62,129	41,178	計	444,164	353,599	KPI実績	574m	町道・林道における、測量・維持・改良工事を実施した。 町道に架かる橋梁修繕工事を実施した。 今後も計画的に道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。	
国庫支出金	102,655	97,111																						
県支出金	171	171																						
地方債	275,470	211,400																						
その他	3,739	3,739																						
一般財源	62,129	41,178																						
計	444,164	353,599																						
令和3年度 (2021)	<p>◆ 町道・林道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備 (事業費 55,930千円 L=698m) 林道三石山線・樋之上線・富士見山線・相又線・折八古関線改良工事 ・町道橋梁改良事業 (事業費 336,589千円 L=25.4m N=4橋) 道路改良工事 橋梁修繕工事 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>81,276</td><td>81,276</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>99</td><td>98</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>160,200</td><td>148,900</td></tr> <tr><td>その他</td><td>50,000</td><td>46,680</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>127,045</td><td>115,565</td></tr> <tr><td>計</td><td>418,620</td><td>392,519</td></tr> </table>	国庫支出金	81,276	81,276	県支出金	99	98	地方債	160,200	148,900	その他	50,000	46,680	一般財源	127,045	115,565	計	418,620	392,519	KPI実績	723m 累計 1,297m	町道・林道における、測量業務・改良工事を実施した。 町道に架かる橋梁修繕工事を実施した。 今後も計画的に道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。	
国庫支出金	81,276	81,276																						
県支出金	99	98																						
地方債	160,200	148,900																						
その他	50,000	46,680																						
一般財源	127,045	115,565																						
計	418,620	392,519																						
令和4年度 (2022)	<p>◆ 町道・林道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備 (事業費 35,824千円 L=149m) 林道三石山線・富士見山線・折八古関線改良工事 ・町道橋梁改良事業 (事業費 155,370千円 L=669m N=4橋) 道路改良工事 橋梁修繕工事 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>43,548</td><td>43,548</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>104</td><td>104</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>98,783</td><td>98,783</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>77,729</td><td>48,759</td></tr> <tr><td>計</td><td>220,164</td><td>191,194</td></tr> </table>	国庫支出金	43,548	43,548	県支出金	104	104	地方債	98,783	98,783	その他	0	0	一般財源	77,729	48,759	計	220,164	191,194	KPI実績	818m 累計 2,115m	町道・林道における、測量業務・改良工事を実施した。 町道に架かる橋梁修繕工事を実施した。 今後も計画的に道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。	
国庫支出金	43,548	43,548																						
県支出金	104	104																						
地方債	98,783	98,783																						
その他	0	0																						
一般財源	77,729	48,759																						
計	220,164	191,194																						
令和5年度 (2023)	<p>◆ 町道・林道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備 (事業費 36,741千円 L=144m) 林道三石山線・富士見山線改良工事 ・町道橋梁改良等事業 (事業費 110,569千円 L=656.1m N=5橋) 道路改良工事 67,070千円 橋梁修繕工事 43,499千円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>87,676</td><td>45,796</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>98</td><td>98</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>52,300</td><td>76,400</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>11,656</td><td>25,016</td></tr> <tr><td>計</td><td>151,730</td><td>147,310</td></tr> </table>	国庫支出金	87,676	45,796	県支出金	98	98	地方債	52,300	76,400	その他	0	0	一般財源	11,656	25,016	計	151,730	147,310	KPI実績	800m 累計 2,915m	町道・林道における、測量業務・改良工事を実施した。 町道に架かる橋梁修繕工事を実施した。 今後も計画的に道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。	
国庫支出金	87,676	45,796																						
県支出金	98	98																						
地方債	52,300	76,400																						
その他	0	0																						
一般財源	11,656	25,016																						
計	151,730	147,310																						
令和6年度 (2024)	<p>◆ 町道・林道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道整備 (事業費 19,690千円 L=53.4m) 林道三石山線・富士見山線改良工事 ・町道橋梁改良等事業 (事業費 128,020千円 L=1079.9m N=5橋) 道路改良工事 69,894千円 橋梁修繕工事 58,126千円 	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>42,781</td><td>42,781</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>98</td><td>98</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>69,800</td><td>69,800</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>42,838</td><td>35,031</td></tr> <tr><td>計</td><td>155,517</td><td>147,710</td></tr> </table>	国庫支出金	42,781	42,781	県支出金	98	98	地方債	69,800	69,800	その他	0	0	一般財源	42,838	35,031	計	155,517	147,710	KPI実績	1,133m 累計 4,048m	町道・林道における、測量業務・改良工事を実施した。 町道に架かる橋梁修繕工事を実施した。 今後も計画的に道路施設整備工事を実施し、安全性・利便性の向上を図る。	
国庫支出金	42,781	42,781																						
県支出金	98	98																						
地方債	69,800	69,800																						
その他	0	0																						
一般財源	42,838	35,031																						
計	155,517	147,710																						

年度	内容	財源(千円)	予算	決算	評価・改善	
令和7年度 (2025)	◆ 町道・林道の整備	国庫支出金	43,439			
	・林道整備 (事業費 20,879千円)	県支出金	98			
	林道三石山線・富士見山線改良工事	地方債	71,100			
	・町道橋梁改良等事業 (事業費 110,700千円)	その他	0			
	道路改良工事 69,700千円	一般財源	16,942			
	橋梁修繕工事 41,000千円	計	131,579	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載				
令和8年度 (2026)	◆ 町道・林道の整備	国庫支出金	10,000			
	・設計	県支出金	0			
	・工事	地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	10,000			
		計	20,000	0		
	KPI実績	年度末の実績を記載				
横断的な取り組みの状況						

「身延町デジタル田園都市国家構想総合戦略」 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の実施状況

地方創生拠点整備タイプの実施状況

1. デジタル田園都市国家構想の概要

デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた取組みの加速化・深化を図るため国から交付される交付金です。この交付金制度は、全国の自治体が未来への投資として行う自主的かつ主体的なハード事業を地域再生法に基づく交付金事業として支援するものであり、地方創生拠点整備タイプは、観光や農林水産業の振興等地方創生に資する拠点施設の整備が対象となります。対象施設は利活用の目標として「KPI（重要業績評価指標）」を設定し、利活用状況の検証と計画・実行・評価・改善の4つの視点から継続的な改善を推進する手法である「PDCAサイクル」による管理を行い、自立の実現を図るものであります。

「西嶋和紙の里」は、地方創生拠点整備交付金事業『道の駅西嶋和紙の里整備事業』により、集客力を高め、賑わいを創出する地域拠点施設「道の駅西嶋和紙の里　かみすきパーク」としてリニューアル（各施設の改修整備・道の駅機能の追加等）し、令和7年4月にオープンしました。

2. 地方創生拠点整備タイプの実施状況

No.	「事業の名称」と 「総合戦略の位置付け」		事業費 (千円)	交付額 (千円)	事業の概要・ 目的	本事業における重要業績評価指標（KPI）											事業の評価						
						指標		基準値 目標値	R6		R7		R8		R9		R10		単位	評価※	P D C A の状況		
						目標値	実績値		目標値	実績値													
1	道の駅西嶋和紙の里整備事業		152,576	308,999	西嶋和紙の里を地域の活性化拠点として道の駅へリニューアルし、新たな民間活力の導入を目指す。また、地域活性化の拠点となるよう、デジタル技術を活用し民間と協働して取り組む。	指標①	地域の人口 ・世帯数	238	258		278		298		318		338		人	■活性化施設（現：滝屋なかとみ・紙屋なかとみ）の整備 ■展示展覧施設（旧：みすきふれあい館）の整備 ■食事提供施設+農産物等販売等施設（旧：味菜庵（あじさいあん））の整備 ■景観に配慮の上、地域のブランディングに資する一體的なデザインのサイン整備 ■岐南地域で展開中のシェアサイクル事業に対応可能な駐輪場等の整備 □24時間利用可能な駐車場や屋根付き優先駐車スペース、RV専用駐車場、トイレ（パリアフリートイレ）などの整備 □災害時における電源供給や防災物資の設置等、防災拠点としての整備 ○Wi-Fi環境の整備 ○多言語案内サインの整備			
								338															
	デジタル田園都市国家構想総合戦略					指標②	観光入込客数	6,218	7,615		8,427		9,326		10,320		11,410		百人				
								11,410															
	基本目標	基本的方向	施策内容	アクション	補助率 1/2以内	指標③	道の駅 年間来場者数	160	700		721		743		765		788		百人				
	1	1-4	(2)	②				788															
計				308,999	152,576	指標④	道の駅 年間売上高	19,430	154,000		158,620		163,378		168,279		173,339		千円				
								173,339															